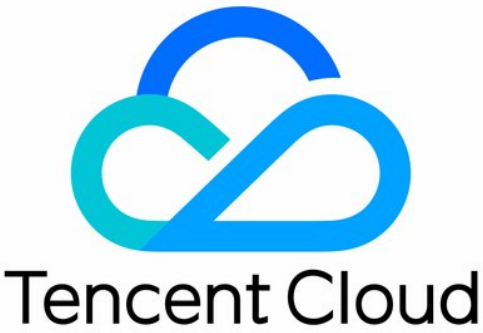
Cloud Object Storage

コンソールガイド

製品ドキュメント



©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

Copyright Notice

©2013-2024 Tencent Cloud. All rights reserved.

Copyright in this document is exclusively owned by Tencent Cloud. You must not reproduce, modify, copy or distribute in any way, in whole or in part, the contents of this document without Tencent Cloud's the prior written consent.

Trademark Notice

Tencent Cloud

All trademarks associated with Tencent Cloud and its services are owned by Tencent Cloud Computing (Beijing) Company Limited and its affiliated companies. Trademarks of third parties referred to in this document are owned by their respective proprietors.

Service Statement

This document is intended to provide users with general information about Tencent Cloud's products and services only and does not form part of Tencent Cloud's terms and conditions. Tencent Cloud's products or services are subject to change. Specific products and services and the standards applicable to them are exclusively provided for in Tencent Cloud's applicable terms and conditions.

カタログ：

コンソールガイド
コンソール概要
バケットの管理
バケットの概要
バケットの作成
バケットの削除
バケットの照会
バケットのクリア
アクセス権限の設定
バケット暗号化の設定
ホットリンク防止の設定
back-to-originの設定
クロスドメインアクセスの設定
バージョン管理の設定
静的ウェブサイトの設定
ライフサイクルの設定
ログ管理の設定
バケットリストへのアクセス
バケットポリシーの追加
ログ分析の設定
INTELLIGENT_TIERINGストレージの設定
リストの設定
ドメイン名管理
ドメイン名管理の概要
カスタムCDNアクセラレーションドメイン名をオンにする
カスタムオリジンサーバードメイン名の有効化
サブアカウントにバケットのアクセラレーションドメイン名を設定する権限を付与
バケットタグの設定
ログ検索の設定
バケットレプリケーションの設定
グローバルアクセラレーションの有効化
オブジェクトロックの設定
オブジェクトの管理
オブジェクトのアップロード
オブジェクトのダウンロード

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

- オブジェクトのコピー
- オブジェクトのプレビューまたは編集
- オブジェクト情報の確認
- オブジェクトの検索
- オブジェクトのソートまたはフィルタリング
- アーカイブの直接伝送
- ストレージタイプの変更
- フラグメントファイルの削除
- オブジェクトのアクセス権限の設定
- オブジェクト暗号化の設定
- カスタムHeaders
- オブジェクトを削除する
- アーカイブオブジェクトの復元
- フォルダの管理
  - フォルダの作成
  - ファイルの削除
  - 共有フォルダ
  - ファイル詳細の表示
  - フォルダ権限の設定
- データの検索
- オブジェクトタグの設定
- オブジェクトURLのエクスポート
- バージョン履歴オブジェクトの復元

バッチ処理

データ監視
- データ概要の表示
- データモニタリングの照会
- モニタリングアラートの設定

データ処理
- 画像処理
  - 基本画像処理
  - 画像の高度圧縮の設定
- ドキュメント処理
  - ドキュメントプレビューの設定
- 関数の計算
  - CDNキャッシュの更新の設定

インテリジェントツールボックス使用ガイド

データワークフロー

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

関数のカスタマイズ処理
ワークフロー設定
タスク設定
テンプレート
アプリ統合
TDSQL-Cデータバックアップ
MySQLデータのバックアップ
MongoDBデータのバックアップ
SQL Serverデータのバックアップ
CKafkaメッセージのバックアップ
TDMQ情報のバックアップ
Redisデータのバックアップ
CDNログバックアップ
CLSログバックアップ
ログ分析関数の追加
CKafkaへのデータエクスポート
ESへのデータエクスポート

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

コンソールガイド
コンソール概要

最終更新日：：2023-06-29 11:42:02

概要

Cloud Object Storage（COS）コンソールは、COSユーザーにとって最もシンプルで使いやすい操作方法です。ユーザーは、コードを書いたり、プログラムを実行したりする必要なく、COSコンソールから直接、バケットの作成、データのアップロード、共有、バックアップ、バッチ処理などを行うことができます。COSコンソールは豊富で多様な機能をカバーしており、それぞれに対応する操作ドキュメントは下表のとおりです。

説明：
機能について詳しくお知りになりたい場合は、機能の概要をご参照ください。

コンソールメニュー	操作ドキュメント
バケットの基本操作	• バケットの概要 • バケットの作成 • バケットの削除 • バケットの照会 • バケットのクリア
オブジェクトの基本操作	• オブジェクトのアップロード • オブジェクトのダウンロード • オブジェクトのコピー • オブジェクト情報の確認 • オブジェクトの検索 • オブジェクトのソートまたはフィルタリング • アーカイブの直接伝送 • ストレージタイプの変更 • ファイルフラグメントの削除 • カスタムHeaders • オブジェクトの削除 • アーカイブオブジェクトの復元

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

コンソールメニュー	操作ドキュメント
フォルダ操作	• フォルダの作成 • フォルダの削除 • フォルダの共有 • [フォルダの詳細確認 • フォルダの権限の設定
ライフサイクル	ライフサイクルの設定
[静的ウェブサイト	静的ウェブサイトの設定
リスト	リスト機能のアクティブ化
バケットタグ	バケットタグの設定
データモニタリング	• データ概要の確認 • データモニタリングの照会 • モニタリングアラートの設定
ログ管理	ログ管理の設定
データback-to-origin	back-to-originの設定
バッチ作業	バッチ処理
データ検索	データ検索
リモート障害復旧	• バージョン管理の設定 • バケットコピーの設定
暗号化	• オブジェクト暗号化の設定 • バケット暗号化の設定
リンク不正アクセス防止	リンク不正アクセス防止の設定
クロスドメインアクセス	クロスドメインアクセスの設定
バケットポリシー	バケットポリシーの追加
アクセス制御	• オブジェクトのアクセス権限の設定 • バケットのアクセス権限の設定 • サブアカウントのアクセスバケットリスト

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

コンソールメニュー	操作ドキュメント
ドメイン名とアクセスアクセラレーション	• ドメイン名管理の概要 • カスタムアクセラレーションドメイン名の有効化 • カスタムオリジンサーバードメイン名の有効化 • サブアカウントにバケットのアクセラレーションドメイン名を設定する権限を付与 • グローバルアクセラレーションの有効化
データ処理	• 画像処理 • MPS • 関数の計算
データワークフロー	• 関数のカスタマイズ処理 • ワークフローの設定 • タスクの設定 • テンプレート
アプリケーション統合	• MySQLデータのバックアップ • MongoDBデータのバックアップ • SQL Serverデータのバックアップ • CKafkaメッセージのバックアップ • TDMQメッセージのバックアップ • Redisデータのバックアップ • CDNログのバックアップ • CLSログのバックアップ • ファイルのパッケージ化圧縮 • ファイルのハッシュ値計算 • GZIPファイルの解凍 • ZIPファイルの解凍 • ログ分析関数の追加 • CKafkaへのデータエクスポート • ESへのデータエクスポート
アプリケーション統合	• CKafkaメッセージのバックアップ • ログのクリーンアップ

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

バケットの管理
バケットの概要

最終更新日：：2023-04-27 15:36:02

バケットの概要ページでは、現在のバケットの使用料の概要、基本情報、ドメイン名情報、バケットの設定項目、アラート情報を確認することができます。

操作手順

> 説明：
> サブアカウントで概要データを確認できない場合は、ルートアカウントの管理者に連絡して、**GetBucket**の権限を付与してください。

1. COSコンソールにログインし、左側ナビゲーションバーの**バケットリスト**をクリックします。
2. 概要を確認したいバケットを見つけ、そのバケット名をクリックします。
3. ジャンプインターフェース左上の**概要**をクリックして、現在のバケットの概要ページに進みます。

使用量の概要

使用量の概要には、現在のバケット内のオブジェクト数、ファイルフラグメント数、ストレージ量、トラフィック、リクエスト数が含まれます。

> 注意：
> 使用量の概要はリアルタイムデータではなく、約2時間の遅延が発生します。このデータはモニタリングデータであり、あくまでも参照用です。正確な課金測定データを確認したい場合は、**料金センター**に移動すると、使用量明細をダウンロードして確認することができます。

- オブジェクト数/ファイルフラグメント数：さまざまなストレージタイプのオブジェクト数およびファイルフラグメント数の表示をサポートします。
- ストレージ量：各ストレージタイプのストレージ使用量の表示をサポートします。現在、表示がサポートされているストレージタイプは、標準ストレージ、標準ストレージ（マルチAZ）、低頻度ストレージ、低頻度ストレージ（マルチAZ）、アーカイブストレージ、およびディープアーカイブストレージです。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

> 注意：
> 標準ストレージ（マルチAZ）、低頻度ストレージ（マルチAZ）、ディープアーカイブストレージの使用量は、サポートされている一部リージョンのバケットでのみ表示が可能です。サポートされている具体的なリージョンについては、ストレージタイプの説明をご参照ください。

- トラフィック：各ストレージタイプにおける当月の総トラフィック、当月のパブリックネットワークのダウンリンクトラフィック、当月のプライベートネットワークのダウンリンクトラフィック、当月のCDN back-to-originトラフィックの表示をサポートします。現在サポートされているストレージタイプは、標準ストレージ、標準ストレージ（マルチAZ）、低頻度ストレージ、低頻度ストレージ（マルチAZ）です。
- リクエスト数：さまざまなストレージタイプでの当月の総リクエスト数、当月の読み取りリクエスト数、当月の書き込みリクエスト数の表示をサポートします。
- 取得量：低頻度やアーカイブタイプのデータ取得量の表示をサポートします。

基本情報

基本情報には、バケット名、リージョン、作成時間およびアクセス権限が含まれます。

- バケット名：カスタム名とAPPIDから構成されています。命名の説明については、命名ルールをご参照ください。
- 所属リージョン：バケットのあるリージョンです。
- 作成時間：バケットの作成時間です。
- アクセス権限：現在のバケットのアクセス権限です。権限に関する説明については、バケットのアクセス権限をご参照ください。

ドメイン名情報

ドメイン情報には、現在バケットに設定されているすべてのドメイン名が表示されます。

- アクセスドメイン名：COSバケット内のデータにアクセスするためのデフォルトのドメイン名です。ユーザーがバケットを作成すると、システムはバケット名とリージョンに基づいてバケットを自動的に作成します。
- デフォルトCDNアクセラレーションドメイン名：CDNアクセラレーションノードのドメイン名です。システムがデフォルトで作成し、ユーザーは自分で設定することができます。現在、この設定項目はオフラインになっています。ユーザーが以前にこのバケットに対して項目を設定していた場合に、この設定項目が表示されます。詳しくはデフォルトCDNアクセラレーションドメイン名をご参照ください。
- カスタムCDNアクセラレーションドメイン名：ユーザーは、Tencent Cloudの国内CDNアクセラレーションプラットフォームにICP登録済みのカスタムドメイン名をバケットにバインドし、カスタムドメイン名を使用し

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

て、バケット内のオブジェクトにアクセスすることができます。
- カスタムオリジンサーバードメイン名：ユーザーは登録済みのカスタムドメイン名を現在のバケットにバインドすることで、カスタムドメイン名によってバケット内のオブジェクトにアクセスすることが可能になります。
- グローバルアクセラレーションドメイン名：グローバルアクセラレーション機能を有効化すると、システムはデフォルトでグローバルアクセラレーションドメイン名を作成します。ユーザーはこのドメイン名を使用して、バケットにデータをアップロードすることができます。グローバルアクセラレーションに関する説明については、グローバルアクセラレーションの概要をご参照ください。
- 静的ウェブサイトドメイン名：静的ウェブサイトが設定されているバケットの場合、静的ウェブサイトのドメイン名を使用して、バケット内のデータにアクセスすることができます。静的ウェブサイトの説明については、静的ウェブサイトの設定をご参照ください。

バケットの設定

バケットの設定には、バケットの設定に関するステータス情報が表示されます。

- マルチAZの特性：マルチAZストレージアーキテクチャによってユーザーデータにデータセンターレベルの障害復旧機能を提供することが可能です。詳しくはマルチAZの特徴の概要をご参照ください。
- メタデータアクセラレーション：Tencent Cloud COS（Cloud Object Storage）サービスが提供する高性能ファイルシステム機能です。詳しくは メタデータアクセラレーション機能の概要をご参照ください。
- クロスドメインアクセス：クロスドメインアクセスとは、HTTPリクエストによって1つのドメインから別のドメインのリソースをリクエストすることです。プロトコル、ドメイン名、ポートのうちいずれかが異なる場合は、すべて異なるドメインとみなされます。詳細については、クロスドメインアクセスの設定をご参照ください。
- バージョン管理：バケットのバージョン管理機能を有効にすると、COSは同じ名前のオブジェクトの複数のバージョンを保持し、ユーザーが誤って削除したデータや、アプリケーションプログラムの障害によって消失したデータの復元に役立ちます。詳細については、バージョン管理の設定をご参照ください。
- back-to-origin：リクエストしたオブジェクトがバケット内にない場合、または特定のリクエストに対しリダイレクトを行う必要がある場合に、back-to-originルールによってCOSから対応するデータにアクセスすることができます。詳細については、back-to-originの設定をご参照ください。
- バケット暗号化：バケット暗号化を設定すると、デフォルトでそのバケットにアップロードされたすべてのオブジェクトに対し、指定の暗号化方式で暗号化することができます。詳しくはバケット暗号化の概要をご参照ください。
- リスト：リスト機能は毎日または毎週定期的に、オブジェクトの属性、設定の詳細などのリストをお客様のバケットに出力します。詳細な説明および操作ガイドについては、リストのアクティブ化をご参照ください。
- リンク不正アクセス防止：リンク不正アクセス防止を設定すると、悪意のあるプログラムがリソースURLを使用してパブリックネットワークトラフィックを不正使用したり、悪意のある方法を使用してリソースを盗んだりすることを防ぐことができます。詳細については、リンク不正アクセス防止の設定をご参照ください。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

- ライフサイクル：ライフサイクルルールを設定すると、COSは設定されたルールに従って、指定された時間内に指定されたオブジェクトのストレージタイプを自動的に変換または削除します。詳細については、ライフサイクルの設定をご参照ください。
- バケットレプリケーション：バケットレプリケーション機能を有効にすると、ソースバケットの**インクリメンタルオブジェクト**を別のリージョン内のターゲットバケットに自動的かつ非同期にコピーすることができます。詳細については、 バケットコピーの設定をご参照ください。
- ログ管理：ログ機能を使用すると、COSは**バケット操作**に関するさまざまなリクエストログを記録して、お客様がバケットをより良く管理、使用できるよう支援します。詳細については、ログ管理の設定をご参照ください。
- タグ：バケットタグは、バケットを管理するための識別子として使用でき、ユーザーがバケットをグループ化管理するのに便利です。詳細については、バケットタグの設定をご参照ください。

アラートの設定

バケットアラートを設定することで、日常的なモニタリングのニーズに対応することができます。

- 現在のアラート：現在実行中のアラート数を表示します。
- 設定済みのアラートポリシー：設定されているアラートポリシー数を表示します。

その他の設定

上記COS関連の設定以外に、COSはコンテンツ審査、データワークフローなどのCloud Infinite機能も統合しています。詳しくはデータワークフローの概要をご参照ください。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

バケットの作成

最終更新日：：2022-12-20 15:17:53

概要

COSコンソールからバケットリストページにバケットを作成することができます。バケットの概念については、バケット概要をご参照ください。次に、バケットの作成方法について詳しくご説明します。

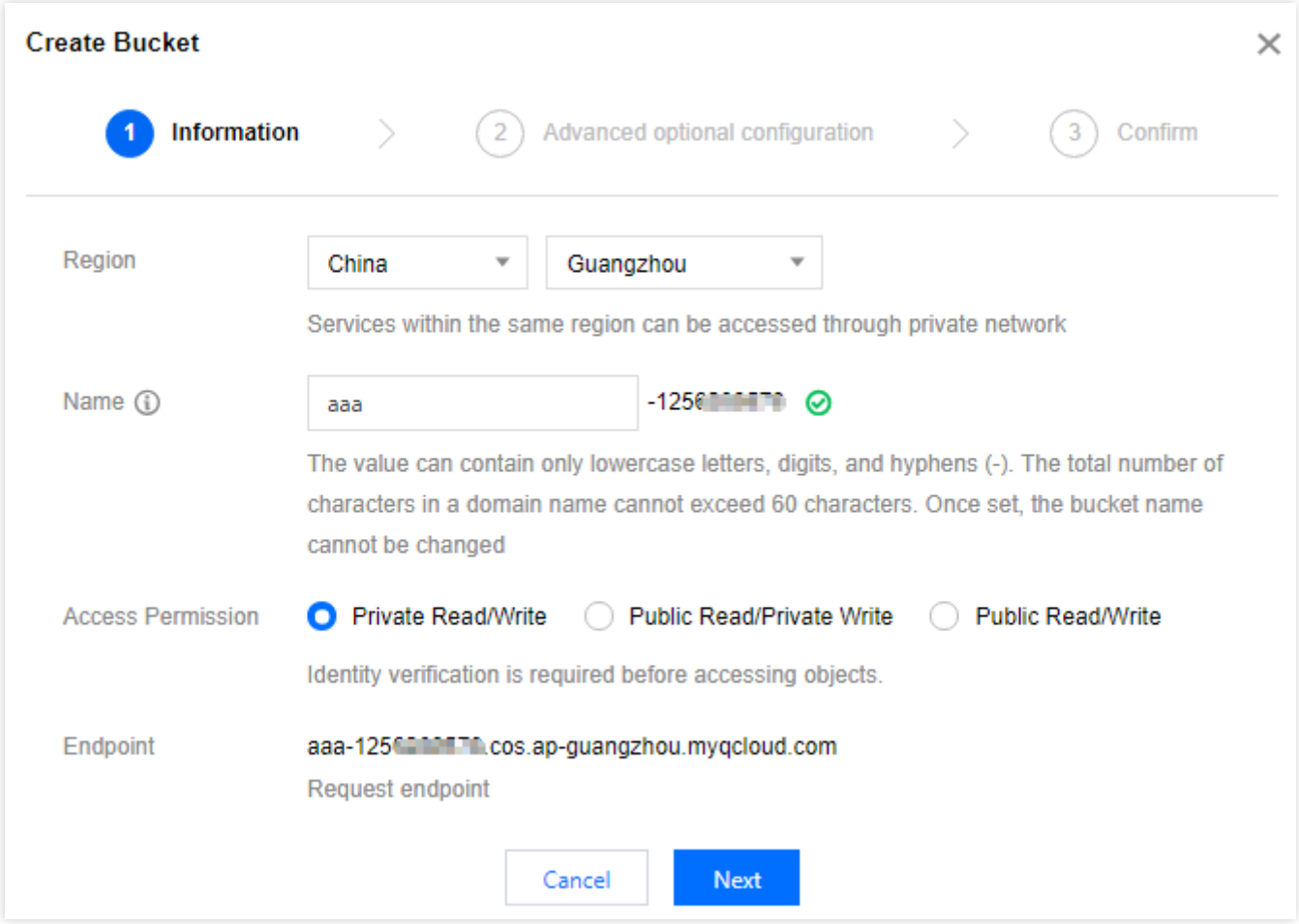
> 注意：
> 同じユーザーアカウントで作成できるバケット数の上限は200です（リージョンは問いません）。

操作手順

1. COSコンソールにログインします。
2. 左側ナビゲーションバーで**バケットリスト**をクリックし、バケットリストページに進みます。
3. **バケットの作成**をクリックします。
4. ポップアップしたバケット作成のダイアログボックスに、次の情報を設定します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

1. 基本情報

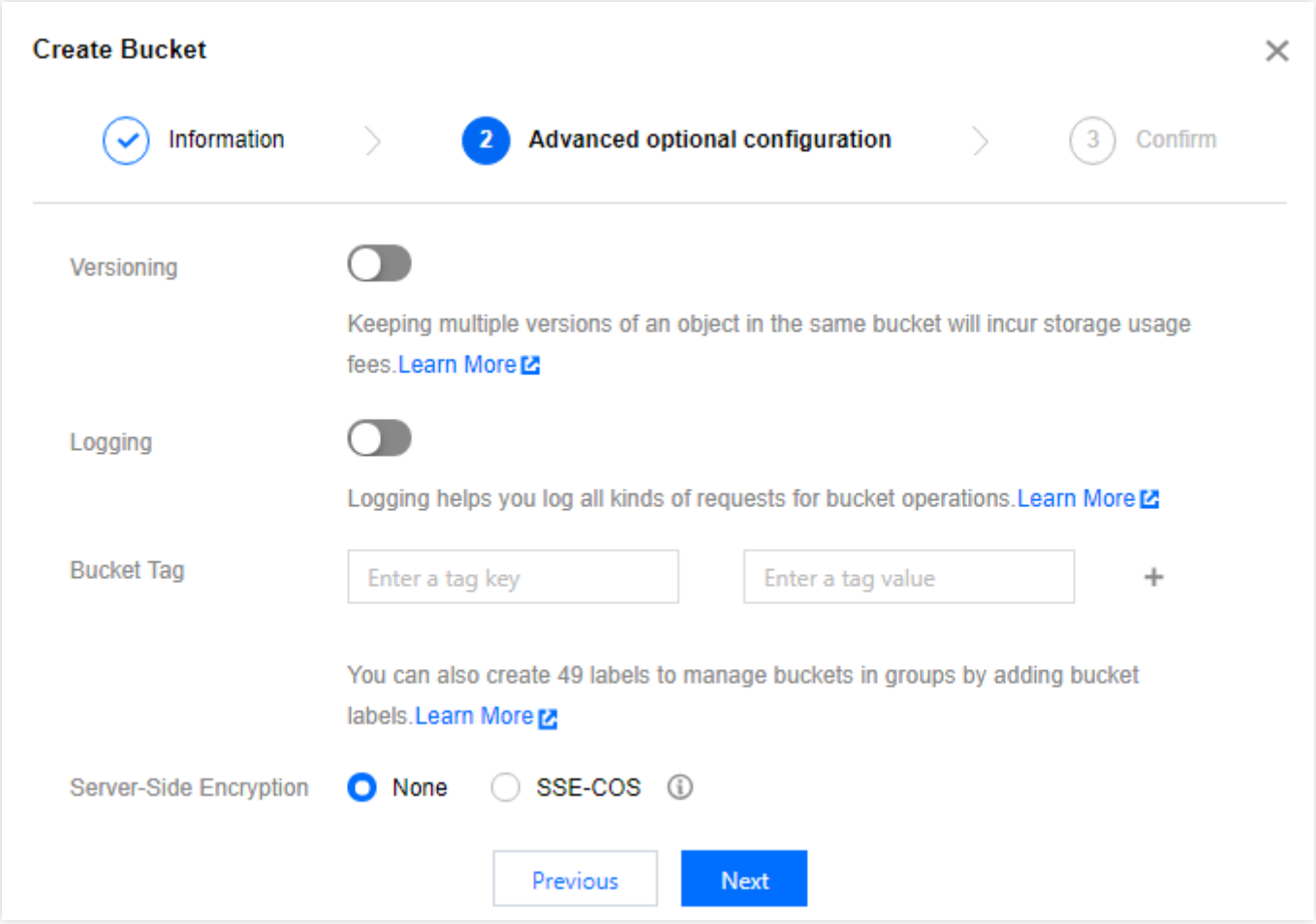


- **所属リージョン**：お客様のビジネス（またはユーザー数）が比較的集中している物理的なエリアに対応するCOSリージョンを選択してください。設定後に変更することはできません。リージョンの詳細情報については、リージョンとアクセスドメイン名をご参照ください。
- **名称**：カスタマイズするバケット名を入力してください。設定後に変更することはできません。命名については、バケットの命名ルールをご参照ください。
- **アクセス権限**：バケットにはデフォルトで、プライベート読み取り/書き込み、パブリック読み取り/プライベート書き込み、およびパブリック読み取り/書き込みという3種類のアクセス権限が提供されています。設定後に変更することはできません。詳細については、バケットのアクセス権限をご参照ください。
- **リクエストドメイン名**：自動発行されます。バケットの作成が完了した後、ドメイン名を使用するとバケットにアクセスできます。

2. 高度なオプション設定

> 説明：
> この設定項目はオプションで、必要に応じて設定することができます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



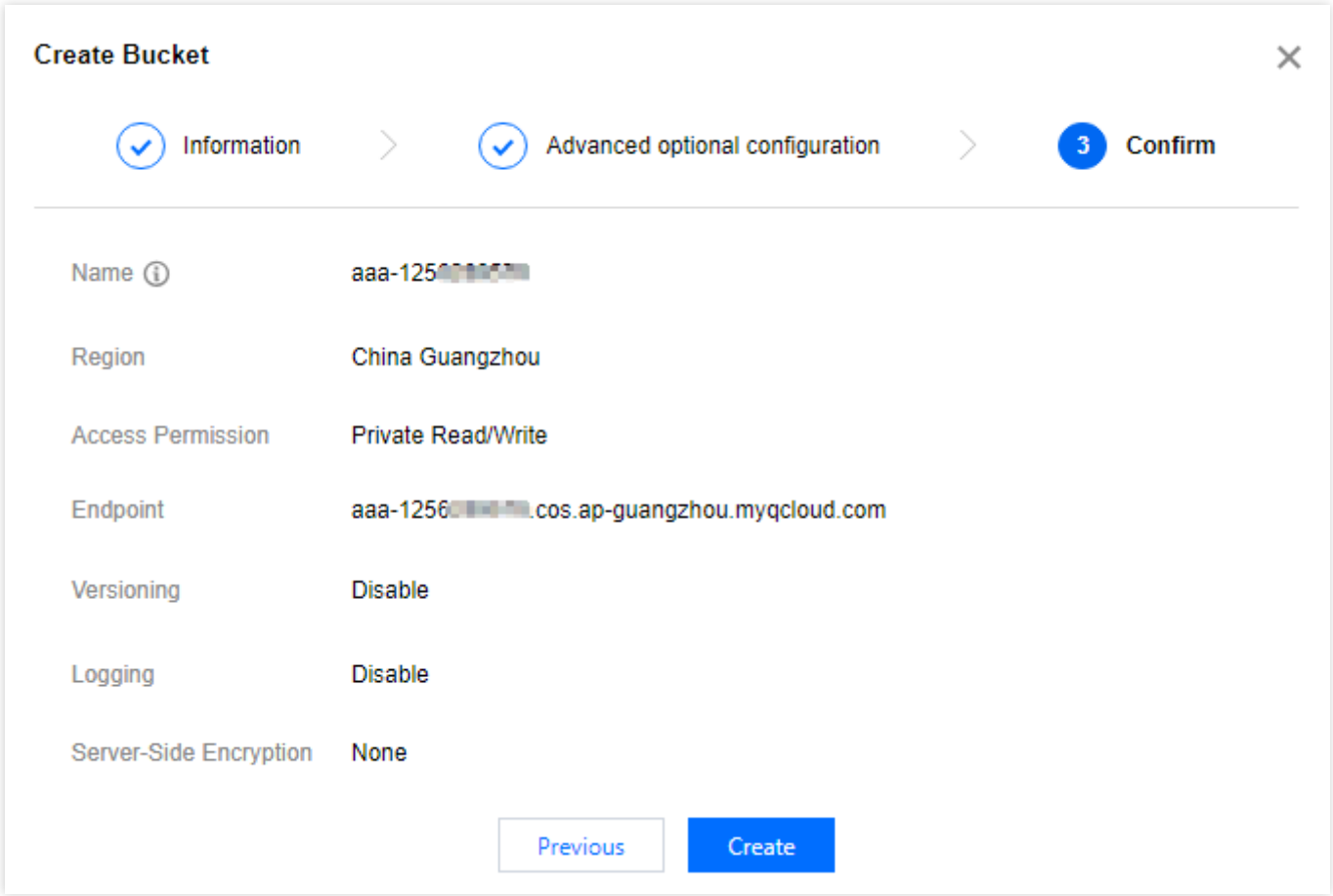
- **バージョン管理**：オンにすると、同じ名前でアップロードされたオブジェクトは、そのバージョン履歴が保存されます。
- **マルチAZ特性**：マルチAZ特性はバケットの識別子です。マルチAZ設定を開くと、データは同じリージョンの異なるデータセンターに保存されるため、同一都市内障害復旧の役割があります。現在、この特性は一部の地域、例えば北京、上海、広州、シンガポールリージョンにのみ適用されています。その他の適用リージョンおよび特性の説明については、 マルチAZの特性の概要 ドキュメントをご参照ください。

> 注意：
>
> - バケットマルチAZ設定を有効化すると、バージョン管理も有効化されます。有効化すると、修正を行うことはできず、データはマルチAZ特性をサポートするストレージタイプ（例えば標準ストレージ（マルチAZ）、低頻度ストレージ（マルチAZ））で、バケットに保存されます。慎重に設定してください。
> - 作成したバケットはマルチAZ設定を有効化することができず、新しくバケットを作成した時にのみ設定を有効化できます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

- **ログストレージ**：バケット操作に関するさまざまなリクエストログを記録します。
- **バケットタグ**：バケットタグは、バケットを管理するための識別子です。バケットにタグを設定することで、グループでのバケット管理が容易になります。詳細については、バケットタグの設定をご参照ください。
- **サーバー側の暗号化**：現在のバケット暗号化方法として、SSE-COS暗号化（すなわち、COSホストキーを使用したサーバー側の暗号化）をサポートしています。サーバー側の暗号化については、サーバー側の暗号化の概要をご参照ください。

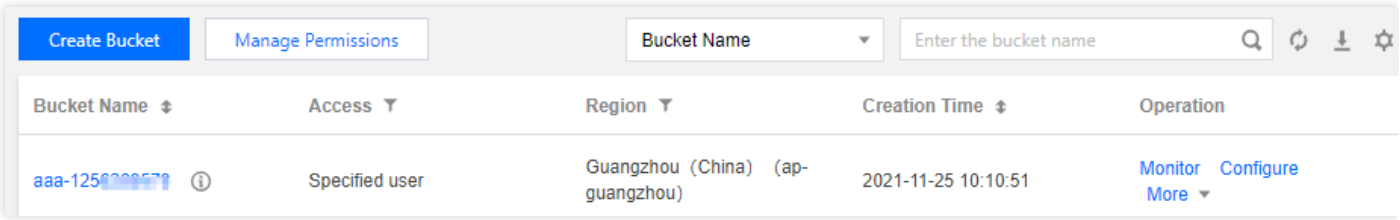
3. 設定の確認



バケットの設定情報を確認します。変更が必要な場合は、**前へ戻る**をクリックしてください。

4. 情報が正しいことを確認したら、**作成**をクリックするとバケットを作成できます。バケットリストインターフェースで、作成したばかりのバケットを確認できます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

バケットの削除

最終更新日：：2023-03-14 15:04:11

概要

COSコンソールから、バケットリストページに作成したバケットを削除することができます。バケットの詳細については、バケット概要をご参照ください。

前提条件

バケットを削除する際は、システムチェックの結果に基づいて対応する操作を完了していることを確認してください。例えば、バケット内のすべてのオブジェクト（過去のバージョンを含む）、アップロードが完了していないフラグメントファイルを削除していること、CDNアクセラレーションドメイン名を無効化していることなどです。詳細については、バケットのクリアおよびカスタムCDNアクセラレーションドメイン名の有効化をご参照ください。

操作手順

1. COSコンソールにログインし、左側ナビゲーションバーの**バケットリスト**をクリックし、バケットリストページに進みます。
2. 削除したいバケットを見つけ、その右側の操作バーの下にある**その他>削除**をクリックします。

3. ポップアップしたダイアログボックスで、システムチェックの結果に応じて操作すると、バケットを削除することができます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

バケットの照会

最終更新日：：2022-10-26 14:52:02

概要

COSコンソール経由でバケット名とバケットタグにより、作成済みのバケットをすばやく照会することができます。

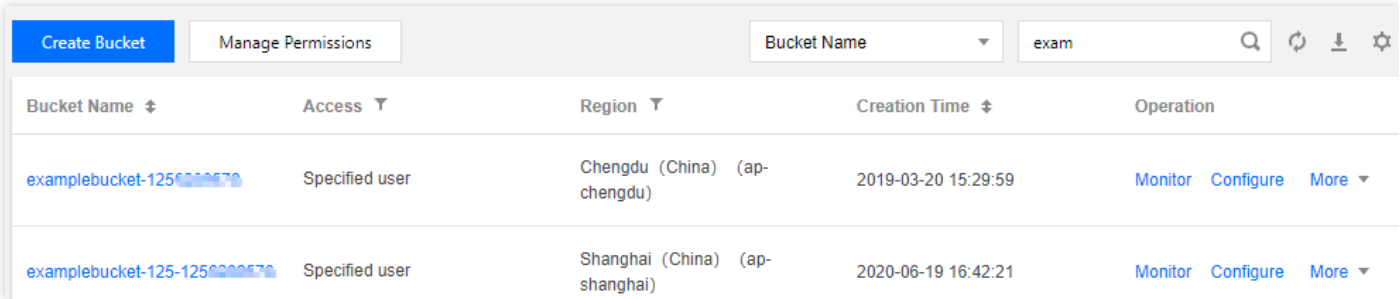
注意：

- サブアカウントでバケットにアクセスした場合は、まずルートアカウントでサブアカウントを承認し、サブアカウントがバケットリストにアクセスできるようにする必要があります。操作手順については、サブアカウントのアクセスバケットリストをご参照ください。
- List Bucketは、バケット権限の割り当てによる制限を受けません。サブアカウントでは、特定のバケットのみを照会するように制限することはできません。

バケット名またはタグによる照会

1. COSコンソールにログインし、左側ナビゲーションバーの**バケットリスト**をクリックします。バケットリストページに進むと、作成されたすべてのバケットを確認することができます。
2. バケット数が多い場合、**バケットリスト**ページの右上隅にある検索エリアで、**バケット名**または**タグ**による照会を選択することができます。

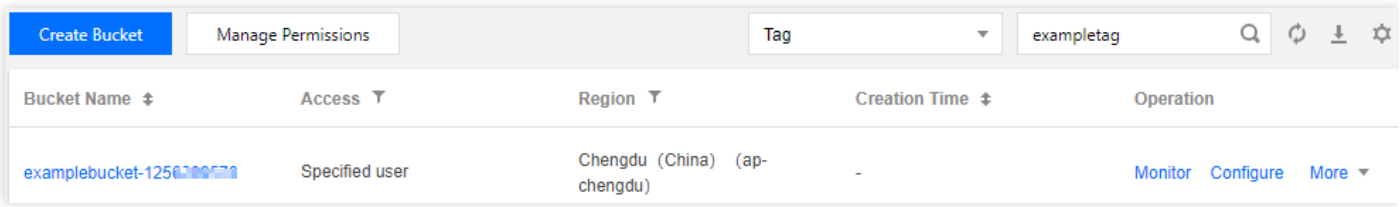
- **バケット名**による照会：バケット名を入力すると、照会することができます。バケット名の**プレフィックスマッチング**による照会をサポートしています。



- **タグ**による照会：バケットにタグを設定している場合（詳細については、バケットタグの設定を参照）、**バケットリスト**ページの右上隅にある検索エリアで、**タグ**による照会を選択し、**タグキー**を入力して照会するこ

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

とができます。下図のとおりです。



©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

バケットのクリア

最終更新日：：2022-09-28 15:55:29

概要

COSコンソールから、指定したバケットのクリア操作を行うことができます。バケットの詳細については、バケット概要をご参照ください。

> 注意：
> バケットをクリアすると、バケット内のすべてのファイルおよびファイルフラグメントが削除されます。削除後のデータは復元やアクセスはできませんので、操作する際はご注意ください。

操作手順

1. COSコンソールにログインします。
2. 左側メニューで**バケットリスト**をクリックし、バケットリストページに進みます。
3. クリアしたいバケットを見つけて、右側の**その他 > データのクリア**をクリックします。
4. ポップアップウィンドウに削除したいバケット名を入力し、**クリアの確定**をクリックします。
5. ポップアップウィンドウで、**OK**をクリックすれば完了です。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

アクセス権限の設定

最終更新日：：2023-06-14 14:16:22

概要

COSコンソールから、バケットへのアクセス権限の設定または変更を行うことができます。COSは、以下2種類の権限タイプの設定をサポートしています。

- **パブリック権限**：プライベート読み取り/書き込み、パブリック読み取りプライベート書き込み、およびパブリック読み取り/書き込みです。パブリック権限の説明については、バケット概要の権限のタイプをご参照ください。

- **ユーザー権限**：ルートアカウントは、デフォルトではバケットのすべての権限を所有しています（完全制御）。またCOSは、サブアカウントに対するデータ読み取り、データ書き込み、権限読み取り、権限書き込み、さらには**完全制御**の最高権限の付与もサポートしています。

説明：

- バケットがプライベート読み取り/書き込みの場合、または指定のアカウントに対してユーザー権限を承認している場合は、オブジェクトのリクエストの際に、ID認証用の署名を含める必要があります。署名に関する説明については、リクエスト署名をご参照ください。
- バケットがパブリック読み取り/プライベート書き込みまたはパブリック読み取り/書き込みの場合、オブジェクトのリクエストの際に署名を含める必要はなく、匿名のユーザーが直接リンクを通じてオブジェクトにアクセスできます。データ漏洩のリスクがありますので、慎重に設定してください。

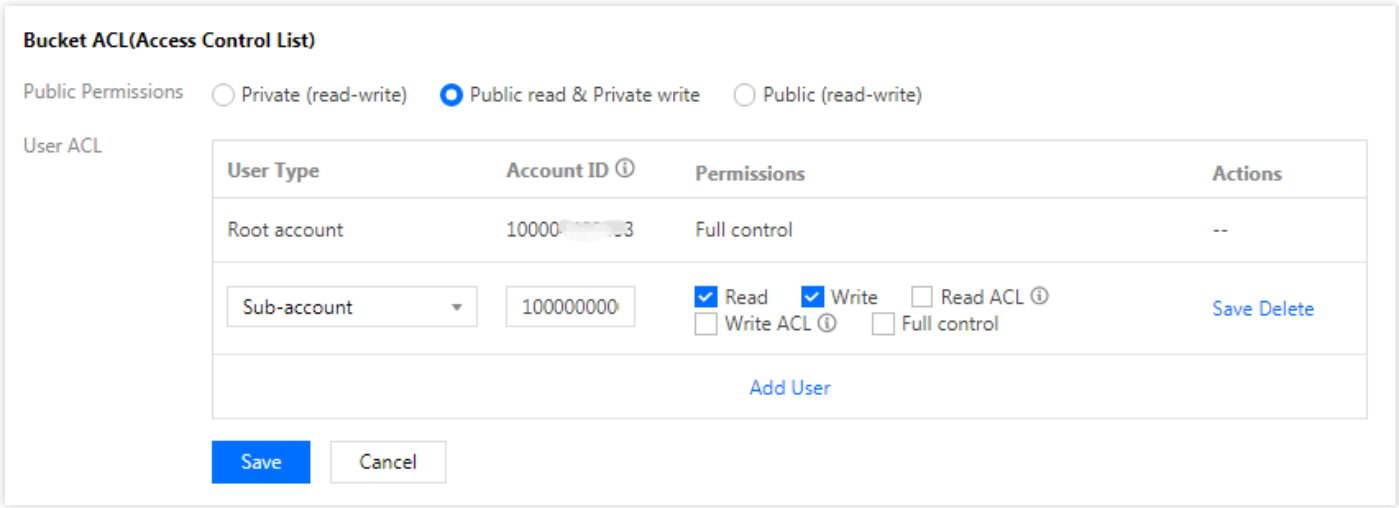
単一承認

操作手順

1. COSコンソールにログインします。
2. 左側ナビゲーションバーで、**バケットリスト**をクリックします。
3. アクセス権限を設定または変更したいバケットを見つけ、そのバケット名をクリックします。
4. バケット設定ページで、**権限管理>バケットのアクセス権限**をクリックし、バケットのパブリック権限とユーザー権限（例えばサブアカウントの追加があります。サブアカウントIDはCAM コンソールで確認できます）を

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

設定します。



5. **保存**をクリックすると、バケットアクセス権限の設定が完了します。

一括承認

操作手順

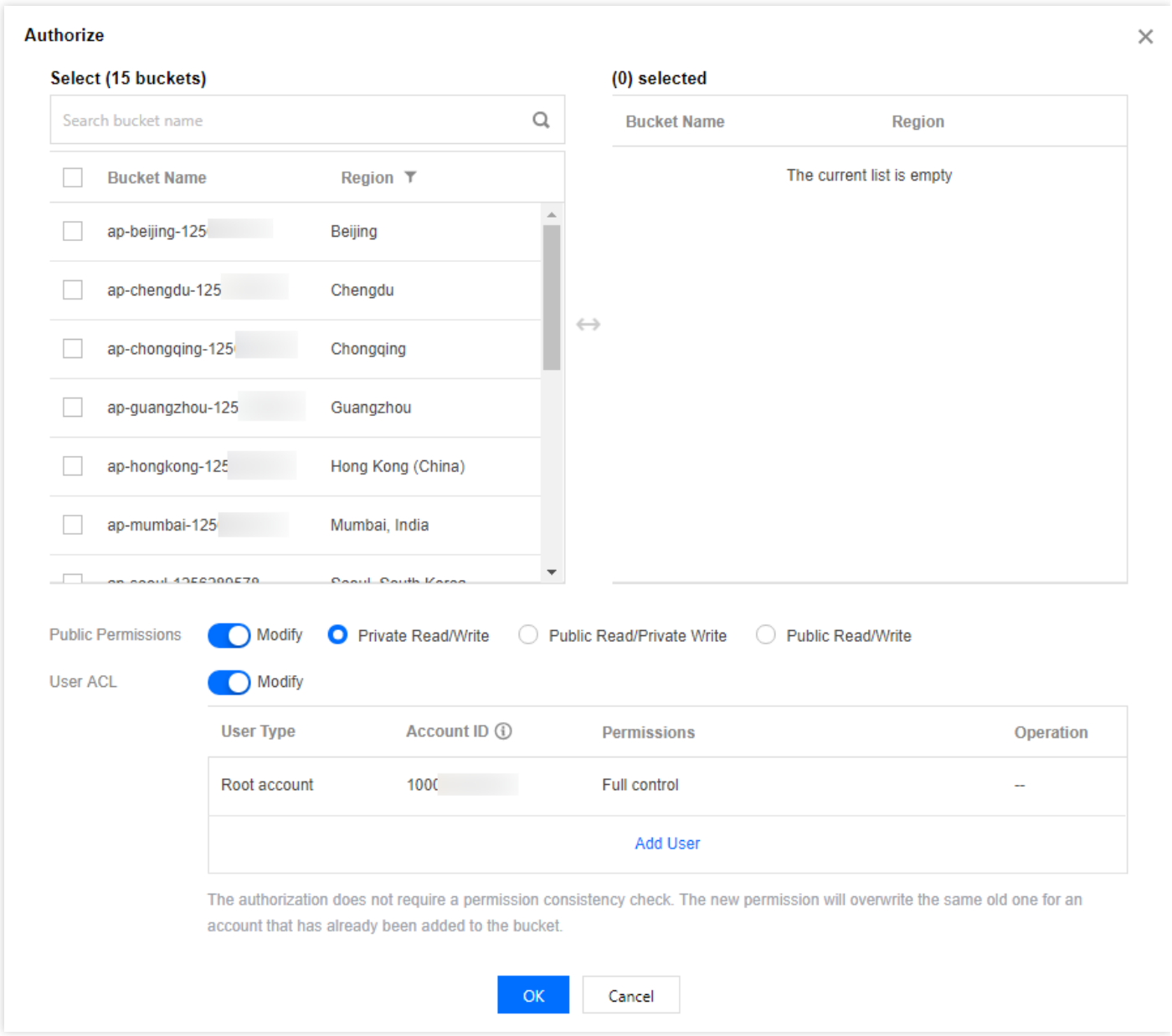
1. COSコンソールにログインします。

2. 左側ナビゲーションバーで、**バケットリスト**をクリックします。

3. リストの上にある**承認管理**をクリックします。

4. ポップアップウィンドウで、承認したいバケットを選択します。次に、バケットのパブリック権限とユーザー権限（例えばサブアカウントの追加、サブアカウントIDはCAM コンソールで確認できます）を設定します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



5. 設定の完了後に**OK**をクリックすると、複数のバケットのアクセス権限の設定が完了します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

バケット暗号化の設定

最終更新日：：2022-09-28 15:01:35

概要

COSコンソールからバケットのサーバー側の暗号化を設定すると、そのバケットにアップロードされた新しいオブジェクトがデフォルトで暗号化されるようになります。バケット暗号化の詳細情報については、バケット暗号化の概要をご参照ください。

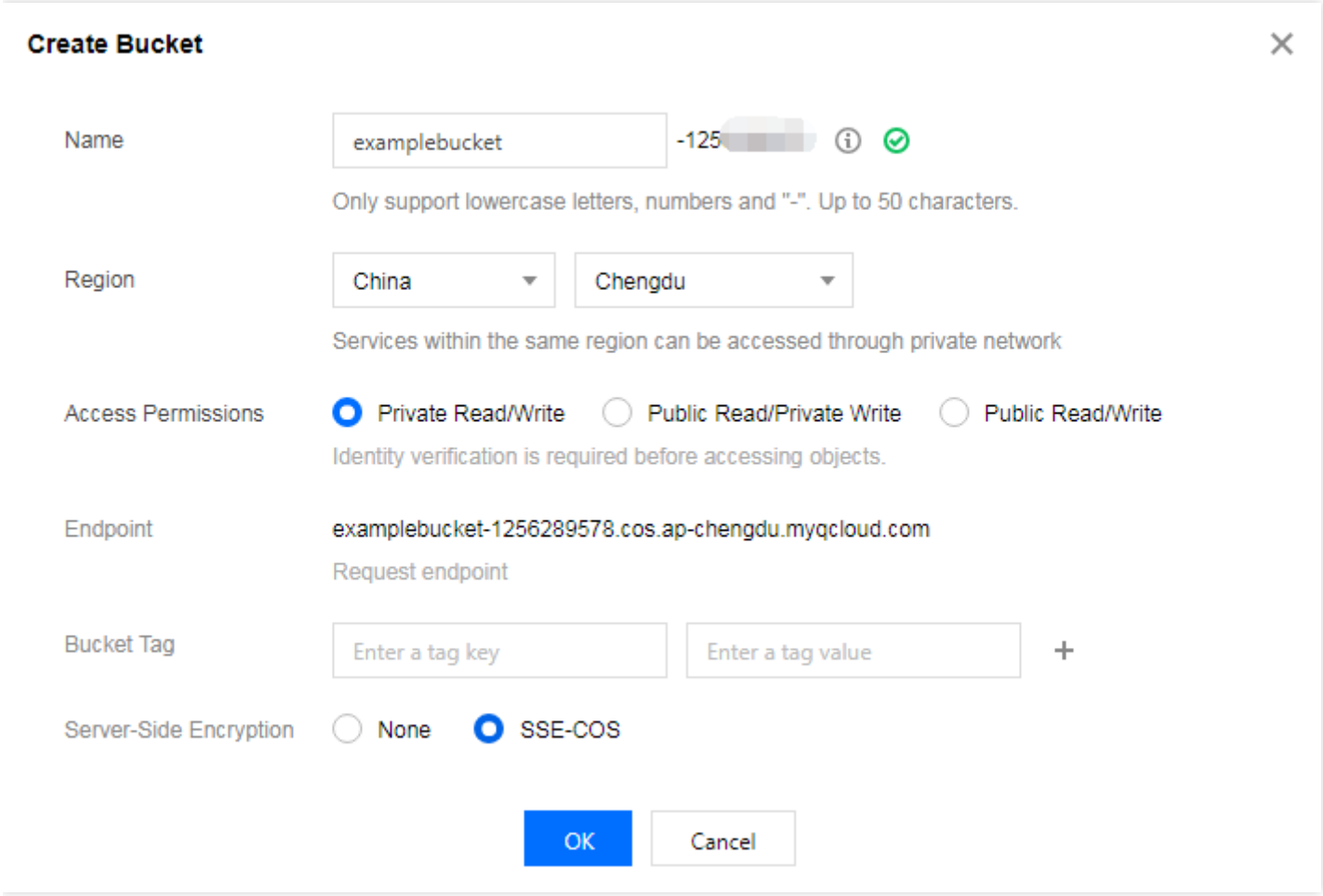
> 説明：
> 現在、バケット暗号化方法として、SSE-COS暗号化（すなわち、Cloud Object Storage(COS)ホストキーを使用したサーバー側の暗号化）をサポートしています。サーバー側の暗号化については、サーバー側の暗号化の概要をご参照ください。

操作手順

バケット新規作成時の暗号化設定

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

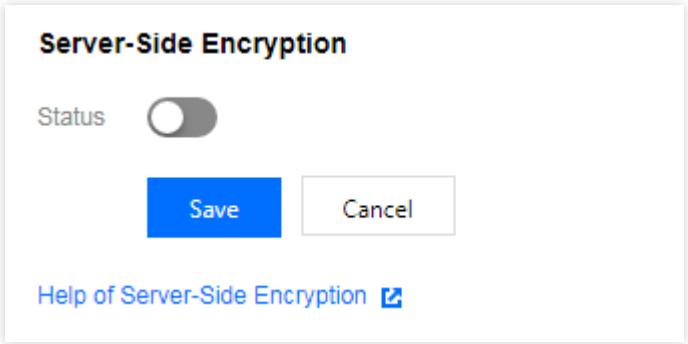
下図に示すように、バケットの作成時にバケット暗号化を追加します。



作成済みバケットでの暗号化設定

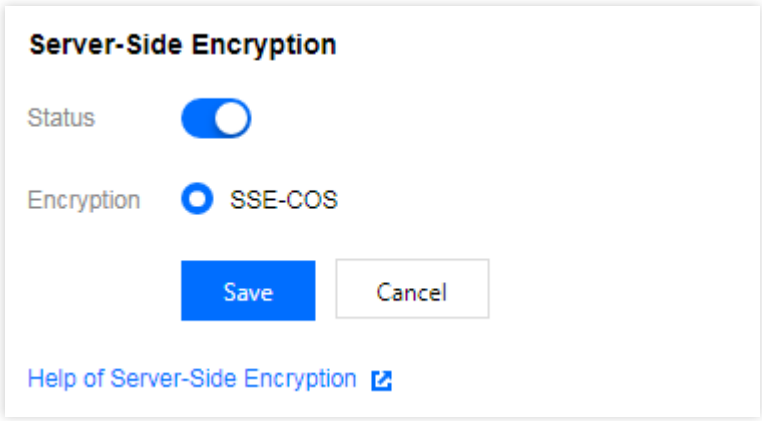
バケットの作成時に暗号化を設定しなかった場合、以下の手順でバケットに暗号化を設定することができます。

1. バケットリストページで暗号化を設定したいバケットを見つけ、その名前をクリックし、バケットの設定ページに進みます。
2. 左側ナビゲーションバーで、**セキュリティ管理 > サーバー側の暗号化**をクリックします。
3. **サーバー側の暗号化**の設定項目で**編集**をクリックし、現在のステータスを「有効」に変更します。



©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

4. 指定する暗号化方式を選択し、**保存**をクリックすると、バケットの暗号化設定が完了します。



©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

ホットリンク防止の設定

最終更新日：：2022-12-28 18:00:57

概要

悪意のあるプログラムがリソースのURLを利用してパブリックネットワークのトラフィックを盗んだり、悪意のある手法でリソースを盗み、ユーザーに不要な損失を与えたりすることを防ぐためのものです。Tencent Cloud COSは、リンク不正アクセス防止の設定をサポートしています。コンソールのリンク不正アクセス防止の設定から、ブラックリスト/ホワイトリストを設定することをお勧めします。

注意：

- オブジェクトへのアクセスの際に署名（URLとHeaderのどちらでも）があれば、リンク不正アクセス防止の検証は行われません。
- リンク不正アクセス防止を設定する際、大きなファイルをチャンクに分割するリクエストがあるシナリオの場合、ご自身のドメイン名をリンク不正アクセス防止のホワイトリストに追加することができます。

操作手順

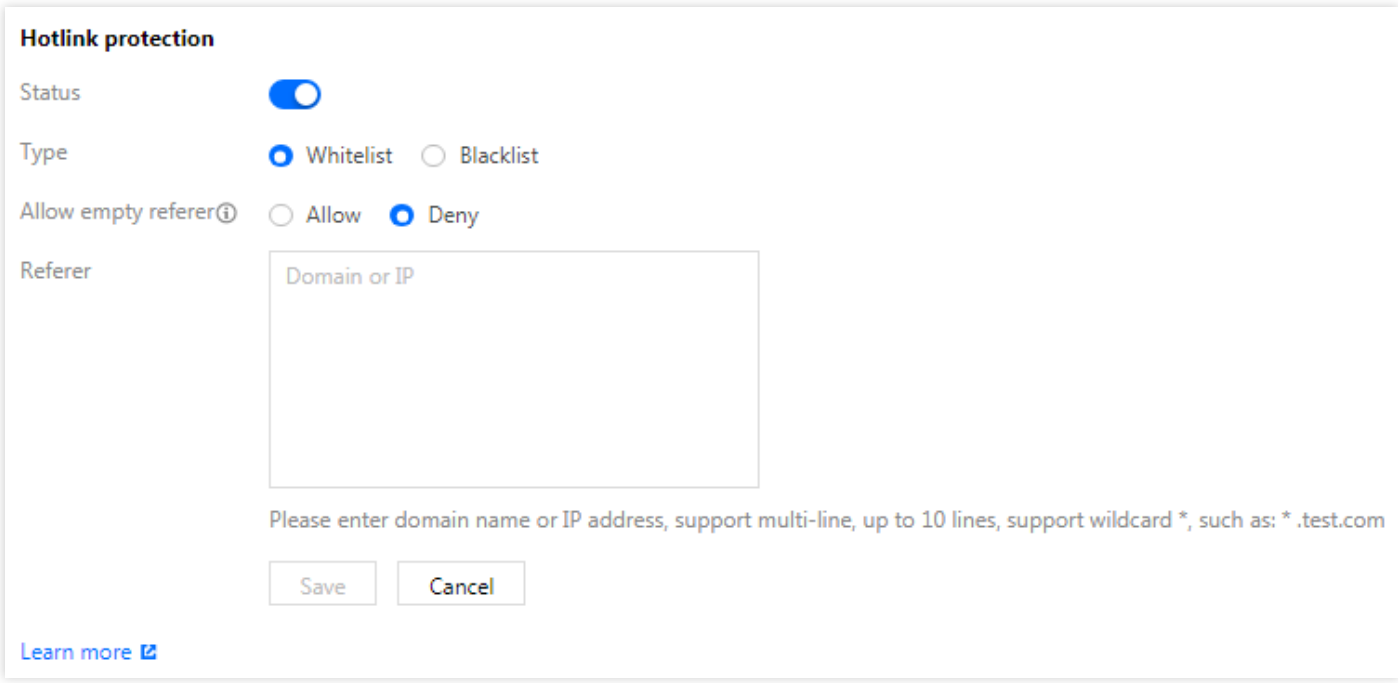
1. COSコンソールにログインし、左側メニューバーの【バケットリスト】をクリックし、バケットリストページに進みます。

2. リンク不正アクセス防止を設定したいバケットを見つけ、そのバケット名をクリックし、バケット管理ページに進みます。

3. 【セキュリティ管理】>【リンク不正アクセス防止の設定】をクリックしてリンク不正アクセス防止の設定を見つけ、【編集】をクリックして編集可能状態にします。

4. 現在のステータスを有効に変更し、リストタイプ（ブラックリストまたはホワイトリスト）を選択し、対応するドメイン名を設定して【保存】をクリックすれば完了です。設定項目の説明は次のとおりです。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



- **ブラックリスト**：**拒否リストのドメイン名**がバケットのデフォルトアクセスアドレスにアクセスすることで、リストにあるドメイン名がバケットのデフォルトアクセスアドレスにアクセスした場合、403が返されます。
- **ホワイトリスト**：**許可リストのドメイン名**がバケットのデフォルトアクセスアドレスにアクセスすることで、リストにないドメイン名がバケットのデフォルトアクセスアドレスにアクセスした場合、403が返されます。
- **空のreferer**：headerに空のrefererが含まれるHTTPリクエストです（refererrフィールドがない、またはrefererフィールドが空の場合）。
- **Referer**：最大10個のドメイン名の設定で、かつ同じプレフィックスマッチングをサポートします。1個につき1行、複数個の場合は行替えします。ドメイン名、IP、ワイルドカード `*` などの形式のアドレスがサポートされています。事例は次のとおりです。
  - `www.example.com` の設定：`www.example.com/123` 、`www.example.com.cn` など、`www.example.com` がプレフィックスであるアドレスを制限することができます。
  - ポート付きのドメイン名とIPをサポートします。例えば、`www.example.com:8080` 、`10.10.10.10:8080` などのアドレスです。
  - `*.example.com` の設定：`a.b.example.com/123` 、`a.example.com` などのアドレスを制限することができます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

> 説明：
> CDNドメイン名アクセラレーションによるアクセスの場合は、CDNのリンク不正アクセス防止ルールが優先的に適用され、その後COSのリンク不正アクセス防止ルールが適用されます。

事例

APPIDは、1250000000のユーザー用にexamplebucket-1250000000という名前のバケットを作成し、ルートディレクトリに画像picture.jpgを配置します。COSは、ルールに従ってデフォルトのアクセスアドレスを発行します。

```
examplebucket-1250000000.file.myqcloud.com/picture.jpg
```

ユーザーAの所有ウェブサイト：

```
www.example.com
```

トップページのindex.htmlにこの画像を埋め込みます。

この時点のウェブマスターBの所有ウェブサイト：

```
www.fake.com
```

ウェブマスターBはこの画像を `www.fake.com` に保存したいと考えています。しかしトラフィック料金を払いたくないので、以下のアドレスのpicture.jpgを直接引用し、それを `www.fake.com` サイトのトップページindex.htmlに配置しました。

```
examplebucket-1250000000.file.myqcloud.com/picture.jpg
```

上記のような場合、ユーザーAの損失を回避するため、リンク不正アクセス防止を有効にする方法を2種類提供しています。

有効化方法1

ブラックリストモードを設定し、ドメイン名の設定に `*.fake.com` を入力し、保存すると有効になります。

有効化方法2

ホワイトリストモードを設定し、ドメイン名の設定に `*.example.com` と入力し、保存すると有効になります。

有効化前

`http://www.example.com/index.html` にアクセスすると、画像は正常に表示されます。
`http://www.fake.com/index.html` にアクセスしても、画像は正常に表示されます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

有効化後

`http://www.example.com/index.html` にアクセスすると、画像は正常に表示されます。
`http://www.fake.com/index.html` にアクセスすると、画像は表示できません。

ミニプログラムに関する説明

1. ミニプログラムのネットワークリクエストのreferer は、 `https://servicewechat.com/{appid}/{version}/page-frame.html` という形式に固定されています。
2. バケットでリンク不正アクセス防止の制限が有効化されており、ミニプログラムがCOS画像をロードできるようにする必要がある場合は、COSコンソールでリンク不正アクセス防止のホワイトリスト「 `servicewechat.com` 」を設定してください。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

back-to-originの設定

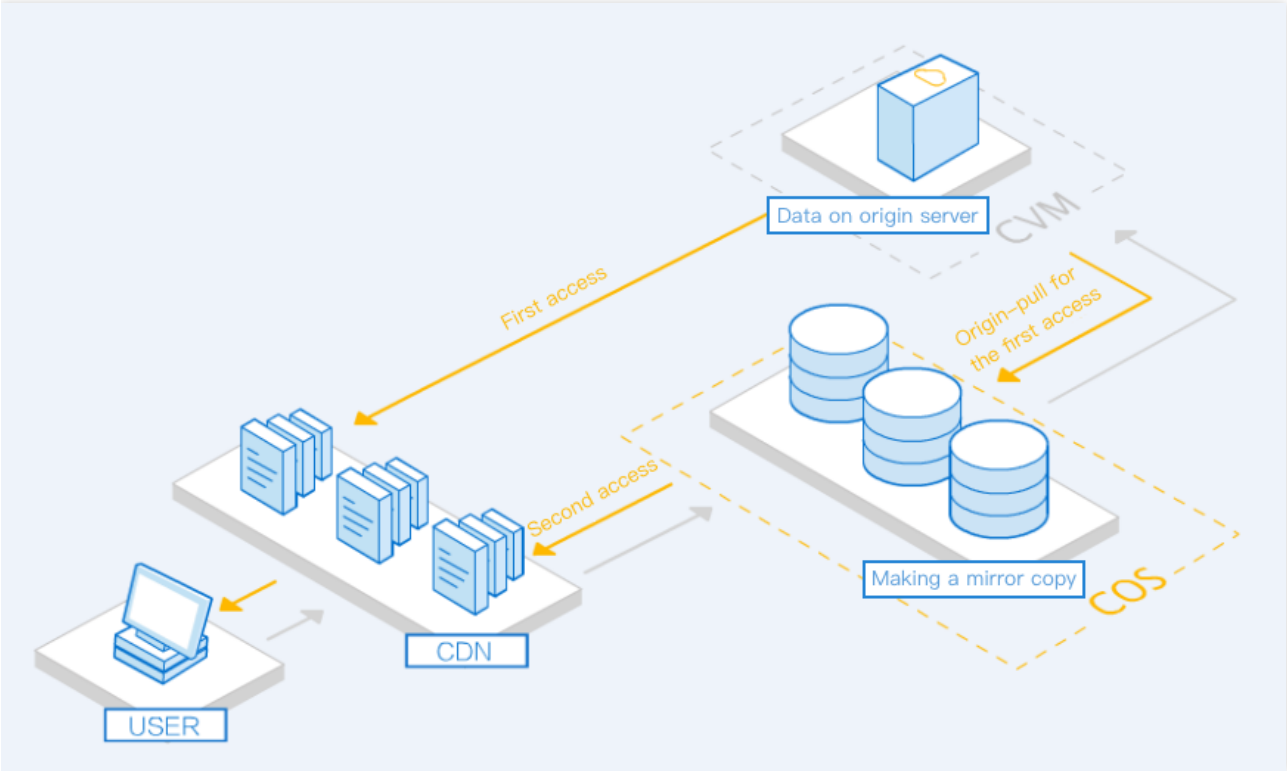
最終更新日：：2022-12-20 15:22:30

概要

Cloud Object Storage（COS）コンソールを使用して、バケットのback-to-originルールを設定することができます。リクエストしたオブジェクトがバケットに存在しない場合、または特定のリクエストをリダイレクトする必要がある場合は、back-to-originルールを使用して、COSから対応するデータにアクセスすることができます。back-to-originの設定は、主にデータのホットマイグレーションや特定リクエストのリダイレクトなどのシナリオに使用され、実際の必要性に応じて設定することができます。

説明：

- back-to-originによるデータプルの成功率はネットワーク環境に依存するため、チャイナテレコム、チャイナモバイル、チャイナユニコムなどのIPセグメントを優先的に使用してください。



©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

back-to-originルール

トリガー条件

- 非同期back-to-originおよび同期back-to-originモードでは、リクエストが404を返した場合のみback-to-originをトリガーします。
- リダイレクトモードでは、ユーザーは400～599のHTTPステータスコードをカスタマイズしてback-to-originをトリガーすることができます。

オリジンサーバーにアクセスする

- 非同期back-to-originおよび同期back-to-originモードでは、COSにアクセスするQueryStringおよびHeader情報をオリジンサーバーにパススルーするかどうか、オリジンサーバーへのリクエストを追加する時に追加のHeader情報を付加するかどうかを設定できます。リダイレクトモードはQueryStringがパススルーするかどうかの設定のみをサポートしています。
- GET操作時にGET rangeを指定した場合、COSは元のリクエスト以外にさらにrangeなしの非同期リクエストを送信し、完全なオブジェクトデータを取得してCOSに保存します。

応答と保存

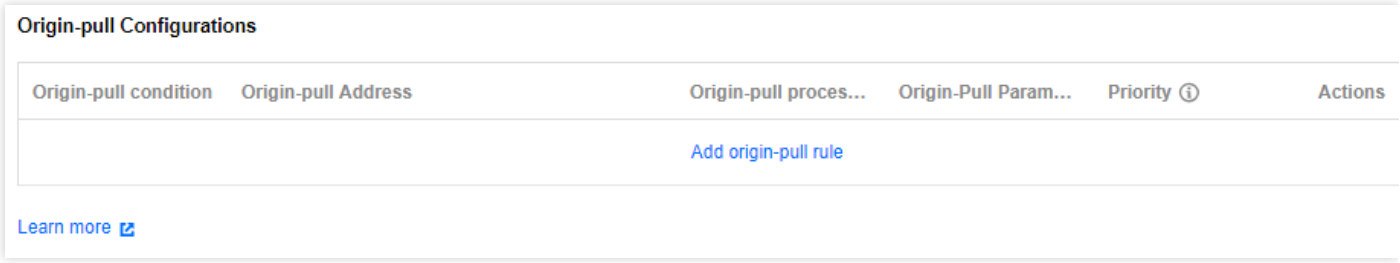
- オリジンサーバーはchunkedエンコードでデータを返すことをサポートしています。
- オリジンサーバーが404ステータスコードを返した場合、COSにパススルーしてユーザーに返します。**3XX追従ポリシー**を有効化した場合、オリジンサーバーが3XXステータスコードを返した時に別のオリジンサーバーにおいてデータをプルします。オリジンサーバーが、その他の2XXではないステータスコードを返した場合、COSは424を返します。
- back-to-originが返すファイルはオリジンサーバーをリクエストする時に使用するファイル名でCOSに保存されます。例えばあるユーザーがリクエストするファイルexample.jpgがバケットに存在しない場合、COSはback-to-originメカニズムをトリガーしてユーザーが設定したback-to-originアドレス `http://origin.com/example.jpg` においてファイルをプルし、バケットに保存するファイルをexample.jpgと命名します。
- COSに保存される新しいオブジェクトには、以下のメタデータが含まれます。データの内容はオリジンサーバーの値に追従します。

```
cache-control
content-disposition
content-encoding
content-type
expires
x-cos-meta-*
```

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

操作手順

1. COSコンソールにログインします。
2. 左側ナビゲーションバーで**バケットリスト**をクリックし、バケットリストページに進みます。
3. back-to-originを設定したいバケットをクリックし、バケット詳細ページに進みます。
4. 左側ナビゲーションバーで、**基本設定 > back-to-originの設定**をクリックし、**back-to-originリストの追加**をクリックします。



5. ポップアップウィンドウに以下の情報を設定し、**次のステップ**をクリックします。

- **back-to-originモード**：実際のニーズに応じてback-to-originモードを選択できます。
  - **非同期back-to-origin**：COSで検索するようにリクエストされたファイルが存在しない場合、COSは指定のオリジンサーバーからファイルを検索し、そのファイルをバケットにアップロードしますが、ユーザー側には返しません。

    説明：
    非同期back-to-originは直接ファイルを返さず、まず302をクライアントに返し、さらに非同期でファイルをCOSにアップロードします。

    a. クライアントでFollow 302を有効化し、オリジンサーバーからデータをプルすることをお勧めします。
    b. ファイルのアップロード時間は複数の要因の影響を受け、SLAを承諾できません。**適時性を必要とするユーザーがback-to-originの同期を選択することをお勧めします**。

  - **同期back-to-origin**：COSで検索するようにリクエストされたファイルが存在しない場合、COSは指定のオリジンサーバーからファイルを検索し、そのファイルをユーザー側に返してバケットにアップロードします。
  - **リダイレクト**：バケットへのアクセスをリクエストした時に特定のエラーが発生した場合、COSはリダイレクトアドレスをユーザー側に返し、オリジンサーバーのファイルを保存します。ユーザー側はリダイレクトアドレスによって、オリジンサーバーにリソースへのアクセスをリクエストします。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

- **back-to-origin条件**：ニーズに応じてback-to-originをトリガーする条件を選択することができます。back-to-originをトリガーするには、設定したすべてのback-to-origin条件が同時に満たされている必要があります。
  - **HTTPステータスコード 404**：非同期back-to-originまたは同期back-to-originを選択した場合は、 HTTPステータスコードが404の時にback-to-originをトリガーします。この項目は入力必須で、キャンセルすることはできません。リダイレクトback-to-originモードを選択した場合、400～599のHTTPステータスコードを入力できます。
  - **ファイル名プレフィックス**：リクエストされたファイル名のプレフィックスマッチングを行う際、back-to-originルールがトリガーされます。例えば、ファイル名プレフィックスをprefixに設定してから、`https://examplebucket-1250000000.cos.ap-chengdu.myqcloud.com/prefix123.jpg` にアクセスすると、返されるHTTPステータスコードが404であれば、back-to-originルールがトリガーされます。
- **back-to-originプロトコル**：COSがお客様が指定したオリジンサーバーにアクセスする際に使用するHTTPプロトコルで、HTTPSの強制、HTTPの強制およびリクエストプロトコルのフォローというオプションがあります。
  - HTTPS/HTTPの強制を選択した場合、COSはHTTPS/HTTPプロトコルを使用してオリジンサーバーにアクセスします。
  - リクエストプロトコルのフォローを選択すると、COSは、お客様がCOSにリクエストしたプロトコルでオリジンサーバーにアクセスします。
- **リクエストパラメータ**：COSにアクセスする際に付加されるqueryStringリクエストパラメータをオリジンサーバーに透過的に送信するかどうかです。
- **透過的に指定されたリクエストヘッダー**：ここでは、オリジンサーバーに透過的に送信したいヘッダー情報を追加することができます。リダイレクトback-to-originのタイプを選択した場合は、この項目は設定されません。
- **リクエストヘッダーの追加**：ここでは、オリジンサーバーにback-to-originするときに付加するリクエストヘッダーを追加することができます。リダイレクトback-to-originのタイプを選択した場合は、この項目は設定されません。

6. 選択したback-to-originモードに応じて、以下の情報を選択して設定し、**次のステップ**をクリックします。

- back-to-originの非同期
- back-to-originの同期
- リダイレクト

- **back-to-originアドレス**：ドメイン名またはIPアドレスを入力するだけで、ドメイン名またはIPアドレスの後にポート番号を追加できます。プレフィックス `http://` または `https://` を付ける必要はありません。
  正しいアドレスの例は次のとおりです。

```
abc.example.com
abc.example.com:8080
```

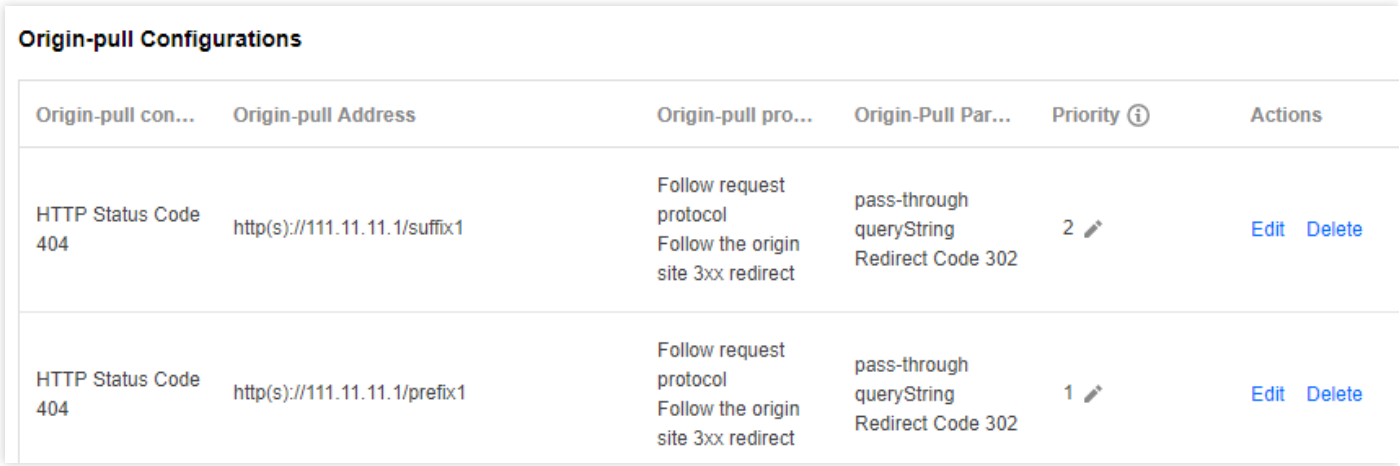
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

```
202.96.128.86
202.96.128.86:8080
```

- **back-to-アドレスのバックアップ**：ドメイン名またはIPアドレスをサポートしています。具体的なアドレスの設定をサポートしています。次のような項目を設定することができます。
  - **固定ファイル**：back-to-originルールがトリガーされると、デフォルトですべてが固定されたファイルにジャンプします。
  - **指定プレフィックス**：back-to-originルールがトリガーされると、指定されたプレフィックスを持つファイルにジャンプします。例えば、指定されたプレフィックスが `test` の場合、 `https://examplebucket-1250000000.cos.ap-chengdu.myqcloud.com/prefix123.jpg` にアクセスした際にback-to-originルールがトリガーされ、 `<back-to-originアドレス>/test/prefix123.jpg` にジャンプします。
  - **指定拡張子**：back-to-originルールがトリガーされると、指定された拡張子を持つファイルにジャンプします。例えば、指定された拡張子が `.jpg` の場合、 `https://examplebucket-1250000000.cos.ap-chengdu.myqcloud.com/prefix123` にアクセスした際にback-to-originルールがトリガーされ、 `<back-to-originアドレス>prefix123.jpg` にジャンプします。

    Note:
    - 固定ファイルを選択した場合、他の2種類のタイプはデフォルトでは選択できません。
    - 指定されたプレフィックスと指定された拡張子の設定を同時に有効にすることができます。
- **3xxフォローポリシー**：有効にすると、オリジンサーバーが3XXリダイレクトステータスコードを返す場合、COSのデフォルトの処理ポリシーは3XXに従って、別のオリジンサーバーからデータを再度プルすることになります。**無効**を選択してもリソースはプルされません。

7. 設定したback-to-originルールが正しいことを確認し、**OK**をクリックします。
   ルールを追加すると、システムは新しいルールに最高の優先度を割り当てます。COSは、最高の優先度のルールに従ってback-to-originを行います。また、ルールリストページの変更ボタンをクリックして、優先順位を調整することもできます。



Origin-pull Configurations

Origin-pull con...	Origin-pull Address	Origin-pull pro...	Origin-Pull Par...	Priority	Actions
HTTP Status Code 404	http(s)://111.11.11.1/suffix1	Follow request protocol Follow the origin site 3xx redirect	pass-through queryString Redirect Code 302	2	Edit Delete
HTTP Status Code 404	http(s)://111.11.11.1/prefix1	Follow request protocol Follow the origin site 3xx redirect	pass-through queryString Redirect Code 302	1	Edit Delete

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

事例

背景

APPIDは、1250000000のユーザー用に、 examplebucket-1250000000という名前のバケットを作成し、ドメイン名へのCDNアクセラレーションアクセスを有効にします。

```
examplebucket-1250000000.file.myqcloud.com
```

バケットのback-to-originアドレスを、次のように設定します。

```
abc.example.com
```

オリジンサーバー `http://abc.example.com` に画像picture.jpgを保存します。

クライアントの初回アクセス（back-to-originの同期が有効でない場合）：

```
http://examplebucket-1250000000.file.myqcloud.com/picture.jpg
```

COSは、オブジェクトをヒットできなかったと判断すると、クライアントにHTTPステータスコード302を返し、以下のアドレスにジャンプします。

```
http://abc.example.com/picture.jpg
```

クライアントの初回アクセス（back-to-originの同期が有効である場合）：

```
http://examplebucket-1250000000.file.myqcloud.com/picture.jpg
```

COSは、オブジェクトをヒットできなかったと判断すると、クライアントにHTTPステータスコード200を返し、以下のアドレスにジャンプします。

```
http://abc.example.com/picture.jpg
```

この時点で、オブジェクトはオリジンサーバーからクライアントに提供され、アクセスが保証されます。同時にCOSは、オリジンサーバーからpicture.jpgをコピーし、バケットexampleのルートディレクトリに保存します。

2回目のアクセス：

```
http://examplebucket-1250000000.file.myqcloud.com/picture.jpg
```

COSは、ルートディレクトリのpicture.jpgオブジェクトに直接アクセスし、それをクライアントに返します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

クロスドメインアクセスの設定

最終更新日：：2023-05-30 17:02:29

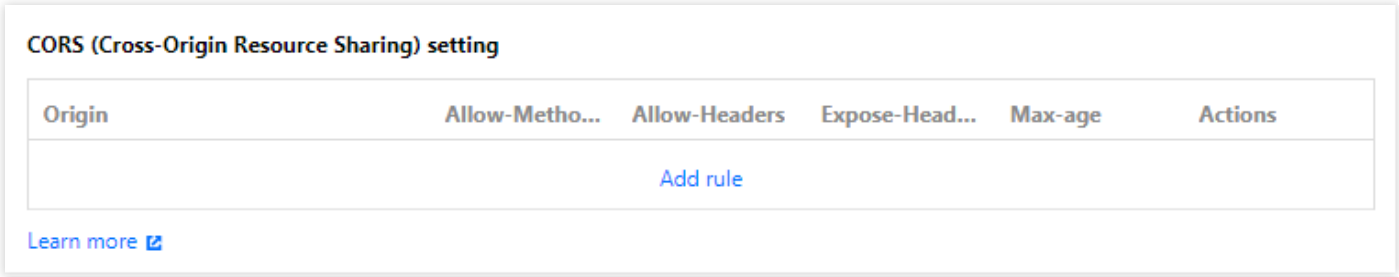
概要

Cloud Object Storage（COS）コンソールから、バケット内のオブジェクトに対しクロスドメインアクセスを設定することができます。COSはOPTIONSリクエストに応答して設定を提供し、複数のルールをサポートします。クロスドメインアクセスとは、HTTPリクエストを介して1つのドメインから別のドメインにリソースをリクエストすることです。プロトコル、ドメイン名、ポートのいずれかが異なると、異なるドメインとみなされます。

COSサービスは、クロスドメインアクセスに対し、OPTIONSリクエストへの応答をサポートし、開発者が設定したルールに基づいて、ブラウザに具体的に設定したルールを返します。ただしサーバーは、それ以降のクロスドメインリクエストがルールに従って開始されているかどうかは検証しません。詳細については、HTTPアクセス制御に関する説明とクロスドメインアクセスの設定のベストプラクティスドキュメントをご参照ください。

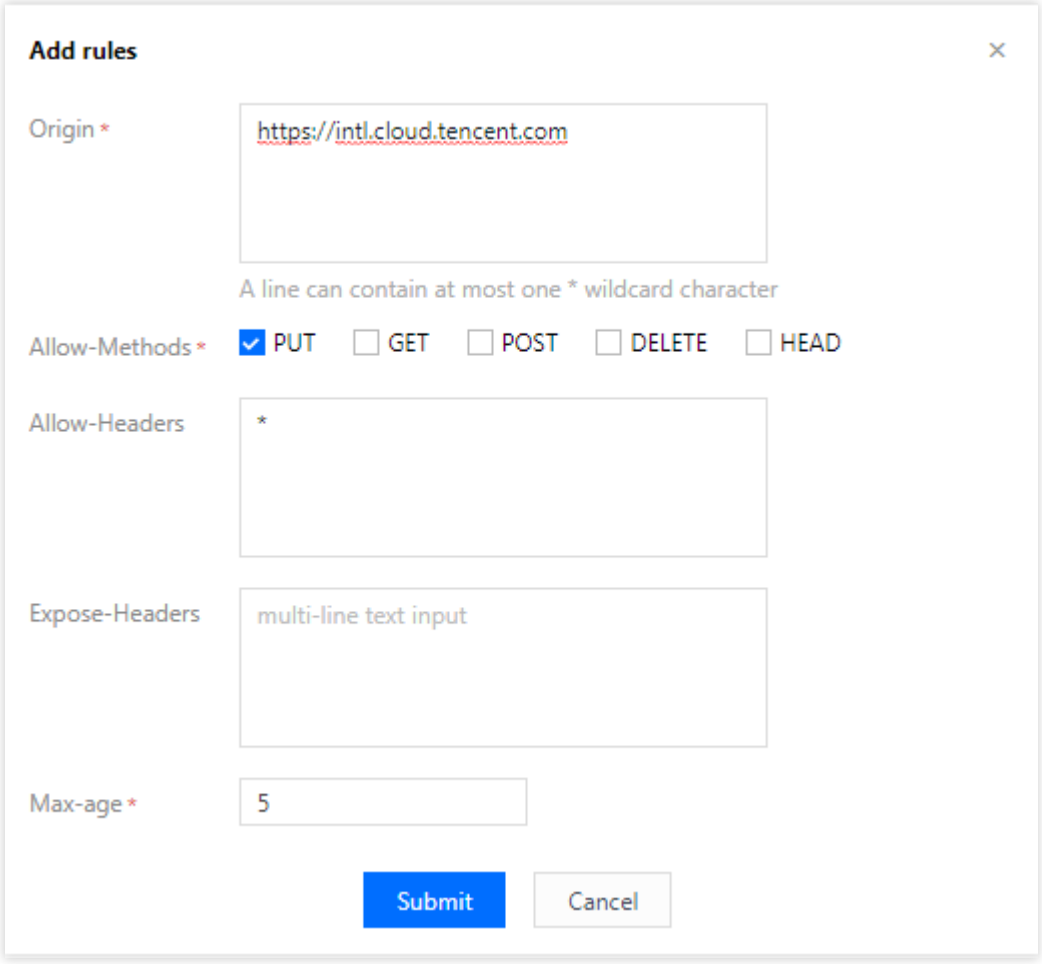
操作手順

1. COSコンソールにログインします。
2. 左側ナビゲーションバーで**バケットリスト**をクリックし、バケットリストページに進みます。
3. クロスドメインアクセスを設定したいバケットを見つけ、そのバケット名をクリックし、バケット詳細ページに進みます。
4. 左側ナビゲーションバーで**セキュリティ管理>クロスドメインアクセスCORS設定**を選択し、**クロスドメインアクセスCORS設定**欄で**ルールの追加**をクリックします。



©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

5. ルール情報を追加します（*印の付いた項目は入力必須です）。設定項目の説明は次のとおりです。



- **オリジンOrigin**：クロスドメインリクエストを許可するオリジンです。ドメイン名とIPアドレスの追加をサポートします。
  - ドメイン名の末尾に `/` を付ける必要はありません。
  - 複数のオリジンを同時に指定できますが、1行に入力できるのは1つだけです。
  - 設定は `*` をサポートしており、すべてのドメイン名とIPアドレスが許可されることを意味しますが、推奨いたしません。
  - `http://www.abc.com` 形式など、単一のドメイン名をサポートします。
  - `http://*.abc.com` など、第2レベルの汎用ドメイン名もサポートしていますが、 `*` 記号は1行に1つだけとします。
  - プロトコル名httpまたはhttpsを省略しないように注意します。ポートがデフォルトの80でない場合は、ポートを付ける必要があります。IPアドレスの例としては、 `http://10.10.10.10` が挙げられます。
- **操作Methods**：GET、PUT、POST、DELETE、HEADをサポートしています。許可する1つまたは複数のクロスドメインリクエストメソッドを列挙します。
- **Allow-Headers**：OPTIONSリクエストを送信する際、x-cos-meta-md5というように、次のリクエストが使用できるカスタムHTTPリクエストヘッダーをサーバーに通知します。

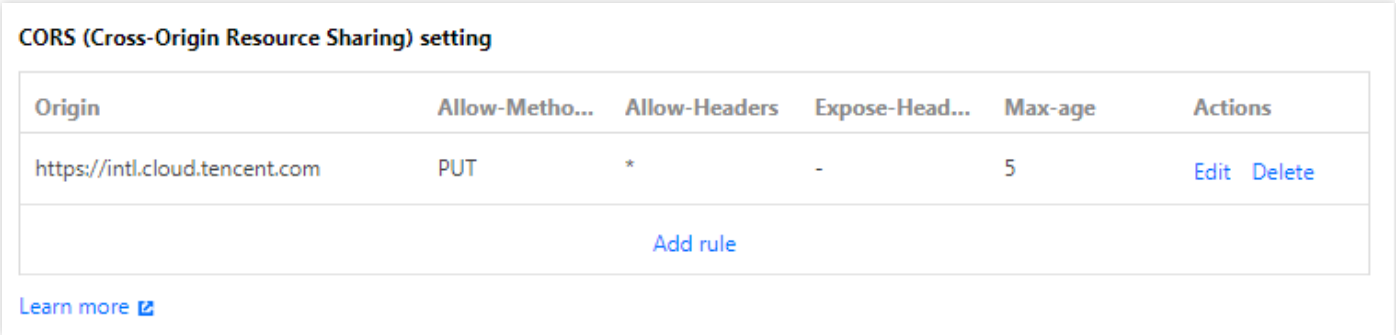
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

- 同時に複数のHeadersを指定できますが、Content-Typeというように、1行に入力できるのは1つだけです。
- Headerは省略されやすいので、特別な要件がなければすべて許可することを示すために、`*` に設定することをお勧めします。
- アルファベットの大文字と小文字[a-z,A-Z]をサポートしていますが、アンダーバー `_` は使用できません。
- Access-Control-Request-Headersで指定された各Headerには、Allowed-Headerに対応する項目が必要です。

- **Expose-Headers**：Expose-Headerでは、COSの常用Headerが返されます。詳細については、パブリックリクエストヘッダーをご参照ください。具体的な設定は、アプリケーションのニーズによって決定する必要があり、デフォルトでは、Etagを入力することをお勧めします。ワイルドカードは使用できず、大文字と小文字は区別されません。複数の行をサポートしていますが、各行に入力できるのは1つだけです。
- **タイムアウトMax-Age**：OPTIONSリクエストが結果を取得するまでの有効期間（秒）を設定します。値は600など、正の整数である必要があります。
- **Vary: Origin**：Vary: Origin Headerを返すかどうかを設定します。ブラウザにCORSと非CORSのリクエストが同時に存在する場合はこのオプションを有効にしなければ、クロスドメインの問題が発生することがあります。

> 注意：
> `Vary: Origin` にチェックを入れると、ブラウザへのアクセスまたはCDN back-to-originが増加する可能性があります。

6. 設定が完了したら、**保存**をクリックすれば完了です。この時点で、クロスドメインアクセスルールが追加されていることが確認できます。変更が必要な場合は、**変更**をクリックすると設定が行えます。



©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

バージョン管理の設定

最終更新日：：2022-11-15 14:40:50

概要

バケットのバージョン管理機能を有効にすると、バケット内にオブジェクトの複数のバージョンを保存でき、なおかつ指定したバージョンのオブジェクトを検索、削除または復元できるようになります。ユーザーが誤って削除したデータや、アプリケーションプログラムの障害によって消失したデータの回復に役立ちます。ここでは、コンソールでバケットのバージョン管理を有効にする方法をご説明します。バージョン管理の詳細については、バージョン管理の概要をご参照ください。

注意：

- 一度バージョン管理を有効にしたバケットは、バージョン管理を有効にしていない状態（初期状態）に戻すことはできません。ただし、このバケットのバージョン管理を一時停止することはでき、その後に新たにアップロードされる同じ名前のオブジェクトでは複数のバージョンが生成されなくなります。
- バージョン管理機能を有効にしている場合、新たにアップロードする同じ名前のオブジェクトには複数のバージョンが生成され、ストレージスペースを占有します。このためこれらのバージョンのオブジェクトも同様にストレージ料金の課金対象となります。
- 旧バージョンを完全に削除するには、バージョンIDを指定して完全に削除してください。

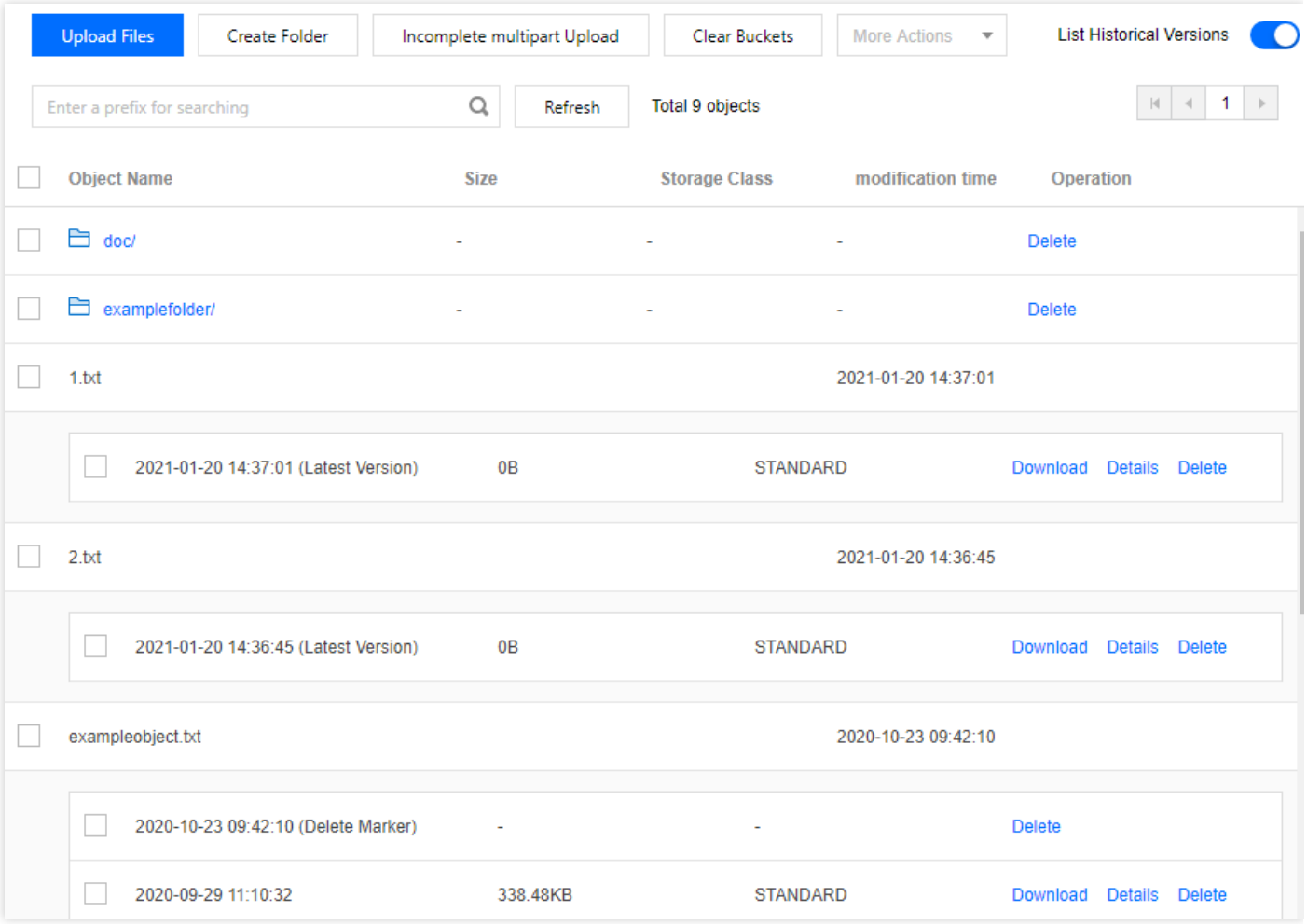
操作手順

1. COSコンソールにログインします。
2. 左側ナビゲーションバーで**バケットリスト**をクリックし、バケットリストページに進みます。
3. バージョン管理を設定したいバケットをクリックし、バケット詳細ページに進みます。
4. 左側の**障害復旧管理>バージョン管理**をクリックし、現在のステータスを有効に変更してから保存します。
5. ポップアップした確認ウィンドウで**OK**をクリックすると、バージョン管理が有効になります。
   バージョン管理機能を使用する必要がない場合は、現在の「有効」ボタンを「無効」に変更します。
6. バージョン管理を有効にした後、同じ名前のファイルをこのバケットにアップロードする場合は、ファイルリストインターフェースで**旧バージョンの一覧表示**をクリックすると、異なる時点でアップロードされた同名のファイルを確認することができます。また、最新バージョン、旧バージョンおよび削除マーカーバージョンに対し、さまざまな操作を行うことができます。
7. 旧バージョンのファイルは、**復元**、**ダウンロード**、**詳細**、**削除**といった操作をサポートしています。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

説明：
コンソールから旧バージョンを完全に削除するには、コンソールのバケットのファイルリストから**旧バージョンの一覧表示**をしたうえで、指定バージョンのファイルを削除します。

8. ファイルを削除すると、削除されたファイルの記録が表示され、削除前の同名ファイルは残ります。バージョンに応じて、ファイルを削除または復元することができます。



©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

静的ウェブサイトの設定

最終更新日：：2022-12-20 15:17:53

概要

COSコンソールから、静的ウェブサイトをホストするようにバケットを設定することで、バケットの静的ウェブサイトドメイン名により静的ウェブサイトにアクセスできます。静的ウェブサイトに関連する説明については、静的ウェブサイトのホストをご参照ください。

注意：

- バケットを使用して静的ウェブサイトをホストするには、まずバケットのアクセス権限を、**パブリック読み取り/プライベート書き込み**に設定する必要があります。
- 静的ウェブサイトの設定を有効にした後は、静的ウェブサイトのドメイン名を使用してCOSオリジンサーバーにアクセスすることで有効となります。COSデフォルトドメイン名でアクセスした場合、静的ウェブサイトの効果は無効になります。

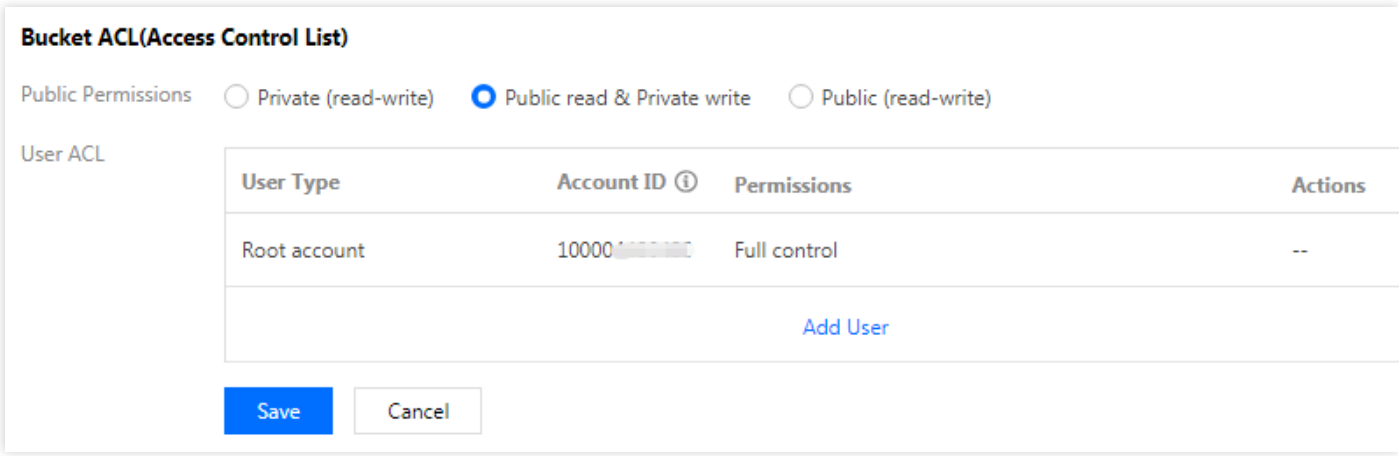
前提条件

バケットを作成します。詳細については、バケットの作成のドキュメントをご参照ください。

操作手順

1. COSコンソールにログインします。
2. 左側ナビゲーションバーで**バケットリスト**をクリックし、バケットリストページに進みます。
3. 静的ウェブサイトのホスティングに用いるバケットを見つけ、そのバケット名をクリックし、バケット詳細ページに進みます。
4. 左側ナビゲーションバーで、**権限管理>バケットのアクセス権限**をクリックし、パブリック権限バーで**パブリック読み取り/プライベート書き込み**を選択して保存します。

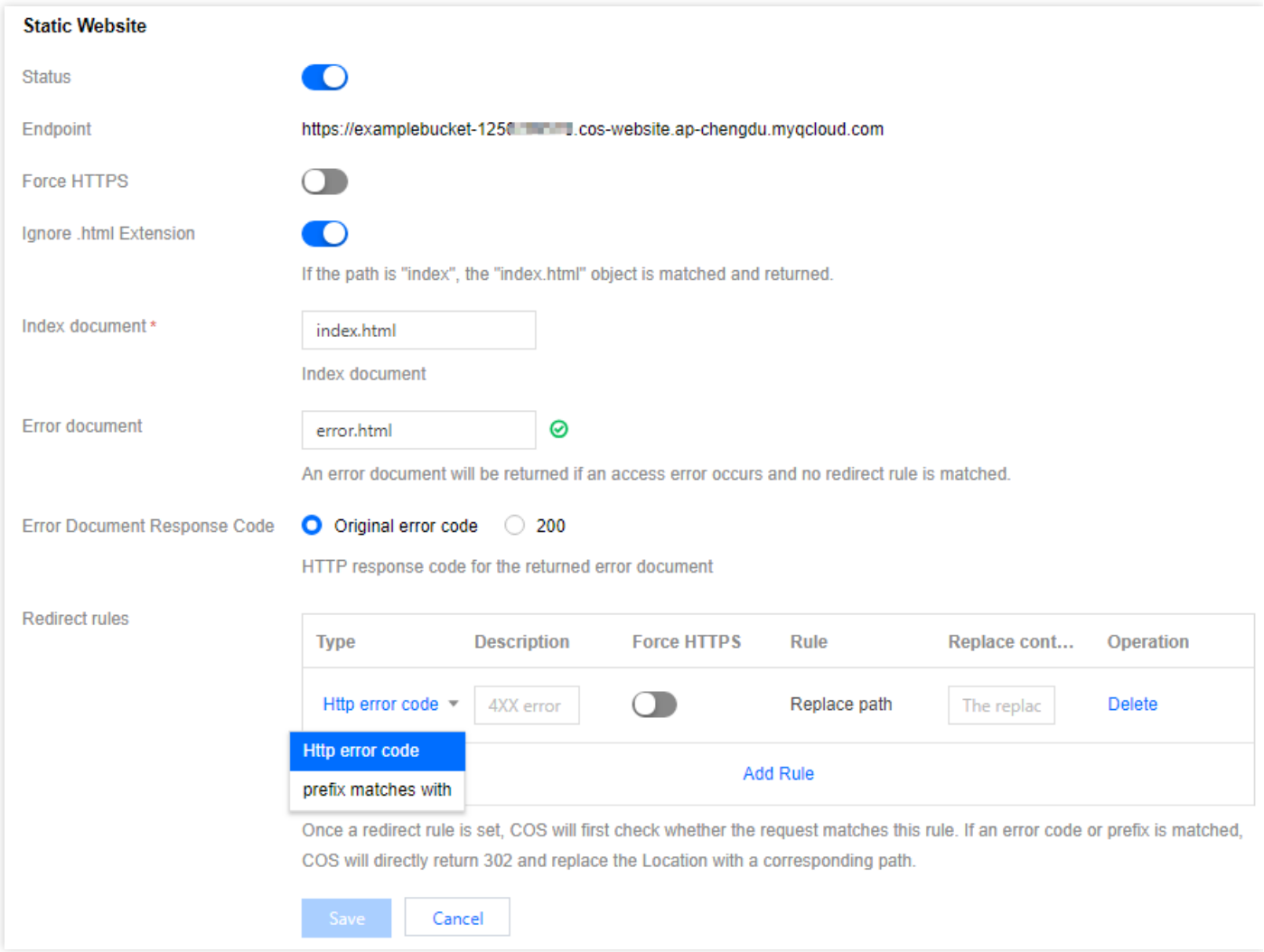
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



5. 左側ナビゲーションバーで、**基本設定>静的ウェブサイト**を選択し、静的ウェブサイトバーで**編集**をクリックし、**現在のステータス**のボタンをオンにします。
6. 静的ウェブサイトの設定項目を順番に入力します。

> 注意：
> 静的ウェブサイトのアクセスノードは、アルファベットの大文字と小文字を区別します。**インデックスファイル、エラーファイル、リダイレクトルールのプレフィックスマッチング**を設定する時は、入力するファイル名称と拡張子のアルファベットの大文字と小文字は、バケット内のファイルと一致させる必要があることに注意してください。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



設定に関する説明は次のとおりです。

- **HTTPSの強制（オプション）**：HTTPSの強制を有効にすると、ユーザーが静的ウェブサイトにアクセスする際に、静的ウェブサイトのアクセスノードが強制的にHTTPSプロトコルを使用して開かれるようになります。

> 注意：
> カスタムドメイン名を使用して静的ウェブサイトにアクセスすると同時に、静的ウェブサイトでHTTPSの強制が有効になっている場合は、カスタムドメイン名に関する証明書が正しく設定されていることを確認してください。証明書に異常がある場合、デフォルトドメイン名にジャンプしてからアクセスすることになります。

- **html拡張子を無視する（オプション）**：アクセスパスがindexの場合、自動的にindex.htmlオブジェクトにマッチングして返されます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

- *インデックスドキュメント（入力必須）**：インデックスドキュメント（静的ウェブサイトのホームページ）は、ユーザーがウェブサイトのルートディレクトリまたは任意のサブディレクトリにリクエストを送信したときに返されるページで、通常このページは `index.html` と命名されます。

  > 注意：
  > バケット内にフォルダを作成した場合、各フォルダレベルでインデックスドキュメントを追加する必要があります。

- **エラードキュメント（オプション）**：エラードキュメントとは、静的ウェブサイトにアクセスした際、エラーが発生した後に返されるページのことです。この設定項目は、独自のエラードキュメントを定義するのに便利です。静的ウェブサイトがユーザーのリクエストに応答できない時、指定されたカスタムエラーページが返されます。例えば、error.htmlと命名されたエラードキュメントを設定すると、ユーザーがアクセスした際にHTTPエラーが発生した場合、ページはerror.htmlのページを返してヘルプやガイダンスを提供します。エラードキュメントを設定しないと、ユーザーがアクセスした際にHTTPエラーが発生した場合、そのページはデフォルトのエラーメッセージを返します。

  > 注意：
  > エラードキュメントの設定により、バケットのルートディレクトリまたはサブディレクトリ内のファイルをサポートすることができます。ブラウザが認識できる `.html` または `.htm` といった形式のファイルを使用してください。ブラウザが認識できない、 `.zip` などのファイルを使用した場合、ほとんどのブラウザでエラーが表示され、アクセスできないか、アクセスのリクエストが拒否されます。

- **エラードキュメントレスポンスコード**：エラードキュメントが設定されている場合、この項目が表示されます。エラードキュメントを返すときのHTTPレスポンスコードは、元のエラーコードまたは200に設定できます。
- **リダイレクトルール（オプション）**：リダイレクトルールを使用すると、特定のファイルパス、リクエストのプレフィックス、またはレスポンスコードに基づき、条件に従ってリクエストをリダイレクトすることができます。
  例えば、バケット内のファイルを削除したり、リネームしたりする場合です。リダイレクトルールを追加すると、そのファイルにアクセスするリクエストを別のファイルにリダイレクトすることができます。
  - エラーコード：現在、リダイレクトルールは `4xx` エラーコード（例: 404）に対するリダイレクト設定のみをサポートしています。オプションでエラーページをカスタマイズすることができます。ユーザーが対応するHTTPエラーをトリガーした場合、そのエラーページでその他のガイダンスをユーザーに提供できるようにすることができます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

- プレフィックスマッチング：プレフィックスマッチングルールを使用して、バケット内のファイルまたはフォルダに対しリダイレクトを設定することができます。具体的な事例については、リダイレクトルールの例をご参照ください。

  > 注意：
  > プレフィックスマッチングはワイルドカードをサポートしていません。プレフィックスを index1/、index2/ という2つのフォルダとしてリダイレクトしたい場合、 `index*/` をマッチングルールとして使用することはできず、対応するマッチングルールをそれぞれ作成する必要があります。

7. 設定が完了したら、**保存**をクリックして終了します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

ライフサイクルの設定

最終更新日：：2023-03-14 15:04:11

概要

指定したオブジェクトに対し、定期的にストレージタイプの切り替えまたは削除を行い、コストを削減する必要がある場合は、ライフサイクル管理機能を使用することができます。COSは設定されたルールに従って、指定された時間内に指定されたオブジェクトのストレージタイプを自動的に切り替えまたは削除します。この機能の詳細については、ライフサイクルの概要のドキュメントをご参照ください。

> 説明：
> ライフサイクルの設定は最長3650日までサポートしています。

操作手順

1. COSコンソールにログインします。

2. 左側ナビゲーションバーで**バケットリスト**をクリックし、バケットリストページに進みます。

3. アクティブ化したいライフサイクル機能のバケットを見つけ、そのバケット名をクリックし、バケット詳細ページに進みます。

4. 左側の**基本設定 > ライフサイクル**設定項目をクリックし、***ルールの追加***をクリックします。

5. ニーズに応じてライフサイクルルールを追加します。設定項目の説明は次のとおりです。

- **ルール名**：ライフサイクルルール名を入力してください。
- **適用範囲**：このライフサイクルルールは、全バケットに作用します。また、指定した範囲のオブジェクトにも作用します。現在次の範囲の選択をサポートしています。
  - オブジェクトプレフィックス：同じファイルプレフィックスのオブジェクトを指定して、ライフサイクルルールを実行することができます。例えば、prefix/があります。
  - オブジェクトタグ：同じタグのオブジェクトを指定して、ライフサイクルルールを実行することができます。複数のタグの指定をサポートしています。アルファベットの大文字と小文字を区別してください。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

> 注意：
> オブジェクトプレフィックスとオブジェクトタグを同時に指定することができます。オブジェクトプレフィックスとオブジェクトタグ、オブジェクトタグとオブジェクトタグの間の関係は、「and」の関係となります。

- **現在のバージョンのファイル管理**：現在のバージョンのオブジェクトを管理するオプションをアクティブにすると、現在のバージョンのオブジェクトを移行または削除することができます。バケット内のオブジェクトは、標準ストレージから低頻度ストレージ、アーカイブストレージまたはディープアーカイブストレージへの移行がサポートされています。有効期限が切れた後のオブジェクトの削除がサポートされています。
  そのうち、ストレージタイプは、ホットからコールドまで、それぞれ次のようになります。**標準ストレージ**＞**低頻度ストレージ**＞**INTELLIGENT_TIERINGストレージ**>**アーカイブストレージ**>**ディープアーカイブストレージ**。ストレージタイプの変更は、ホットからコールドのみで、その逆はできません。時間は、COSでのドキュメントの変更時間を標準にして計算し、オブジェクトの動作などの変更は、オブジェクトの再アップロードに相当します。

> 説明：
> マルチAZ設定のバケットを有効化すると、ライフサイクルの変換順序は**標準ストレージ（マルチAZ）**＞**低頻度ストレージ（マルチAZ）**＞**INTELLIGENT_TIERINGストレージ（マルチAZ）**のみをサポートします。

- **過去のバージョンのファイル管理**：過去のバージョンのオブジェクトを管理するオプションをアクティブにすると、過去のバージョンのオブジェクトを移行または削除することができます。このオプションをまだアクティブにしていない場合は、最新バージョンのオブジェクトのみがデフォルトで処理されます。
- **履歴のないバージョンの削除マーカーのクリーンアップ**：オブジェクトの最新バージョンが削除マーカー（Delete Marker）で、かつそのオブジェクトの過去のバージョンがすべて削除されていた場合は、このオプションをアクティブにすると、削除マーカー（Delete Marker）も削除されます。このオプションは、**現在のバージョンのファイル管理**の期限切れによる削除と同時にアクティブにすることはできません。
- **フラグメントの削除**：ファイルをアップロードする時に、さまざまな原因でアップロードが失敗し、そのうちの一部だけが送信された場合は、この破損したファイルを定期的に削除するように設定することができます。

6. ライフサイクルルールを設定し、**確定**をクリックすると、ライフサイクルルールを確認することができます。

7. ライフサイクルルールを停止したい場合は、**編集**をクリックし、対応するルールの状態を**閉じる**に変更、またはライフサイクルルールを直接削除します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

8. 現在のバケットのすべてのライフサイクルルールをクリアしたい場合は**すべてのルールをクリア**をクリックします。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

ログ管理の設定

最終更新日：：2022-12-20 15:17:53

概要

Cloud Object Storage（COS）コンソールにログインすると、バケットのログ管理を有効にすることができます。COSが提供するログ管理機能によって、**バケット操作**に関するさまざまなリクエストログを記録することができます。ログ管理機能を有効にすることで、バケットをより適切に管理、使用することができます。ログ管理の詳細については、ログ管理の概要をご参照ください。

注意：

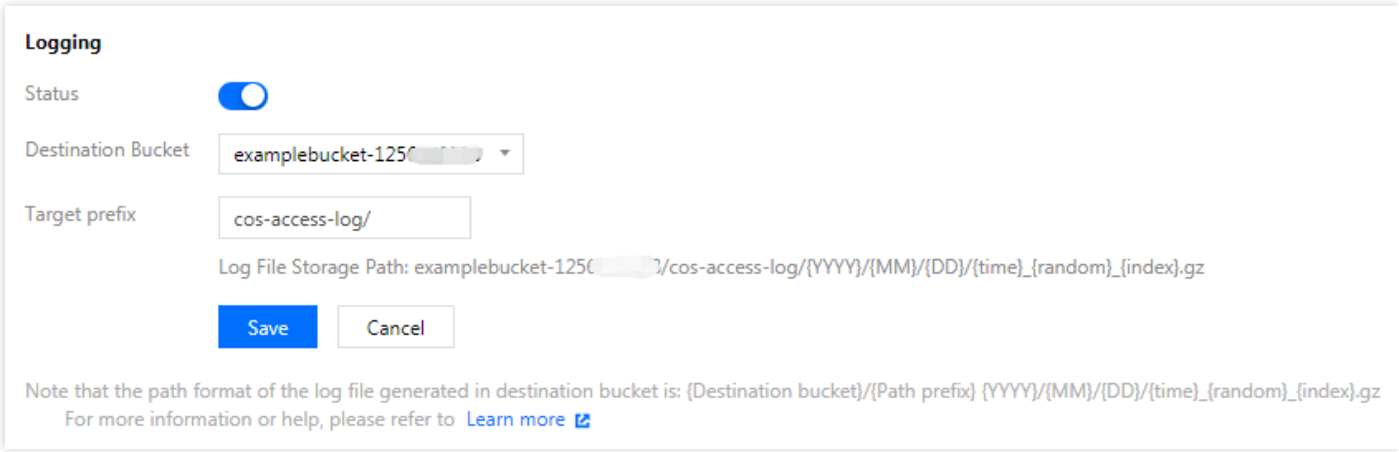
- 現在、COSのログ管理機能でサポートされているリージョンには、北京、上海、広州、南京、重慶、成都、中国香港、シンガポール、ソウル、トロント、シリコンバレー、ムンバイがあります。
- 現在、**バケット所有者**のみがログ管理を設定する権限を持っています。他のユーザーがコンソールにログインしても、**ログ管理**の設定項目は表示されません。
- ログデータは5分ごとに配信されます。COSはログデータの100%の正確性を保証するものではなく、あくまでも参考用であり、計測や課金の根拠とはなりません。

操作手順

1. COSコンソールにログインします。
2. 左側ナビゲーションバーで**バケットリスト**をクリックし、バケットリスト管理ページに進みます。
3. ログ管理を有効にしたいソースバケットを見つけ、そのバケット名をクリックし、バケット管理ページに進みます。
4. 左側ナビゲーションバーで、**ログ管理 > ログストレージ**を選択し、**編集**をクリックして現在のステータスを「有効」に変更します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

5. ログストレージの設定項目で、以下の説明に従って設定します。



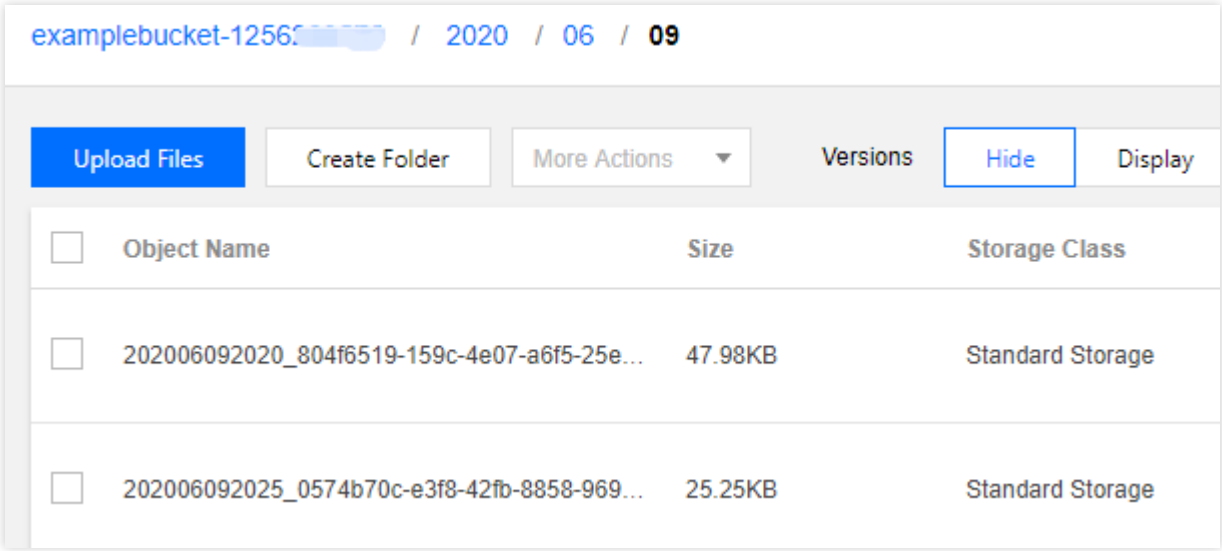
- **ターゲットバケット**：ログ管理が有効になっている**ソースバケット**とログが保存されている**ターゲットバケット**は、同じリージョンにある必要があります。COSは、ソースバケットをログを保存するためのバケットとして設定することを推奨していません。
- **パスプレフィックス**：ログを見つけやすくするために、カスタムのパスプレフィックスを入力します。入力しない場合は、デフォルトでターゲットバケットのルートパスとなります。
- **サービス権限の承認**：CLS製品サービスがアクセスログをバケットに配布するための承認が必要です。

6. 入力情報が正しいことを確認したら、**保存**をクリックします。この時点で、ログ管理機能が有効になります。

> 説明：
> ログが発行され、ターゲットバケットに配布されるまでには数分以上かかる場合があります。しばらくお待ちください。

7. ログを保存するように以前に設定したターゲットバケットを見つけると、発行されたログファイルを確認することができます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



8. ログファイルをダウンロードすると、フィールドの説明に従ってログを確認することができます。詳細については、ログ管理の概要をご参照ください。

関連説明

1. ログ管理機能が有効になっている場合は、CAMコンソールでログロールを作成し、そのロールがターゲットバケットに対してログの読み取り/書き込み操作を許可する必要があります。
2. ログ管理機能が無効になっている場合、ログロールを削除しない限り、ターゲットバケットへのログの読み取り/書き込み操作を実行するロールの権限は削除されません。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

バケットリストへのアクセス

最終更新日：：2022-12-29 10:59:49

概要

サブアカウントには、デフォルトでバケットリストをプルする権限がないため、サブアカウントを使用してCOSコンソールにログインしても、概要データ、バケットリストおよびその他権限の承認が必要な管理項目は確認できません。

サブアカウントバケットリストには、以下2種類の方法でアクセスできます。

- **アクセスパスの追加**による方法：この方法は、あるサブアカウントがオブジェクトの操作権限を持っているが、バケットリストへのアクセス権限は持っていない場合に使用します。アクセスパスは、**いずれかのバケット**または**バケット下のいずれかのディレクトリ**にすることができます。追加されたパスが権限を付与されていることを確認してください。
- **プリセットポリシーの追加**による方法：ルートアカウントを介してサブアカウントのプリセットポリシーQcloudCOSGetServiceAccessを追加する（すなわち、バケットリストのアクセス権限を取得する）方法によって、バケットリストにアクセスすることができます。この方法では、コンソール概要の統計データも確認することができます。

> 注意：
> この機能は、サブアカウントのログインコンソールからバケットリストにアクセスする場合に使用します。

アクセスパスの追加

デフォルトでは、サブアカウントにはプリセットポリシー(QcloudCOSGetServiceAccess)の権限が付与されていないため、サブアカウントにはバケットリストをプルする権限はありません。ただし、ルートアカウントがサブアカウントにいずれかのバケットのユーザー権限（例えばデータの読み取りやデータの書き込みなどのユーザー権限）を付与すると、サブアカウントは**アクセスパスを追加**する方法によって、対応するバケットにアクセスできるようになります。

前提条件

サブアカウントには、ルートアカウントからいずれかのバケットのユーザー権限が付与されています。詳細については、アクセス権限の設定をご参照ください。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

操作手順

1. **サブアカウント**を使用してCOSコンソールにログインし、アクセスパスリストページに進み、**アクセスパスの追加**をクリックしてください。

2. **アクセスパスの追加**ポップアップウィンドウで、バケットが配置されているリージョンを選択し、アクセスパスを入力します。設定に関する説明は次のとおりです。

- **リージョン**：アクセスを許可する権限を付与されたバケットに対応するリージョンを選択します。
- **アクセスパス**：アクセスを許可する権限を付与されたバケット名（例：examplebucket-1250000000）を入力するか、バケット内のオブジェクトへのパス（例：`examplebucket-1250000000/doc/exampleobject.txt`）を入力してください。

3. リージョンやアクセスパスが正しいことを確認して**OK**をクリックすると、権限が付与されたバケットまたはバケット内のオブジェクトのパスを追加することができます。

4. 右側の**ファイルリスト**をクリックすると、ルートアカウントがサブアカウントに権限を付与したオブジェクトを確認できます。

プリセットポリシーの追加

サブアカウントに**プリセットポリシーQcloudCOSGetServiceAccessを追加（バケットリストにアクセスする権限を取得）**するという方法で、バケットリストにアクセスします。

> 注意：
>
> - プリセットポリシーQcloudCOSFullAccessまたはQcloudCOSReadOnlyAccessは同様に、サブアカウントにバケットリストへのアクセス権限を付与することができます。ただし、これら2つのポリシーによって付与される権限は範囲が広いため、**セキュリティ上の理由からお勧めいたしません**。
> - 概要の統計データは、バケットリストへのアクセス権限に依存しています。サブアカウントで統計データをプルする必要がある場合は、ルートアカウントがサブアカウントにプリセットポリシーQcloudCOSGetServiceAccessを追加していることを確認してください。追加していない場合、統計データへのアクセス権限がない旨のプロンプトが表示されます。

1. ルートアカウントを使用してCAMコンソールにログインし、ユーザーリストページに進んでください。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

2. ポリシーが追加されたサブアカウントを見つけて、その右側にある**承認**をクリックし、関連ポリシーのページに進みます。

3. ポリシーリストからプリセットポリシーQcloudCOSGetServiceAccessを検索し、追加します（COSのバケットリストアクセス権限）。

4. **OK**をクリックして、ポリシーのバインドを完了します。

5. サブアカウント名をクリックして、サブアカウントの詳細ページに進みます。追加されたポリシーはここで確認できます。このポリシーを使用する必要がない場合は、バインド解除操作を行うことができます。

> 説明：
> この時点で、ルートアカウントを介したサブアカウントへのプリセットポリシーの追加が完了しました。これで、サブアカウントを介してCOSコンソールにログインすると、バケットリストや概要の統計データを正常に確認することができます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

バケットポリシーの追加

最終更新日：：2023-01-29 14:33:45

概要

Cloud Object Storage（COS）コンソールから、バケットにポリシーを追加して、ポリシーで設定されたCOSリソースへのアカウント、ソースIP（またはIPセグメント）のアクセスを許可または禁止することができます。バケットポリシーの概要やポリシー事例の関連情報については、アクセスポリシーの言語概要とバケットポリシーの例をご参照ください。次に、バケットポリシーを追加する方法について詳しくご説明します。

> 注意：
> ルートアカウントごとに、最大1000個のバケットACLルールを作成できます。

前提条件

バケットを作成します。詳細については、バケットの作成のドキュメントをご参照ください。

操作手順

1. COSコンソールにログインします。
2. 左側ナビゲーションバーで**バケットリスト**をクリックし、バケットリストページに進みます。
3. バケットポリシーを追加したいバケットを見つけ、その名称をクリックし、バケット設定ページに進みます。
4. 左側ナビゲーションバーで**権限管理 > Policy権限の設定**をクリックします。COSは、バケットポリシーを追加する方法として次のものを提供しており、そのいずれかの方法でバケットポリシーを追加することができます。設定項目の詳細については、アクセスポリシーの言語概要をご参照ください。

- グラフィック設定
- ポリシー構文

グラフィック設定パネルで、**ポリシーの追加**をクリックし、ポップアップウィンドウでポリシーを設定します。操作手順は次のとおりです。

（1）テンプレートの選択

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

COSは、異なる被付与者やリソース範囲の組み合わせを選択することで、さまざまなポリシーテンプレートを提供し、バケットポリシーの速やかな設定を支援します。

- 被付与者
- **すべてのユーザー（匿名アクセス可能）**：匿名ユーザーに操作権限を開放したい場合は、このオプションを選択すると、次のポリシー設定の手順ですべてのユーザーが自動的に追加されます（`*` と表記されます）。オブジェクトリスト（ListBucket）をリストアップしたり、バケット設定権限などの操作を匿名ユーザーに開放したりするのは危険なため、このオプションを選択すると、COSは対応するテンプレートを提供しません。必要な場合は、その後の「ポリシーの設定」において、ご自分で追加することができます。
- **ユーザーの指定**：指定するサブアカウント、ルートアカウントまたはクラウドサービスに操作権限を開放したい場合は、ユーザーを指定することができます。この場合、次の手順でポリシーを設定する際に、具体的なアカウントUINを指定する必要があります。

Note:

- 被付与者が指定のアカウントである場合、オブジェクトのリクエストの際に、ID認証用の署名を含める必要があります。署名に関する説明については、リクエスト署名をご参照ください。

- 被付与者をすべてのユーザーに指定している場合、オブジェクトのリクエストの際に署名を含める必要はなく、すべてのユーザーが直接リンクを通じてオブジェクトにアクセスできます。データ漏洩のリスクがありますので、慎重に設定してください。

- リソース範囲

- **バケット全体**：バケットの設定に関する権限を設定したい場合、またはリソース範囲としてバケット全体を指定したい場合は、この項目を選択できます。次の手順でポリシーを設定する際に、バケット全体がリソースとして自動的に追加されます。

- **ディレクトリの指定**：リソースの範囲を指定したフォルダに限定したい場合、この項目を選択します。次の手順でポリシーを設定する際に、さらに具体的なディレクトリを指定する必要があります。この項目を選択した場合、このタイプの権限はリソースをバケット全体として指定する必要があるため、COSは、バケット設定に関するポリシーテンプレートを提供しません。

- テンプレート：お客様が承認したい操作セットです。

- **カスタムポリシー（プリセット設定はご提供していません）**：テンプレートをご利用にならない場合はこの項目を選択し、次のステップの「ポリシーの設定」で、必要に応じてご自身でポリシーを追加できます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

- **その他のテンプレート**：COSはお客様が選択した被付与者およびリソース範囲の組み合わせに基づき、それぞれに推奨するテンプレートをご提供します。必要なテンプレートにチェックを入れると、次のステップのポリシー設定で、COSが自動的に必要な操作を追加します。

Note: テンプレートで提供される承認操作がニーズに合わない場合は、次の「ポリシーの設定」の手順で承認操作を追加または削除することができます。

テンプレートの説明は次の表をご参照ください。

被付与者	リソース範囲	ポリシーテンプレート	説明
すべての組み合わせ		カスタムポリシー	任意の被付与者、リソース範囲の組み合わせの場合、このテンプレートを選択するとプリセットポリシーのご提供は行われません。次のステップのポリシー設定で、ご自身でポリシーを直接追加することができます。
すべてのユーザー（匿名アクセス可能）	バケット全体	読み取り専用オブジェクト（オブジェクトリストのリストアップを含まない）	匿名ユーザーの場合、COSはファイル読み取り（ダウンロードなど）、ファイル書き込み（アップロード、変更など）の推奨テンプレートをご提供します。 COSの推奨テンプレートには、バケット内の全オブジェクトのリストアップ、読み取り/書き込み権限、バケット設定などのその他の機密性の高い権限は含まれず、他の余分な権限を開放しないようにすることで、データの安全性を高めています。 必要に応じて、後のステップでご自身で動作権限を追加または削除することができます。
		読み取り/書き込みオブジェクト（オブジェクトリストのリストアップを含まない）	
	指定ディレクトリ	読み取り専用オブジェクト（オブジェクトリストのリストアップを含まない）	
		読み取り/書き込みオブジェクト（オブジェクトリストのリストアップを含まない）	
指定ユーザー	バケット全体	読み取り専用オブジェクト（オブジェクトリストのリストアップを含まない）	指定ユーザーとバケット全体の組み合わせの場合、COSは最も多くの推奨テンプレートをご提供します。ファイル読み取り、書き込みおよびファイルリストアップのほか、次のような機密
		読み取り専用オブジェクト（オブジェクトリストのリストアッ	

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

		プを含む）	性の高い権限のテンプレートも含まれ、これらは信頼できるユーザーへの使用に適しています。 バケットおよびオブジェクトACLの読み取り/書き込み：GetObjectACL、PutObjectACL、GetBucketACL、PutBucketACLを含む、バケットACLとオブジェクトACLを取得、変更します。 バケット一般設定項目：バケットタグ、クロスドメイン、back-to-originなどの機密性が高くない権限です。 バケットの機密性の高い設定項目：バケットポリシー、バケットACL、バケット削除などにかかわる機密性の高い権限であり、慎重に使用する必要があります。
		読み取り/書き込みオブジェクト（オブジェクトリストのリストアップを含まない）	
		読み取り/書き込みオブジェクト（オブジェクトリストのリストアップを含む）	
		バケットおよびオブジェクトの読み取り/書き込みACL	
		バケット一般設定項目	
		バケットの機密性の高い設定項目	
	指定ディレクトリ	読み取り専用オブジェクト（オブジェクトリストのリストアップを含まない）	指定ユーザーと指定ディレクトリの組み合わせの場合、COSはファイル読み取り（ダウンロードなど）、ファイル書き込み（アップロード、変更など）以外にも、オブジェクトリストのリストアップ権限を含む推奨テンプレートをご提供します。 指定したユーザー向けに指定したフォルダのファイルの読み取り、書き込み、リストアップ権限を開放したい場合は、この組み合わせを選択することをお勧めします。 必要に応じて、後のステップでご自身で動作権限を追加または削除することができます。
		読み取り専用オブジェクト（オブジェクトリストのリストアップを含む）	
		読み取り/書き込みオブジェクト（オブジェクトリストのリストアップを含まない）	
		読み取り/書き込みオブジェクト（オブジェクトリストのリストアップを含む）	

（2）ポリシーの設定

手順1で選択した被付与者、指定ディレクトリおよびテンプレートの組み合わせに対し、COSはポリシー設定において対応する操作、被付与者、リソースなどを自動的に追加します。お客様が指定ユーザー、指定ディレクトリを

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

選択された場合は、ポリシー設定の際に具体的なユーザーUINとディレクトリを指定する必要があります。

COSがご提供する推奨テンプレートがニーズに合わない場合は、お客様ご自身でポリシーの内容を調整し、被付与者、リソースおよびアクションを追加または削除することもできます。設定項目の説明は次のとおりです。

- エフェクト：「許可」または「拒否」を選択できます。ポリシー構文の「allow」と「deny」に対応します。
- ユーザー：すべてのユーザー(`*`)、ルートアカウント、サブアカウント、クラウドサービスを含む被付与者を追加、削除できます。
- リソース：バケット全体または指定ディレクトリのリソースを追加できます。
- アクション：権限付与が必要な操作を追加、削除します。
- 条件：ユーザーのアクセスIPの制限など、権限付与の際の指定条件です。

（3）設定情報の確認

設定情報が正しいことを確認したら、**完了**をクリックします。このときにサブアカウントを使用してCOSコンソールにログインすると、ポリシーで設定されたリソースの範囲にしかアクセスできなくなります。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

ログ分析の設定

最終更新日：：2022-06-02 11:21:53

概要

Cloud Object Storage（COS）のログストレージ機能を有効にすると、ログ分析機能が有効になり、発行されたログファイルに対してさらにデータ分析を行うことができます。ログ分析機能は、指定した期間のログファイルを集約して統計分析を行い、重要な指標を抽出してお客様が確認できるようにします。

前提条件

ログ分析機能を使用するには、まずCOSログストレージのアクティブ化サービスを行ってから、ログ分析SCFを作成する必要があります。作成ガイドについては、COSログ分析関数の追加をご参照ください。

操作手順

1. COSコンソールにログインします。
2. 左側ナビゲーションバーで**バケットリスト**をクリックし、バケットリスト管理ページに進みます。
3. ログ分析を行いたいバケットを見つけ、そのバケット名をクリックし、バケット管理ページに進みます。
4. 左側ナビゲーションバーで、**ログ管理**を選択し、**ログストレージ**をクリックします。

> 注意：
> ログ分析機能を使用するには、まずログストレージサービスをアクティブ化する必要があります。ログ管理の設定を参照して、ログストレージサービスを有効にしてください。

5. すでにCOSログ分析関数を追加している場合は、下のCOSログ分析セクションの**今すぐ使用**をクリックしてください。この時点でシステムが、COSログ分析関数ルールが追加されたかどうかチェックします。
   COSログ分析機能を追加していない場合は、COSログ分析関数の追加を参照して関数を追加してください。
6. COSログ分析関数の追加が完了した後、このページで対応する関数名を選択し、分析したいログの時間帯を選択して、**分析タスクの作成**をクリックし、ポップアップウィンドウで以下の情報を設定します。

- **時間範囲**：分析したいログの時間帯です。**リクエスト終了時間**をもとに検索を行い、最大30日間をサポートします。指定された時間帯のログファイルの合計サイズは200GB以下とします。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

- **SCFの選択**：現在のバケットが配置されているリージョンに追加されたCOSログ分析関数を選択します。
- **プロダクト配布ディレクトリ**：ログ分析後、システムは分析結果のプロダクトをパッケージ化し、お客様が指定した配布ディレクトリに保存します。プロダクトには、**結果ファイル**と**リストファイル**が含まれます。**結果ファイル**は、お客様が選択した分析シナリオに従って分析した後に得られた結果です。**リストファイル**は、この分析と検索により得られたログファイルのリストのことです。
- **シナリオの選択**：現在サポートされているログ分析シナリオです。
- **Nの値**：シナリオにおいて対応するNの値で、正の整数を入力してください。
- **タスク説明**：この分析に関する説明情報をカスタマイズすることができます。

7. 設定が正しいことを確認し、**確定**をクリックすると、分析タスクが追加されたことを確認できます。

   作成された分析タスクに対しては、次のような操作が可能です。

- **結果の確認**をクリックすると、このログ分析の結果と結果ファイルの保存先アドレスが確認できます。

  注意：

  - 直近3日間に作成されたログ分析タスクを照会することができます。
  - 結果の確認には、ログ分析タスクの実行が終了するのを待つ必要があります。ログ分析は、ログサイズに応じて、通常、数分から数十分かかります。

- **実行ログ**をクリックして、SCFコンソールにジャンプし、COSログ分析の実行ログを確認します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

INTELLIGENT_TIERINGストレージの設定

最終更新日：：2022-10-31 15:23:52

概要

Cloud Object Storage（COS）は、ファイルがINTELLIGENT_TIERINGストレージタイプを指定して保存されている場合、データのアクセスモードに応じてホット階層とコールド階層を自動的に切り替えることで、ストレージコストを削減することができます。

INTELLIGENT_TIERINGストレージは、アクセスパターンが固定されていないデータや予測不可能なアクセスパターンのデータに適しています。標準ストレージと同等の低レイテンシー、高スループットの製品体験を、標準ストレージよりも低いコストでユーザーにご提供します。ユーザーはビジネスニーズに応じて、アクセスパターンが固定されていないデータを標準ストレージタイプからINTELLIGENT_TIERINGストレージタイプに変換し、クラウドのストレージコストを削減することができます。

INTELLIGENT_TIERINGストレージに関する説明とサポートリージョンについては、INTELLIGENT_TIERINGストレージの概要ドキュメントをご参照ください。

注意：

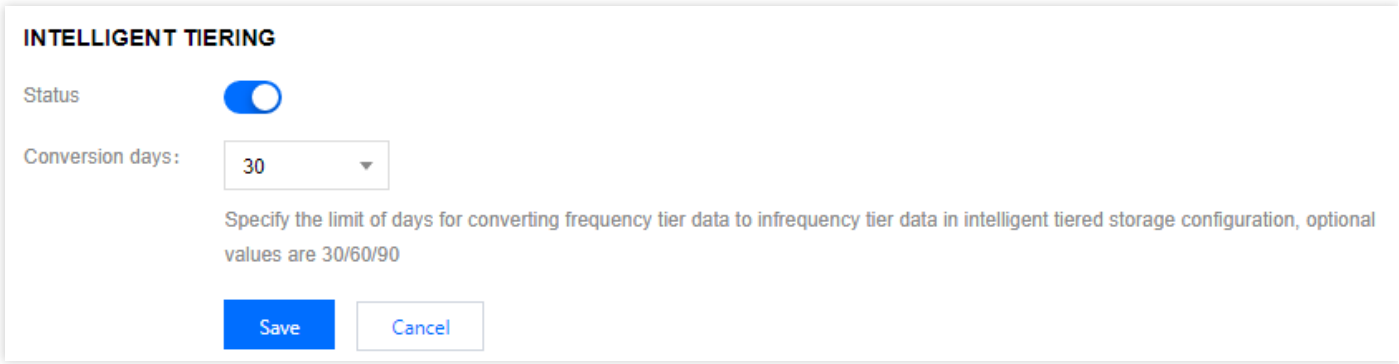
- INTELLIGENT_TIERINGストレージタイプのデータによって発生するストレージ料金には、以下の2種類があります。
- データが高頻度アクセス層にある場合、ストレージ料金は標準ストレージ料金と同じです。
- データが低頻度アクセス層にある場合、ストレージ料金は低頻度ストレージ料金と同じです。
- INTELLIGENT_TIERINGストレージのリクエスト料金は標準ストレージ料金と同じです。トラフィックと管理機能の料金は、サポートされているリージョンの他のストレージタイプと同じで、データ取得料金はありません。また、INTELLIGENT_TIERINGストレージタイプでは、データのオブジェクト監視に別途料金がかかります。課金の情報については、製品価格をご参照ください。

操作手順

1. COSコンソールにログインします。
2. 左側メニューで**バケットリスト**をクリックし、バケットリストページに進みます。
3. INTELLIGENT_TIERINGストレージを設定したいバケットを見つけ、そのバケット名をクリックし、バケット管理ページに進みます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

4. **基本設定>INTELLIGENT_TIERING**をクリックし、INTELLIGENT_TIERINGストレージの設定項目を見つけ、**編集**をクリックして現在のステータスを開き、以下の設定項目の説明に従って設定を行います。



変換日数：このパラメータは、低頻度アクセス層に変換する時間を指定するために使用します。選択可能日数は30日、60日、90日です。例えば、日数が30日であれば、30日間連続してアクセスがない場合、システムはオブジェクトを高頻度アクセス層から低頻度アクセス層へ移します。

4. 設定情報に誤りがないことを確認した後、**保存**をクリックします。

> 注意：
> INTELLIGENT_TIERINGストレージの設定が完了した後は、この設定を無効または一時停止することはできません。

5. INTELLIGENT_TIERINGストレージの設定を有効にした後、左側メニューバーで**ファイルリスト**をクリックします。
6. ファイルリストページで、**ファイルのアップロード**をクリックします。
7. ポップアップしたウィンドウでファイルのアップロードを選択し、**パラメータ設定**をクリックしてオブジェクトの属性を設定します。ストレージタイプ設定項目で**INTELLIGENT_TIERINGストレージ**を選択します。
8. **アップロード**をクリックすると、オブジェクトはINTELLIGENT_TIERINGストレージタイプとしてアップロードされ、COSは自動的にデータストレージ層の変換を実行します。アップロード操作に関するその他の設定項目については、オブジェクトのアップロードをご参照ください。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

リストの設定

最終更新日：：2023-10-10 09:51:03

概要

COSコンソールから、バケットのリスト機能をアクティブ化することができます。リスト機能をアクティブ化すると、毎日または毎週定期的に、オブジェクトの属性、設定の詳細などに関するリストレポートをお客様のバケットに出力することができます。リストに関するその他の詳細については、リスト機能の概要をご参照ください。次に、バケットリスト機能をアクティブ化する方法について詳しくご説明します。タイミングリストとリアルタイムリストをサポートしており、お客様は必要に応じて選択できます。

注意：

- ユーザーは1つのバケットに複数のリストタスクを設定することができます。
- リストタスクは、オブジェクトの内容を直接読み取るのではなく、オブジェクトのメタデータなどのプロパティ情報をスキャンするだけです。
- リスト機能は現在、Financial Cloud リージョンをサポートしていません。

前提条件

バケットを作成します。詳細については、バケットの作成のドキュメントをご参照ください。

操作手順

タイミングリストの追加

1. COSコンソールにログインします。
2. 左側ナビゲーションバーで、**バケットリスト**をクリックします。
3. リスト機能をアクティブ化したいバケット（ソースバケット）をクリックして進みます。
4. 左側ナビゲーションバーで、**基本設定>リストの設定**を選択し、**リストの追加**をクリックします。
5. 設定ページでは、以下の設定を行うことができます。

- 基本情報
  - ***ルールステータス***：現在のリストルールを有効にするかどうかです。リストの有効/無効を選択できます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

- **リスト名**：リスト名を入力します。
- **ターゲットバケット**：リストをストレージするバケットのことです。最初のデフォルトのターゲットバケットはソースバケットです。ターゲットバケットは、ソースバケットと同じリージョンにある必要があります。
- **リストレポートプレフィックス（オプション）**：ターゲットバケット用に選択したプレフィックスを入力すると、パブリックロケーションのリストファイルをグループ化できます。初期値はデフォルト値です。

- フィルタリング条件
  - **ファイル範囲**：インベントリ オブジェクトのスコープを選択します。バケット全体または同じプレフィックスを持ついくつかのファイルを選択できます。 たとえば、バケット内のフォルダー パスの下の doc パスにあるすべてのファイルを選択するには、ファイルのプレフィックスを `folder/doc` として指定します。
  - **オブジェクトバージョン**：リストにオブジェクトのすべてのバージョンを含めるか、現在のバージョンのみを含めるかを選択します。選択しない場合、デフォルトで現在のバージョンのみが保持されます。
  - **フィルタリングタグ（オプション）**：フィルタリングにより、タグが同じオブジェクトをリストに入れます。入力されていない場合、デフォルトではフィルタリングは行われません。
  - **フィルタリング時間（オプション）**：フィルタリングにより、変更時刻が特定の時点以降または特定の時間帯のオブジェクトをリストに入れます。設定されていない場合、デフォルトではフィルタリングは行われません。
  - **出力カスタム ヘッダー (オプション)**: インベントリ レポート内のオブジェクトのカスタム ヘッダーを含める必要がある場合は、出力するカスタム ヘッダーを入力できます。x-cos-meta-* ヘッダーのみがサポートされます。 。 入力しない場合、デフォルトではカスタム ヘッダーは出力されません。
  - **リスト情報**：リストレポートに含める必要のあるオブジェクトに対応する情報を選択します。選択可能な項目には、オブジェクトサイズ、ストレージクラス、ETag、バケットコピーのステータス、マルチパートアップロードのステータス、最新の更新日、タグ、CRC64があります。選択されていない場合、デフォルトですべてが選択されます。

説明：

- ETag（エンティティタグ）とはオブジェクトのハッシュです。ETag はオブジェクトの内容への変更のみを反映し、メタデータへの変更は反映しません。ETagは、必ずしもオブジェクトデータのMD5ダイジェストではなく、オブジェクトの作成方法と暗号化方法によって決まります。
- 発行されるリストの内容にはデフォルトでAppid、Bucket、Key、LastModifiedTimeフィールドが含まれます。
- バケットでバージョン管理を有効化している場合は、発行されるリストの内容にVersionId、IsLatest、IsDeleteMarkerフィールドが追加されます。

- 出力形式
  - **出力形式**：リストファイルの出力形式は、GZIPを使用して圧縮したCSVファイルです。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

- **発行サイクル**：リストを毎日/毎週発行するかを選択します。デフォルトでは毎日発行します。例えば、当日の15時にリストを追加した場合、通常は遅くとも翌日の6時にはリストファイルが発行されてターゲットバケットに配信されます。毎週発行を選択した場合は7日間周期でリストが発行されます。例えば9月1日にリストを有効化した場合、9月2日、9月9日、9月16日.....のように、7日間周期でリストが発行されます。
- **リスト暗号化**：リストにサーバー側の暗号化が必要かどうかを選択します。次のいずれかを選択できます。
  - 暗号化なし：リストの暗号化を行いません。これはデフォルト項目です。
  - SSE-COS：COSホストキーのサーバー側の暗号化を使用してレポートを暗号化します。詳細については、COS開発者ガイドのSSE-COS暗号化をご参照ください。
- **アクセス承認**：デフォルトでは無効になっています。アクセス承認が有効になると、次のステップの操作に進むことができます。

- 情報の確認
  バケットのリスト設定情報を確認します。変更したい場合は、**前へ戻る**をクリックします。

6. 設定情報が正しいことを確認したら、**OK**をクリックすれば完了です。それ以降、COSは毎日または毎週、リストファイルを自動発行し、設定したターゲットバケットに配信します。

> 説明：
> リスト機能によって発行されるリストレポートの形式と内容の詳細については、リスト機能の概要をご参照ください。

リアルタイムリストの発行

1. COSコンソールにログインします。
2. 左側ナビゲーションバーで**バケットリスト**をクリックし、リスト機能をアクティブ化したいバケット（ソースバケット）をクリックして進みます。
3. 左側の**基本設定>リストの設定**をクリックし、リストルールを選択します。右側の**リアルタイム発行リスト**をクリックすると、リアルタイムリストが発行されます。

> 説明：
> - リアルタイムリストを発行するには、既存のリストの操作列で、**リアルタイム発行リスト**をクリックすれば完了です。
> - リストを設定していない場合は、まずリストを設定してからリアルタイムリストを発行してください。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

ドメイン名管理
ドメイン名管理の概要

最終更新日：：2023-01-29 14:28:24

概要

バケットにファイルをアップロードすると、Cloud Object Storage(COS)は自動的にファイルへのリンク（ファイルのURL）を生成し、ファイルのURL（つまりCOSのデフォルトドメイン名）から直接このファイルにアクセスできるようになります。CDNや独自ドメイン名でCOS上のファイルにアクセスしたい場合は、CDNドメイン名や独自ドメイン名を、ファイルが配置されているバケットにバインドする必要があります。

実際の必要性に応じて、対応するドメイン名を使用してファイルにアクセスすることができます。例えば、CDNアクセラレーションによってファイルにアクセスしたい場合、CDNアクセラレーションドメイン名が発行するファイルへのリンクにアクセスする必要があります。

設定の説明

ユーザーは以下のドメイン名を管理することで、バケット内のオブジェクトの高速ダウンロードと配布を可能にします。

- デフォルトドメイン名：COSオリジンサーバーのドメイン名であり、バケットの作成時に、システムがバケット名およびリージョンに基づいて自動的に生成するものです。
- カスタムCDNアクセラレーションドメイン名：ユーザーはバケットを使用する際、登録済みのカスタムドメイン名をTencent Cloudの国内CDNアクセラレーションプラットフォームにバインドすることで、カスタムドメイン名によってバケット内のオブジェクトにアクセスすることが可能になります。（以前に旧バージョンのCOSコンソールで「カスタムドメイン名」を使用したことがある場合は、新バージョンのコンソールで「カスタムCDNアクセラレーションドメイン名」とは表示されず、「カスタムドメイン名」のままとなります）
- カスタムオリジンサーバードメイン名：ユーザーは登録済みのカスタムドメイン名を現在のバケットにバインドすることで、カスタムドメイン名によってバケット内のオブジェクトにアクセスすることが可能になります。

> 注意：
> 現在COSでカスタムドメイン名を使用している場合は、CDNアクセラレーションドメイン名を有効にする必要があります。ご自身の状況に応じて判断してください。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

- ドメイン名で国内のCDNにアクセスするには、ICP登録が必要です。ただしICP登録はTencent Cloudを通じて行わなくてもよく、アクセスするドメイン名が確実にICP登録されていればアクセスできます。
- ドメイン名で海外のCDNにアクセスする場合は、ICP登録の必要はありません。ただし、Tencent Cloud上で保存するデータおよび操作行為については、関係国の法律法令、ならびに『Tencent Cloudサービス契約』を遵守する必要があることに必ずご注意ください。

カスタムCDNアクセラレーションドメイン名に対してCDNアクセラレーションが有効になっており、オリジンサーバーがパブリック読み取りバケットの場合、システムはデフォルトで、ユーザーがカスタムCDNアクセラレーションドメイン名によってオリジンサーバー内のオブジェクトに直接アクセスできるようにします。オリジンサーバーがプライベート読み取りバケットの場合は、CDN back-to-origin認証とCDN認証の設定という2つのオプションを有効にすることをお勧めします。

- back-to-origin認証（CDNサービス承認が追加されていることを前提とします）：ユーザーのリクエストしたデータがエッジノードでキャッシュにヒットしなかった場合、CDNはback-to-originを行ってデータ内容を取得する必要があります。COSをオリジンサーバーとして使用し、back-to-origin認証を有効にすると、CDNエッジノードは特殊なサービスID（CDNサービスによって承認され、取得する必要があるアイデンティティ）を使用してCOSオリジンサーバーにアクセスし、プライベートアクセスバケット内のデータの取得とキャッシュを実現することができます。
- CDN認証設定：ユーザーがエッジノードにアクセスしてキャッシュデータを取得する際、エッジノードは認証設定ルールに基づいて、URLアクセスにおけるID認証フィールドを検証することで、権限のないアクセスを防止し、リンク不正アクセス防止を実現し、エッジノードのキャッシュデータの安全性と信頼性を高めます。

CDN認証設定とCDN back-to-origin認証の使用は競合しませんが、2つの設定ステータスによってデータ保護効果は下表のように異なります。

バケットへのアクセス権限	CDN back-to-origin認証を有効にしているか	CDN認証設定を有効にしているか	CDNアクセラレーションドメインオリジンサーバーにアクセス可能
パブリック読み取り	無効	無効	アクセス可
パブリック読み取り	有効	無効	アクセス可

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

バケットへのアクセス権限	CDN back-to-origin認証を有効にしているか	CDN認証設定を有効にしているか	CDNアクセラレーションドメインオリジンサーバーにアクセス可能
パブリック読み取り	無効	有効	URLを使用した認証が必要
パブリック読み取り	有効	有効	URLを使用した認証が必要
プライベート読み取り+CDNサービス権限承認	有効	有効	URLを使用した認証が必要
プライベート読み取り+CDNサービス権限承認	無効	有効	URLを使用した認証が必要
プライベート読み取り+CDNサービス権限承認	有効	無効	アクセス可
プライベート読み取り+CDNサービス権限承認	無効	無効	アクセス不可
プライベート読み取り	無効	有効または無効	アクセス不可

注意：

- 上記リストの最初の行を例に取ると、オリジンサーバーバケットのアクセス権限がパブリック読み取りであり、CDN back-to-origin認証もCDN認証設定も有効にしていない場合、CDNドメイン名でCDNエッジノードとオリジンサーバーバケットに、COSドメイン名でオリジンサーバーバケットに直接アクセスすることができます。
- 上記の表中の**オリジンサーバー保護**のケースでは、CDN認証設定を有効にしていない場合、CDNエッジノードにキャッシュしたデータが悪意をもってプルされるおそれがあるため、同時にCDN認証設定を有効にすることでデータの安全性を保障するよう、強く推奨します。
- ユーザーがカスタムドメイン名でCDNアクセラレーションを有効化すると、このドメイン名によって誰でもオリジンサーバーに直接アクセスできるようになります。従って、データに一定のプライバシーが存在する場合は、必ず**認証設定**からオリジンサーバーデータを保護してください。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

関連する操作

- カスタムCDNアクセラレーションドメイン名の有効化
- カスタムオリジンサーバードメイン名の有効化
- サブアカウントにバケットのアクセラレーションドメイン名を設定する権限を付与
- カスタムドメイン名の設定によるHTTPSアクセスのサポート

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

カスタムCDNアクセラレーションドメイン名をオンにする

最終更新日：：2023-03-14 15:09:52

概要

ここでは、Cloud Object Storage（COS）コンソールにカスタムアクセラレーションドメイン名を追加し、CDNアクセラレーションを有効にすることについてのみご説明します。CDNコンソールからカスタムドメイン名を追加したい場合は、CDNのドメイン名へのアクセスのドキュメントをご参照ください。

操作手順

1. COSコンソールにログインします。左側ナビゲーションバーの**バケットリスト**をクリックし、バケットリストページに進みます。
2. ドメイン名を設定する必要があるバケットをクリックし、バケット設定ページに進みます。
3. 左側の**ドメイン名と伝送管理>カスタムCDNアクセラレーションドメイン名**の設定項目をクリックし、**ドメイン名の追加**をクリックして、以下のオプションを設定します。

> 説明：
> 以前に旧バージョンのCOSコンソールで「カスタムドメイン名」を使用したことがある場合は、新バージョンのコンソールで「カスタムCDNアクセラレーションドメイン名」とは表示されず、「カスタムドメイン名」のままとなります。

- **ドメイン名**：バインド対象のカスタムドメイン名（例えば `www.example.com` ）を入力します。入力するドメイン名はICP登録済みであること、およびDNSサービスプロバイダが対応するCNAMEを設定していることが必要です。詳細については、CNAME設定をご参照ください。アクセスするカスタムCDNアクセラレーションドメイン名が次に該当する場合は、ドメイン名所有権の検証を行う必要があります。詳細については、ドメイン名所有権の検証のドキュメントをご確認ください。
  - このドメイン名を初めて接続する
  - このドメイン名が他のユーザーによって接続されている
  - 接続するドメイン名が汎用ドメイン名である
- **アクセラレーションリージョン**：中国本土、中国本土以外およびグローバルアクセラレーションをサポートしています。グローバルアクセラレーションとは、すべてのリージョン間でのバケットアクセラレーションをサ

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

ポートすることを指します。

- **オリジンサーバータイプ**：デフォルトのオリジンサーバーと静的ウェブサイトという2タイプがあります。バケットで静的ウェブサイト機能が有効になっている場合は静的ウェブサイトのオリジンサーバーになり、そうでない場合はデフォルトのオリジンサーバーになります。カスタムCDNアクセラレーションドメイン名を静的ウェブサイトとして使用する必要がある場合は、静的ウェブサイトのオリジンサーバーを使用し、バケットの静的ウェブサイト機能を有効にしてください。
- **認証**：back-to-origin認証をオンにします。プライベート読み取りバケットに対しては、**back-to-origin認証**を有効化してオリジンサーバーを保護してください。

> 注意：
> プライベート読み取りバケットに対して、back-to-origin認証とCDNサービス権限承認を同時に有効化すると、CDNがオリジンサーバーへアクセスする際に署名を必要としないため、CDNキャッシュリソースがパブリックネットワーク配信を行い、データセキュリティに影響を与えます。CDN認証を有効化することをお勧めします。手順5に従って操作してください。

- **CDNキャッシュの自動更新**：有効化すると、COSバケットのファイル更新ルールをトリガーした際にCDNキャッシュを自動更新します。COSの関数の計算で設定できます。操作ガイドはCDNキャッシュ更新の設定をご参照ください。
- **HTTPS証明書**：カスタムCDNアクセラレーションドメイン名に HTTPS証明書を追加する必要がある場合は、CDNコンソールで設定できます。

4. 設定が完了したら、右側アクションバーで**保存**をクリックしてドメイン名を追加します。保存後、**認証**バーにCDN認証機能スイッチが表示され、カスタムドメイン名のCDN認証を有効化できるようになります。

CDN認証：タイムスタンプ認証設定を有効化すると、ユーザーコンテンツの悪質な盗難を防止できます。ドメイン名追加完了後に設定する必要があります。

> 注意：
> ユーザーがカスタムドメイン名でCDNアクセラレーションを有効化すると、このドメイン名によって誰でもオリジンサーバーに直接アクセスできるようになります。従って、データに一定のプライバシーが存在する場合は、必ず**認証設定**からオリジンサーバーデータを保護してください。
> 5. CDNコンソールにログインし、左側ナビゲーションバーで**ドメイン名管理**をクリックします。
> 6. 設定が必要なドメイン名を見つけ、その右側のアクションバーにある**管理**をクリックし、ドメイン名管理ページに進んでから、**アクセス制御>認証設定**をクリックします。具体的な設定手順については、設定の説明のドキュメントの認証設定の箇所をご参照ください。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

カスタムオリジンサーバードメイン名の有効化

最終更新日：：2023-01-29 14:28:24

概要

ここでは、カスタムドメイン名をバケットにバインドする方法についてご説明します。このカスタムドメイン名で、バケット内のファイルにアクセスできるようになります。

> 説明：
> COSコンソールから追加できるカスタムドメイン名の上限は20個です。カスタムドメイン名の上限を増やしたい場合は、お問い合わせください。

操作手順

1. COSコンソールにログインします。
2. 左側ナビゲーションバーで**バケットリスト**をクリックし、バケットリストページに進みます。
3. ドメイン名を設定する必要があるバケットをクリックし、バケット設定ページに進みます。
4. 左側ナビゲーションバーで**ドメイン名と伝送管理>カスタムオリジンサーバードメイン名**を選択し、**ドメイン名の追加**をクリックし、次のオプション項目を設定します。

- **ドメイン名**：バインド対象のカスタムドメイン名（例えば `www.example.com` ）を入力します。入力するドメイン名はICP登録済みかつドメイン名サービスコンソールに追加して解決済みであり、なおかつDNSサービスプロバイダで対応するCNAMEを設定済みであることが必要です。詳細については、CNAME設定をご参照ください。アクセスするカスタムCDNアクセラレーションドメイン名が次に該当する場合は、ドメイン名所有権の検証を行う必要があります。詳細については、ドメイン名所有権の検証のドキュメントをご確認ください。
  - このドメイン名を初めて接続する
  - このドメイン名が他のユーザーによって接続されている
  - 接続するドメイン名が汎用ドメイン名である
- **オリジンサーバータイプ**：デフォルトのオリジンサーバーと静的ウェブサイトのオリジンサーバーの2タイプがあります。バケットで静的ウェブサイト機能が有効になっている場合は静的ウェブサイトのオリジンサーバーになり、そうでない場合はデフォルトのオリジンサーバーになります。カスタムドメイン名を静的ウェブサイ

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

トとして使用する必要がある場合は、静的ウェブサイトのオリジンサーバーを使用し、バケットの静的ウェブサイト機能を有効にしてください。

- **HTTPS証明書**：ドメイン名を保存すると、証明書のバインドを選択できます。証明書のインストール方法に関しては、証明書のインストールをご参照ください。

> 説明：
>
> - COSの中国国内のパブリッククラウドリージョン、シンガポールリージョンではカスタムオリジンサーバードメイン名のHTTPS証明書のホストをサポートしています。ドメイン名にまだHTTPS証明書がない場合は、Tencent Cloud証明書の申請をクリックしてください。
> - その他の中国本土以外のリージョンでは、現在はHTTPS証明書のホストをサポートしていません。HTTPS証明書を使用する必要がある場合は、方法2をご参照ください。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

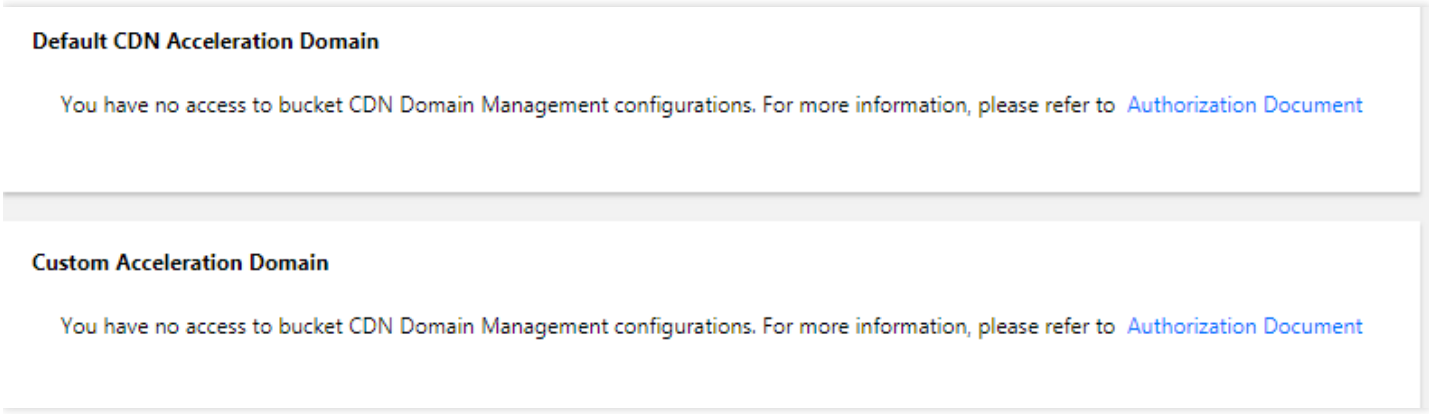
サブアカウントにバケットのアクセラレーションドメイン名を設定する権限を付与

最終更新日：：2022-10-31 15:23:52

概要

Cloud Object Storage（COS）バケットのドメイン名管理設定ページには、デフォルトのアクセラレーションドメイン名、カスタムCDNアクセラレーションドメイン名、カスタムオリジンサーバードメイン名という3つの機能の設定があります。そのうちデフォルトのアクセラレーションドメイン名とカスタムCDNアクセラレーションドメイン名の設定は、CDNサービスに論理的にバインドされています。従って、サブアカウントがCOSバケットのデフォルトアクセラレーションドメイン名とCDNアクセラレーションドメイン名を設定する必要がある場合、COSサービスの管理権限（バケットの基本設定権限など）だけでなく、**CDNサービス**の追加設定に関する権限も付与する必要があります。

リソースセキュリティ管理のため、**サブアカウント**にCDNサービスに関する権限を付与していない場合、**サブアカウント**は、デフォルトではCOSバケットのデフォルトアクセラレーションドメイン名およびCDNアクセラレーションドメイン名を設定する権限を持たなくなります。そのため、権限を付与していない場合には、サブアカウントがCOSコンソールのドメイン名管理設定ページにログインすると、下図のように、アクセス権限がない旨のメッセージが表示されます。



サブアカウントでCOSバケットのデフォルトアクセラレーションドメイン名とCDNアクセラレーションドメイン名を通常どおり設定できるようにしたい場合は、CAMコンソールでサブアカウントへの権限承認をする必要があります。詳細な手順は次のとおりです。

操作手順

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

1. CAMコンソールにログインし、ポリシー管理ページに進みます。

2. **カスタムポリシーの新規作成>製品機能またはプロジェクトによる権限の作成**をクリックし、サービスタイプ設定ページに進みます。

> 説明：
> 権限の設定は、デフォルトでは**ルートアカウント**で行います。お客様がサブアカウントであり、サブアカウントで権限承認を行いたい場合は、ルートアカウントがお客様に対し権限の設定を行う権限を承認していることを確認してください。ここでルートアカウントから付与される必要のある関連ユーザーポリシーは、QcloudCamFullAccessです。

3. ポリシー名（例：COS_DomainAccess）を入力し、サービスタイプとして**CDN**を選択し、**次のステップ**をクリックします。

4. 業務上の必要性に応じて、ユーザーに必要な機能インターフェースの権限を承認します。
サブアカウントがCOSバケットのデフォルトのアクセラレーションドメイン名とCDNアクセラレーションドメイン名にアクセスし、これらを設定する動作には、**ドメイン名情報の照会、ドメイン名の追加、ドメイン名のオンライン/オフライン、ドメイン名の削除、ドメイン名設定の変更**の5つの機能が含まれます。サブアカウントがバケットのドメイン名設定ページで、すべてのアクセラレーションドメイン名とカスタムアクセラレーションドメイン名に関連する設定を**完全に読み取り/書き込み**できるようにしたい場合は、上記のすべての機能を有効にしてください。

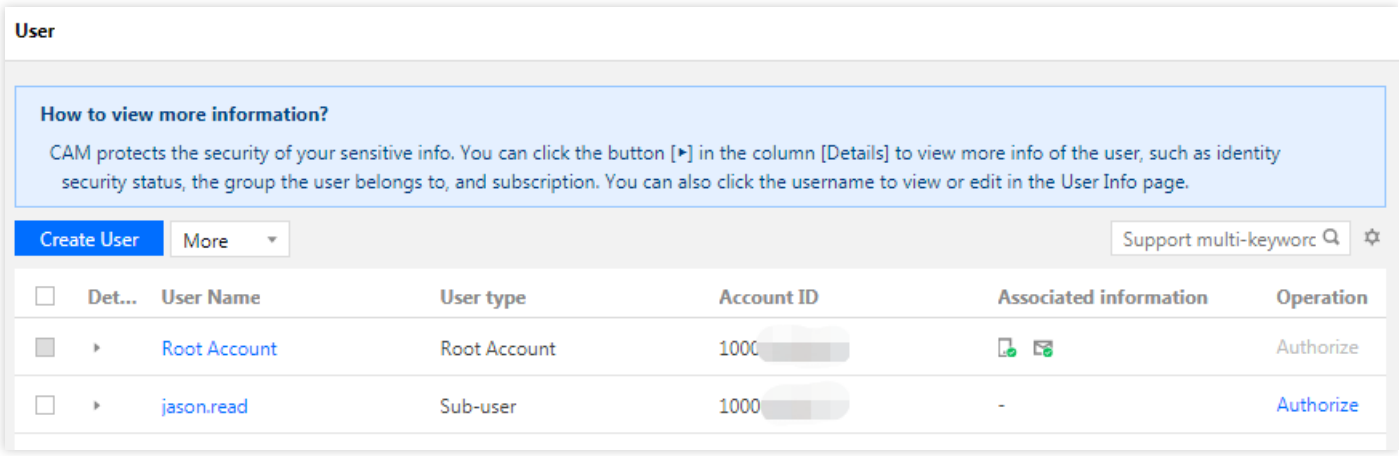
5. 対応する機能を選択した後、**次のステップ**をクリックしてオブジェクトのバインドを開始します。

6. お客様の機能にオブジェクトを順番にバインドします。**オブジェクトのバインド>すべてのオブジェクト（今後購入する新しいリソースオブジェクトを含む）**を選択します。ここでは、ポリシー設定が完全に有効になるように、**必ず**すべてのオブジェクト（今後購入する新しいリソースオブジェクトを含む）**を選択する必要があります。

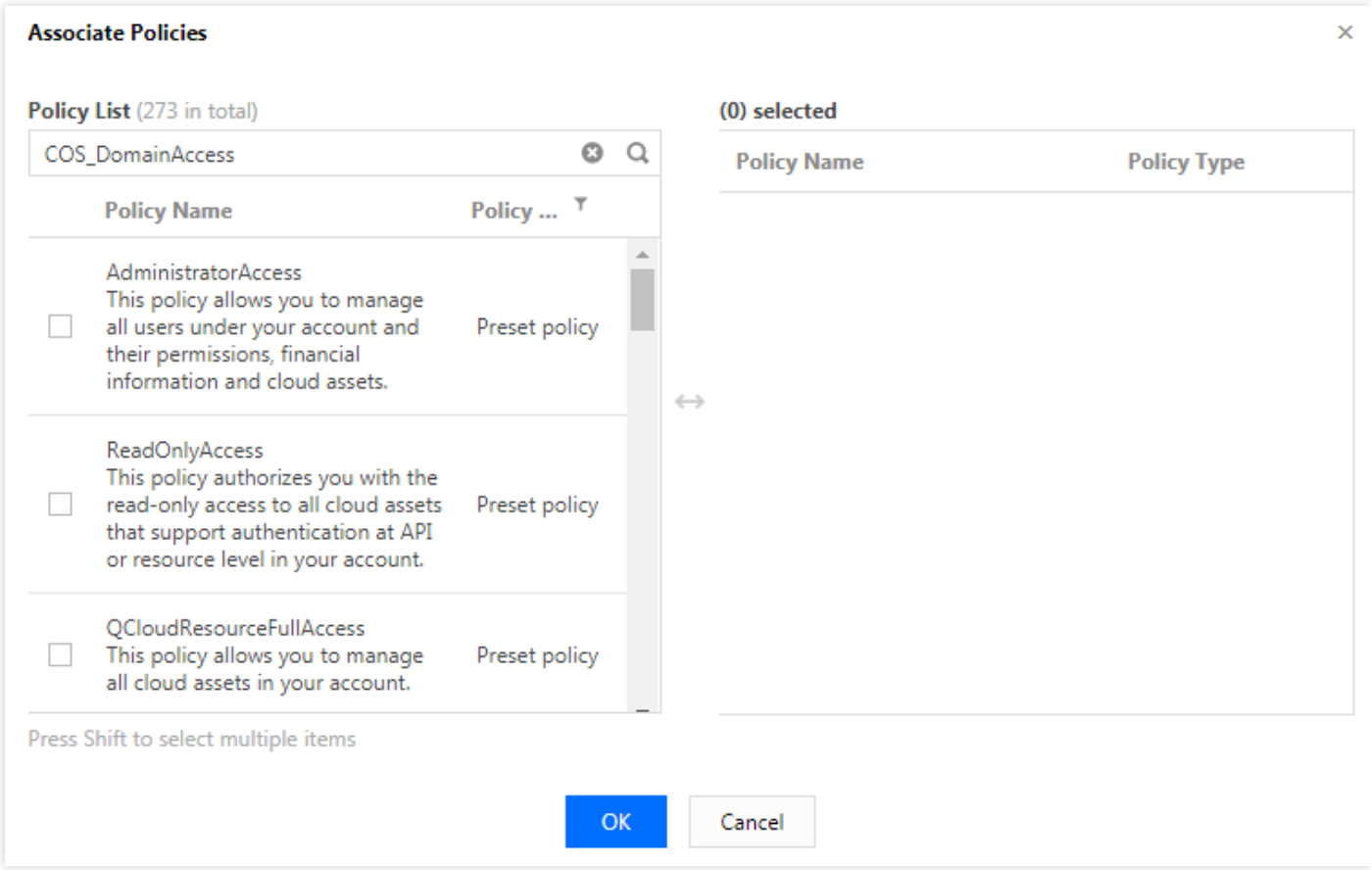
7. 権限設定情報に誤りがないことを確認し、**完了**をクリックすると、カスタムポリシーの作成が完了します。

8. カスタムポリシーの作成が完了したら、ユーザーリストナビゲーションバーに切り替えます。右側の**承認**をクリックして、サブユーザーを作成したカスタムポリシーにバインドします。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



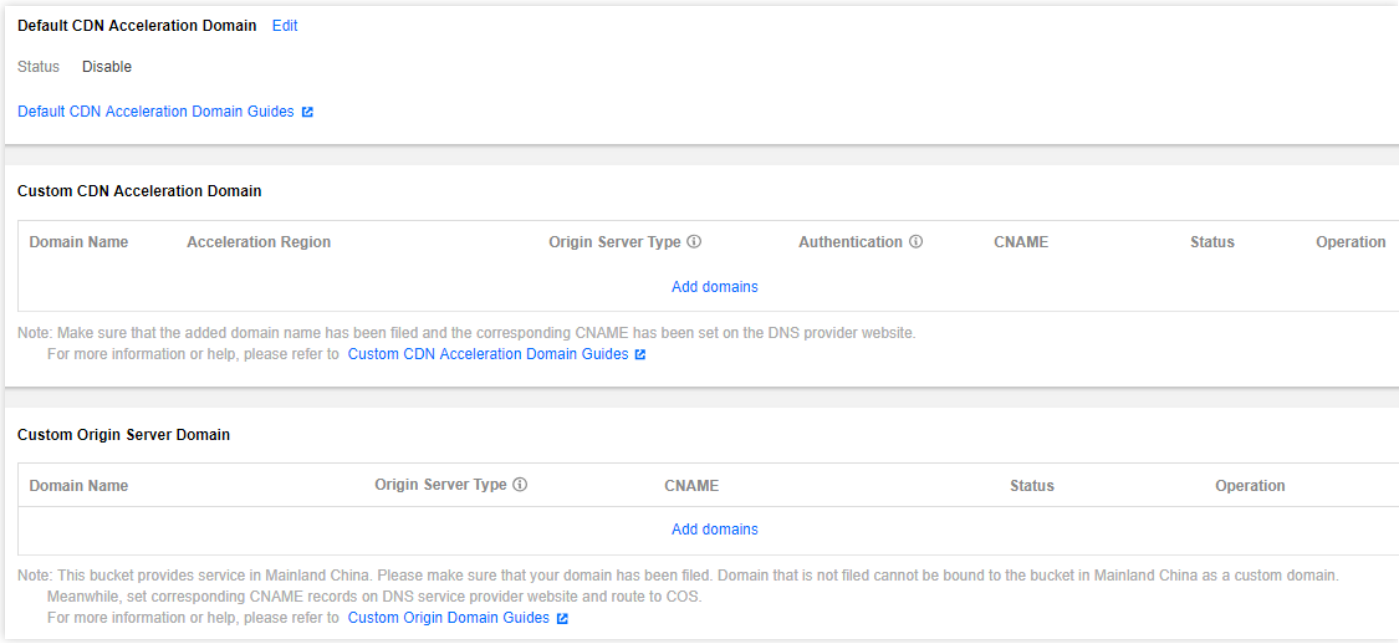
9. **ポリシーのバインド**のポップアップウィンドウで、先ほど作成したカスタムポリシーを検索してチェックを入れ、**OK**をクリックすれば完了です。



0. ポリシーのバインドが完了すると、このサブユーザーの承認プロセスが完了します。このサブユーザーを使用してCOSコンソールにログインすると、下図のように、COSバケットのデフォルトのアクセラレーションドメ

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

イン名とCDNアクセラレーションドメイン名に通常どおりアクセスし、設定することができます。



©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

バケットタグの設定

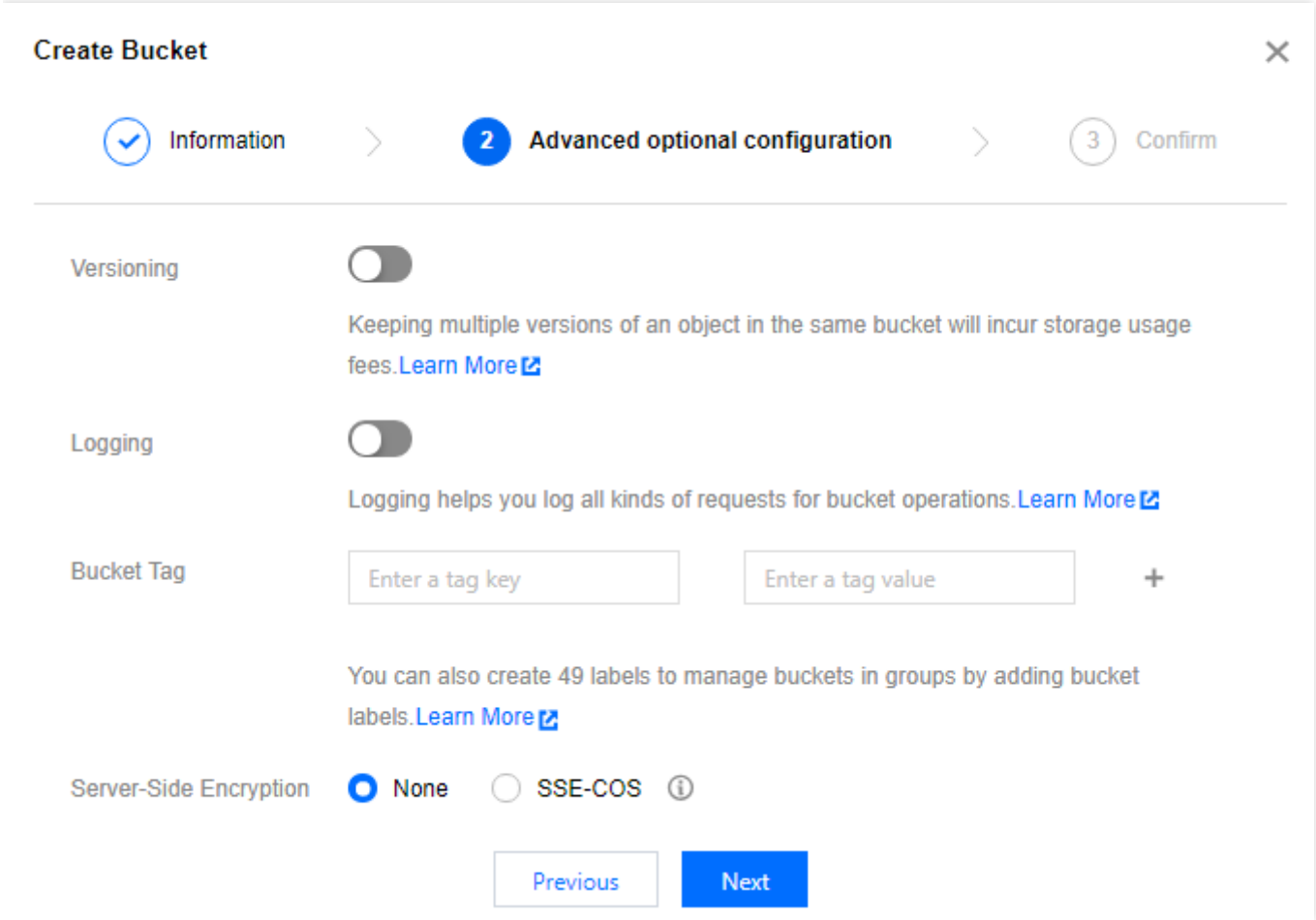
最終更新日：：2023-01-29 14:28:24

概要

バケットタグは1つのキーバリューペア（key = value）であり、タグのキー（key）とタグの値（value）を「=」でつないだ構成となっています（例：group = IT）。バケットを管理する標識として、ユーザーがバケットのグループ化管理を行う際に便利に使用できます。コンソールにより、指定したバケットに対しタグの設定、照会および削除操作を行うことができます。

バケット新規作成時のタグの追加

バケットの作成時にバケットタグを追加することができます。下図のとおりです。

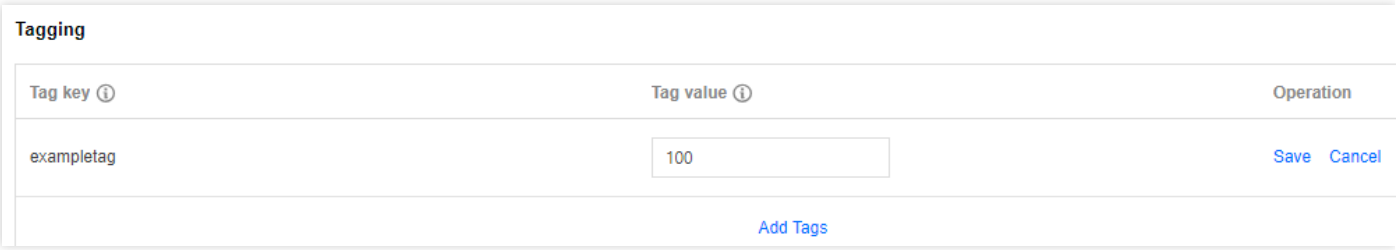


©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

作成済みバケットでのタグの追加

バケットの作成時にタグを追加しなかった場合、以下の手順でバケットにタグを追加することができます。

1. バケットリストページでタグを追加したいバケットを見つけ、その名前をクリックし、バケットの設定ページに進みます。
2. 左側の**基本設定**をクリックし、ページを下にスクロールして**タグ管理**の設定項目を見つけ、**タグの追加**をクリックします。



設定項目の説明は次のとおりです。

- タグキー：大文字と小文字を区別します。 `中国語、a～z、A～Z、0～9、+、-、_、=、/、.、:、@` などの文字をサポートしています。
- タグ値：大文字と小文字を区別します。 `中国語、a～z、A～Z、0～9、+、-、_、=、/、.、:、@` などの文字をサポートしています。

> 注意：
>
> - 同じバケット内のタグ数は最大50個までです。タグキーは重複できません。
> - タグキーとタグ値には、 `qcs:` 、 `project` 、 `プロジェクト` 予約フィールドを使用できません。その他の制限については、バケットタグの概要をご参照ください。

3. タグキーとタグ値を入力し、**保存**をクリックするとタグが追加されます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

ログ検索の設定

最終更新日：：2024-04-07 17:23:06

概要

ログ検索は、リアルタイムログ機能とも呼ばれています。Cloud Object Storage（COS）は、ログ検索機能をサポートしており、ストレージバケットに関連する様々なリクエストログを記録し、ログデータをリアルタイムで検索・分析することができます。COS コンソールで**ストレージバケット**に対してこの機能を素早くオンにすることで、異常イベントや問題の特定などの作業をさらに支援することができます。

注意

COS ストレージバケットに対してリアルタイムログ機能をオンにしたい場合は、まず Cloud Log Service（CLS）をオンにする必要があります。

リアルタイムのログ検索機能を使用すると料金が発生します。この料金は CLS によって課金されます。詳細な課金基準については、CLS 課金概要を参照してください。

現在、COS のログ検索機能がサポートする地域は、北京、広州、上海、成都、南京、重慶、中国香港、シリコンバレー、シンガポール、ムンバイ、フランクフルト、トロント、深セン金融、上海金融を含んでいます。今後、より多くの地域をサポートしていく予定ですので、製品の動向に注目してください。

COS は、ログデータの正確性を100%保証するものではなく、あくまで参考のためのものであり、トラフィック計算や課金の根拠として使用するものではありません。

操作手順

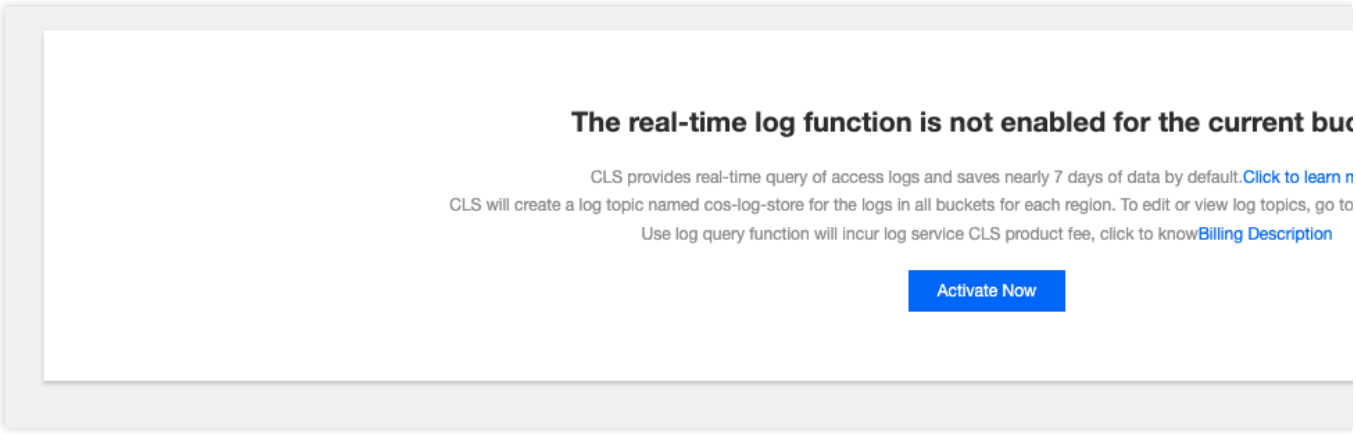
ログ検索をオンにします

1. COS コンソールにログインします。
2. 左側のナビゲーションバーで、**ストレージバケットリスト**をクリックすると、ストレージバケットリストの管理ページに入ります。
3. ログ検索をオンにする必要があるストレージバケットを探し、そのバケット名をクリックすると、そのバケットの管理ページに入ります。
4. 左側のナビゲーションバーで、**ログ管理 > ログ検索**を選択します。
5. **ログ検索**ページで、現在のストレージバケットでリアルタイムログ機能がオンになっていない場合は、**今すぐオンにする**をクリックして使用します。

説明：

正常にオンにすると、このストレージバケットのアクセスログは CLS の同じ地域のログトピックに配信され、ログトピックが cos-log-store となります。初めてオンにするは承認が必要です。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



フィールド統計分析をオンにする

ログ検索は、クエリステートメントを入力することなく、フィールドにより高速な統計分析をサポートします。デフォルトでサポートされているフィールドについてはログフィールドの説明を参照し、詳細についてはクイック分析を参照してください。

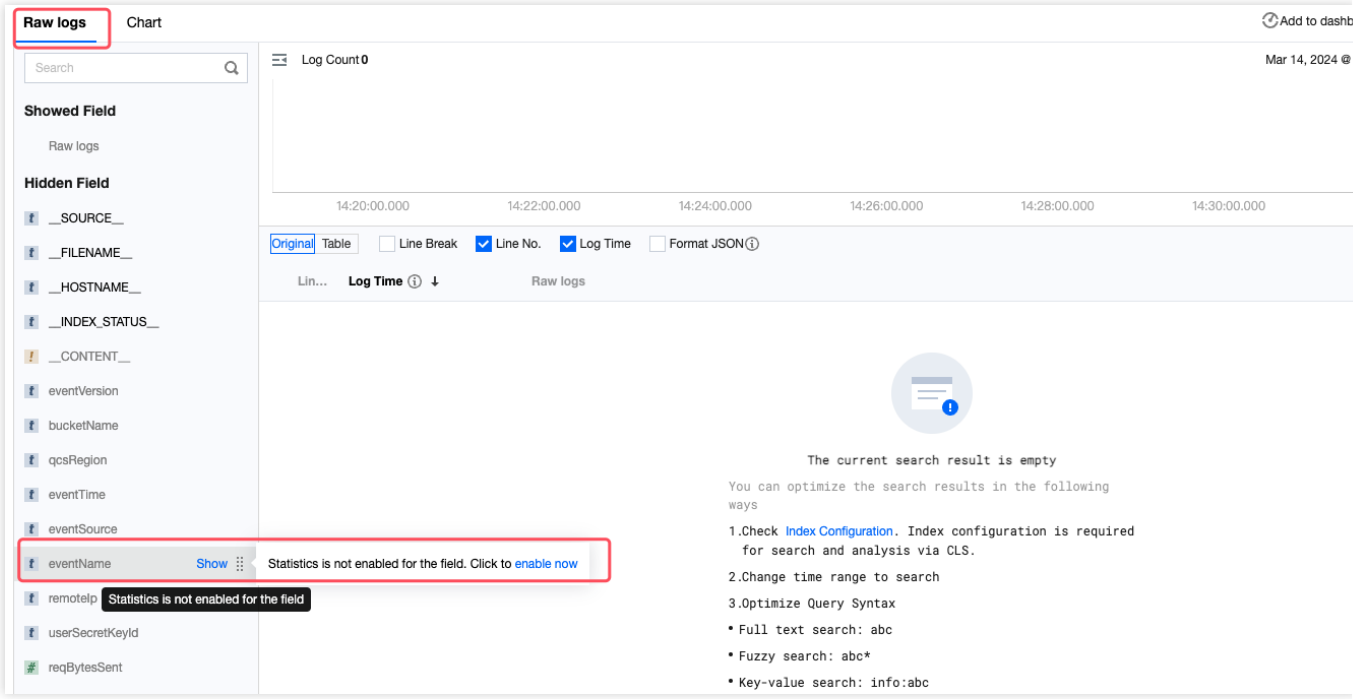
注意：

特定のフィールドによりログを統計分析したい場合は、必ずそのフィールドの統計情報をオンにしてください。次の2つの方法で速やかオンにすることができます。

方法一：オリジナルログページでオンにする

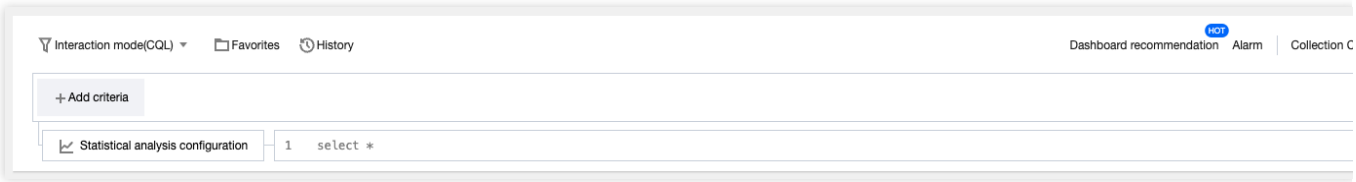
1. **オリジナルログ**ページに入ります。
2. オンにするフィールドを見つけ、**今すぐオンにする**をクリックします。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



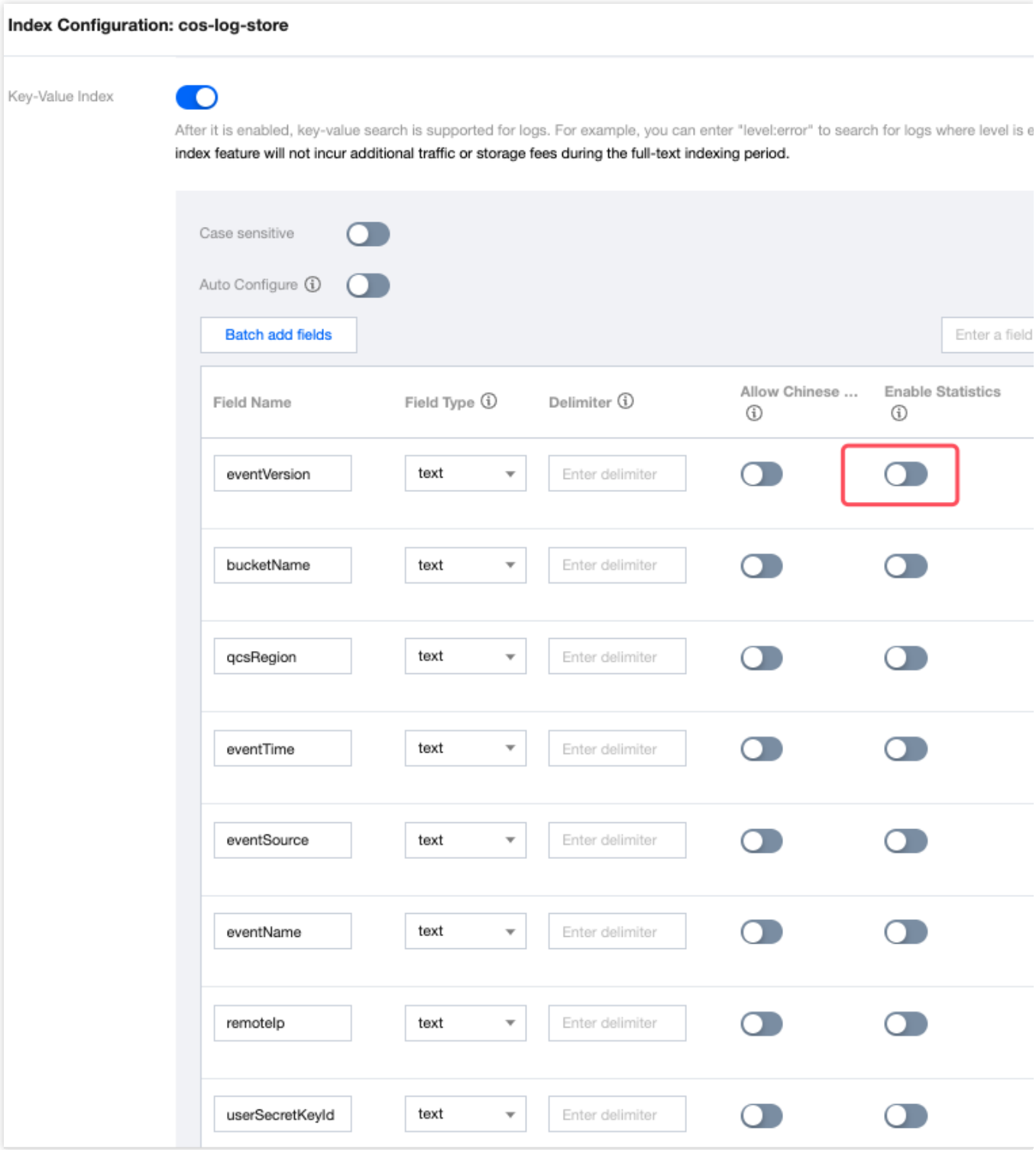
方法二：インデックスコンフィグレーションでオンにする

1. **インデックスコンフィグレーション**をクリックし、インデックスコンフィグレーションページに入ります。



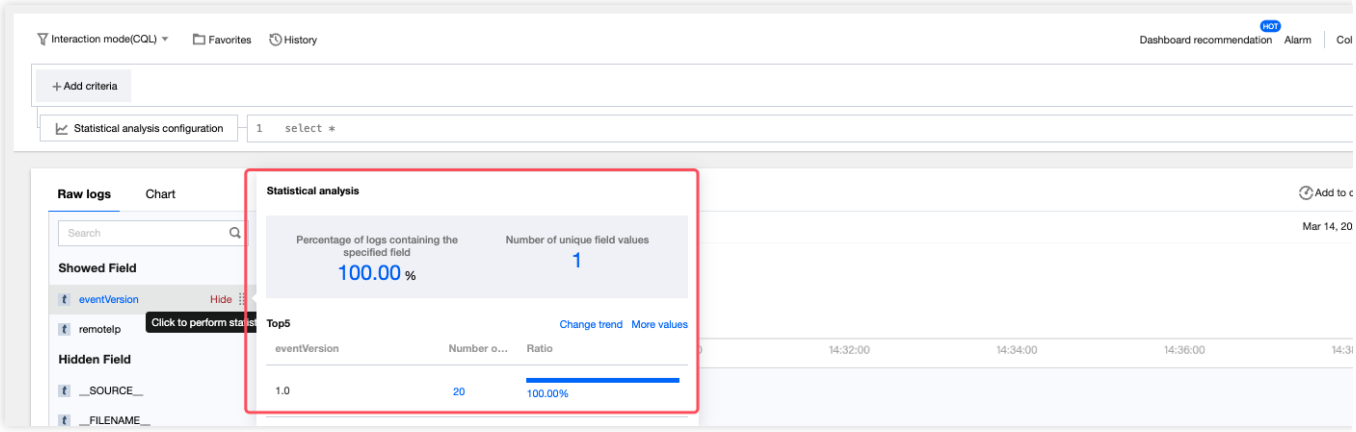
2. インデックスコンフィグレーションページで、右上の**編集**をクリックし、オンにするフィールドを見つけ、スイッチをオンにし、間違いがないことを確認し、**確認**をクリックして保存します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



3. 正常にオンにすると、そのフィールドの統計分析が表示されます。特定の数字をクリックすると、対応する検索分析文とグラフが自動的に生成されます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



検索分析文を入力する

注意：

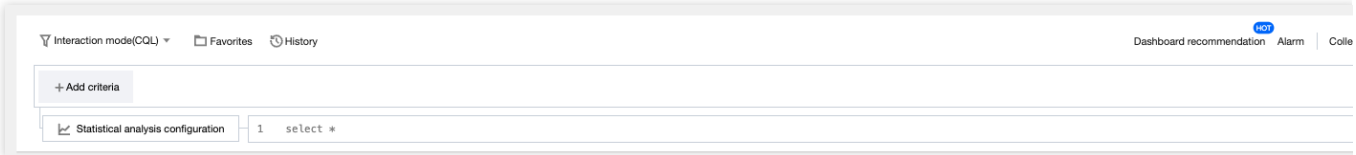
インデックスコンフィグレーションは、CLS を使用して検索・分析を行う**必要条件**であり、インデックスがオンになっている場合のみ、ログの検索と分析が可能です。インデックスコンフィグレーションは複雑ですので、インデックスコンフィグレーションの編集で推奨されるコンフィグレーションを使用することをお勧めします。このコンフィグレーションはほとんどの使用ニーズに対応しています。詳細については、インデックスコンフィグレーションを参照してください。

検索分析文の前提条件と使用紹介は 構文ルールを参照し、ストレージバケットアクセスログの分析方法はCOS アクセスログ分析のベストプラクティスを参照してください。

検索分析文は、**検索条件**と **SQL 文**で構成されており、検索分析文を入力すると、アクセスログを検索し、統計分析します。

検索条件：ログがマッチする必要がある条件を指定し、その条件を満たすログを返します。例えば、 `status:404` 検索レスポンスステータスコードが404のアプリケーションリクエストログを使用します。検索条件が空または `*` の場合は、検索条件がないことを示します。即ち、すべてのログを検索することになります。構文ルールと例の詳細情報については、検索条件の構文を参照してください。

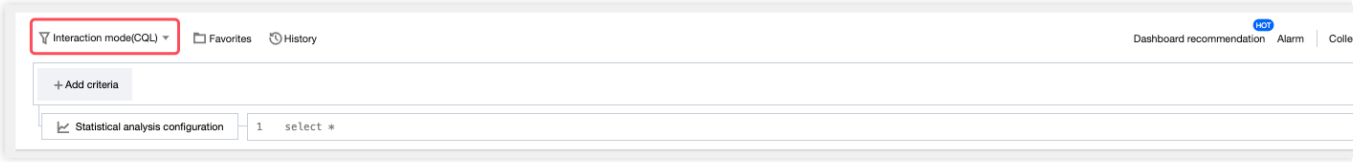
SQL 文：検索条件を満たすログに対して統計分析を実行し、統計分析結果を返します。例えば、 `status:404 | select count(*) as logCounts` 統計レスポンスステータスコードが404のログ数を使用します。構文の使い方と例の詳細情報については、SQL文の構文を参照してください。



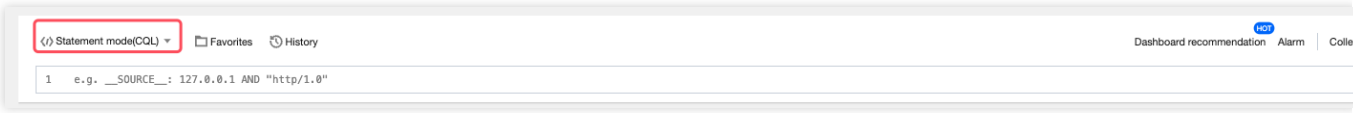
1. **ログ検索**ページで、検索分析文入力モードを選択します。インタラクティブモード、ステートメントモードの2種類がサポートされています。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

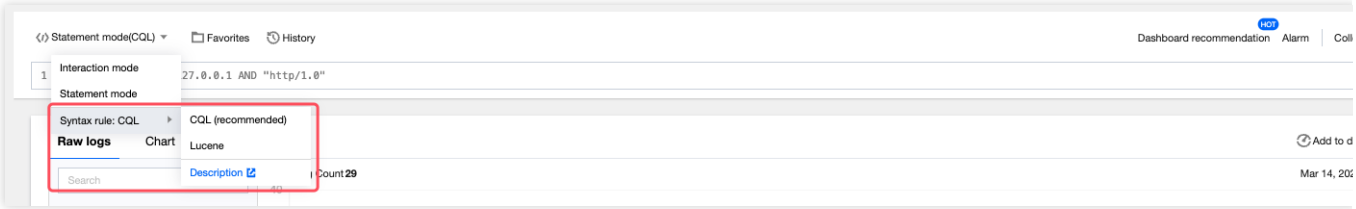
インタラクティブモード：指定された検索条件や統計分析ルールをマウスでクリックすると、検索・解析文が自動生成され、とても使いやすいです。



ステートメントモード：検索分析文を直接入力します。構文ルールに適合し、柔軟性が高い必要があります。



2. 構文ルールを切り替える必要がある場合、ドロップダウンリストをクリックして構文ルールを選択して切り替えることができます。CQL と Lucene がサポートされています。構文ルールと例の詳細情報については、検索条件の構文を参照してください。



3. 検索分析文を入力し、時間範囲を選択し、**検索ボタン**をクリックすると、そのストレージバケットの CLS に報告されたアクセスログが検索されます。

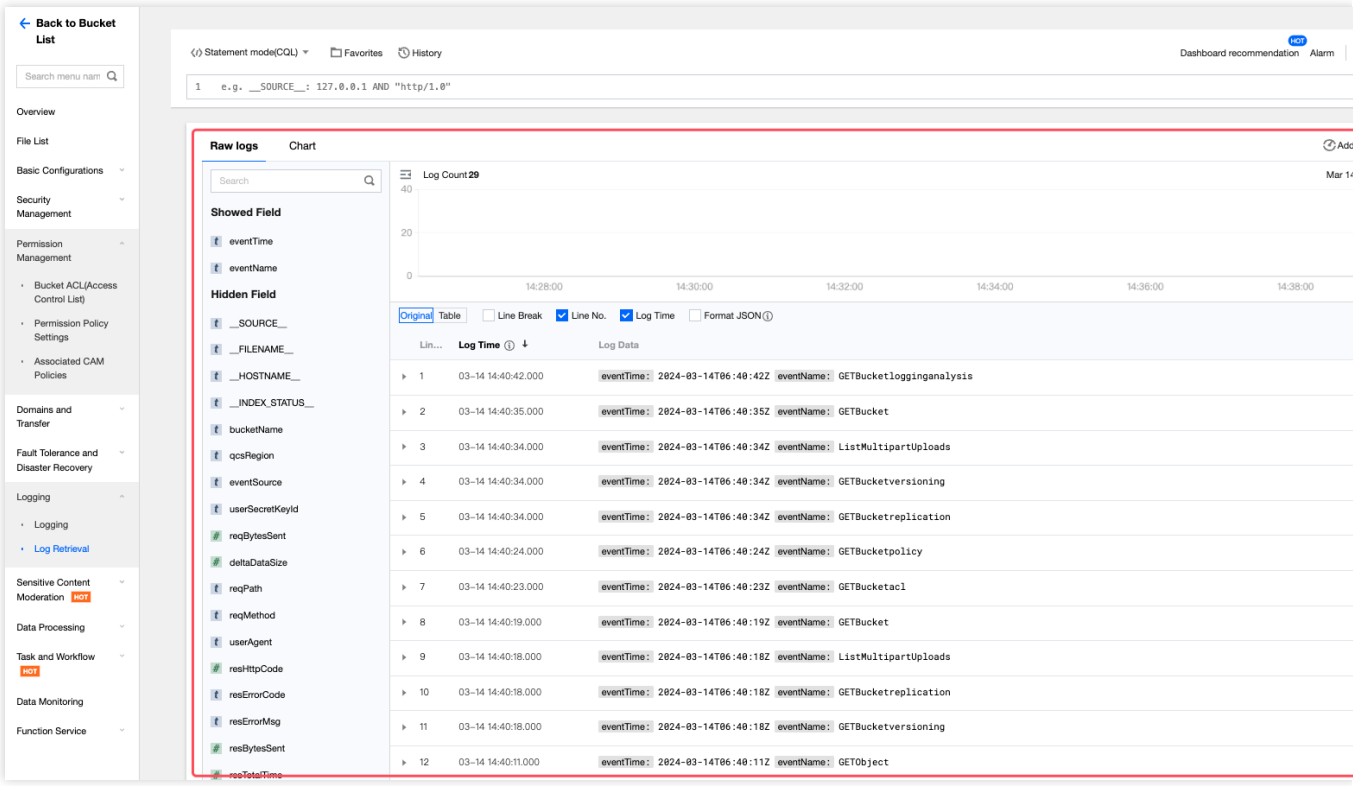
ログ検索結果と統計分析結果の表示

検索に成功すると、ログ検索画面にはアクセスログの検索結果と統計分析結果が表示されます。それぞれ**オリジナルログ**と**統計グラフ**に対応し、素早い切り替えをサポートします。詳細は以下のとおりです。
オリジナルログ：検索分析文が検索条件のみを含む場合は、オリジナルログで検索条件に一致するログを表示することができます。デフォルトでログ時間の逆順に並べ替えられます。
統計グラフ：検索分析文に SQL 文が含まれている場合は、分析結果を統計グラフで表示することができます。また、検索条件に一致したログをオリジナルログで表示することもできますので、統計結果とオリジナルログを比

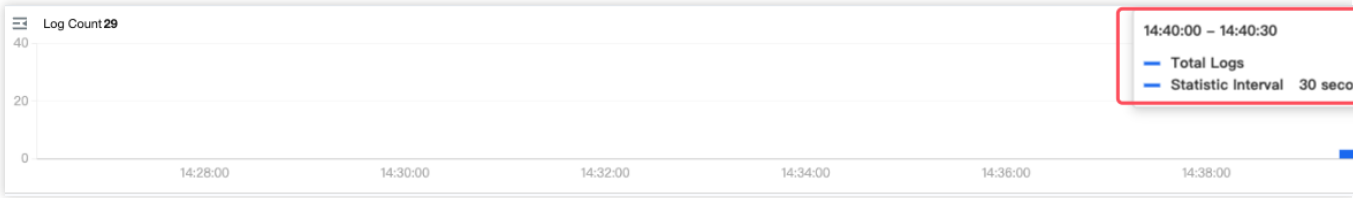
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

較して分析することができます。

オリジナルログ

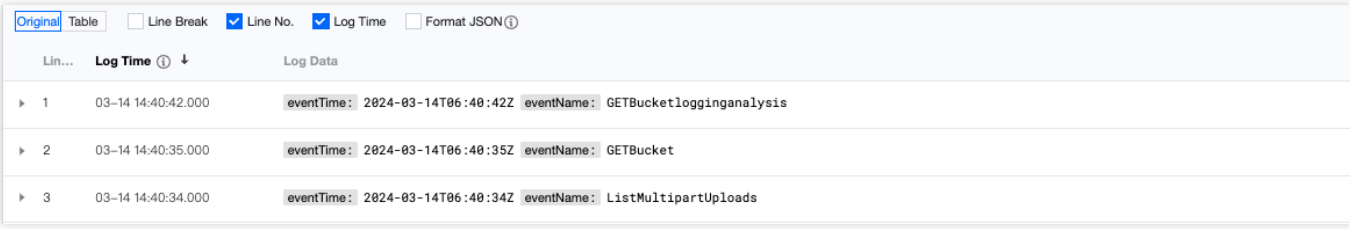


1.1 現在の検索条件で、指定された時間範囲内のログ統計を棒グラフで表示することをサポートします。

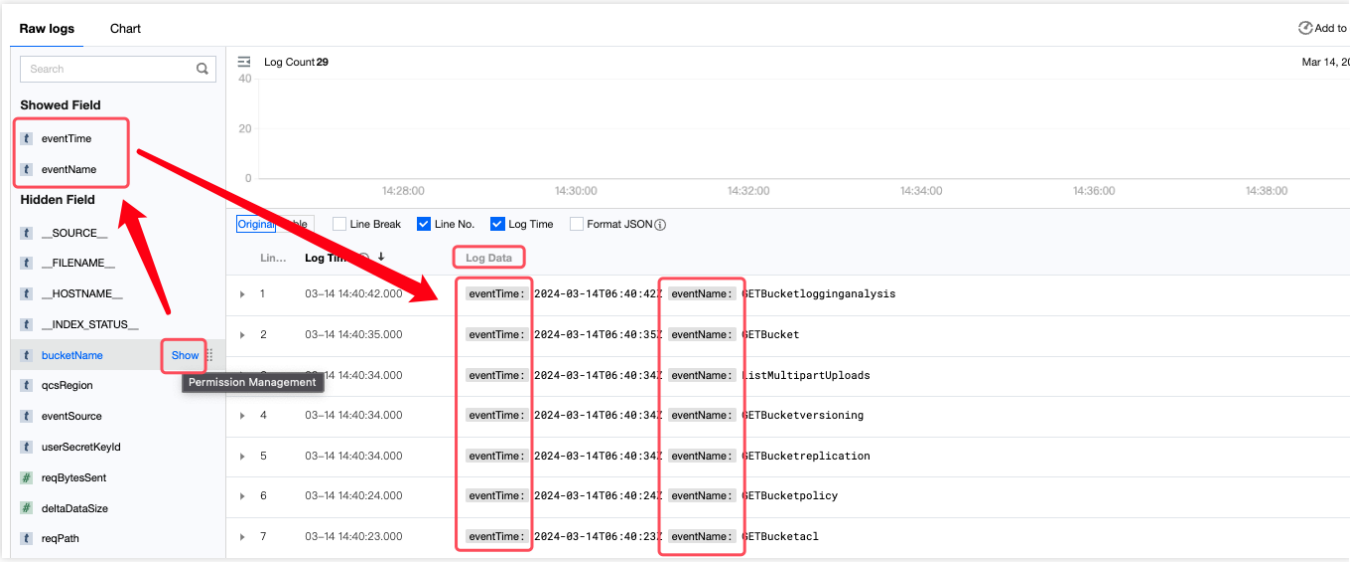


1.2 デフォルトでログデータをオリジナルの形式で表示します。コンフィグレーションのカスタマイズをサポートします。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

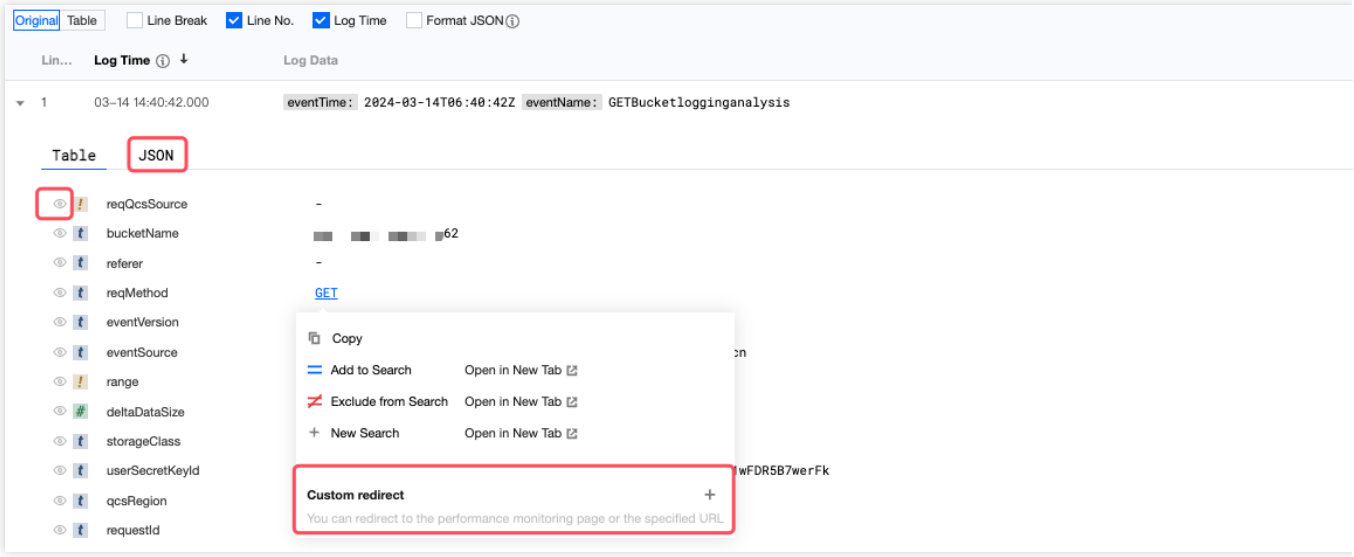


1.3 ログデータには「表示フィールド」のみが表示されます。より詳細な情報を表示したい場合や、ログの対応するフィールドを非表示にしたい場合は、以下の3つの方法で実現することができます。
リスト操作：オリジナルログの下で、左側のパネルでそのフィールドを素早く見つけ、**表示**または**非表示**をクリックすると設定することができます。

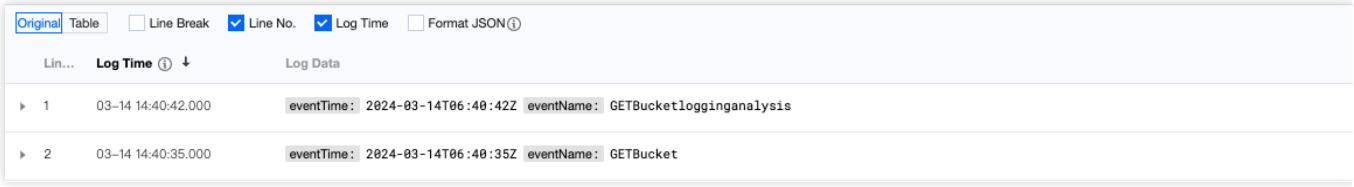


ログ詳細：特定のログを展開して詳細を表示し、表示アイコンをクリックすると、フィールドを素早く非表示または表示にすることができます。各ログについて、JSON 形式でデータを表示し、ワンクリックでコピーすることもできます。さらに、フィールド値をクリックしてジャンプをカスタマイズすることもできます。

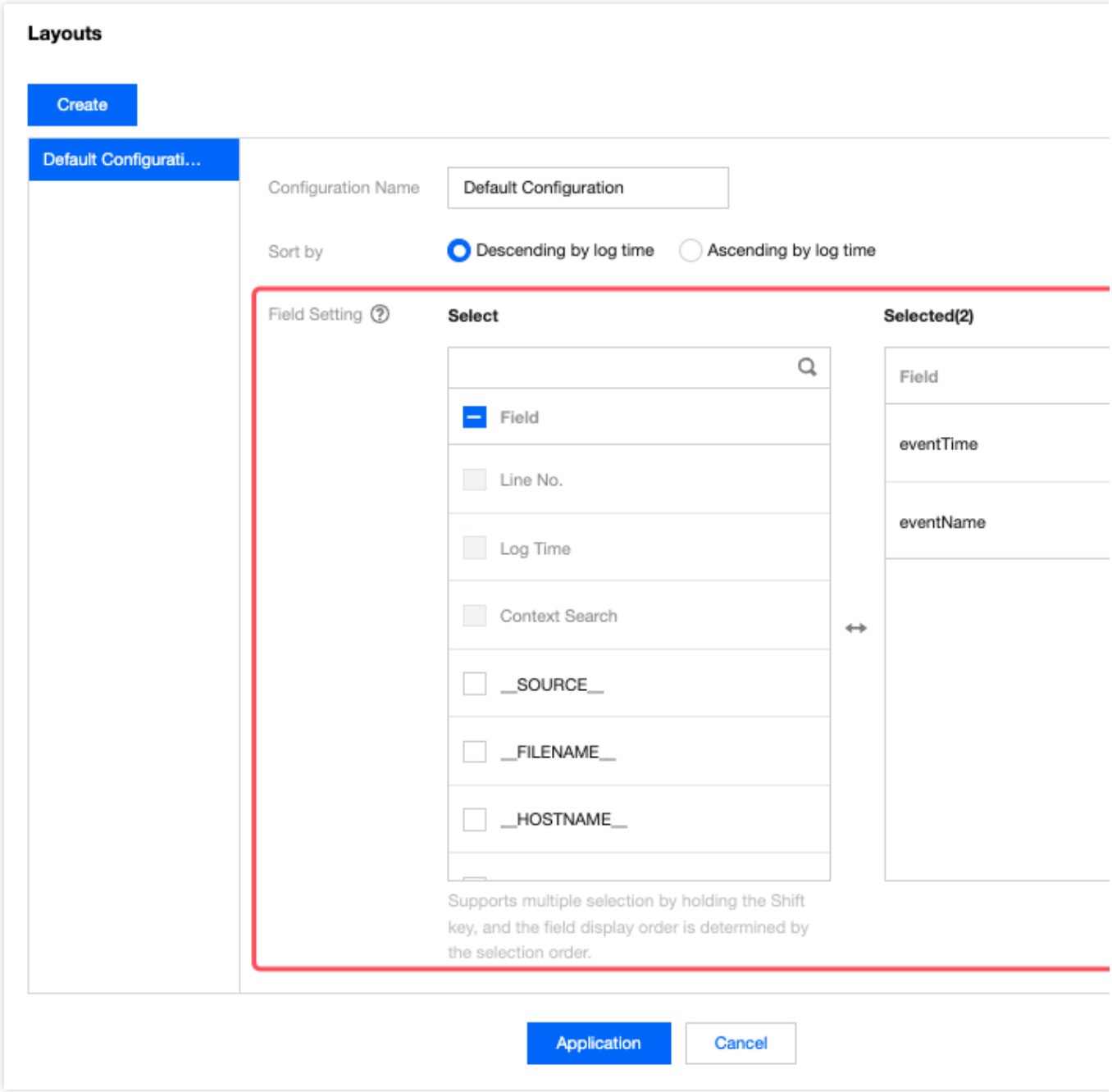
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



レイアウトコンフィグレーション：右側の「レイアウト：デフォルトコンフィグレーション」をクリックし、**コンフィグレーション管理を選択します。**表示フィールドを一括で設定することができます。**適用**をクリックすると設定することができます。



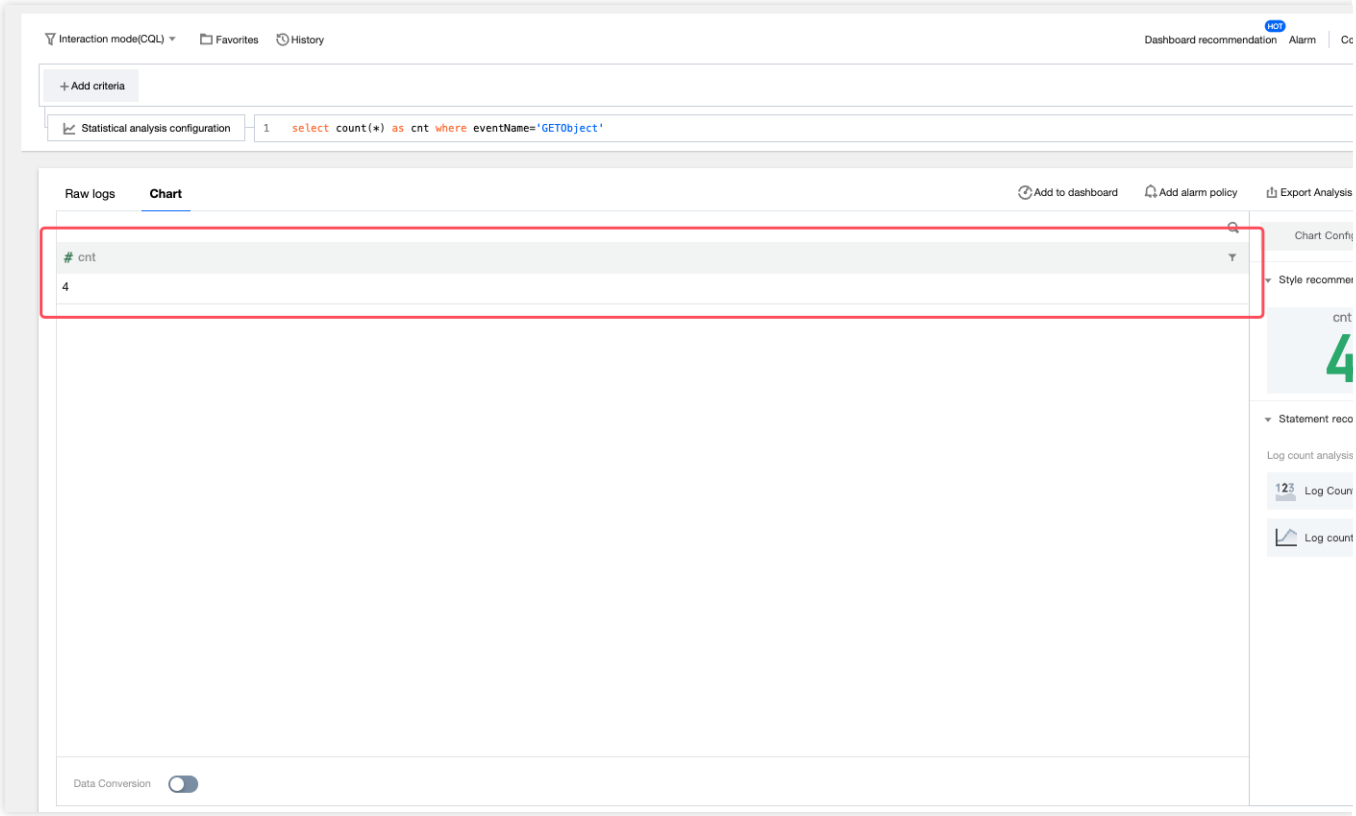
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



統計グラフ

デフォルトでは、統計グラフは表形式で分析結果を表示しますが、右側の「**グラフコンフィグレーション**」を通じてグラフタイプや関連情報をカスタマイズすることができます。ストレージバケットアクセスログの可視化とアラートをさらに設定するには、CLS コンソールに移動してください。

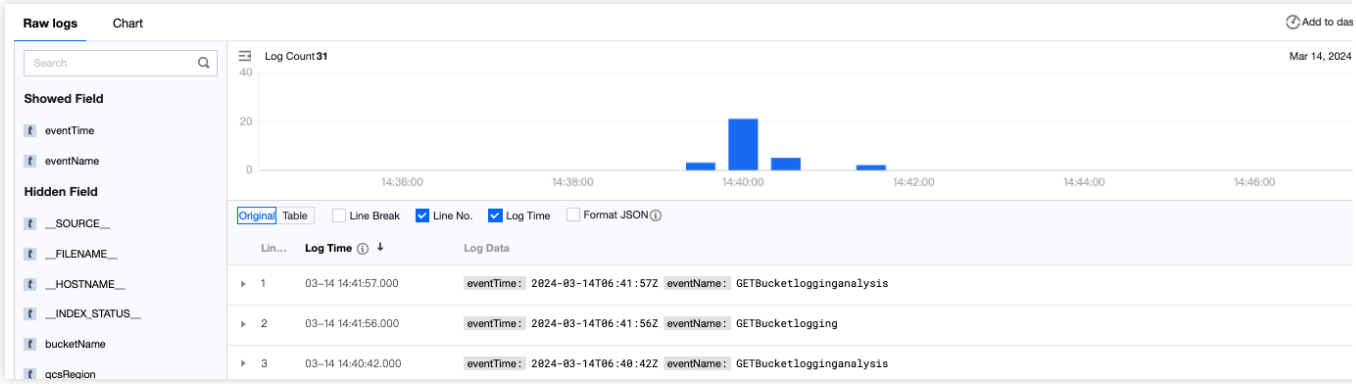
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



ログのダウンロードと分析結果のエクスポート

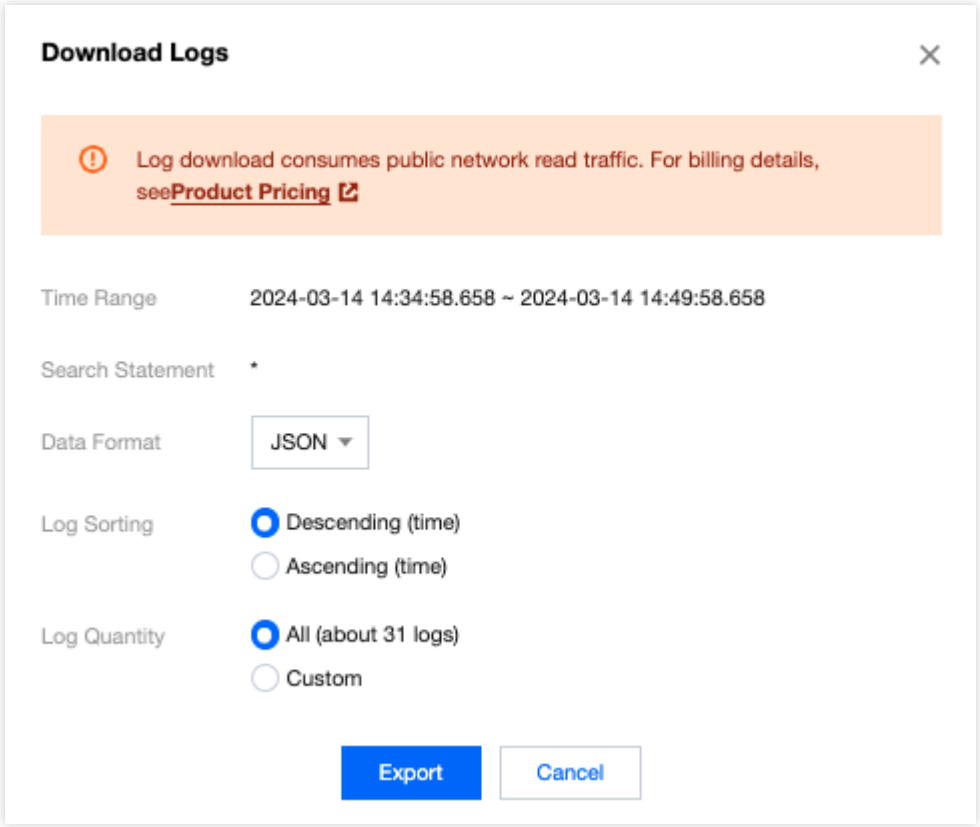
ログのダウンロード

1. 右側の**ダウンロード**ボタンをクリックし、**ログのダウンロード**を選択します。

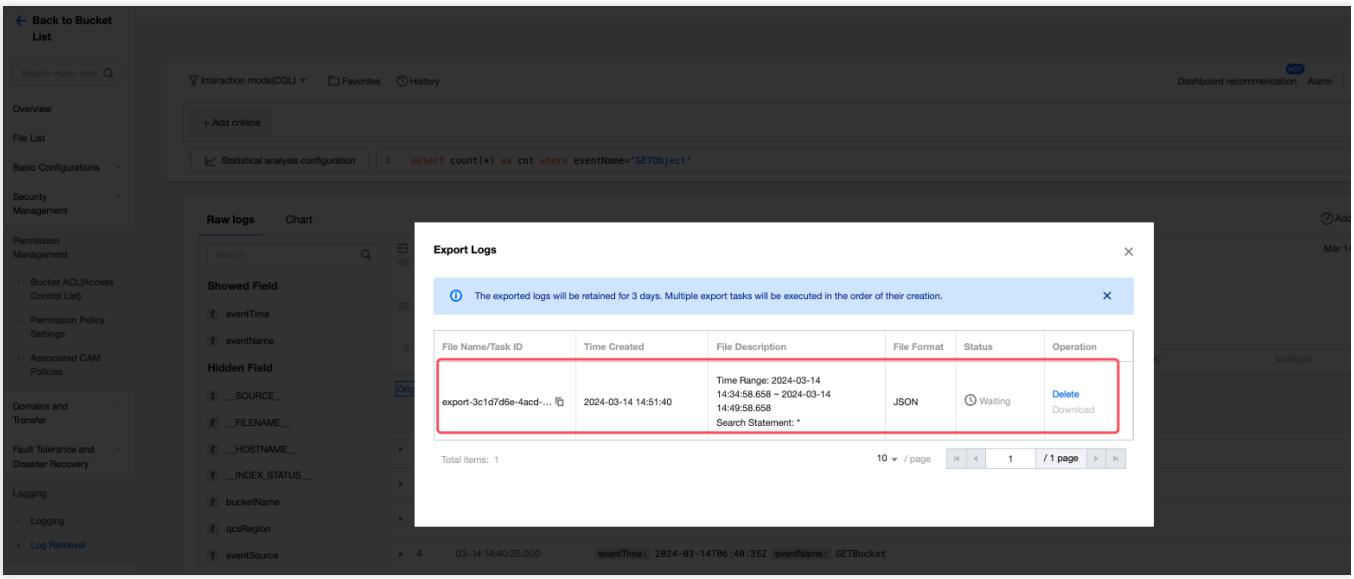


2. ポップアップ表示されるウィンドウで、以下の情報を設定し、間違いがないことを確認してから「エクスポート」をクリックします。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



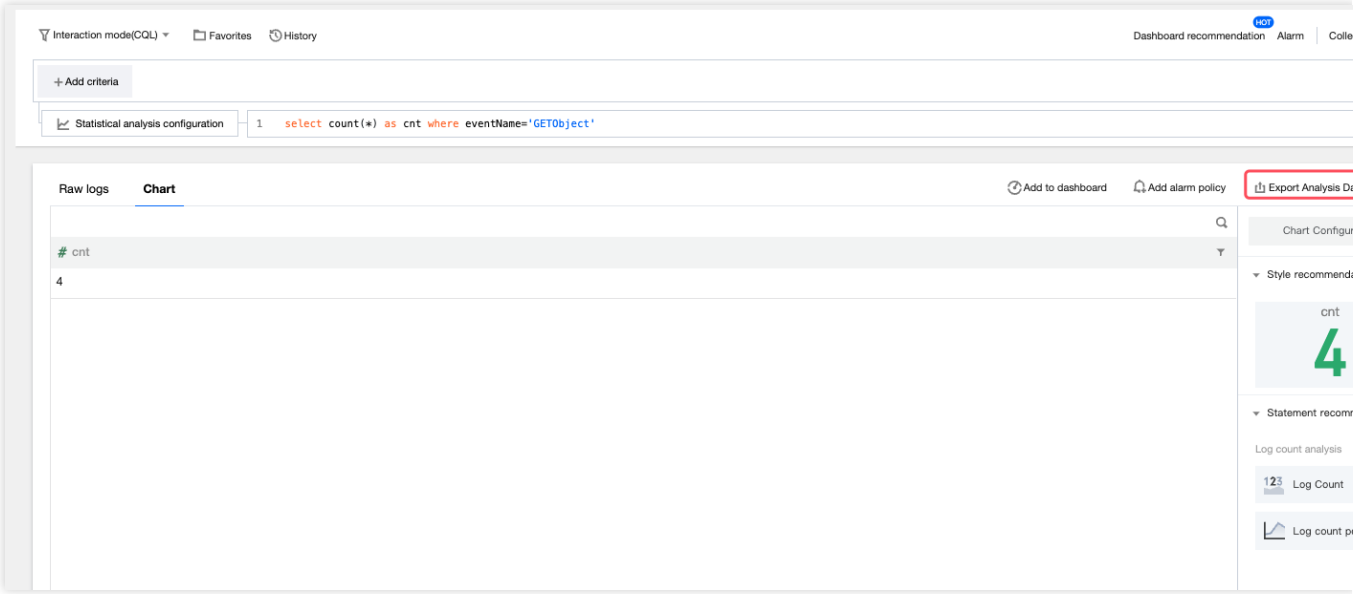
3. 完了すると、エクスポートタスクが作成されます。この場合、自動的にエクスポートレコードページに入り、現在のタスクの進捗状況を確認したり、タスクの削除やダウンロードをしたりすることができます。待機中に現在のページを終了し、右側の**ダウンロード**ボタンから**エクスポートレコード**をクリックすると、サイドそのページに戻ることができます。



©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

分析結果のエクスポート

右側の**分析データのエクスポート**をクリックすると、分析結果がローカルにダウンロードされます。



ログ検索をオフにする

特定のストレージバケットに対してログ検索機能を使用し続けたくない場合は、「ログ検索をオフにする」をクリックしてください。

注意：

オフにする前に、CLS コンソールで空のログトピックがあるかどうかを確認してください。

ログフィールドの説明

フィールド番号	名称	定義	例
1	eventVersion	レコードバージョン	1.0
2	bucketName	ストレージバケット名	examplebucket-1250000000
3	qcsRegion	リクエスト地域	ap-beijing

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

4	eventTime	イベント時間（リクエスト終了時間、UTC 0時 タイプスタンプ）	2018-12-01T11:02:33Z
5	eventSource	ユーザーがアクセスしたドメイン名	examplebucket-1250000000.cos.ap-guangzhou.myqcloud.com
6	eventName	イベント名	UploadPart
7	remoteIp	ソース IP	192.168.0.1
8	userSecretKeyId	ユーザーアクセス KeyId	AKIDNYVCdoJQyGJ5brTf
9	reqBytesSent	リクエストバイト数（Bytes）	83886080
10	deltaDataSize	リクエストによるストレージボリュームの変更（Bytes）	808
11	reqPath	リクエストのファイルパス	/folder/text.txt
12	reqMethod	リクエスト方法	put
13	userAgent	ユーザー UA	cos-go-sdk-v5.2.9
14	resHttpCode	HTTP リターンコード	404
15	resErrorCode	エラーコード	NoSuchKey
16	resErrorMsg	エラー情報	The specified key does not exist.
17	resBytesSent	リターンバイト数（Bytes）	197
18	resTotalTime	リクエストの総経過時間	4295

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

		（ミリ秒。レスポンスの最後のバイトの時間からリクエストの最初のバイトの時間を引いた時間に等しい）	
19	logSourceType	ログソースタイプ	USER（ユーザーのアクセスリクエスト）、CDN（CDN のオリジンプルリクエスト）
20	storageClass	ストレージタイプ	STANDARD、STANDARD_IA、ARCHIVE
21	accountId	ストレージバケツの所有者 ID	100000000001
22	requester	訪問者	マスターアカウント ID：サブアカウント ID。匿名アクセスの場合に `-` が表示されます。
23	requestId	リクエスト ID	NWQ1ZjY4MTBfMjZiMjU4NjRfOWI1N180NDBiYTY=
24	objectSize	オブジェクトサイズ（Bytes）	808。マルチパートアップロードを使用する場合、objectSize フィールドはアップロード完了時にのみ表示されます。各パートのアップロード中には `-` が表示されます
25	versionId	オブジェクトバージョン ID	ランダム文字列
26	targetStorageClass	ターゲットストレージクラス。コピー操作を開始するリクエストは、このフィールドにログを記録します	STANDARD、STANDARD_IA、ARCHIVE
27	referer	リクエストの HTTP referer	`*.example.com` または111.111.111.1
28	requestUri	リクエスト URI	「GET /fdgfdgsf%20/%E6%B5%AE%E7%82%B9%E6%95%B0

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

			HTTP/1.1」
29	resTurnAroundTime	リクエストサーバーの経過時間（ミリ秒。レスポンスの最初のバイトの時間からリクエストの最後のバイトの時間を引いた時間に等しい）	4295
30	vpcId	VPC リクエスト ID	「0」(非VPC)/「12345」(VPC、「0」以外の string である)

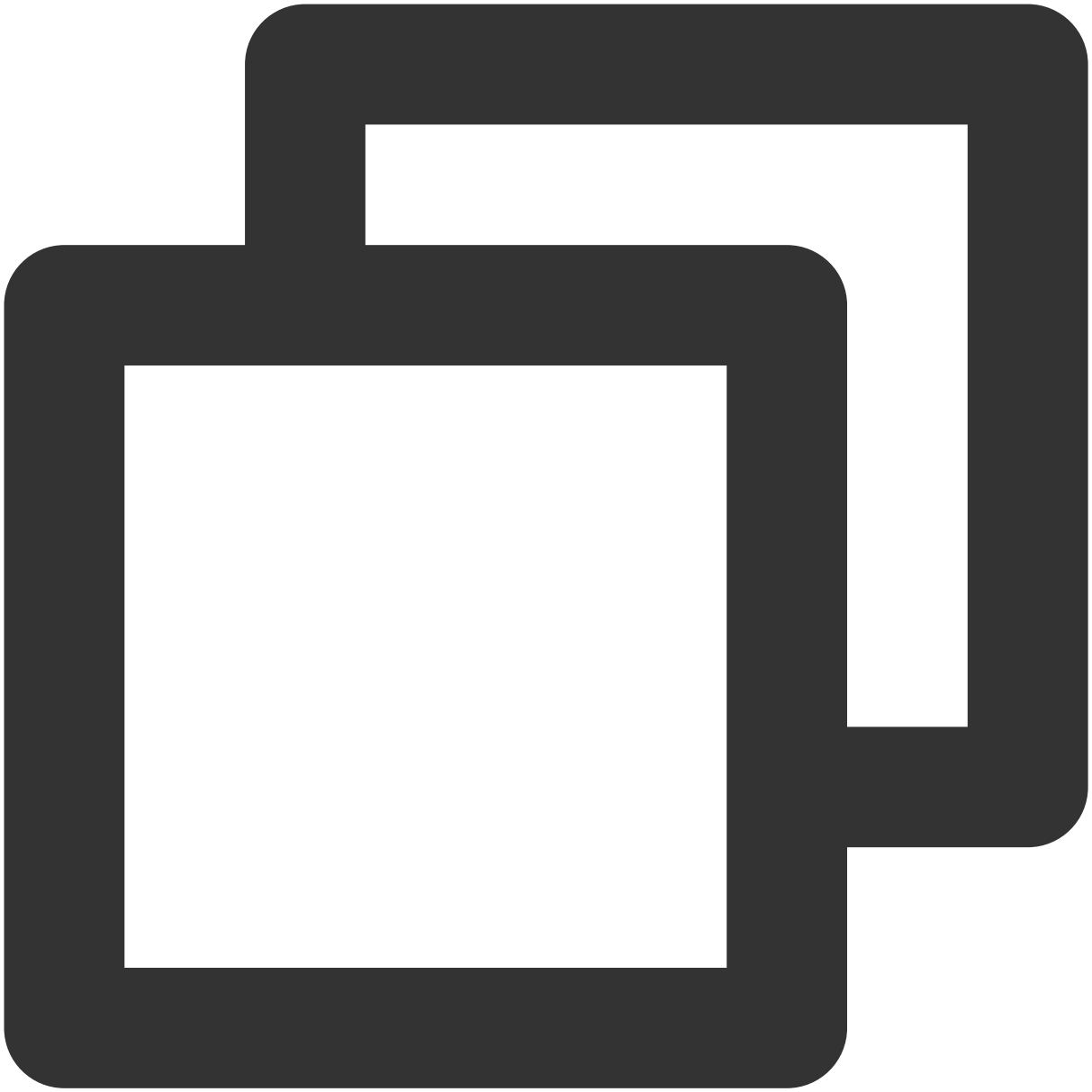
一般的な例

以下は、いくつかの一般的な例を提供します。これから例を追加しますが、製品の動向に注目してください。詳細については、シナリオの例を参照してください。

例一：アクセス数 TOP50 の IP

1. ステートメントモードを選択し、以下のSQL文を入力します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
\\* | select count(*) as PV, remoteIp as IP  group by IP order by PV desc limit 5
```

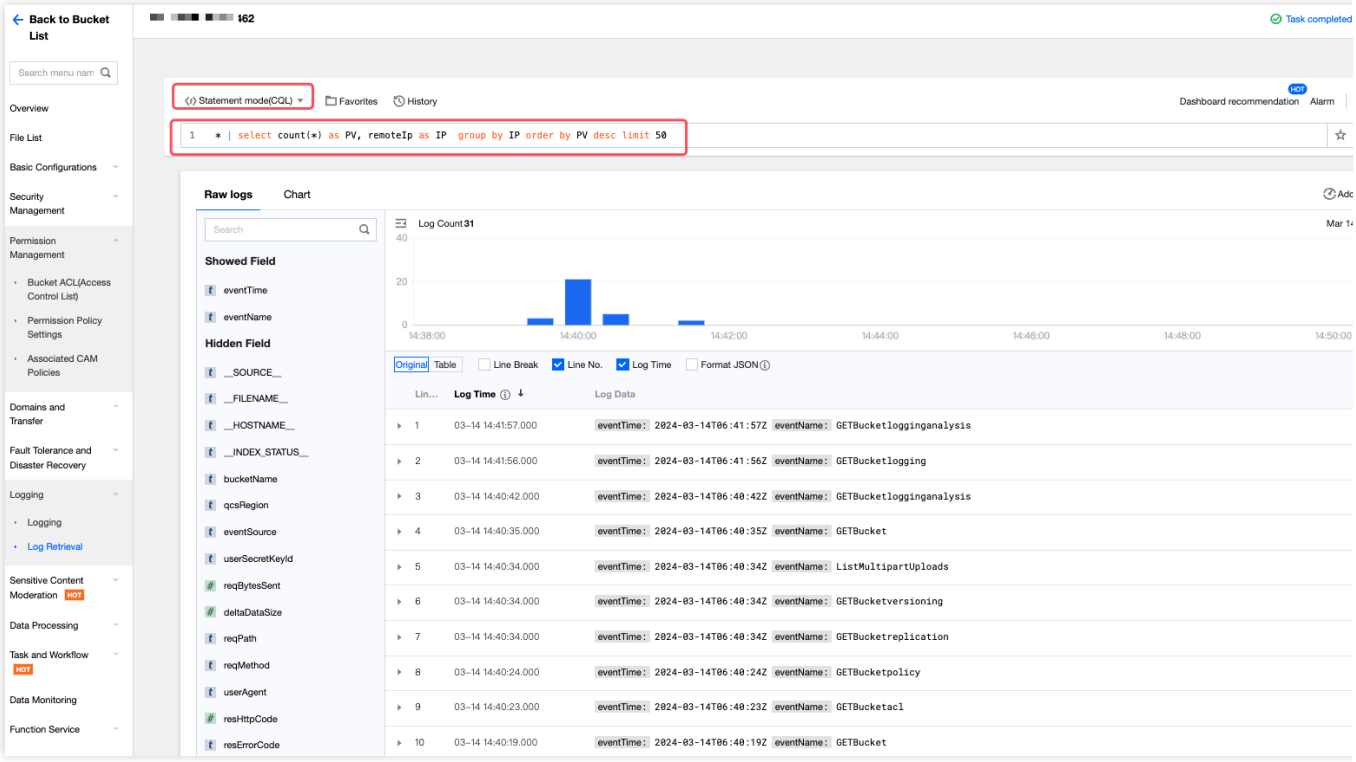
`count(*) as PV` ：すべてのログの数（即ち PV）をカウントします。

`group by IP` ：IP ごとにグループ化し、各 IP に対応するPVをカウントします。

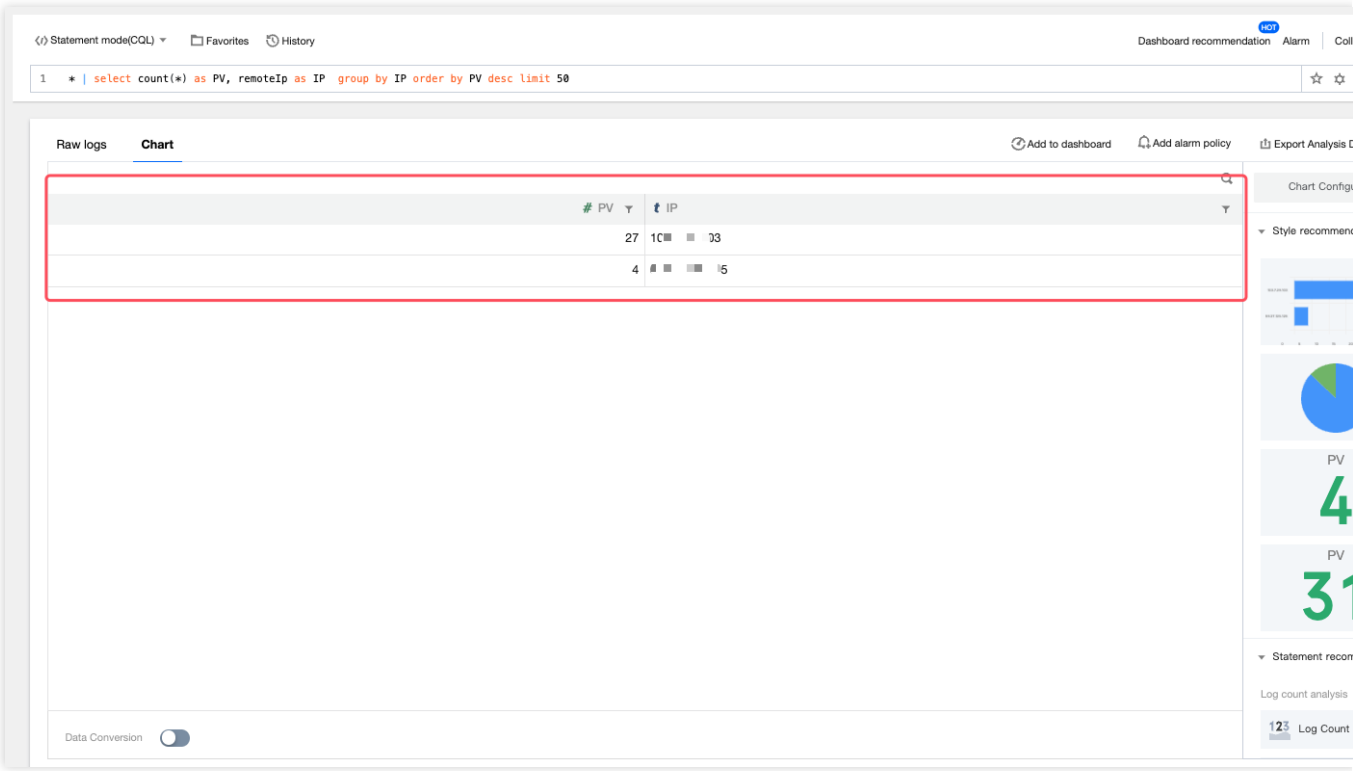
`order by PV desc` ：PV の降順で並べ替え、PV の高い IP を優先的に表示します。

`limit 50` ：検索結果の上位 50 件、つまり PV が最も高い 50 件の IP のみが返されます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



2. 時間範囲を選択し、**検索**をクリックして確認し、統計分析ページに入ると、統計分析の結果を表示することができます。右側ではグライフタイプを切り替えることができます。

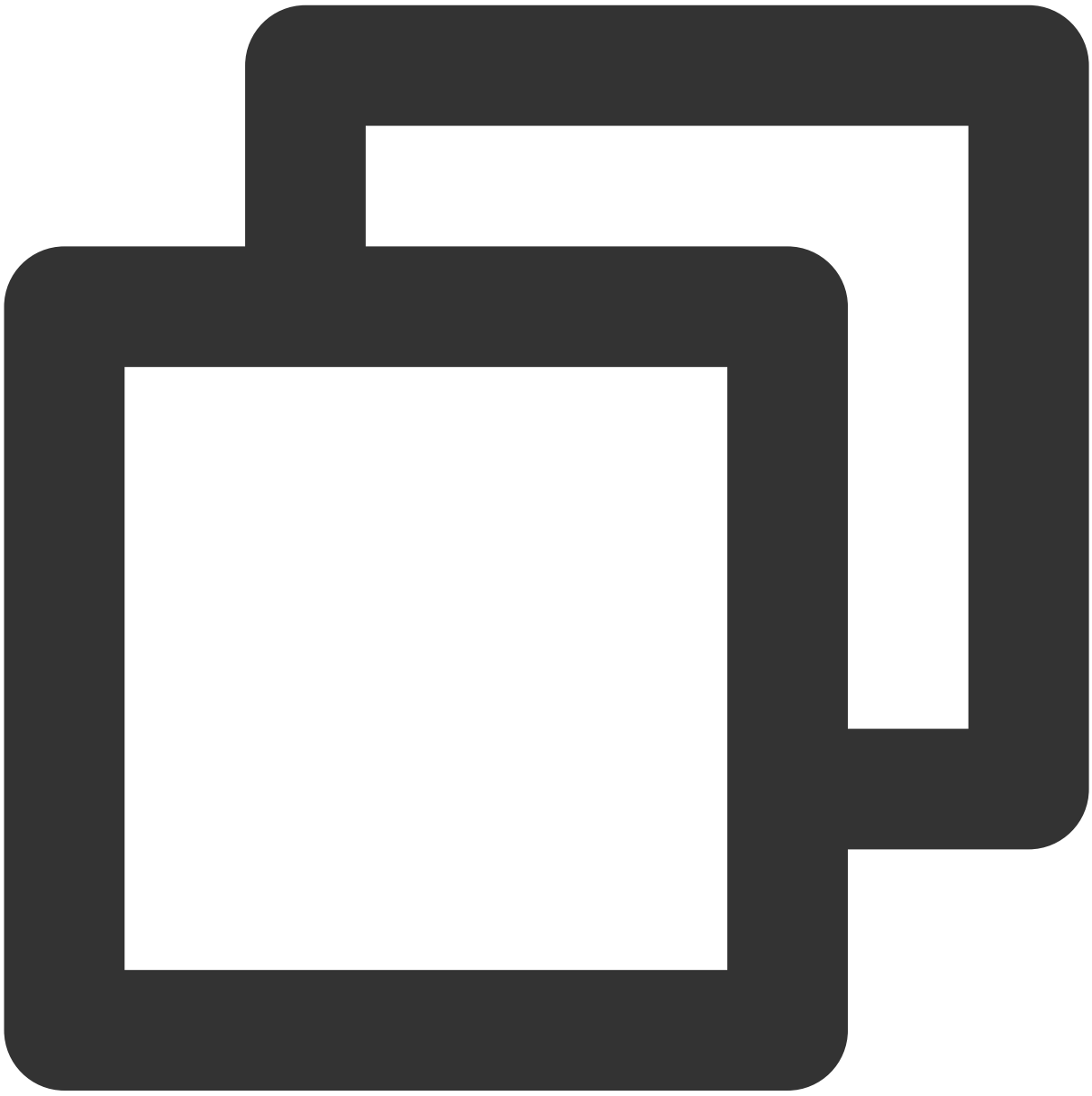


©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

3. 検索が失敗した場合は、エラーメッセージに記載されるエラーの場所を確認することをお勧めします。エラーの原因については、検索分析エラーを参照してください。

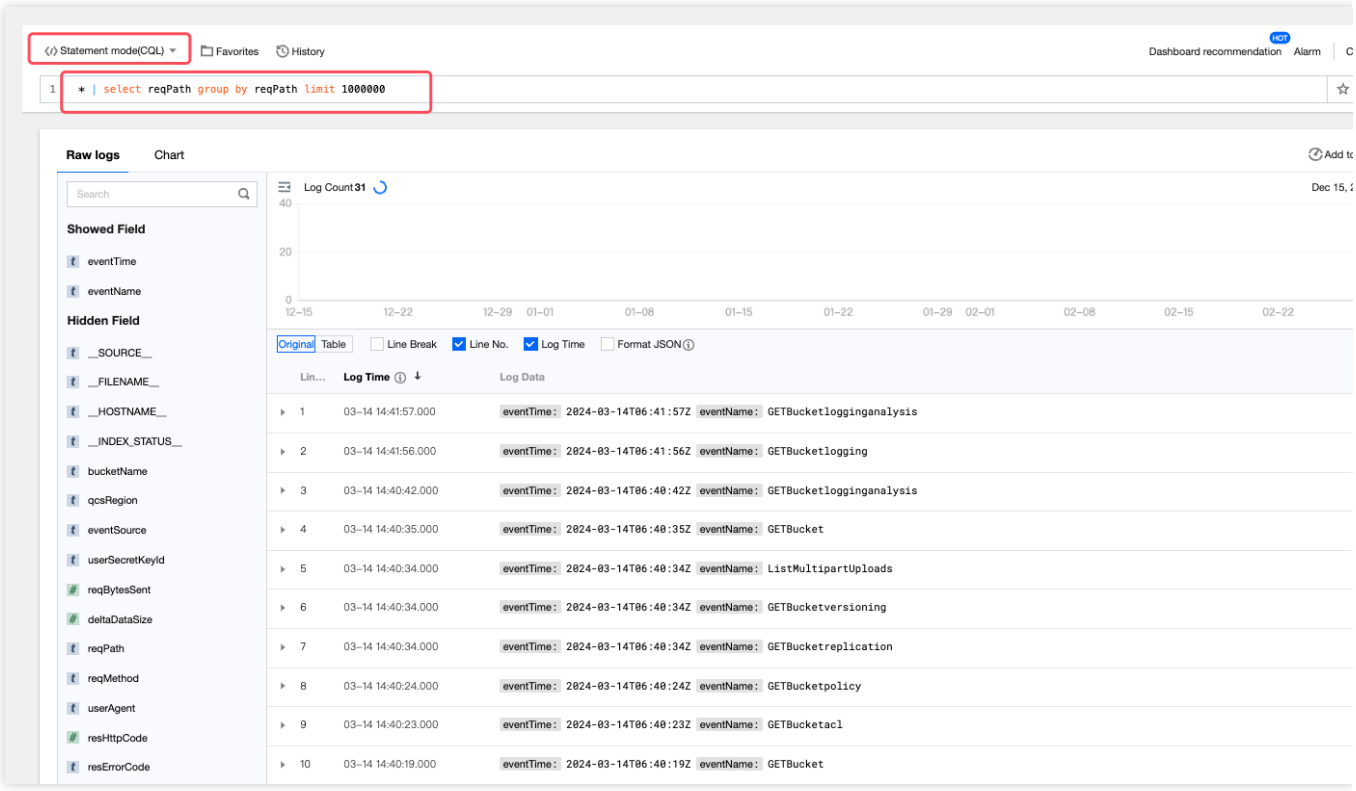
例二：過去90日間アクセスされたファイルの検索

1. ステートメントモードを選択し、以下のSQL文を入力します。

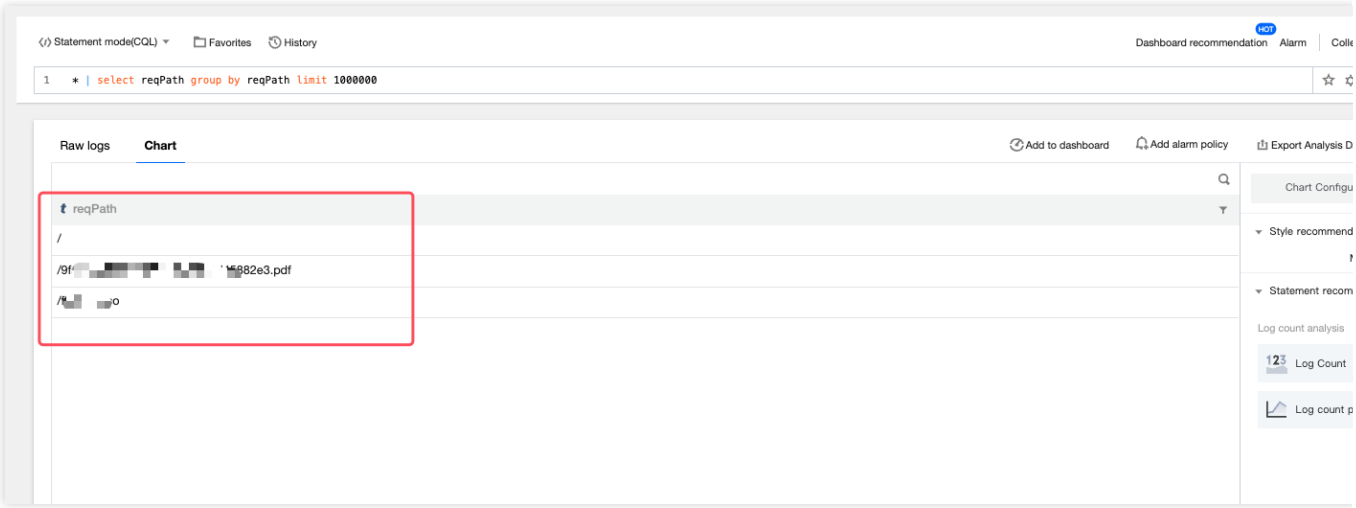


```
* | select reqPath group by reqPath limit 1000000
```

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



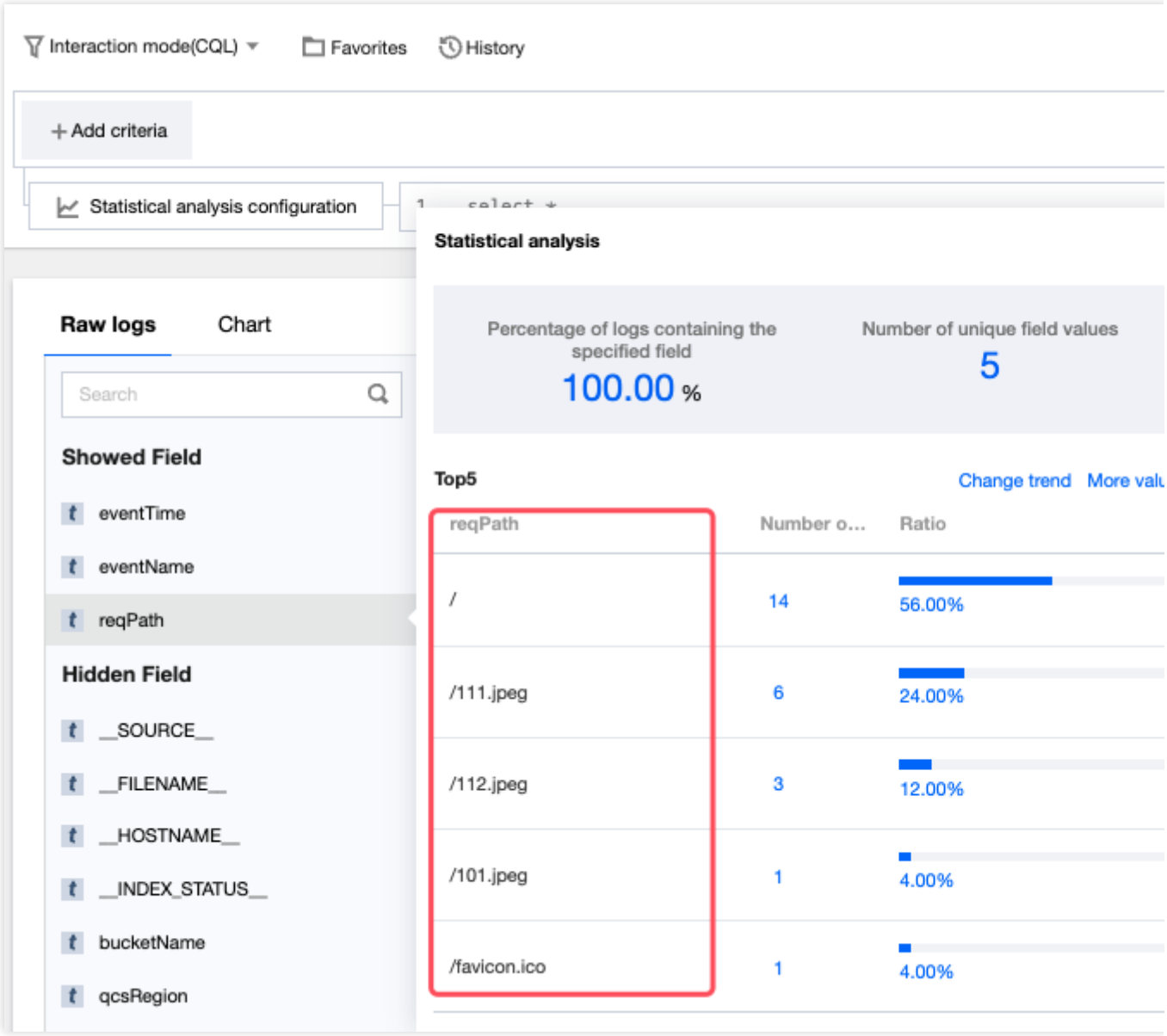
2. 時間範囲は過去90日を選択します。**検索**をクリックして確認し、統計分析ページに入ると、統計分析の結果を表示することができます。右側ではグライフタイプを切り替えることができます。



例三：指定したプリフィックスのリクエスト数、トラフィック、ストレージ容量を統計する

例えば、ストレージバケット内の以下のファイルがすべてログリクエストを生成しており、指定したプリフィックスが1であるオブジェクト（ファイルパスが「/111」、「/112」、「/101」のオブジェクト）のリクエスト数、トラフィック、ストレージ容量を統計したい場合。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



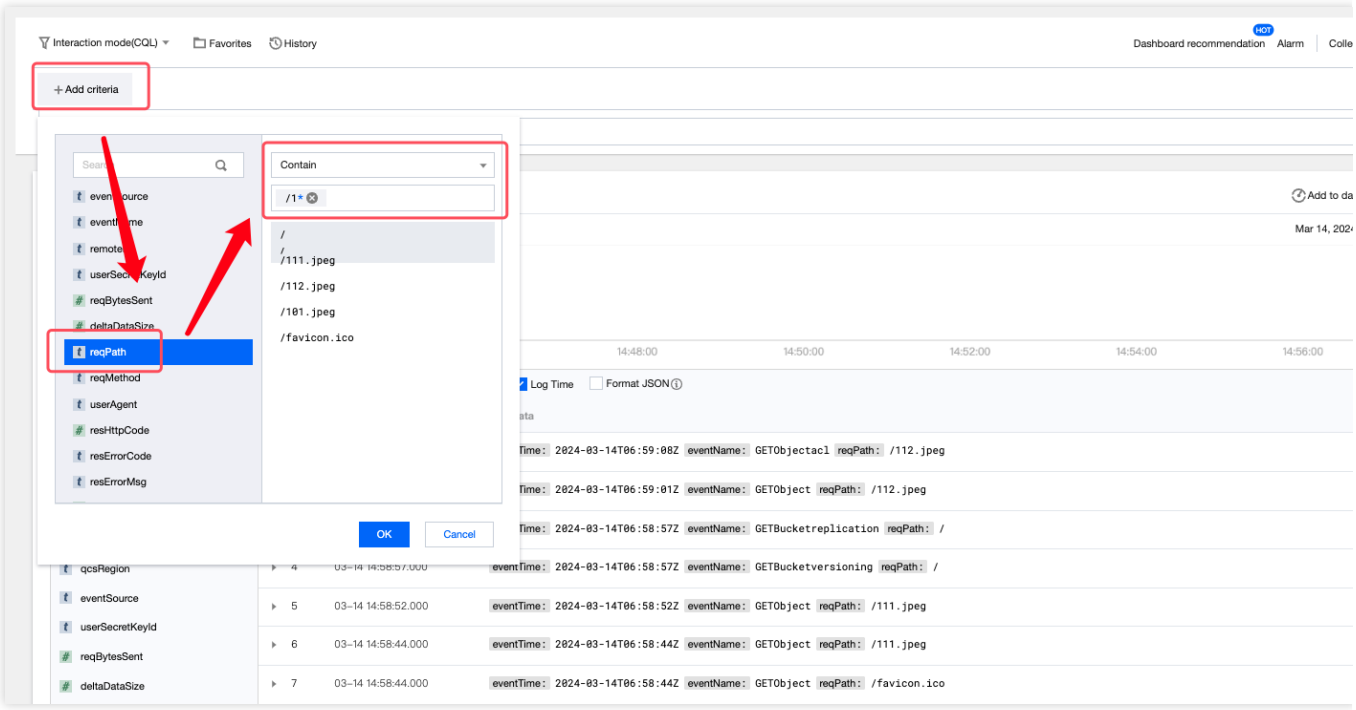
注意：

オブジェクトトラフィック：ログリクエストの中で、オブジェクトの返信バイトの総数を指します。

オブジェクトストレージ容量：ログリクエストの中で、「-」を含まない（objectSize）の合計を指します。詳細については、ログフィールドの説明を参照してください。

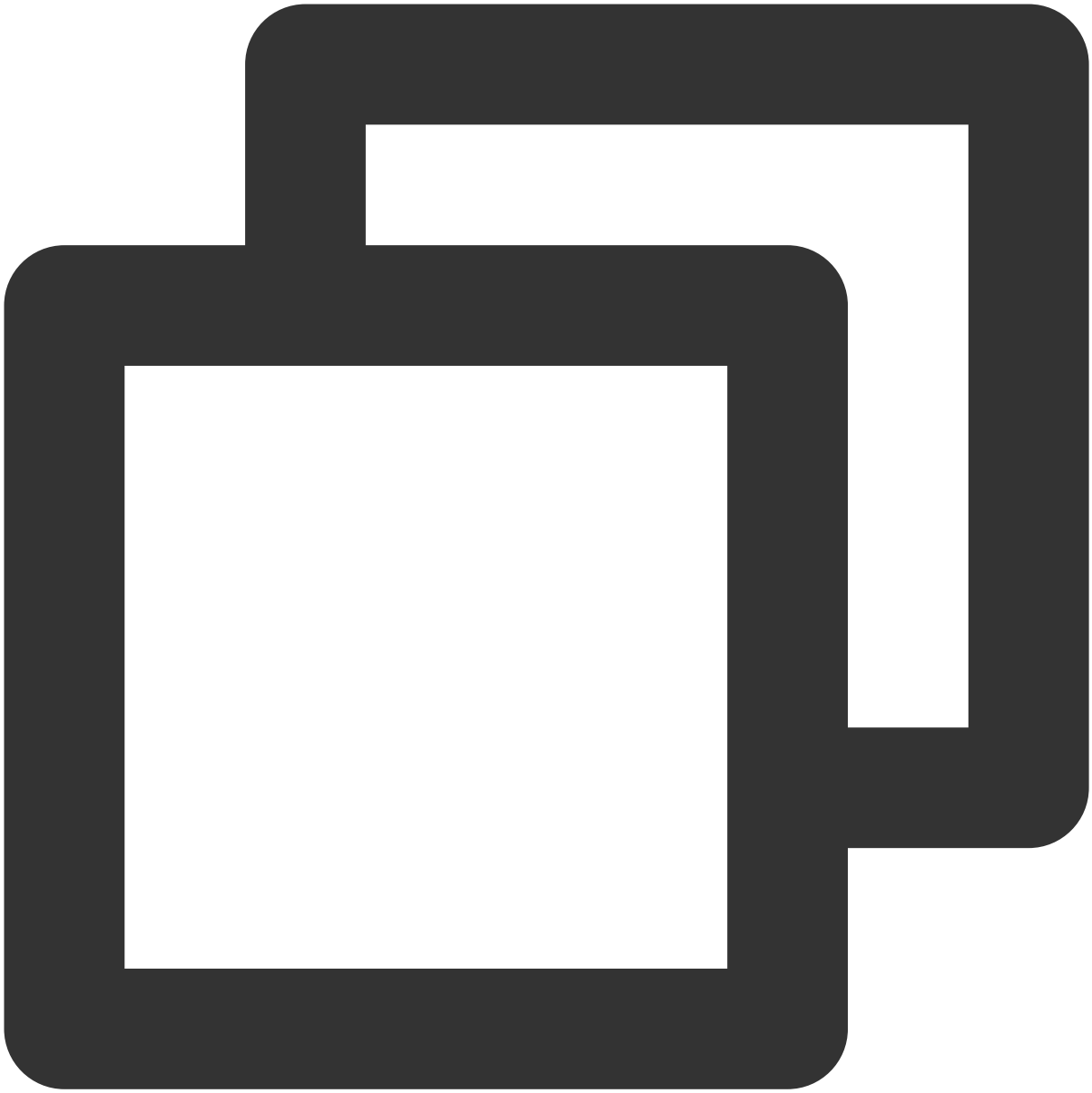
1. **インタラクティブモード**を選択し、**検索条件の追加**をクリックし、指定 **reqPath** に***/1** を含むことを指定し、時間範囲指定し、プレフィックスが1であるオブジェクトリクエストログをフィルタリングします。そのうち、*はワイルドカード文字です。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



2. 入力ボックスに以下の文を入力します。

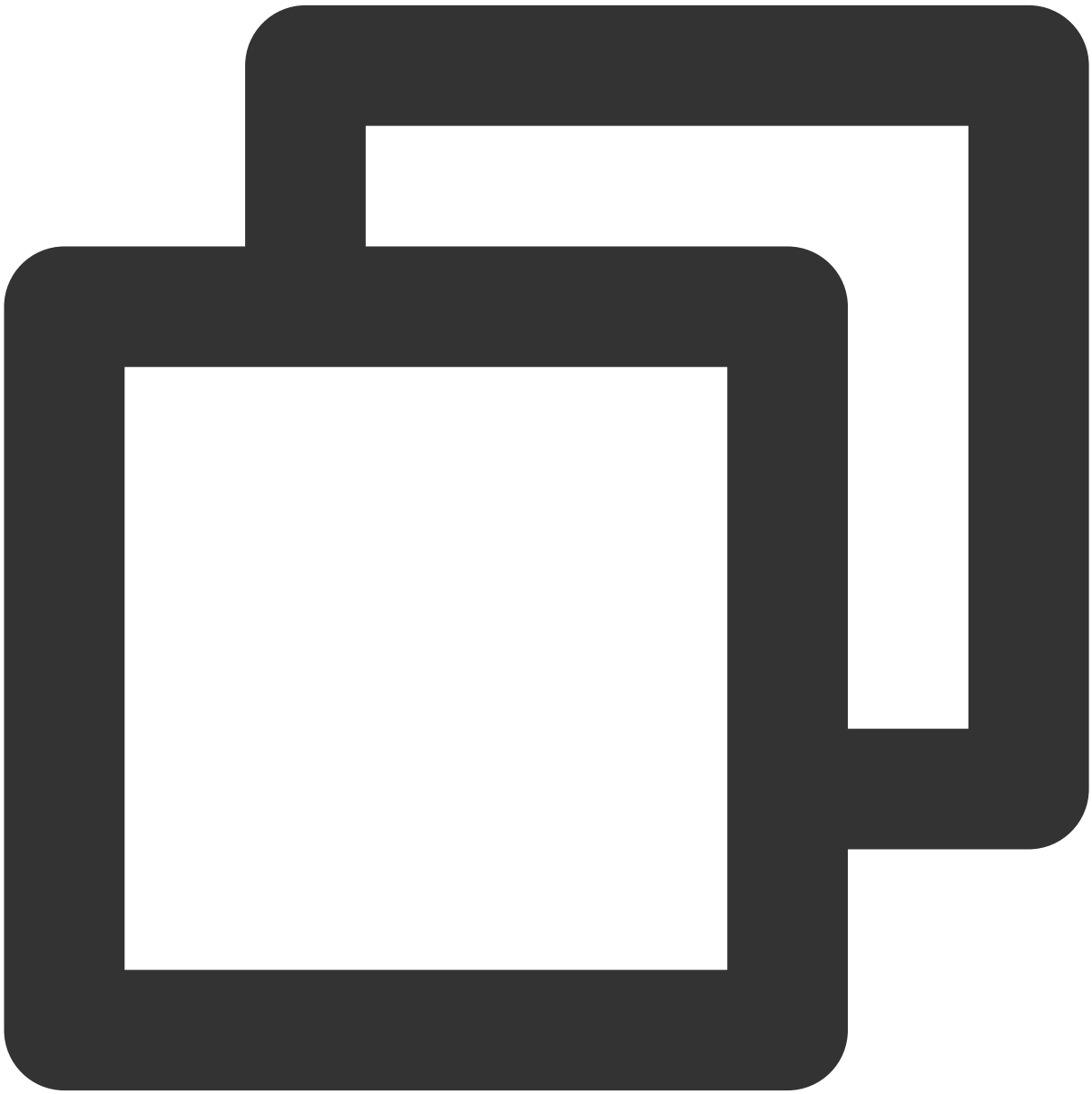
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



```
SELECT count(*) as 「リクエスト数」、sum(resBytesSent) as 「トラフィック」、SUM(CAST(obje
```

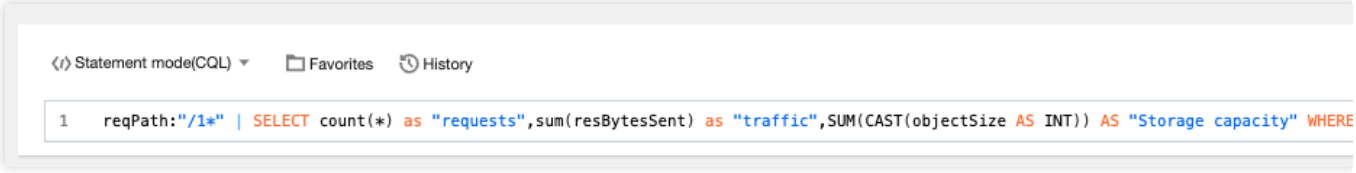
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

3. 或いは、ステップ1で**ステートメントモード**を選択し、以下のSQL文を直接入力します。

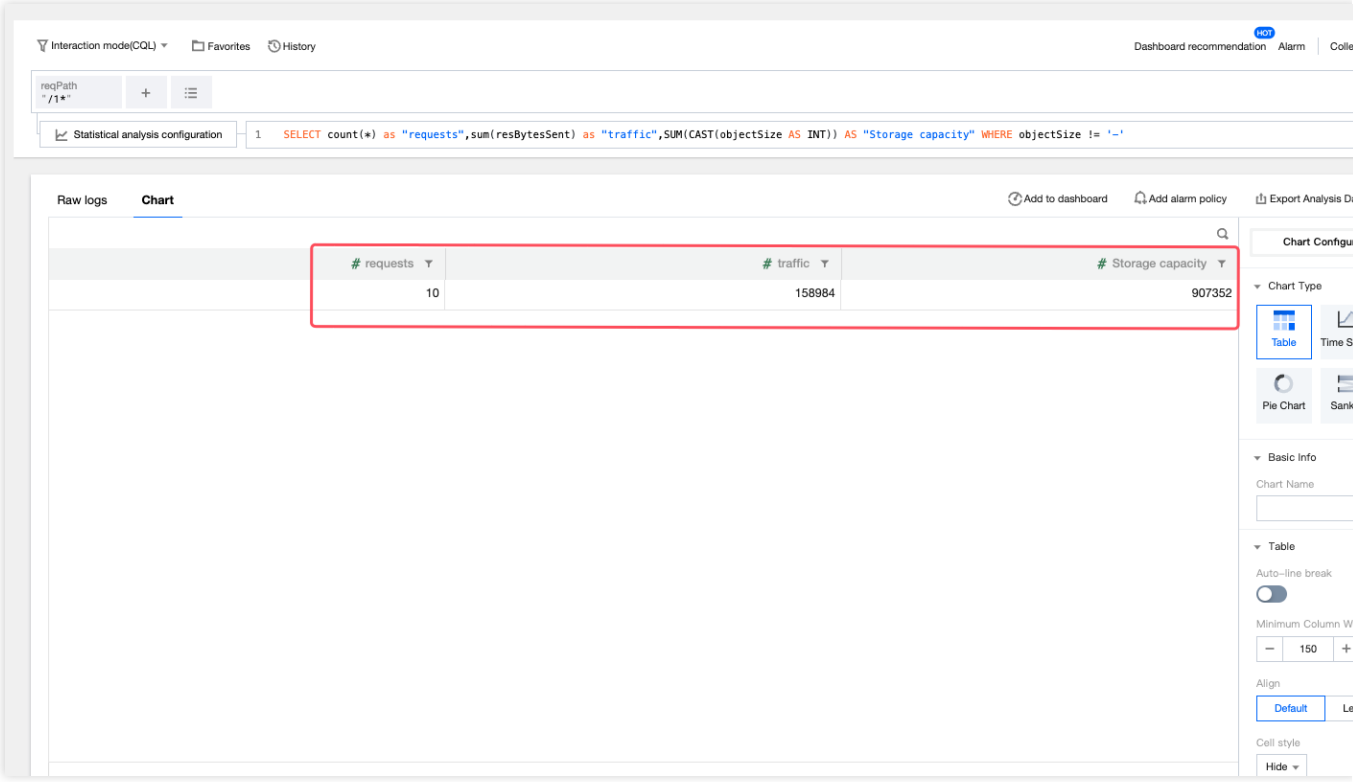


```
reqPath:「/1\\*」 | SELECT count(\\*) as 「リクエスト数」、sum(resBytesSent) as 「トラフ
```

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



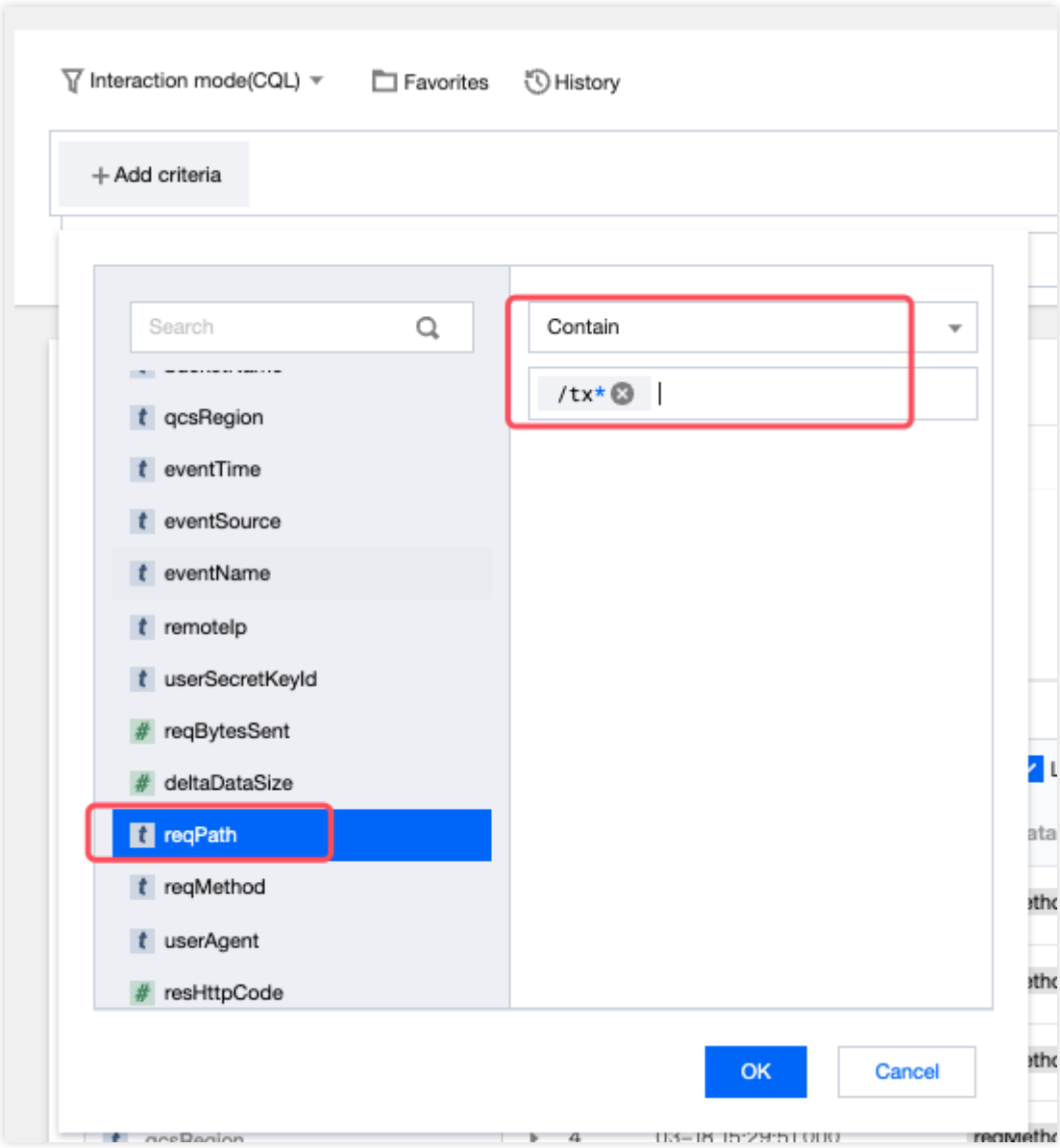
4. 時間範囲を選択し、**検索**をクリックして確認し、統計分析ページに入ると、統計分析の結果を表示することができます。右側ではグライフタイプを切り替えることができます。



例四：ファイルにアクセスできず、理由を特定する

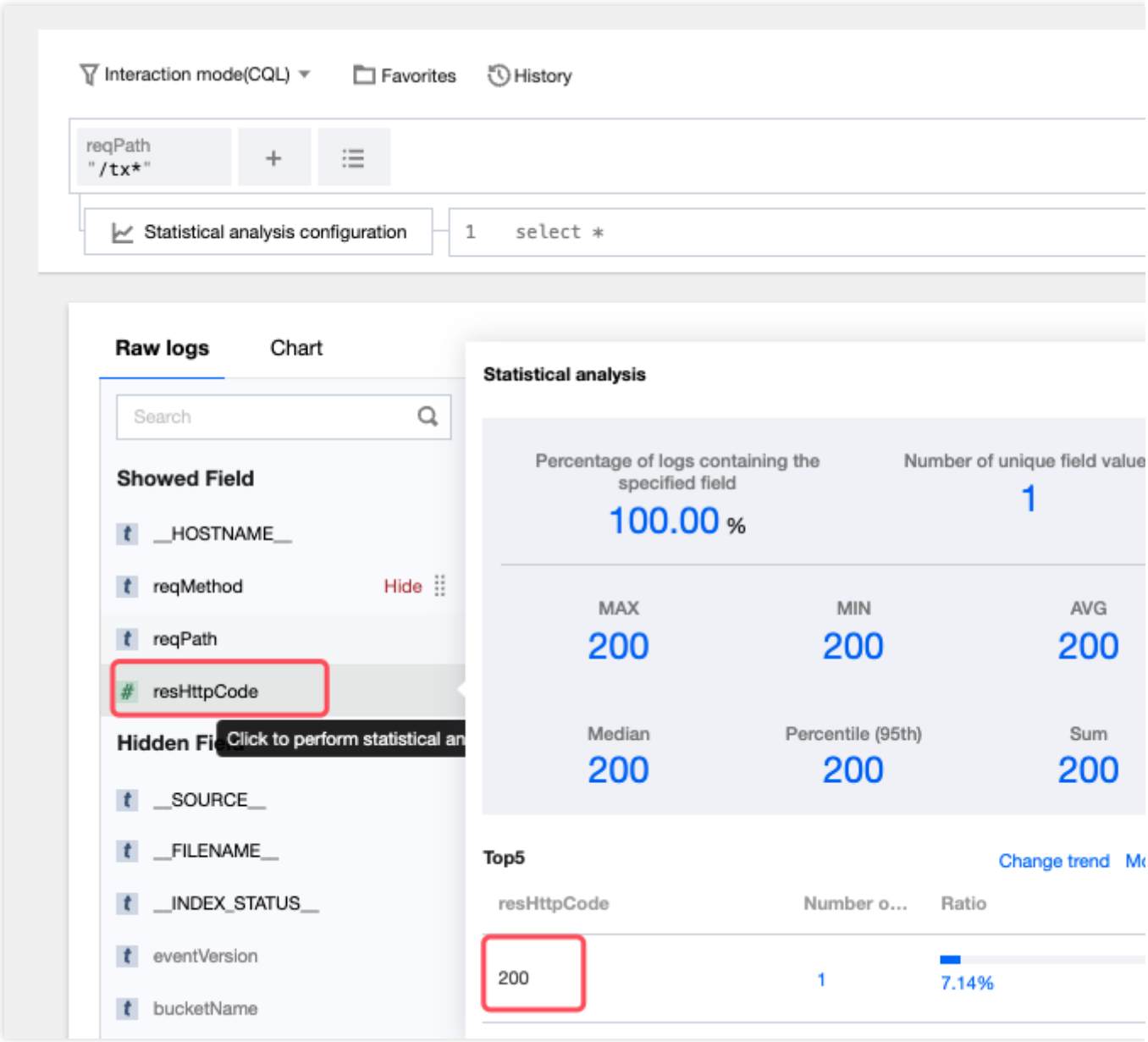
1. **インタラクティブモード**を選択し、**検索条件の追加**をクリックします。検索するファイル名を指定し、**時間範囲**を選択し、**検索**をクリックしてログを確認します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



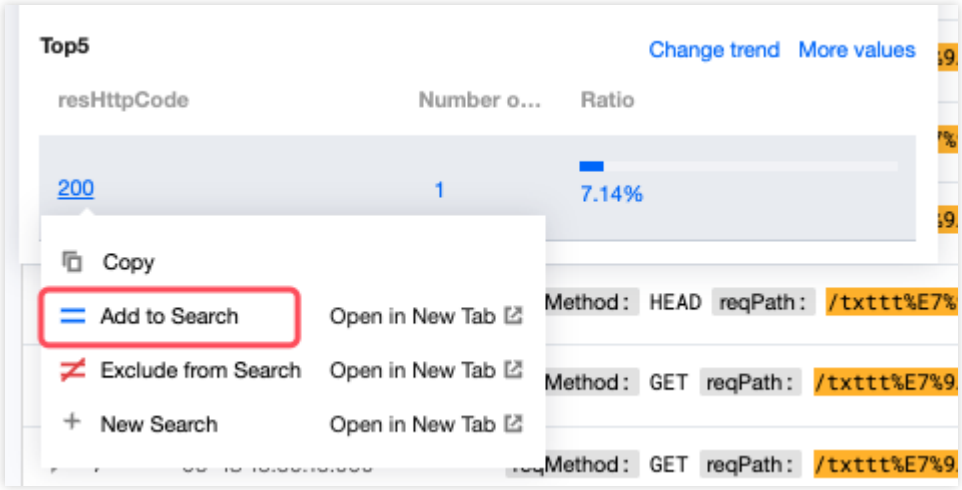
2. 左側のフィールド名をクリックすると、クイック分析が開き、 **resHttpCode** フィールドにより統計分析を行います。403ステータスコード、204ステータスコードなどの異常ステータスコードのログメッセージを表示します。

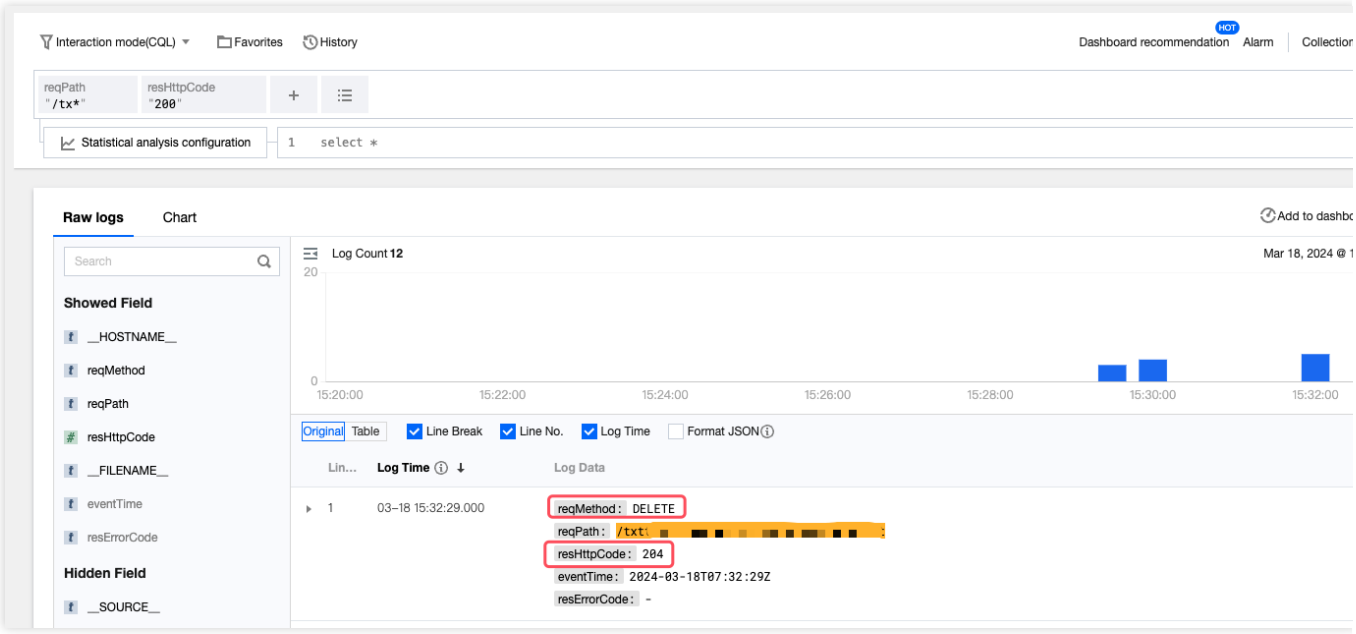
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



3. 異常ステータスコードについては、ステータスコードをクリックし、**今回の検索に追加する**ログのフィルタリングを選択します。ログの詳細で他のフィールドを確認することができます。reqMethodフィールドに注目することを推奨します。概略図では、ファイルに対して削除操作が実行されることで、オブジェクトアクセスが失敗したことを示しています。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.





©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

バケットレプリケーションの設定

最終更新日：：2022-12-20 15:17:53

概要

バケットコピー機能を有効にすると、ソースバケットの**インクリメンタルオブジェクト**を別のリージョンのターゲットバケットに自動的かつ非同期的にコピーすることができます。ソースバケット内のオブジェクトに対して管理操作（例えばオブジェクトの追加や削除など）を実行すると、Cloud Object Storage（COS）は、これらの操作をターゲットバケットに自動的にコピーします。お客様は実際の必要性に応じて、バケットコピーの有効または無効を選択することができます。その他の情報については、バケットコピーの概要をご参照ください。

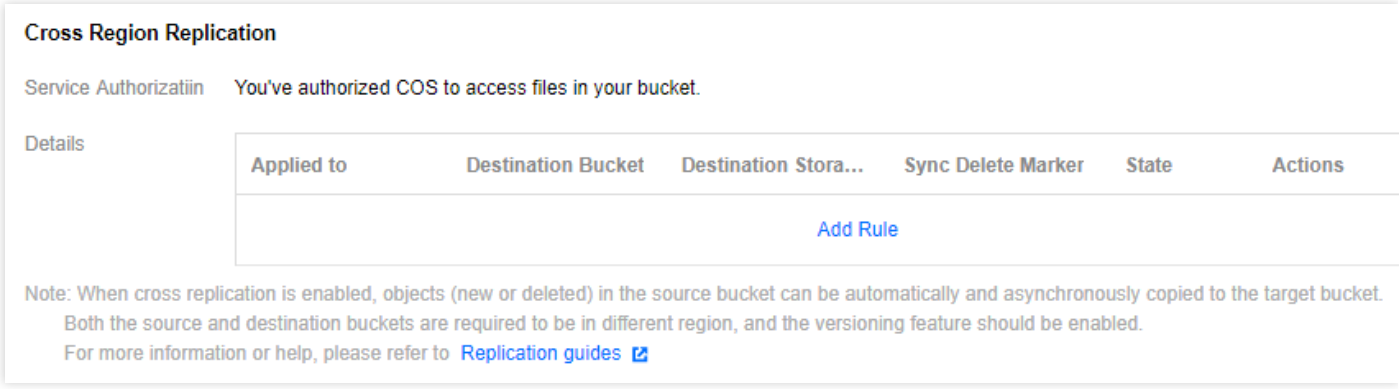
前提条件

バケットコピー機能を有効にする前に、ソースバケットとターゲットバケットの両方が、バージョン管理の有効化機能が有効になっていることを確認してください。

操作手順

バケットコピーの有効化

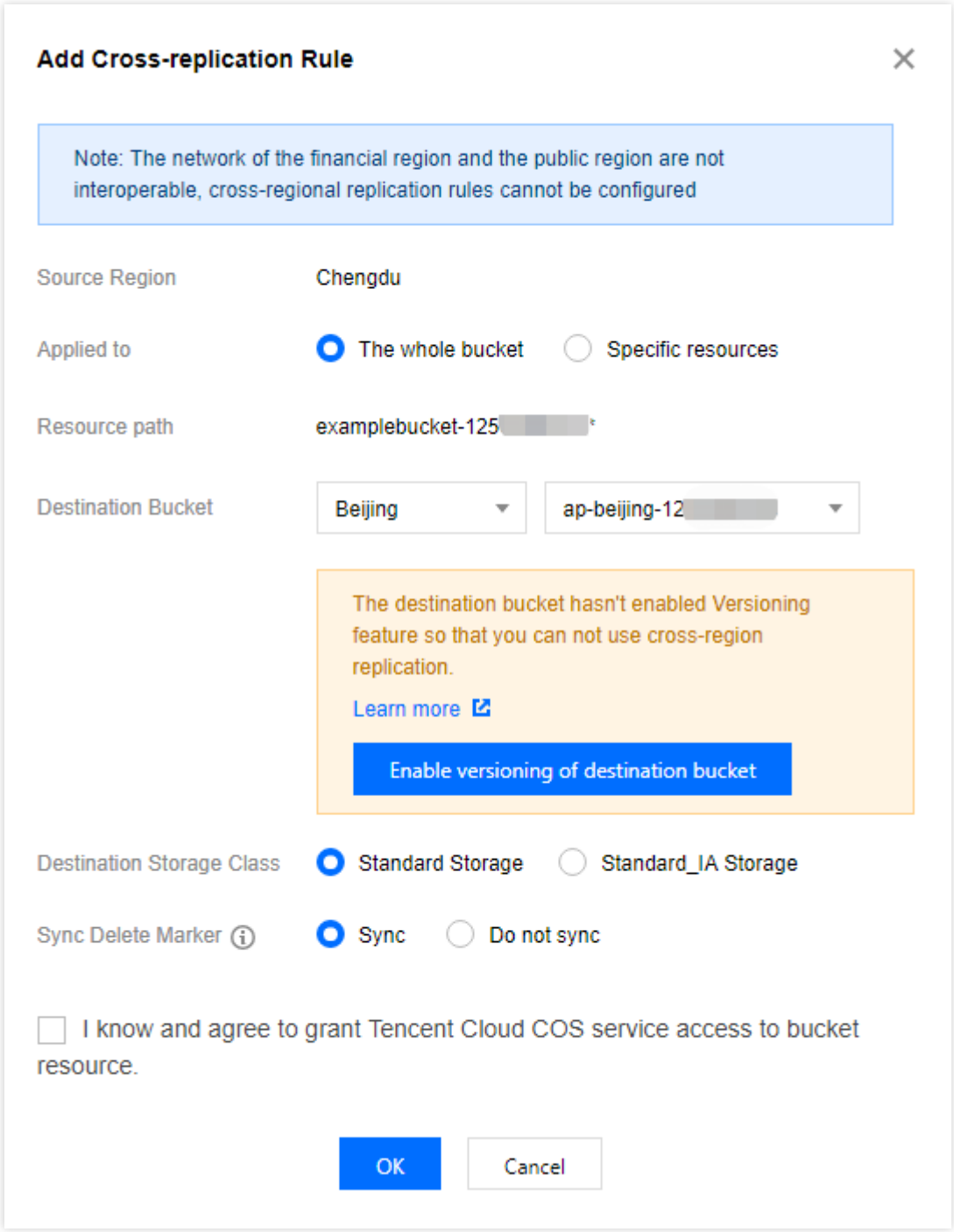
1. COSコンソールにログインします。
2. 左側ナビゲーションバーで、**バケットリスト**をクリックします。
3. バケットコピーを設定したいソースバケットをクリックし、バケット詳細ページに進みます。
4. 左側の**障害復旧管理 > バケットコピー**をクリックします。
5. **バケットコピー**バーで、**ルールの追加**をクリックします。



6. ポップアップしたウィンドウで、バケットコピールールを設定し、**OK**をクリックします。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

説明：
ソースバケットとターゲットバケットのどちらもバージョン管理機能が有効化されていない場合，まずバージョン管理機能を有効化してから、バケットコピールールを設定してください。



設定項目の説明は次のとおりです。

設定項目	設定説明

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

ソースリージョン	ソースバケットが所属するリージョンです。
適用範囲	コピーしたいソースバケット内のオブジェクトの範囲です。設定していない場合は、デフォルトではバケット内のすべてのオブジェクトがコピーされます。プレフィックスが指定されている場合、特定のプレフィックスを持つコンテンツがコピーされます（例えば、`logs/`プレフィックスを持つファイルをコピーしたい場合は、`logs/`を入力します）。
リソースパス	ソースバケットのパスです。
ターゲットバケット	コピーされたオブジェクトを保存するバケットです。その所属リージョンは、ソースバケットのリージョンと同一にすることができます。同じリージョンでは1つのバケットのみがサポートされ、現在のアカウント以外のバケットを選択することはサポートされていません。
ターゲットストレージタイプ	ターゲットバケットにコピーされたオブジェクトのストレージタイプです。デフォルトでは、ソースバケット内のオブジェクトのタイプに追従します。他のストレージタイプを選択して、ターゲットバケットにコピーされたオブジェクトのタイプを変更することができます。
削除マーカーの同期	バージョン管理が有効な場合、バージョンIDを指定せずにファイルを削除すると、ソースバケットに削除マーカーが追加されます。削除マーカーの同期を選択した場合、バケットコピーはこのマーカーをターゲットバケットにコピーします。非同期を選択した場合、ターゲットバケットは削除マーカーを新たに追加しません。どちらの状況でも、ターゲットバケットは対応するファイルを削除せず、ユーザーはバージョンIDを指定してオブジェクトの旧バージョンにアクセスすることができます。バージョン管理と削除マーカーの詳細情報については、 バージョン管理の概要 のドキュメントをご参照ください。

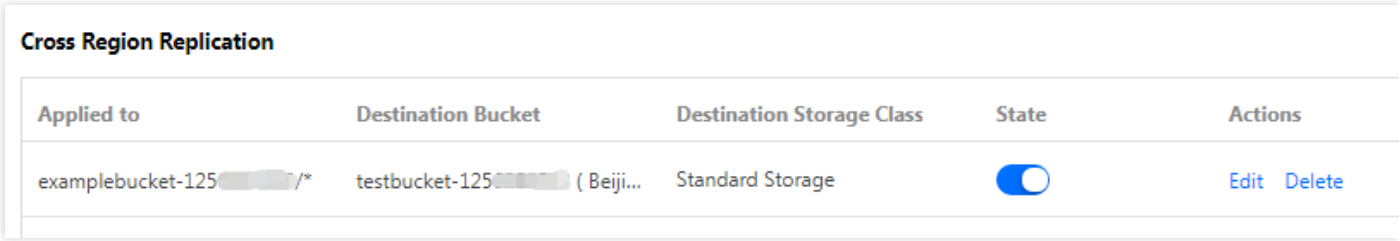
>! > - ルールの設定が完了すると、ルールに対して管理操作を実行することができます。ボタンをクリックすると現在のルールを有効または無効にでき、編集ボタンをクリックすると現在のルールを変更することができます。 > - バケットコピールールを最初に設定したときに、適用範囲をバケットのすべての内容をコピーするように設定した場合、新しいルールを追加することはできません。現在のルールを編集するか、現在のルールを削除して再度追加することで変更することができます。 > - バケットコピールールを最初に設定したときに、適用範囲をいずれかの項目のプレフィックスの内容に設定した場合でも、現在のルールを編集することで、バケットのすべての内容に適用範囲を変更できます。 >

バケットコピーの無効化

バケットコピー機能を無効化するには、ステータスボタンを無効にする、ルールを削除するという2種類の方法があります。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

- **ステータスボタンの無効化による方法**：いずれかのルールのステータスボタンを無効にして、現在のルールを一時的に使用禁止にします。この操作により、現在のバケットコピー機能が一時停止され、コピーされたデータがターゲットバケット、ソースバケットに保持され、ソースバケットの増分データはターゲットバケットにコピーされなくなります。再度使用する場合は、有効化ボタンをクリックします。
- **ルールの削除**：**バケットコピー**の管理項目で、追加したルールを削除します。ルールを削除すると、設定したバケットコピールールは無効になり、コピーしたデータはターゲットバケットに保存され、ソースバケットの増分データは、バケットコピー操作を行わなくなります。再度使用する場合は、ルールをもう一度追加する必要があります。



注意：

- 完了していないバケットコピー操作は、バケットコピーが無効になると中止され、続行できなくなります。
- バケットに対してバケットコピーを再度有効にすると、有効化が完了した後に追加されたオブジェクトに対してのみバケットコピー操作が実行されます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

グローバルアクセラレーションの有効化

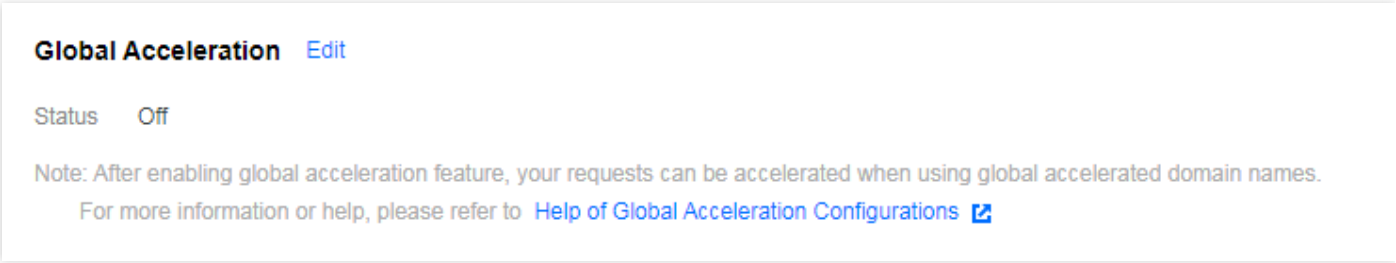
最終更新日：：2022-06-02 12:19:31

概要

COSコンソールからバケットのグローバルアクセラレーション機能を有効化することによって、世界各地のユーザーがバケットにスピーディーにアクセスしやすくなり、ビジネスのアクセス成功率とビジネスの安定性を引き上げることができます。グローバルアクセラレーション機能は、アップロードとダウンロードを高速化することができます。詳細については、グローバルアクセラレーションの概要をご参照ください。

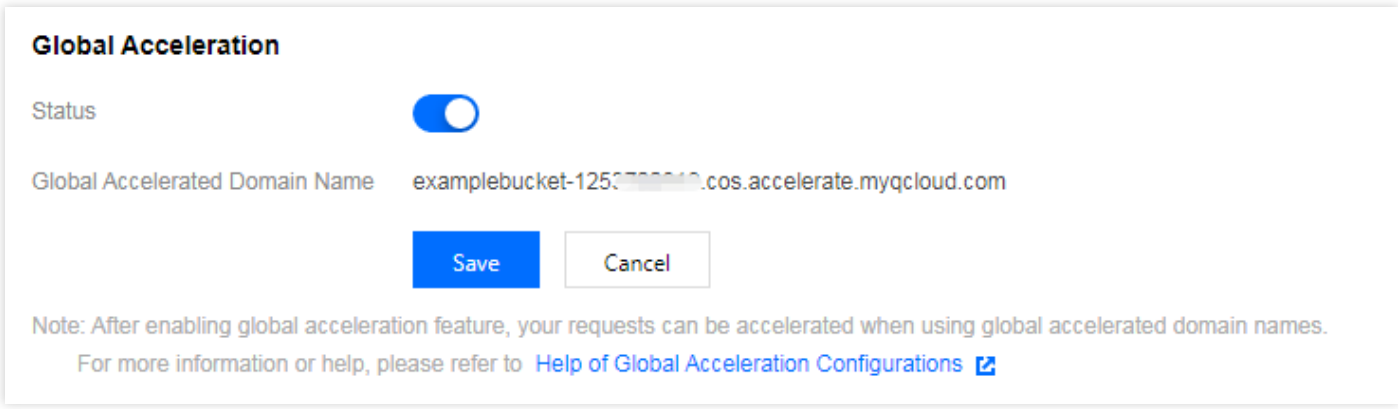
操作手順

1. COSコンソールにログインし、左側メニューバーの【バケットリスト】をクリックし、グローバルアクセラレーション機能を設定する必要があるバケットを選択してクリックし、バケットの詳細インターフェースに進みます。
2. 左側の【ドメイン名と伝送管理】>【グローバルアクセラレーション】をクリックし、【グローバルアクセラレーション】の管理項目を見つけ、【編集】をクリックして現在のステータスをオンにします。



3. 間違いのないことを確認してから「保存」をクリックすると、バケットのグローバルアクセラレーション機能を有効化できます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



4. グローバルアクセラレーション機能を有効化すると、グローバルアクセラレーションのドメイン名でバケットにアクセスするだけで、データにすばやくアクセスできるようになります。グローバルアクセラレーションドメイン名の形式としては、 `<bucketname-appid>.cos.accelerate.myqcloud.com` などがあります。

> 説明：
> グローバルアクセラレーション機能を有効化しても、元のバケットのデフォルトドメイン名に影響を与えることなく、通常どおり使用することができます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

オブジェクトロックの設定

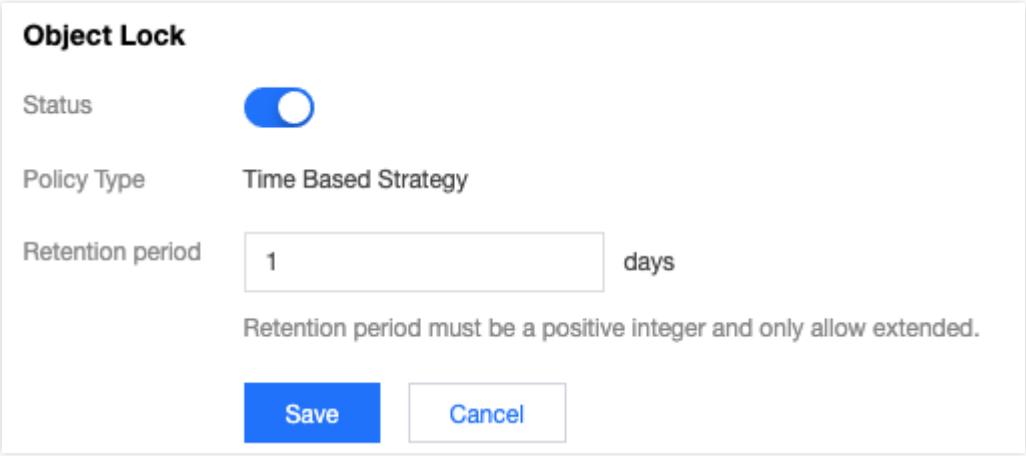
最終更新日：：2023-01-29 14:28:24

概要

Tencent CloudのCloud Object Storage（COS）はオブジェクトロック機能を提供し、設定した期限内においてオブジェクトが書き換えまたは削除されず、なおかつすぐにアクセスできるようにすることができます。ここでは主に、コンソールからオブジェクトのロック機能を有効にする方法についてご説明します。

操作手順

1. COSコンソールにログインします。
2. 左側メニューで**バケットリスト**をクリックし、バケットリストページに進みます。
3. オブジェクトロックを設定したいバケットをクリックし、バケットリストページに進みます。
4. 左側の**セキュリティ管理>オブジェクトロック**をクリックし、**オブジェクトロック**の設定項目を見つけて**編集**をクリックし、現在のステータスを「有効」に変更します。
5. 設定ウィンドウに保持時間を入力し、**保存**をクリックします。



保持時間：正の整数を入力します。保持期間は延長のみ可能で短縮はできませんので、適宜設定してください。

6. ポップアップウィンドウで、**OK**をクリックすれば完了です。
設定が完了すると、オブジェクトロックの有効期限を確認することができます。左側の**ファイルリスト**をクリックし、確認したいファイルを選択して、ファイルの右側にある**詳細**をクリックすると、基本情報にオブジェクトロックの有効期限（現地時間）が表示されます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

説明：
オブジェクトロック機能は現在ホワイトリストのお客様にのみ開放されています。この機能のアクティブ化をご希望の場合は、お問い合わせください。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

オブジェクトの管理
オブジェクトのアップロード

最終更新日：：2023-06-15 16:07:18

概要

COSコンソールから、バケットのファイルリストページにオブジェクトをアップロードすることができます。詳細については、オブジェクトの概要をご参照ください。

説明：

- 現在マルチAZ特性をサポートするストレージタイプは、北京、上海、広州、シンガポールリージョンでのみサポートされています。標準ストレージ（マルチAZ）のように、マルチAZ特性のストレージタイプをアップロードしたい場合は、まず対応するリージョンのバケットに対して、 マルチAZ特性の有効化を行ってください。
- 現在INTELLIGENT_TIERINGストレージタイプは、北京、南京、上海、広州、成都、重慶、東京、シンガポールリージョンでのみサポートされています。このタイプのアップロードが必要な場合は、まず対応するリージョンのバケットに対して、INTELLIGENT_TIERINGストレージ設定の有効化を行ってください。
- ディープアーカイブストレージタイプは、北京、南京、上海、広州、成都、重慶、東京、シンガポールリージョンでのみサポートされています。このタイプのアップロードが必要な場合は、まず対応するリージョンのバケットを選択してください。
- コンソールを使用してオブジェクトをアップロードする際、アップロードの速度は現在のネットワーク環境に強く依存します。比較的大きなオブジェクトをアップロードしたい場合、またはネットワーク環境が脆弱な場合は、マルチパートアップロードを優先的に使用することをお勧めします。マルチパートアップロードはファイルを複数のパートに分割して独立してアップロードすることができ、単一パートのアップロードに失敗しても、アップロード済みの他のパートに影響することはありません。マルチパートアップロードのリクエストは、COSCLIツール、API、各言語のSDKを使用して行うことができます。このうち、SDKとCOSCLIは中断からの再開をサポートしており、ツールを再実行すると、アップロードが完了していないファイルのアップロードを再開できるため、全体的なアップロード成功率が向上します。

前提条件

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

オブジェクトをアップロードする前に、バケットが作成されていることを確認してください。オブジェクトが作成されていない場合は、まずバケットの作成のドキュメントをご参照のうえ、操作を行ってください。

操作手順

1. COSコンソールにログインします。

2. 左側ナビゲーションバーで**バケットリスト**をクリックし、バケットリストページに進みます。

3. ストレージが必要なオブジェクトのバケットをクリックし、バケットのファイルリストページに進みます。

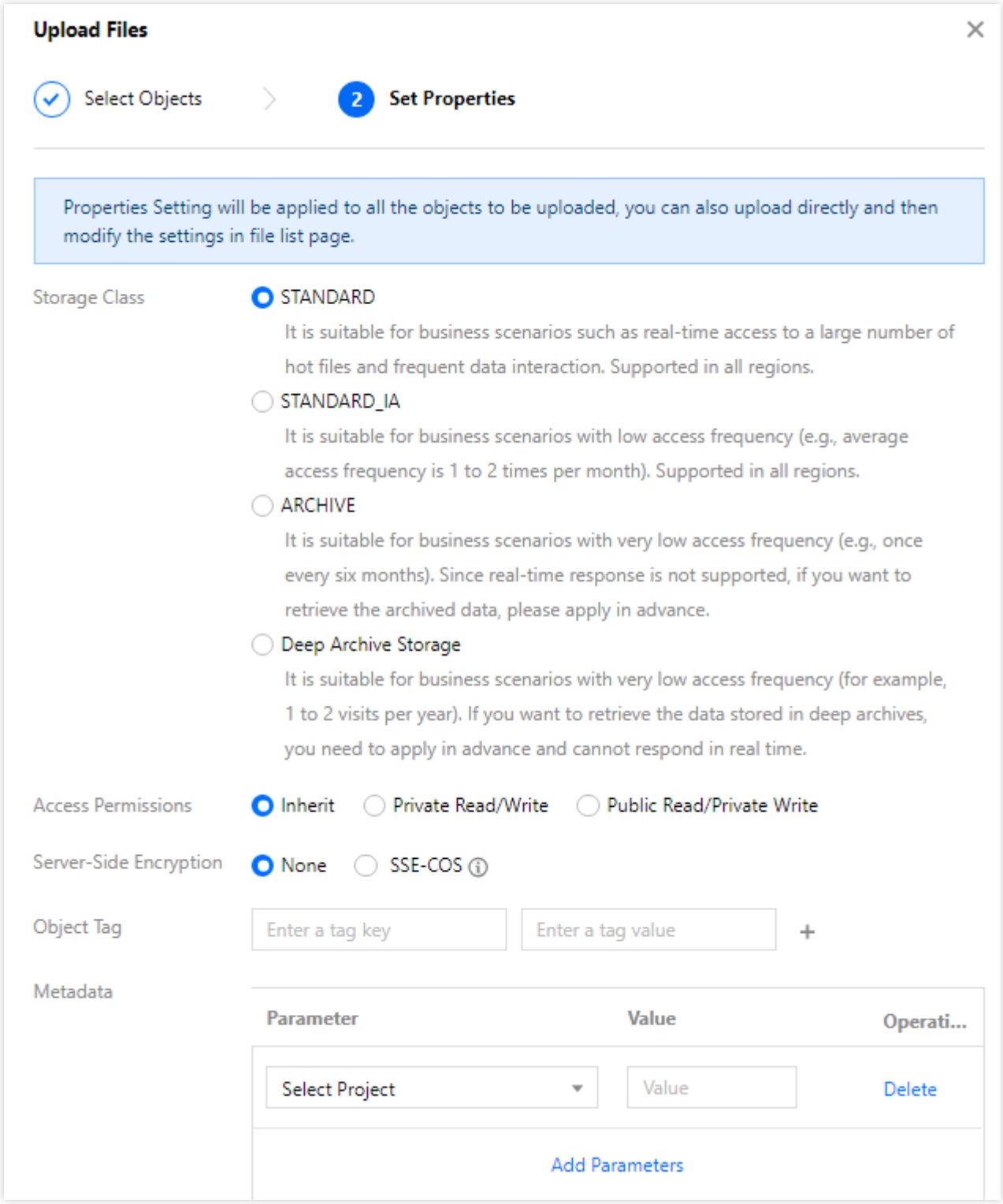
4. ファイルリストで、**ファイルのアップロード**をクリックします。

5. ポップアップしたウィンドウで、**ファイルの選択**または**フォルダの選択**をクリックし、実際のニーズに応じて、1つまたは複数のローカルファイル（またはフォルダ）を選択します。

   > 説明：
   > 複数のファイルのアップロードをサポートしていないブラウザもありますので、IE10以上、Firefox、Chromeなどの主流ブラウザを使用することをお勧めします。

6. （オプション）**パラメータ設定**をクリックし、ファイルのアップロードウィンドウでオブジェクトの属性を設定します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



設定に関する説明は次のとおりです。

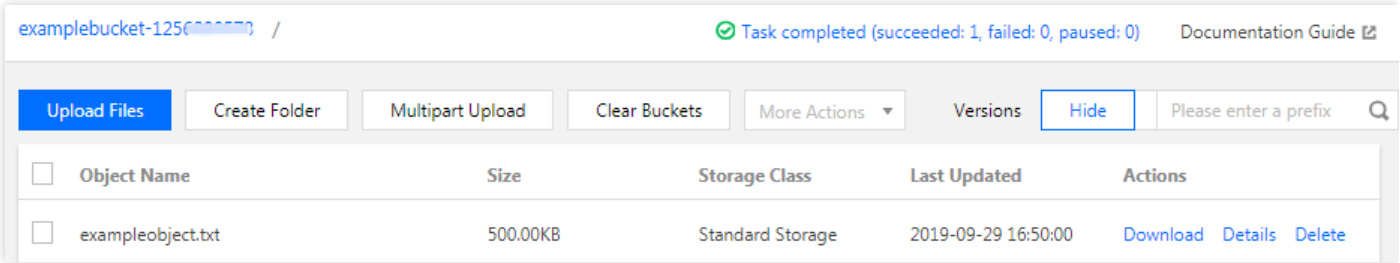
- **ストレージタイプ**：異なるユースケースに基づき、オブジェクトごとに異なるストレージタイプを設定することができます。デフォルトのストレージタイプは標準ストレージです。ストレージタイプの説明についてはストレージタイプをご参照ください。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

注意：
バケットのマルチAZ設定を有効化した場合、**ストレージタイプ**は、標準ストレージ（マルチAZ）のように、マルチAZ特性を持つストレージタイプのみを選択できます。同時にINTELLIGENT_TIERINGストレージ設定を有効化すると、さらにINTELLIGENT_TIERINGストレージ（マルチAZ）タイプを選択することができます。

- **アクセス権限**：オブジェクトごとに異なるアクセス権限を設定することができます。デフォルトのアクセス権限は継承された権限（継承されたバケット権限）です。アクセス権限の詳細については、アクセス制御の基本概念をご参照ください。
- **サーバー側の暗号化**：オブジェクトをアップロードすると同時に、オブジェクトのサーバー側の暗号化属性を設定します。Tencent Cloud COSは、アップロードされたオブジェクトにデータ暗号化保護ポリシーを追加し、データを書き込む前の自動的な暗号化を支援するだけでなく、そのデータにアクセスすると自動的に復号を行います。現在、SSE-COS、SSE-KMS（北京、上海、広州リージョンでのみサポートされています）をサポートしています。詳細については、サーバー側の暗号化の概要をご参照ください。
- **オブジェクトタグ**：オブジェクトタグはタグのキー(tagKey)とタグの値(tagValue)を「=」でつないだ構成となっています（例：group = IT）。お客様は指定したオブジェクトに対し、タグの設定、照会、削除操作を行うことができます。
- **メタデータ**：オブジェクトメタデータとは、サーバーがHTTPプロトコルを使ってHTMLデータをブラウザに渡す前に送る文字列で、HTTP Headerとも呼ばれます。HTTP Headerを変更することで、ページの応答形式を変更したり、キャッシュタイムの変更といった設定情報を伝達したりすることができます。オブジェクトのHTTP Headerを変更しても、オブジェクト自体は変更されません。詳細な情報については、カスタムオブジェクトHeadersをご参照ください。

7. **アップロード**をクリックします。
ページ右上の「タスク完了」で現在のアップロードの進捗状況を確認することができます。アップロードが完了すると、バケットの「ファイルリスト」ページで先ほどアップロードしたオブジェクトを確認できます。



説明：

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

図のタスク進捗状況は、現在の操作で作成されたタスクの数の集計を示しています。例えば、1回のアップロードタスクを実行し（このアップロードタスクは10ファイルをアップロードするものとします）、すべてアップロードに成功した場合、このタスクの進捗状況は「タスク完了（合計1、成功1、失敗0）」と表示されます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

オブジェクトのダウンロード

最終更新日：：2023-01-29 14:40:11

概要

COSコンソールから、バケット内の既存のオブジェクトをダウンロードできます。コンソールから単一オブジェクトをダウンロードすることも、COSBrowserツールからオブジェクトを一括でダウンロードすることもできます。

前提条件

オブジェクトをダウンロードする前に、バケットにオブジェクトが存在することを確認してください。オブジェクトがアップロードされていない場合は、まずオブジェクトのアップロードのドキュメントをご参照のうえ、アップロード操作を行ってください。

操作手順

単一オブジェクトのダウンロード

1. COSコンソールにログインします。
2. 左側ナビゲーションバーで**バケットリスト**をクリックし、バケットリストページに進みます。
3. オブジェクトがあるバケットを見つけ、そのバケット名をクリックし、バケット管理ページに進みます。
4. 左側ナビゲーションバーで**ファイルリスト**を選択し、ファイルリストページに進みます。
5. ダウンロードしたいオブジェクトを見つけ、対応するダウンロードボタンを選択します。

- 選択したオブジェクト右側の操作バーで、**ダウンロード**をクリックするとダウンロードできます。
- オブジェクトにチェックを入れ、上の**その他の操作 > ダウンロード**をクリックするとダウンロードできます。
- 選択したオブジェクト右側の操作バーで、**詳細**をクリックし、ファイル詳細ページに進み、そのページで**オブジェクトのダウンロード**をクリックするとダウンロードできます。
  あるいは、そのページで**一時リンクのコピー**をクリックし、ブラウザのアドレスバーにリンクを貼り付けてエンターキーを押せば、そのオブジェクトをダウンロードすることができます。

> 説明：

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

- オブジェクトが属するバケットの属性が**プライベート読み取り/書き込み**である場合、ここにコピーされたアドレスは自動的に署名を計算し、拡張子を追加します。署名の発行方法の詳細については、リクエスト署名のドキュメントをご参照ください。
- 署名付きの一時リンクは、**オブジェクトの詳細確認**をしてから1時間有効です。また、**有効期間の更新**をクリックして、署名の有効期間を更新することもできます。
- デフォルトで、ダウンロードしたオブジェクトをブラウザで直接開くことがサポートされている場合、ダウンロードではなく、一時リンクにアクセスする方法でオブジェクトを直接プレビューできます。

オブジェクトまたはフォルダの一括ダウンロード

説明：
COSコンソールは、単一オブジェクトのダウンロードのみをサポートしています。複数のオブジェクトまたはフォルダを一括ダウンロードしたい場合は、COSBrowserクライアントを直接インストールして使用することをお勧めします。次に、**COSBrowserクライアント**と連携してコンソールからオブジェクトやフォルダを一括ダウンロードする方法についてご説明します。

1. COSコンソールにログインします。
2. 左側ナビゲーションバーで**バケットリスト**をクリックし、バケットリストページに進みます。
3. オブジェクトがあるバケットを見つけ、そのバケット名をクリックし、バケット管理ページに進みます。
4. 左側ナビゲーションバーで**ファイルリスト**を選択し、ファイルリストページに進みます。
5. 複数のオブジェクトにチェックを入れ、上の**その他の操作 > ダウンロード**をクリックします。
6. ポップアップウィンドウのプロンプトに従って、COSBrowserクライアントをインストールするか、開いてログインします。
7. COSBrowserを開いたら、ファイルの保存場所を選択します。選択したファイルは自動的にダウンロードキューに入り、ダウンロードが開始されます。**リストのダウンロード**をクリックすると確認できます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

オブジェクトのコピー

最終更新日：：2022-12-20 15:28:42

概要

COSコンソールから、バケットにアップロードされた単一または複数のオブジェクトをコピーすることができ、ソースパスからターゲットパスへのオブジェクトのコピーが可能になります。

説明：

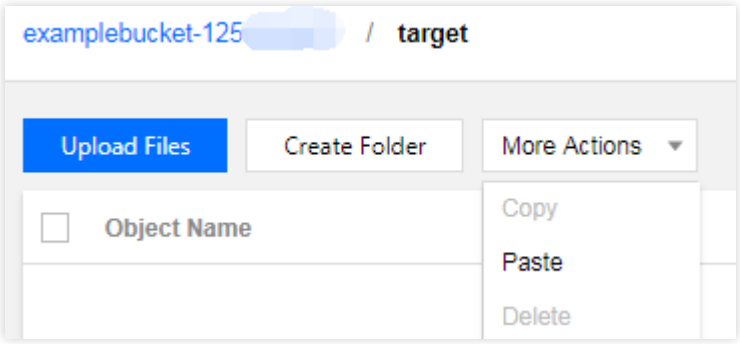
- CASタイプのオブジェクトに対するコピー＆ペーストはサポートされていません。
- 標準ストレージ（マルチAZ）は、現時点では標準ストレージ（マルチAZ）タイプとしてコピーすることのみをサポートしており、標準ストレージ、低頻度およびアーカイブストレージタイプとしてコピーすることをサポートしていません。
- 低頻度ストレージ（マルチAZ）タイプは、現時点では低頻度ストレージ（マルチAZ）タイプとしてコピーすることのみをサポートしており、標準ストレージ、低頻度およびアーカイブストレージタイプとしてコピーすることをサポートしていません。
- サブアカウントでオブジェクトをコピーするには、PutObject、GetObject、GetObjectACLという3つの権限が必要です。

操作手順

1. COSコンソールにログインします。
2. 左側ナビゲーションバーで**バケットリスト**をクリックし、バケットリストページに進みます。
3. 対応するバケットを見つけ、そのバケット名をクリックし、バケットのファイルリストページに進みます。
4. コピーしたいオブジェクトやフォルダを選択し（複数選択も可能です）、上方の**その他の操作 > コピー**をクリックします。
5. コピーに成功したと表示されたら、ターゲットパスを選択し、上方の**その他の操作 > 貼り付け**をクリックすれば貼り付けることができます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

例えば、バケットexamplebucket1-1250000000の下にあるtargetフォルダに貼り付けます。



注意：
ターゲットパスをソースパスと同じにすることはできません。同じにした場合、貼り付けが失敗します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

オブジェクトのプレビューまたは編集

最終更新日：：2023-01-29 14:43:28

概要

COSコンソールからオブジェクトの内容をオンラインでプレビューすることができ、テキストタイプのオブジェクトについては編集を行うこともできます。プレビューをサポートしているファイルタイプおよびそれに関する説明については、ドキュメントプレビューの概要をご参照ください。

操作手順

1. COSコンソールにログインします。
2. 左側ナビゲーションバーで**バケットリスト**をクリックし、バケットリストページに進みます。
3. オブジェクトがあるバケットを見つけ、そのバケット名をクリックし、バケット管理ページに進みます。
4. 左側ナビゲーションバーで**ファイルリスト**を選択し、ファイルリストページに進みます。
5. オンラインプレビューしたいオブジェクトを見つけ、その右側の操作バーの下にある**プレビュー**をクリックします。
6. ポップアップしたプレビューボックスで、オブジェクトをプレビューできます。
   また、ドキュメントタイプのファイルについては、コピーした一時プレビューリンク（有効期間1時間）をクリックして、ブラウザでプレビューすることができます。
7. テキストタイプのファイルについては、プレビューボックスで**編集**をクリックすることができます。
8. プロンプトガイドに従って、COSBrowserのウェブページへのログイン権限を承認すると、ファイルの編集が行えるようになります。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

オブジェクト情報の確認

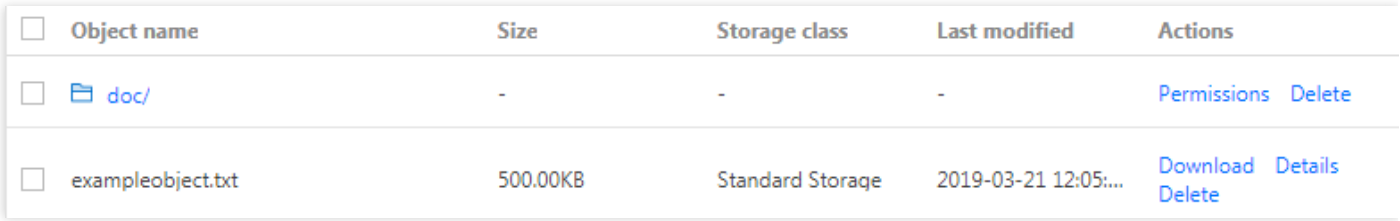
最終更新日：：2022-06-02 11:28:53

概要

COSコンソールから、オブジェクトのプロパティ情報（オブジェクトのサイズやアドレスなど）およびオブジェクト関連の構成（オブジェクトのアクセス権限の設定、ストレージタイプの変更など）を確認することができます。

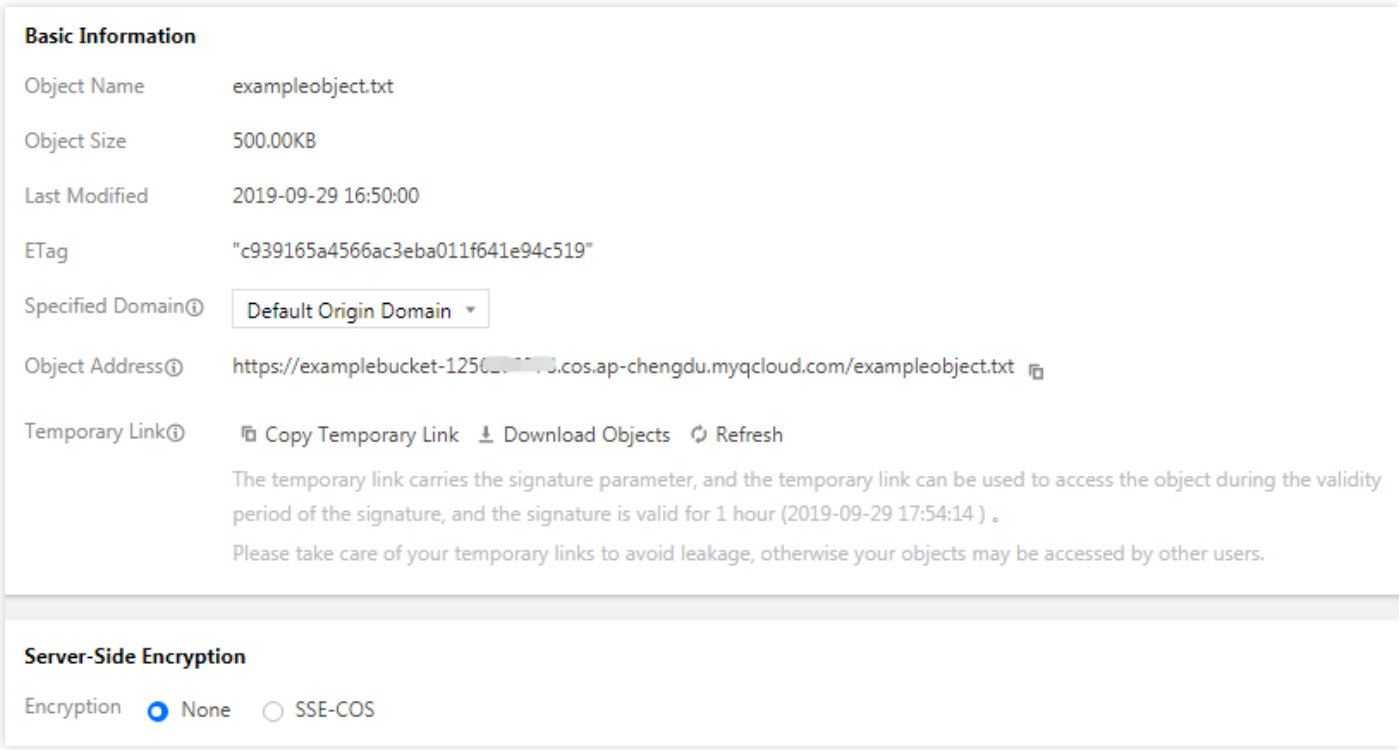
操作手順

1. COSコンソールにログインし、左側ナビゲーションバーの【バケットリスト】をクリックし、バケットリストに進みます。
2. 確認したいオブジェクト情報があるバケットを見つけ、バケット名をクリックし、バケット詳細ページに進みます。
3. バケット詳細ページの「ファイルリスト」オプションページで、プロパティ情報を確認したいオブジェクトを見つけ、右側アクションバーの下にある【詳細】をクリックします。



4. 【詳細】をクリックすると、オブジェクトのサイズ、アドレスおよび署名の取得リンクなどの情報を確認することができます。また、オブジェクトを設定することも可能です。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

オブジェクトの検索

最終更新日：：2023-03-14 15:12:53

概要

COSコンソールから、アップロードされたオブジェクト、フォルダおよびフォルダ下のオブジェクトの検索ができます。COSは、現在のバケット下にあるオブジェクト（またはフォルダ）の検索だけでなく、バケットの下にある複数レベルのフォルダとそのオブジェクトの検索もサポートしています。

説明：

- オブジェクトを検索する際に入力するオブジェクトプレフィックスは、アルファベットの大文字と小文字を区別する必要があります。
- COSコンソールはあいまい一致をサポートしておらず、プレフィックスマッチングのみサポートしています。あいまい検索にはCOSBrowserツールの使用をお勧めします。詳細については、COSBrowserの概要をご参照ください。

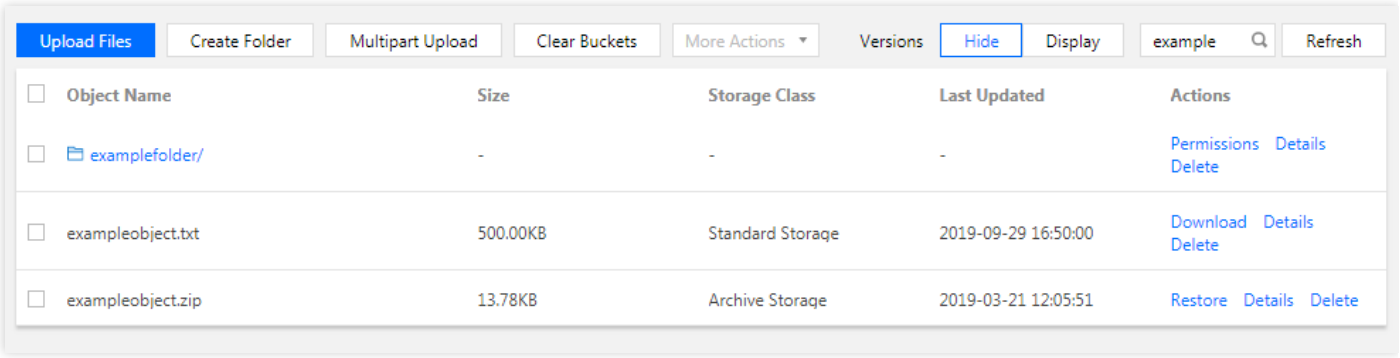
操作手順

バケットのカレントオブジェクトの検索

1. COSコンソールにログインします。
2. 左側ナビゲーションバーで**バケットリスト**をクリックし、バケットリストページに進みます。
3. オブジェクトがあるバケットを見つけ、そのバケット名をクリックし、バケット管理ページに進みます。
4. 左側ナビゲーションバーで**ファイルリスト**を選択し、ファイルリストページに進みます。
5. ページ右上隅にある検索ボックスに、オブジェクト名のプレフィックスを入力し、 をクリックすると、現在のバケット内の**同じ名前のプレフィックス**を持つオブジェクトまたはフォルダが表示されます。特定のオブジェクトを検索する必要がある場合は、 `exampleobject.txt` などの完全なオブジェクトキーを入力しま

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

す。



複数レベルのフォルダ下にあるオブジェクトの検索

1. COSコンソールにログインします。
2. 左側ナビゲーションバーで**バケットリスト**をクリックし、バケットリストページに進みます。
3. オブジェクトがあるバケットを見つけ、そのバケット名をクリックし、バケット管理ページに進みます。
4. 左側ナビゲーションバーで**ファイルリスト**を選択し、ファイルリストページに進みます。
5. ページ右上隅にある検索ボックスに、オブジェクトのフルパス（またはフォルダ名）とオブジェクトプレ

フィックス（一部入力でもかまいません）を入力し、　をクリックすると、同じフォルダにある**同じオブジェクトプレフィックス**を持つ検索結果を表示することができます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

オブジェクトのソートまたはフィルタリング

最終更新日：：2022-12-01 14:23:22

概要

COSコンソールを介して、バケット内のファイルリストのファイルをソートおよびフィルタリングすることができます。

> 説明：
> ソートやフィルタリングは、ファイルやフォルダ総数が1,000未満の場合のみサポートされます。

操作手順

1. COSコンソールにログインします。
2. 左側ナビゲーションバーで**バケットリスト**を選択し、バケットリストページに進みます。
3. 対応するバケットを見つけ、そのバケット名をクリックし、バケットのファイルリストページに進みます。
4. 実際の必要性に応じて、 、 または 、 をクリックし、ソートやフィルタリングを行います。

> 説明：
> 現在、ファイル名、サイズ、変更時間によるファイルリストのソートと、ストレージタイプによるフィルタリングをサポートしています。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

アーカイブの直接伝送

最終更新日：：2022-10-31 15:28:38

概要

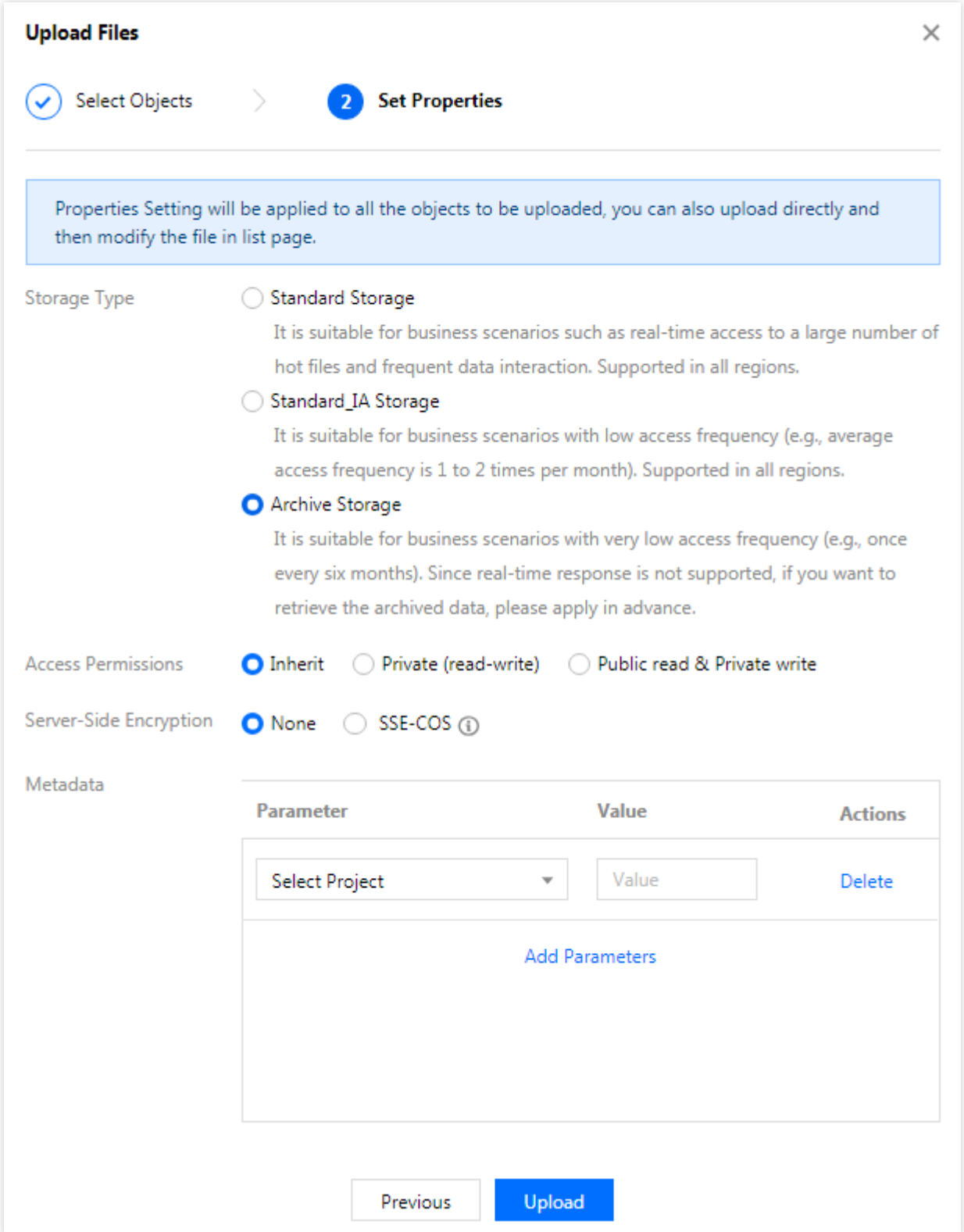
Cloud Object Storage（COS）は現在、アーカイブへの直接伝送をサポートしており、オブジェクトをアーカイブタイプとして直接設定し、COSにアップロードすることができます。アーカイブへの直接伝送の方法としては、コンソール、API、SDK、COSCMDツールがあります。また、COSのライフサイクル機能を使用して、アップロードされたオブジェクトをアーカイブストレージタイプやディープアーカイブストレージタイプに移行することもできます。アーカイブタイプの詳細については、ストレージタイプの概要をご参照ください。

アーカイブへの直接伝送方法

- コンソールを使用したアップロード
  COSコンソールの**ファイルのアップロード**でアップロードするオブジェクトを選択した後、オブジェクトのプロパティ設定でストレージタイプとして**アーカイブストレージ**または**ディープアーカイブストレージ**を選択し

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

ます。詳細については、オブジェクトのアップロードをご参照ください。



- APIを使用したアップロード

  PUT Object、POST ObjectまたはInitiate Multipart Uploadでx-cos-storage-classをARCHIVEまたはDEEP_ARCHIVEに設定することにより、アーカイブへの直接伝送が実現します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

> 注意：
> Append Objectはアーカイブへの直接伝送をサポートしていません。

- SDKを使用したアップロード
  現在COSがリリースしているすべてのSDKは、アーカイブへの直接伝送をサポートしています。具体的な方法としては、ファイルをアップロードする際にStorageClassパラメータをARCHIVEまたはDEEP_ARCHIVEに設定し、アーカイブへの直接伝送を実現するものです。
- COSCMDツールを使用したアップロード
  COSCMDツールは、アーカイブへの直接伝送をサポートしています。具体的な方法は、ヘッダーフィールドx-cos-storage-classを追加し、それをARCHIVEまたはDEEP_ARCHIVEに設定して、アーカイブへの直接伝送を実現するものです。

アーカイブの復元とダウンロード

アーカイブストレージとディープアーカイブストレージタイプのオブジェクトに対するダウンロード操作は、標準ストレージ/低頻度ストレージとは異なります。アーカイブストレージはダウンロードする前に、まず復元操作（解凍）を行う必要があり、復元が完了した後にダウンロードを実行することができます。復元操作には、次の3種類の方法があります。

- 高速取得モード：時間は最短で、通常はデータの取得を完了するのに1～5分しかかかりません。
- 標準取得モード：標準取得モードを使用した場合、通常3～5時間でデータの取得が完了します。
- 一括取得モード：最も低コストで、通常5～12時間でデータの取得が完了します。

> 説明：
> ディープアーカイブストレージタイプのファイルは、高速取得モードを使用した復元をサポートしていません。復元時間は、標準取得モードでは12～24時間、一括取得モードでは24～48時間です。

また、コンソール、API、SDK、COSCMDツールは、いずれもアーカイブストレージの復元とダウンロードに対応しています。

アーカイブへの直接伝送の制限に関する説明

- アーカイブストレージとディープアーカイブストレージタイプのオブジェクトをダウンロードする場合、まず復元してからダウンロードする必要があります。
- アーカイブストレージとディープアーカイブストレージタイプのオブジェクトをコピーする場合、まず復元してからコピーする必要があります。
- アーカイブストレージとディープアーカイブストレージタイプのオブジェクトは、クロスリージョンレプリケーションをサポートしていません。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

- CASとディープアーカイブストレージタイプのオブジェクトは、標準ストレージ、低頻度ストレージなどのよりアクティブなストレージタイプへの変換をサポートしていません。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

ストレージタイプの変更

最終更新日：：2022-12-28 15:36:32

概要

COSコンソールから、アップロードされたオブジェクトのストレージタイプをいつでも変更して、さまざまなシナリオのビジネスニーズを満たすことができます。COSは標準ストレージ（マルチAZ）、低頻度ストレージ（マルチAZ）、INTELLIGENT_TIERINGストレージ、標準ストレージ、低頻度ストレージ、アーカイブストレージ、ディープアーカイブストレージといった、さまざまなストレージタイプを提供しています。詳細については、ストレージタイプの概要をご参照ください。次に、オブジェクトストレージタイプを変更する方法について詳しくご説明します。

説明：

- オブジェクトが、標準ストレージ（マルチAZ）、低頻度ストレージ（マルチAZ）タイプの場合、ストレージタイプを低頻度またはアーカイブストレージタイプに移行することは、現時点ではサポートされていません。
- オブジェクトが**アーカイブストレージ/ディープアーカイブストレージ**タイプの場合は、標準ストレージタイプに復元してからでなければ他のストレージタイプに切り替えることができません。詳細については、アーカイブオブジェクトの復元をご参照ください。
- 5GBを超えるオブジェクトのストレージタイプの変更はサポートされていません。

操作手順

1. COSコンソールにログインします。
2. 左側ナビゲーションバーで**バケットリスト**をクリックし、バケットリストページに進みます。
3. オブジェクトがあるバケットを見つけ、そのバケット名をクリックし、バケット管理ページに進みます。
4. 左側ナビゲーションバーで**ファイルリスト**を選択し、ファイルリストページに進みます。
5. 変更したいストレージタイプの単一オブジェクトを見つけ、右側の操作バーで、右側の**その他 > ストレージタイプの変更**をクリックして設定します。

複数のオブジェクトのストレージタイプを一括で変更したい場合、複数のオブジェクトにチェックを入れ、上部にある**その他の操作 > ストレージタイプの変更**をクリックして変更することができます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

6. ポップアップしたウィンドウで、変更するストレージタイプを選択し、**OK**をクリックすると、ストレージタイプを変更できます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

フラグメントファイルの削除

最終更新日：：2022-07-26 15:34:25

概要

指定したバケットを削除する必要があり、「**削除に失敗しました。バケット内の有効なデータを先に削除してください**」と表示された場合、**ファイルフラグメント**の管理項目に移動して、アップロードが完了していないファイルのフラグメントを確認し、削除することができます。バケット内の未完了のアップロードとアップロード済みのファイルがすべて削除されたことを確認した場合のみ、バケットを削除できます。

注意：

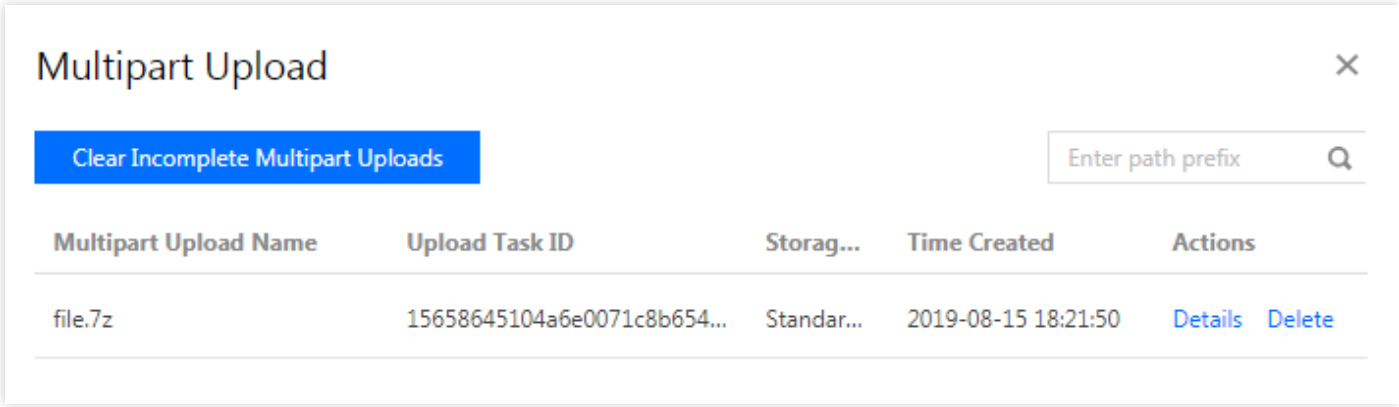
- オブジェクトのアップロード中に、アップロードを一時停止またはキャンセルしたファイルは、**ファイルフラグメント**の管理項目に表示されます。アップロードが完了すると、**ファイルリスト**でアップロード済みのファイルを検索できるようになります。
- ファイルフラグメントは通常のオブジェクトと同じようにストレージスペースを占有しますので、ストレージ容量料金が発生します。

操作手順

ファイルフラグメントの手動削除

1. COSコンソールにログインします。
2. 左側ナビゲーションバーで**バケットリスト**をクリックし、バケットリストページに進みます。
3. ファイルフラグメントを削除したいバケットを見つけ、そのバケット名をクリックし、バケット管理ページに進みます。
4. 左側ナビゲーションバーで**ファイルリスト**を選択し、ファイルリストページに進みます。
5. **ファイルフラグメント**をクリックします。
6. 開いたファイルフラグメントページで、アップロードが未完了のフラグメントファイルを確認できます。
7. ファイルフラグメントの右側にある**削除**をクリックすると、アップロードが未完了のフラグメントファイルを削除することができます。
   あるいは、上部の**フラグメントのクリア**をクリックして、アップロードが未完了のフラグメントファイルをワンクリックで削除することもできます。

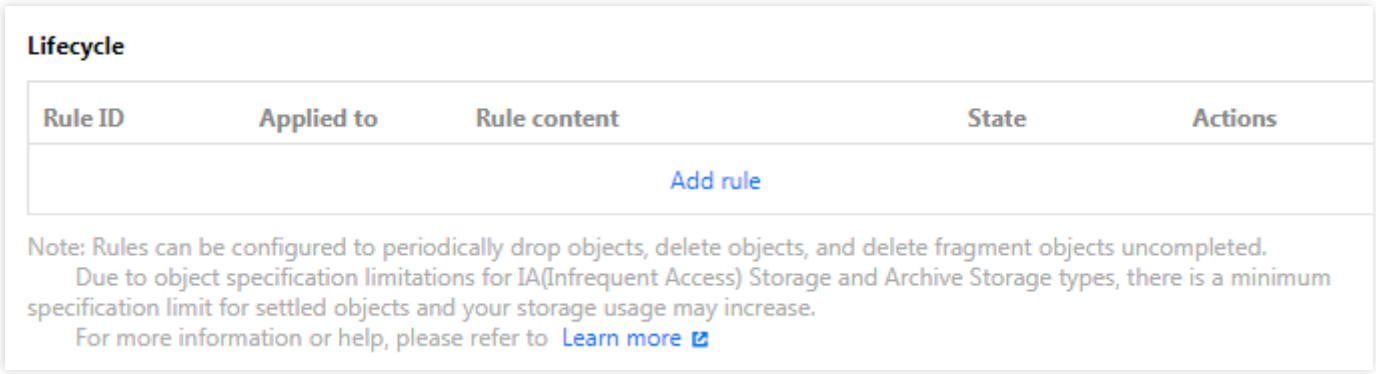
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



「フラグメントのクリア」または「削除」を行うと、表示されるリストは空になります。

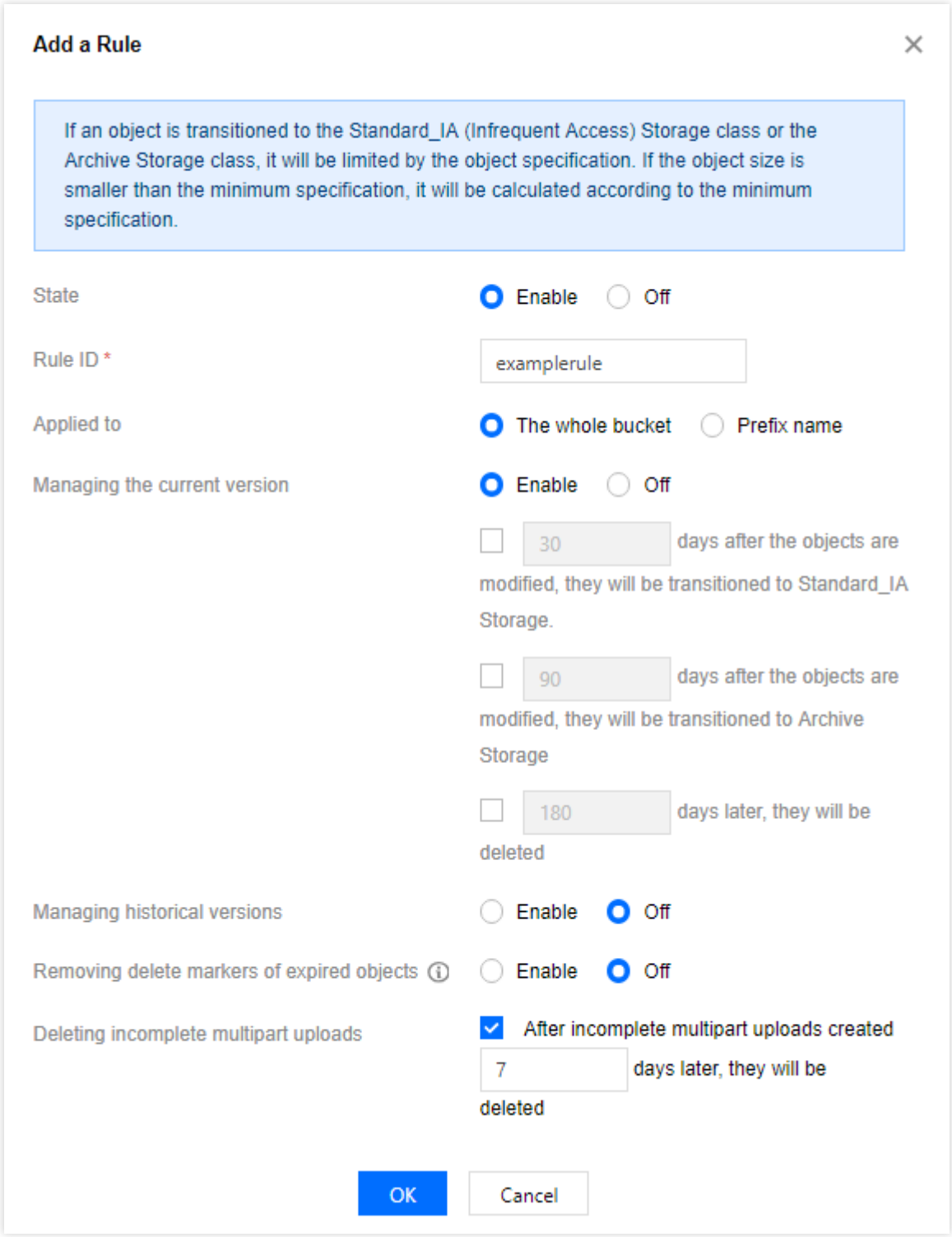
ファイルフラグメントを定期的にクリーンアップするようにライフサイクルを設定

1. COSコンソールにログインします。
2. 左側ナビゲーションバーで**バケットリスト**をクリックし、バケットリストページに進みます。
3. ファイルフラグメントを削除したいバケットを見つけ、そのバケット名をクリックし、バケット管理ページに進みます。
4. 左側ナビゲーションバーで**基本設定 > ライフサイクル**をクリックし、ライフサイクル管理ページに進みます。

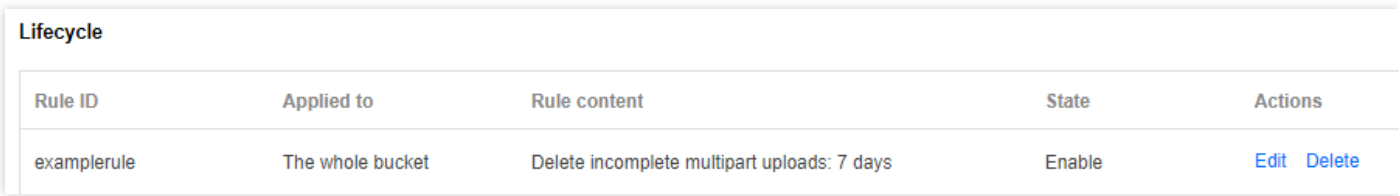


5. **ルールの追加**をクリックし、下図のように情報を設定します。ここでは、バケットの全範囲でフラグメントが作成されてから7日後に削除するようにルールを設定します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



6. **OK**をクリックすると、設定が成功したライフサイクルルールをコンソールで確認できます。



©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

オブジェクトのアクセス権限の設定

最終更新日：：2022-06-02 11:28:53

概要

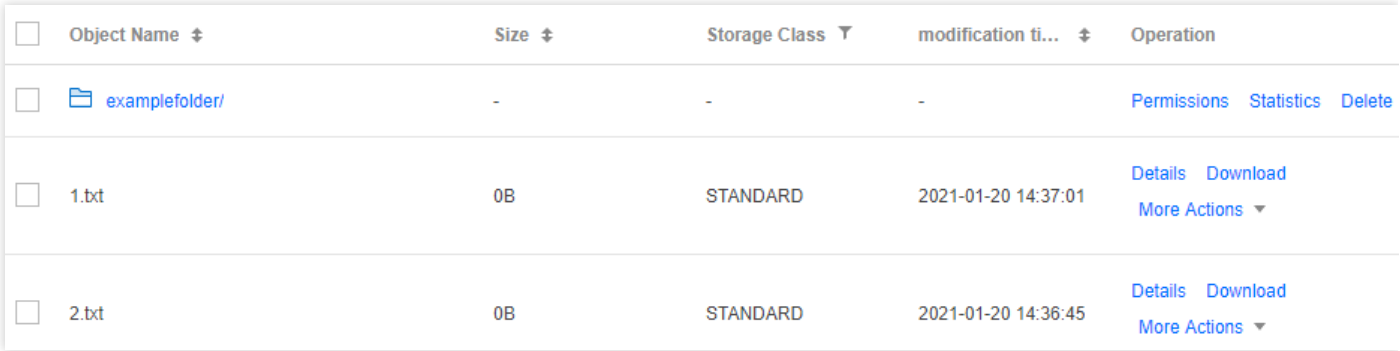
Cloud Object Storage（COS）は、オブジェクトディメンションに基づいたアクセス権限の設定を提供します。またこの権限は、バケットのアクセス権限よりも優先度が高いです。

説明：

- オブジェクトのアクセス権限は、ユーザーがデフォルトのドメイン名でアクセスする場合にのみ有効です。CDNアクセラレーションドメイン名やカスタムドメイン名でアクセスする場合、バケットのアクセス権限が優先されます。
- アクセスポリシールールには数の制限があります。詳細については、仕様と制限をご参照ください。

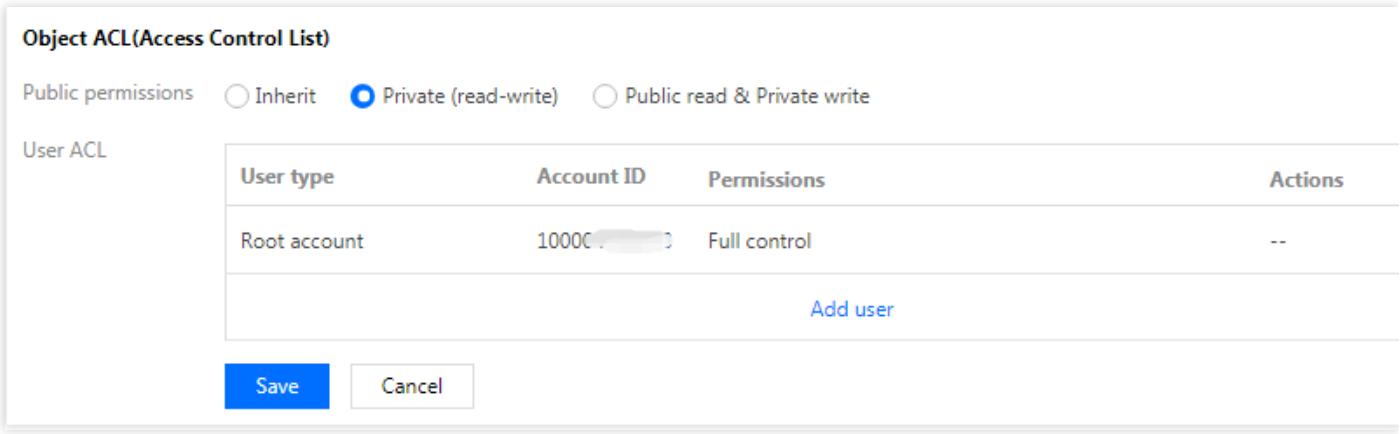
操作手順

1. COSコンソールにログインします。
2. 左側ナビゲーションバーで【バケットリスト】をクリックし、バケットリストページに進みます。
3. オブジェクトがあるバケットを見つけ、そのバケット名をクリックし、バケット管理ページに進みます。
4. 左側ナビゲーションバーで【ファイルリスト】を選択し、ファイルリストページに進みます。
5. アクセス権限を設定したいオブジェクトを見つけ、右側の【詳細】をクリックし、ファイルの詳細ページに進みます（フォルダの場合は、右側の【権限の設定】をクリックします）。



6. 「オブジェクトのアクセス権限」バーで、実際の必要性に応じてアクセス権限を設定します。
例えば、サブアカウントに付与されたオブジェクト権限、サブアカウントIDは、CAMコンソールで確認することができます。

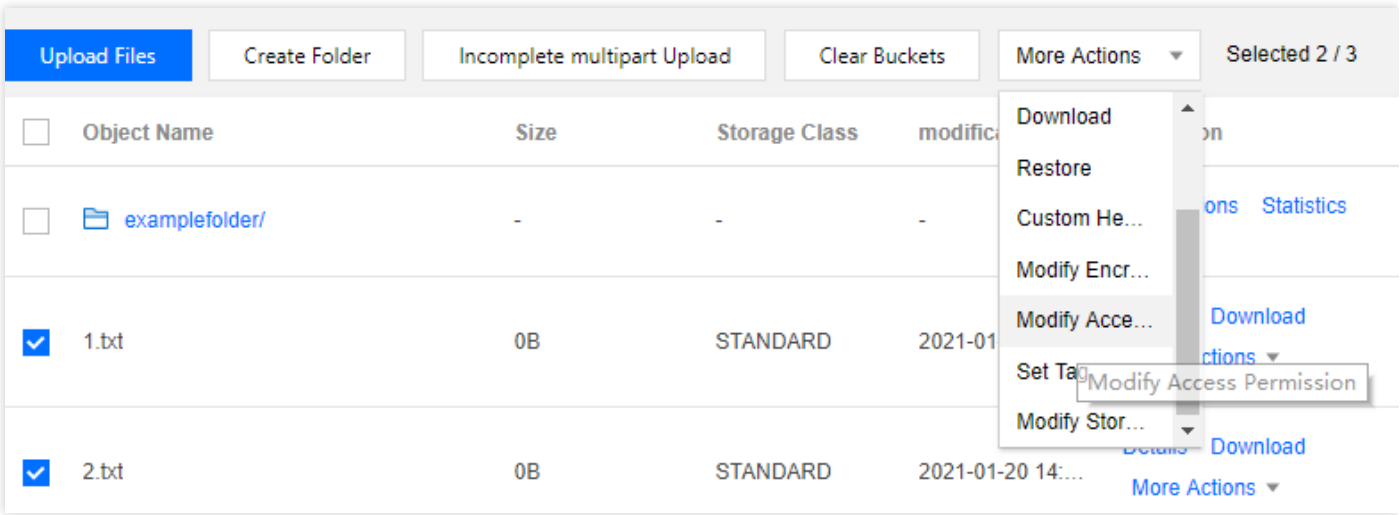
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



COSは、オブジェクトに対して、以下2種類の権限タイプの設定をサポートしています。

- **パブリック権限**：権限の継承、プライベート読み取り/書き込みおよびパブリック読み取りプライベート書き込みが含まれます。パブリック権限の説明については、オブジェクト概要の権限のタイプをご参照ください。
- **ユーザー権限**：ルートアカウントはデフォルトではオブジェクトのすべての権限を所有しています（完全制御）。このほかCOSはサブアカウントに対するデータ読み取り、データ書き込み、権限読み取り、権限書き込み、さらには**完全制御**の最高権限の付与もサポートしています。

7. 【保存】をクリックすると、オブジェクトのアクセス権限を設定できます。
複数のオブジェクトに対して一括でアクセス権限の設定または変更を行う必要がある場合は、複数のオブジェクトにチェックを入れ、上部にある【その他の操作】>【アクセス権限の変更】をクリックすれば設定できます。



©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

オブジェクト暗号化の設定

最終更新日：：2023-01-13 14:18:20

概要

COSコンソールから、バケットに保存されたオブジェクトに暗号化を設定することによって、情報漏洩を防止することができます。暗号化の詳細については、サーバー側の暗号化の概要をご参照ください。次に、オブジェクトの暗号化を設定する方法について詳しくご説明します。

注意：

- この操作は、アーカイブタイプのオブジェクトに対する暗号化の設定はサポートしていません。暗号化が必要な場合は、まずオブジェクトに対して復元操作を行い、復元完了後にストレージタイプを標準または低頻度に変更すれば、暗号化の設定を行うことができるようになります。
- 暗号化されたオブジェクトと暗号化されていないオブジェクトへのアクセスに体験上の違いはありません。ただしお客様がこのオブジェクトへのアクセス権限を持っていることが前提です。
- サーバー側での暗号化はオブジェクトデータのみを暗号化するものであり、オブジェクトメタデータの暗号化は行いません。またサーバー側で暗号化したオブジェクトには有効な署名を使用してアクセスする必要があり、匿名ユーザーはアクセスできなくなります。
- バケット内のオブジェクトをリストアップする際、オブジェクトが暗号化されているかどうかにかかわらず、すべてのオブジェクトのリストが返されます。

操作手順

1. COSコンソールにログインします。
2. 左側ナビゲーションバーで**バケットリスト**をクリックし、バケットリストページに進みます。
3. オブジェクトがあるバケットを見つけ、そのバケット名をクリックし、バケット管理ページに進みます。
4. 左側ナビゲーションバーで**ファイルリスト**を選択し、ファイルリストページに進みます。
5. 暗号化を設定したいオブジェクトを見つけ、その右側の操作バーで**詳細**をクリックします。
6. **サーバー側の暗号化**バーで、対応する暗号化方式を選択し、**保存**をクリックすれば完了です。
   現在は次の2種類の暗号化方式がサポートされています。

- SSE-COS：COSがホストするキーによるサーバー側の暗号化方式です。SSE-COSの詳細については、サーバー側の暗号化の概要：SSE-COSをご参照ください。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

- SSE-KMS：Tencent Cloudのキー管理システムKMSがホストするキーによるサーバー側の暗号化方式であり、デフォルトキーまたはご自身で作成したキーを選択できます。キーに関する情報については、KMSキーの作成をご参照ください。SSE-KMSの詳細については、サーバー側の暗号化の概要SSE-KMSをご参照ください。

  説明：

  - SSE-KMS暗号化を初めて使用する場合は、KMSサービスのアクティブ化を行う必要があります。
  - SSE-KMS暗号化は現在、北京、上海、広州リージョンのみサポートしています。
  - 複数のオブジェクトに暗号化を一括で設定したい場合は、複数のオブジェクトにチェックを入れ、上部にある**その他の操作 > 暗号化方式の変更**をクリックすれば設定できます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

カスタムHeaders

最終更新日：：2023-01-13 14:18:20

概要

オブジェクトのHTTPヘッダー(メタデータヘッダー)は、HTTPプロトコルでHTML資料をブラウザに渡す前にサーバーによって送信する文字列です。HTTPヘッダー(メタデータヘッダー)を変更することで、ページのレスポンス形式を変更したり、キャッシュ時間の変更などの設定情報を伝達したりすることもできます。オブジェクトのHTTPヘッダーを変更しても、オブジェクト自体は変更されません。

例：HeaderのContent-Encodingをgzipに変更しても、ファイル自体が事前にgzで圧縮されていない場合は、デコードエラーが発生します。

> 説明：
> CASタイプのオブジェクトは、Headersのカスタマイズをサポートしていません。

操作手順

1. COSコンソールにログインします。
2. 左側ナビゲーションバーで**バケットリスト**をクリックし、バケットリストページに進みます。
3. オブジェクトがあるバケットを見つけ、そのバケット名をクリックし、バケット管理ページに進みます。
4. 左側ナビゲーションバーで**ファイルリスト**を選択し、ファイルリストページに進みます。
5. カスタムヘッダーが必要なオブジェクトを見つけ、右側の操作バーで、**その他の操作>カスタムヘッダー**をクリックして設定します。複数のオブジェクトのカスタムヘッダーが必要な場合は、複数のオブジェクトにチェックを入れ、上の**その他の操作>カスタムヘッダー**をクリックして設定できます。
6. ポップアップしたウィンドウで、設定するメタデータヘッダーパラメータタイプを選択し、対応するメタデータ値を入力し、**OK**をクリックします。
   COSは、次の6種類のオブジェクトHTTPヘッダー識別子の設定を提供しています。ヘッダーの設定に関する説明は、次のとおりです。

HTTPヘッダー	説明	事例
Content-Type	ファイルのMIME情報	image/jpeg
Cache-Control	ファイルのキャッシュメカニズム	no-cache;max-age=200
Content-Disposition	MIMEプロトコルの拡張	attachment;filename="fname.ext"

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

Content-Encoding	ファイルのエンコード形式	gzip
Expires	キャッシュの失効日を制御するために使用します	Wed, 21 Oct 2015 07:28:00 GMT
x-cos-meta-[拡張子のカスタマイズ]	ユーザーカスタマイズコンテンツ	x-cos-meta-via: homepage

事例

APPIDが1250000000で、名前がexamplebucket-1250000000のバケットを作成します。バケットのルートディレクトリに、オブジェクトexampleobject.txtをアップロードしています。

オブジェクトのHTTPヘッダーがカスタマイズされていない場合、ブラウザまたはクライアントによって、ダウンロード時に取得されるオブジェクトヘッダーの例は次のとおりになります。

リクエスト

```
GET /exampleobject HTTP/1.1
Host: examplebucket-1250000000.cos.ap-beijing.myqcloud.com
Date: Fri, 10 Apr 2020 09:35:16 GMT
Authorization: q-sign-algorithm=sha1&q-ak=AKID8A0fBVtYFrNm02oY1g1JQQF0c3JO****&q-sign-time=1586511316;1586518516&q-key-time=1586511316;1586518516&q-header-list=date;host&q-url-param-list=&q-signature=1bd1898e241fb978df336dc68aaef4c0acae****
Connection: close
```

レスポンス

```
HTTP/1.1 200 OK
Content-Type: text/plain
Content-Disposition: attachment; filename*="UTF-8''exampleobject.txt"
Access-Control-Allow-Origin: *
Last-Modified: Fri, 10 Apr 2020 09:35:05 GMT
```

次の設定を追加します。

リクエストが再度開始されると、ブラウザまたはクライアントによって取得されるオブジェクトヘッダーの例は、次のとおりになります。

リクエスト

```
GET /exampleobject HTTP/1.1
Host: examplebucket-1250000000.cos.ap-beijing.myqcloud.com
```

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

```
Date: Fri, 10 Apr 2020 09:35:16 GMT
Authorization: q-sign-algorithm=sha1&q-ak=AKID8A0fBVtYFrNm02oY1g1JQQF0c3JO****&q-
sign-time=1586511316;1586518516&q-key-time=1586511316;1586518516&q-header-list=da
te;host&q-url-param-list=&q-signature=1bd1898e241fb978df336dc68aaef4c0acae****
Connection: close
```

レスポンス

```
HTTP/1.1 200 OK
Cache-Control: no-cache
Content-Type: image/jpeg
Content-Disposition: attachment; filename*="abc.txt"
x-cos-meta-md5: 1234
Access-Control-Allow-Origin: *
Last-Modified: Fri, 10 Apr 2020 09:35:05 GMT
```

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

オブジェクトを削除する

最終更新日：：2022-12-29 11:02:30

概要

COSコンソールから、バケットにアップロードされた単一または複数のオブジェクトを削除することができます。

> 注意：
> 削除されたデータは復元できませんので、操作する際はご注意ください。

操作手順

単一オブジェクトの削除

1. COSコンソールにログインします。

2. 左側ナビゲーションバーで**バケットリスト**をクリックし、バケットリストページに進みます。

3. オブジェクトがあるバケットを見つけ、そのバケット名をクリックし、バケット管理ページに進みます。

4. 左側ナビゲーションバーで**ファイルリスト**を選択し、ファイルリストページに進みます。

5. 削除したいオブジェクトを選択し、その右側の操作バーの下にある**その他の操作>削除**をクリックします。

6. ポップアップしたプロンプトウィンドウで、**OK**をクリックすると、オブジェクトを削除することができます。

複数オブジェクトの削除

1. COSコンソールにログインします。

2. 左側ナビゲーションバーで**バケットリスト**をクリックし、バケットリストページに進みます。

3. オブジェクトがあるバケットを見つけ、そのバケット名をクリックし、バケット管理ページに進みます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

4. 左側ナビゲーションバーで**ファイルリスト**を選択し、ファイルリストページに進みます。

5. 削除したいオブジェクトにチェックを入れ、上の**その他の操作>削除**をクリックします。

6. ポップアップしたプロンプトウィンドウで、**OK**をクリックすると、オブジェクトを削除することができます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

アーカイブオブジェクトの復元

最終更新日：：2023-01-13 14:18:20

概要

COSコンソールでは、アーカイブストレージまたはディープアーカイブストレージタイプのオブジェクトを復元（解凍）することができます。復元操作により、標準ストレージタイプのオブジェクトコピーが追加され、設定された有効期間中は、読み取り、ダウンロードなど、オブジェクトコピーに対して通常操作が行えます。有効期限が切れると、オブジェクトコピーは自動的に削除されます。オブジェクトのストレージタイプについてお知りになりたい場合は、ストレージタイプをご参照ください。

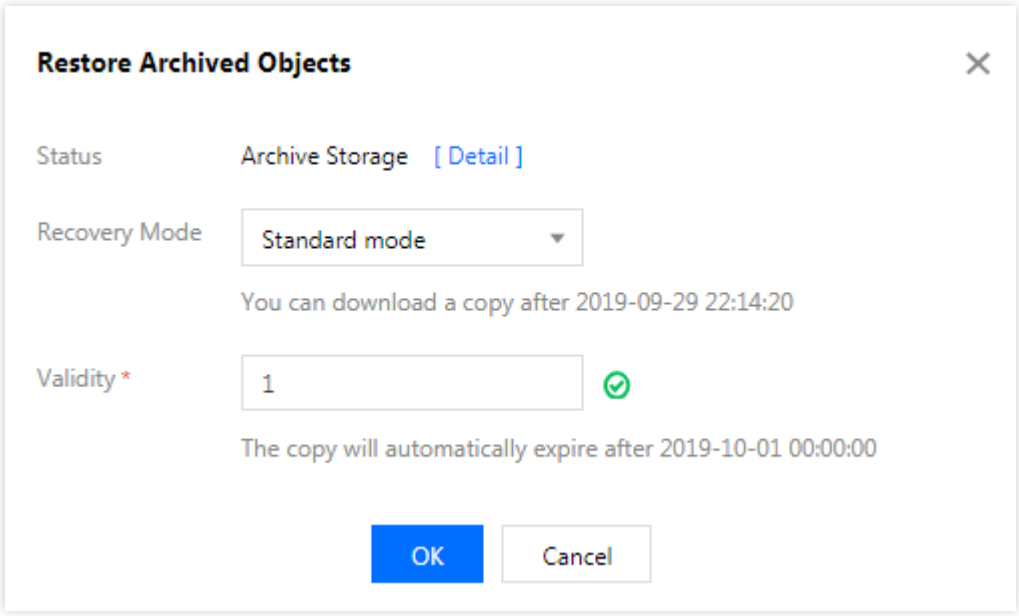
> 注意：
> アーカイブストレージタイプのデータの復元（解凍）後、オブジェクトコピーによって発生する料金は、標準ストレージとして課金されます。ディープアーカイブストレージタイプのデータの復元（解凍）後、オブジェクトコピーによって発生するリクエスト料金はすでに示されている単価で課金され、トラフィック料金は標準ストレージと同様になります。価格の詳細については、製品価格ドキュメントをご参照ください。

操作手順

1. COSコンソールにログインします。
2. 左側ナビゲーションバーで**バケットリスト**をクリックし、バケットリストページに進みます。
3. オブジェクトがあるバケットを見つけ、そのバケット名をクリックし、バケット管理ページに進みます。
4. 左側ナビゲーションバーで**ファイルリスト**を選択し、ファイルリストページに進みます。
5. 復元したいオブジェクトを見つけ、その右側操作バーで**復元**をクリックします。複数のアーカイブタイプのオブジェクトを一括で復元したい場合は、複数のオブジェクトにチェックを入れ、上部にある**その他の操作>復元**をクリックすれば完了です。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

6. ポップアップウィンドウで、リカバリモードとコピーの有効日数を設定します。



設定に関する説明は次のとおりです。

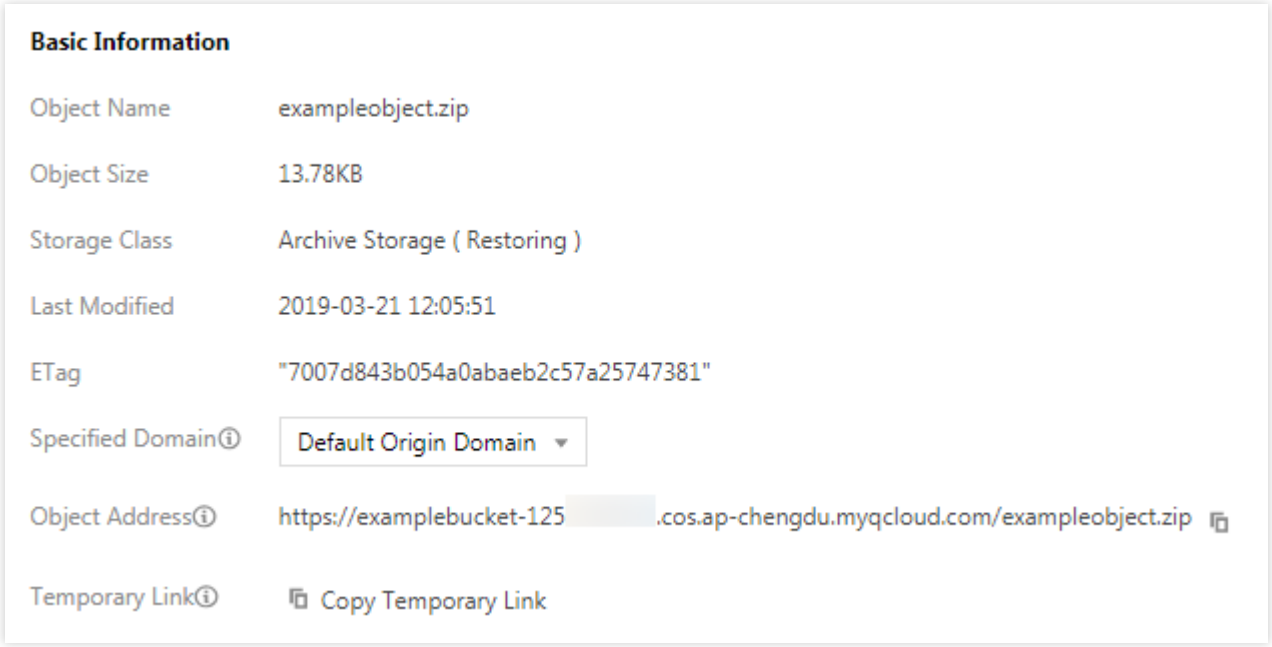
- **リカバリモード**：高速取得、標準取得、バッチ取得があります。
  - 高速取得：所要時間が最短で、通常わずか1～5分でアーカイブストレージタイプのファイルを復元できます。特定の状況下でアーカイブデータに緊急にアクセスする必要がある場合、高速取得モードを使用すれば、時間を大幅に短縮し、効率を高めることができます。**高速取得モードはディープアーカイブストレージタイプのファイルの復元には対応していません。**
  - 標準取得：標準取得モードを使用すると、アーカイブストレージタイプのファイルは通常3～5時間以内、ディープアーカイブタイプのファイルは通常12時間以内に復元できます。
  - バッチ取得：最も低コストです。アーカイブデータの取得の緊急性が低い場合、バッチ取得モードを使用すると、非常に低コストで大量のアーカイブデータを取得できます。アーカイブストレージタイプのファイルは通常5～12時間以内、ディープアーカイブストレージタイプのファイルは通常48時間以内に復元できます。

> 説明：
> データ復元リクエストにはQPS制限が存在します。制限は100回/秒です。

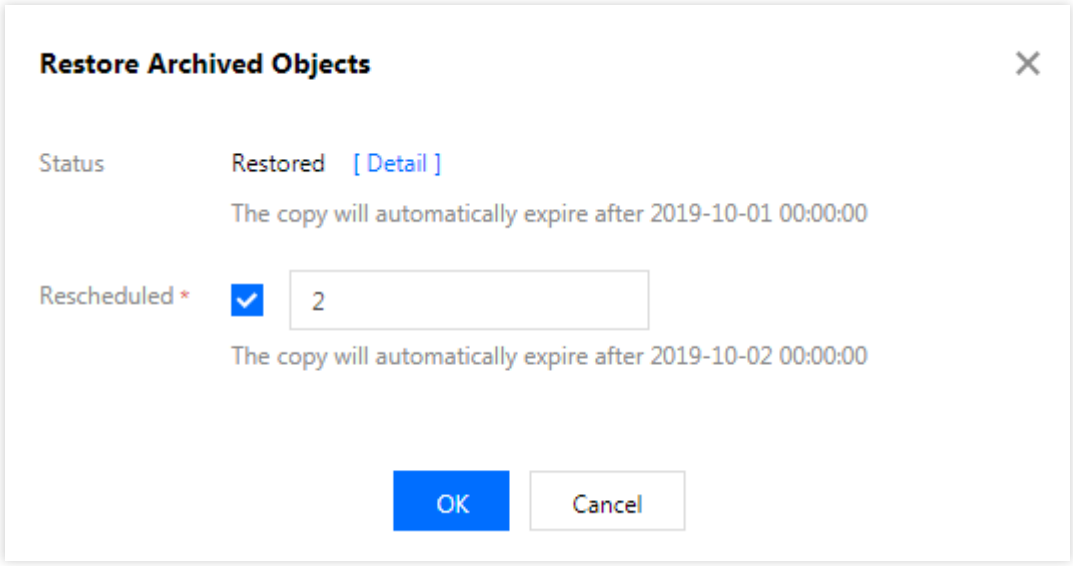
- **コピーの有効期間**：コピーが自動的に期限切れになり、削除されるまでの日数を設定します。設定範囲は、最短1日、最長365日です。オブジェクトの復元が完了したら、もう一度**復元**をクリックして、ポップアップウィンドウでコピーの有効期間を変更することができます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

7. **OK**をクリックすると、オブジェクトは復元プロセスに入ります。
   このプロセス中に**詳細**をクリックすると、オブジェクトの詳細ページに移動し、復元が完了したかどうかを確認することができます。



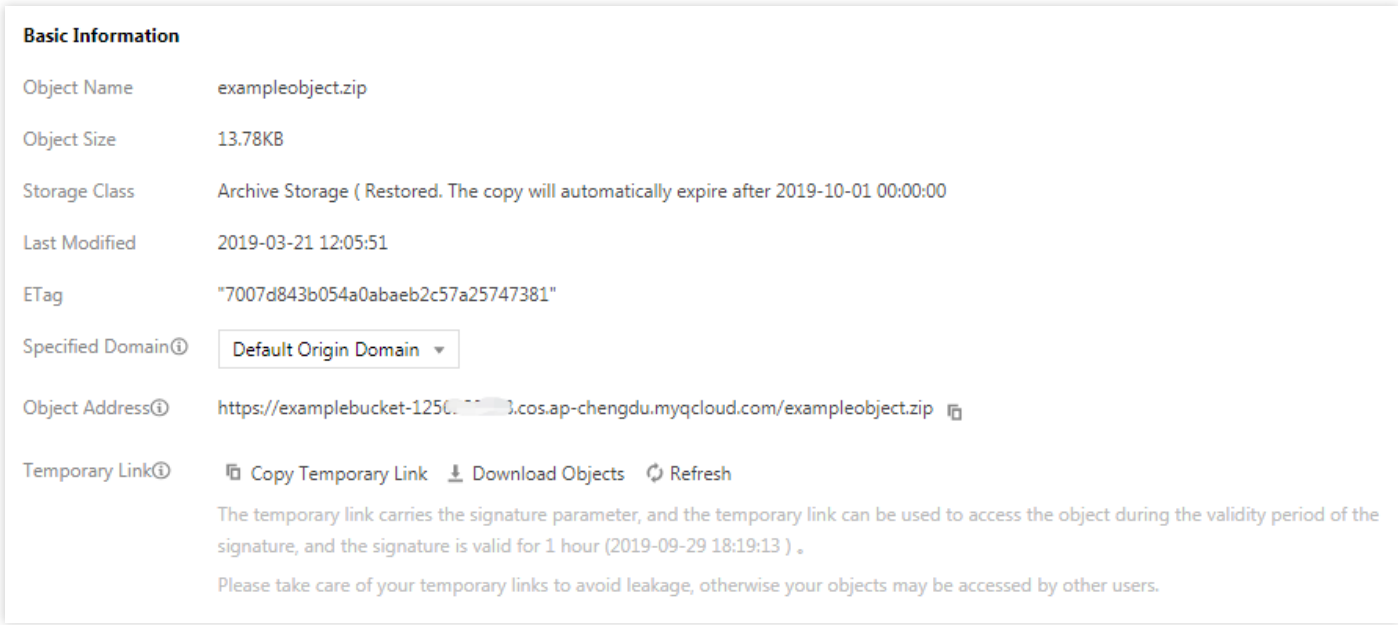
8. オブジェクトの復元が完了したことを確認後、オブジェクトの詳細ページに移動すると、オブジェクトに対するアクセス、ダウンロードなどの操作を行うことができます。



コピーの有効期間を変更したい場合は、ステップ5を参照して再度**復元**をクリックし、ポップアップウィンドウ

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

で変更することができます。



©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

フォルダの管理
フォルダの作成

最終更新日：：2022-06-02 12:23:58

概要

COSは、フォルダという概念を持たず、フラットな構造でオブジェクトを格納します。ユーザーに使用習慣をそのまま継続してもらうため、オブジェクトキーのうち名前に拡張子「/」が付いたオブジェクトによって「フォルダ」を実装します。実際には「フォルダ」はCOSにあり、そのストレージスペースは0KBのオブジェクト用です。

注意：
フォルダ名の長さは255文字までに制限されています。以下の予約済みASCII制御文字はサポートされていません。

- 文字上(↑)：CAN (24)
- 文字下(↓)：EM (25)
- 文字右(→)：SUB (26)
- 文字左(←)：ESC (27)

前提条件

- すでにバケットの作成を行っていること。

操作手順

1. COSコンソールにログインします。

2. 左側ナビゲーションバーで【バケットリスト】をクリックし、バケットリストページに進みます。

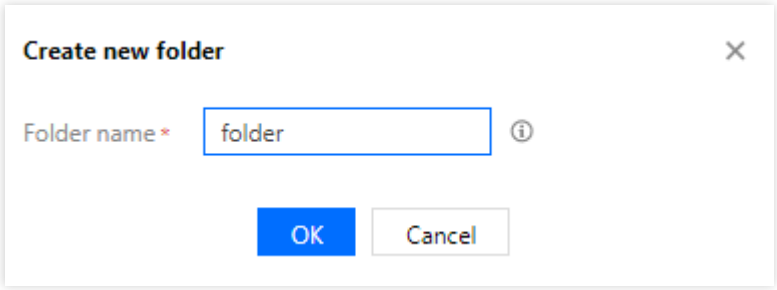
3. フォルダを作成したいバケットを見つけ、そのバケット名をクリックし、バケット管理ページに進みます。

4. 左側ナビゲーションバーで【ファイルリスト】を選択し、ファイルリストページに進みます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

5. 【フォルダの作成】をクリックします。

6. ポップアップしたウィンドウにフォルダ名を入力し、【OK】をクリックすれば完了です。



> 注意：
> フォルダはリネームをサポートしていませんので、命名は慎重に行ってください。

フォルダの命名ルールは次のとおりです。

- 数字、中国語、英語および印字可能文字の組み合わせが使用できます。
- パスを `/` で分割することで、サブディレクトリをすばやく作成できます。
- `/` で始めたり、2つ以上連続したりした `/` は使用できません。
- フォルダ名は空にできません。
- フォルダ名として、 `..` をそのまま使用することはできません。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

ファイルの削除

最終更新日：：2022-12-28 15:33:25

概要

COSコンソールから、作成済みのフォルダを削除することができます。

> 注意：
> コンソールでフォルダを削除すると、フォルダとそのフォルダ下のオブジェクトが削除されますので、操作する際はご注意ください。

操作手順

1. COSコンソールにログインします。
2. 左側ナビゲーションバーで**バケットリスト**をクリックし、バケットリストページに進みます。
3. フォルダを削除したいバケットを見つけ、そのバケット名をクリックし、バケット管理ページに進みます。
4. 左側ナビゲーションバーで**ファイルリスト**を選択し、ファイルリストページに進みます。
5. 削除したいフォルダを見つけ、その右側の操作バーの下にある**削除**をクリックします。
6. ポップアップしたプロンプトウィンドウで、**OK**をクリックすると、オブジェクトを削除することができます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

共有フォルダ

最終更新日：：2022-12-28 15:29:32

概要

作成したフォルダは、COSコンソールで共有することができます。

操作手順

1. COSコンソールにログインします。
2. 左側ナビゲーションバーで**バケットリスト**をクリックし、バケットリストページに進みます。
3. フォルダを共有したいバケットを見つけ、そのバケット名をクリックし、バケット管理ページに進みます。
4. 左側ナビゲーションバーで**ファイルリスト**を選択し、ファイルリストページに進みます。
5. 共有したいフォルダを見つけて、右側のアクションバーの下にある**その他>フォルダの共有**をクリックします。
6. ポップアップウィンドウで、実際の必要性に応じてフォルダの共有権限、有効期間、抽出コード形式を設定し、**OK**をクリックします。
7. ポップアップウィンドウで、発行されたURLを確認することができます。**リンクと抽出コードをコピー**をクリックすると、共有リンクと抽出コードをすばやくコピーして、他人と共有することができます。
8. 受信者が共有リンクを開いたら、抽出コードを入力して**抽出**をクリックすると、共有フォルダとそのファイルを確認することができます。
9. 共有ファイルページでは、受信者はファイルをダウンロードできるほか、ファイルのストレージタイプ、サイズ、変更時間などの情報を確認することもできます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

ファイル詳細の表示

最終更新日：：2022-12-28 15:14:56

概要

COSコンソールから、現在のフォルダ内のオブジェクト数やオブジェクトが占める容量・サイズなど、作成したフォルダの詳細を確認することができます。ここでは、フォルダの詳細を確認する方法について詳しくご説明します。

説明：

- COSは、フォルダという概念を持たず、フラットな構造でオブジェクトを格納します。ユーザーに使用習慣をそのまま継続してもらうため、オブジェクトキーのうち名前に拡張子「/」が付いたオブジェクトによって「フォルダ」を実装します。実際には、COSの「フォルダ」は0KBのオブジェクト用のストレージスペースです。
- 現在のバケット内のすべてのフォルダの数と容量・サイズを確認する必要がある場合は、リスト機能を使用し、出力されたリストレポートをもとに、ご自分で照会することができます。詳細については、リスト機能の概要をご参照ください。

操作手順

1. COSコンソールにログインします。

2. 左側ナビゲーションバーで【バケットリスト】をクリックし、バケットリストページに進みます。

3. フォルダがあるバケットを見つけ、そのバケット名をクリックし、バケット管理ページに進みます。

4. 左側ナビゲーションバーで【ファイルリスト】を選択し、ファイルリストページに進みます。

5. 確認したいフォルダを見つけ、その右側操作バーの下にある【統計】をクリックします。

6. ポップアップウィンドウで、オブジェクトの総数や容量など、フォルダの統計情報を確認することができます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

説明：
フォルダ内にあるネストされたフォルダは、オブジェクトとしてカウントされます。
例1：カウントすべきフォルダに空のフォルダ1つとオブジェクト5つが含まれている場合、統計結果のオブジェクト総数は、「6」となります。
例2：カウントすべきフォルダにオブジェクト2つを含むフォルダ1つとオブジェクト5つが含まれている場合、統計結果のオブジェクト総数は、「8」となります。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

フォルダ権限の設定

最終更新日：：2022-12-28 15:25:11

概要

COSコンソールから、フォルダにアクセス権限を設定し、ユーザーがフォルダの内容に対して指定した操作を実行できるように指定することができます。権限を設定する際には、最小権限の原則に従い、データアセットのセキュリティを確保することをお勧めします。

> 注意：
> COSは、フォルダという概念を持たず、フラットな構造でオブジェクトを格納します。ユーザーに使用習慣をそのまま継続してもらうため、オブジェクトキーのうち名前に拡張子「/」が付いたオブジェクトによって「フォルダ」を実装します。実際には、COSの「フォルダ」は0KBのオブジェクト用のストレージスペースです。

フォルダ権限は、本質的にはオブジェクトディメンションに基づいたアクセス権限の設定であり、この権限はバケットへのアクセスよりも優先度が高いです。COSは、オブジェクトに対して2種類の権限タイプの設定をサポートしています。

- パブリック権限：権限の継承、プライベート読み取り/書き込みおよびパブリック読み取りプライベート書き込みが含まれます。パブリック権限の説明については、オブジェクト概要の権限のタイプをご参照ください。
- ユーザー権限：ルートアカウントはデフォルトではオブジェクトのすべての権限を所有しています（完全制御）。このほかCOSはサブアカウントに対するデータ読み取り、データ書き込み、権限読み取り、権限書き込み、さらには完全制御の最高権限の付与もサポートしています。

操作手順

1. COSコンソールにログインします。

2. 左側ナビゲーションバーで**バケットリスト**をクリックし、バケットリストページに進みます。

3. フォルダがあるバケットを見つけ、そのバケット名をクリックし、バケット管理ページに進みます。

4. 左側ナビゲーションバーで**ファイルリスト**を選択し、ファイルリストページに進みます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

5. 権限を設定したいフォルダを見つけ、その右側の操作バーの下にある**権限の設定**をクリックします。

6. ポップアップウィンドウで、業務上の必要性に応じてフォルダのアクセス権限を設定します。

権限の設定に関する説明は次のとおりです。

権限タイプ	設定項目	説明
パブリック権限	権限の継承	デフォルト値、バケット権限と一致を保持します。
	プライベート読み取り/書き込み	書き込みと読み取りができるのはルートアカウントのみで、ルートアカウント以外のユーザー（サブアカウント、他のユーザーのルートアカウントまたは匿名ユーザー）はこのフォルダにアクセスできません。
	パブリック読み取り/プライベート書き込み	ルートアカウントは書き込みと読み取りができ、ルートアカウント以外のユーザー（サブアカウント、他のユーザーのルートアカウントまたは匿名ユーザー）はこのフォルダの内容を読み取ることはできますが、新しいデータを書き込むことはできません。
	パブリック読み取り/書き込み	ルートアカウントとルートアカウント以外のユーザー（サブアカウント、他のユーザーのルートアカウントまたは匿名ユーザー）のどちらも書き込みと読み取りを行うことができます。
ユーザー権限	ユーザータイプ	ルートアカウントとは他のユーザーのルートアカウントIDのことで、サブアカウントとは現在使用されているルートアカウントのサブアカウントのことです。 他のルートアカウントのサブアカウントへのアクセスができるように設定するには、まず他のルートアカウントにアクセス権限を付与したうえで、他のルートアカウントのサブアカウントにアクセス権限を付与する必要があります。
	データの読み取り	データを読み取る権限です。
	データの書き込み	データを書き込む権限です。
	権限の読み取り	フォルダ権限設定を読み取る権限です。この権限が付与されている場合、付与されたユーザーはフォルダ権限設定の詳細を取得することができます。
	権限の書き込み	フォルダ権限設定を変更する権限です。この権限が付与されている場合、付与されたユーザーはフォルダ権限設定の詳細を変更することができます。**この設定によって権限が変更しますので、チェックを入れる際はご注意ください。**

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

	完全制御	これには、データ読み取り、データ書き込み、読み取り権限、書き込み権限といった4つの権限が含まれます。**この権限の設定範囲は幅広いため、チェックを入れる際はご注意ください。**

5. 右側の操作バーの下にある**保存**をクリックします。
6. **無効**をクリックします。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

データの検索

最終更新日：：2022-12-28 11:17:46

概要

Cloud Object Storage（COS） Select機能により、ストレージレベルで必要なデータをフィルタリングすることができます。そうすることで、COSで伝送するデータ量を大幅に減らして使用コストを削減できるとともに、データ取得の効率アップも可能です。COSコンソールでは、提供されている基本的なSQLテンプレートを使用するか、構文仕様に準拠したステートメントを入力することにより、バケット内の単一ファイルの内容を検索することができます。

説明：

- 検索機能は現在、json、csvおよびparquetのファイル形式のオブジェクトで使用可能です。そのうちjson、csv形式は、中国本土のパブリッククラウドのリージョンのみをサポートし、parquet形式は北京リージョンのみをサポートしています。
- 検索するファイルがCOSのルールに準拠していることを確認してください。COS Selectのルールに関する情報については、Selectの概要をご参照ください。
- コンソールの検索機能は、最大128MBのファイルに対して40Mまでのデータ抽出をサポートしています。より大きなファイルを処理したり、より多くのデータを抽出したりする必要がある場合は、APIまたはSDKを使用してください。

操作手順

1. COSコンソールにログインします。
2. 左側ナビゲーションバーで**バケットリスト**をクリックし、バケットリストページに進みます。
3. オブジェクトがあるバケットを見つけ、そのバケット名をクリックし、バケット管理ページに進みます。
4. 左側ナビゲーションバーで**ファイルリスト**を選択し、ファイルリストページに進みます。
5. 検索したいオブジェクトを見つけ、右側の**その他の操作>検索**をクリックします。

説明：
現在は標準ストレージ、低頻度ストレージ、INTELLIGENT_TIERINGストレージのオブジェクトの検索のみがサポートされています。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

6. オブジェクト検索ページで、実際の状況に応じて検索したい**ファイルタイプ**、**タイトルフィールド**、**セパレータ**、**圧縮形式**、**エクスポート形式を選択します**。

7. **SQLテンプレートの選択**をクリックします。

8. ポップアップしたウィンドウで、検索したいテンプレートの構文を選択し、**OK**をクリックします。

9. テキストボックス内のステートメントを実際のファイルに応じて編集し、**SQLの実行**をクリックします。

実行が完了すると、一番下のテキストボックスに最初の100件の結果が表示されます。完全なデータを取得したい場合は、**検索結果のエクスポート**をクリックします。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

オブジェクトタグの設定

最終更新日：：2022-08-08 14:52:35

概要

オブジェクトタグ機能は、オブジェクトにキーバリューペア形式の標識を追加することで、ユーザーがバケット内のオブジェクトをグループ化管理しやすくするものです。オブジェクトタグはタグのキー（ `tagKey` ）とタグの値（ `tagValue` ）を `=` でつないだ構成となっています（例： `group = IT` ）。ユーザーは指定したオブジェクトに対しタグの設定、照会、削除操作を行うことができます。

注意事項

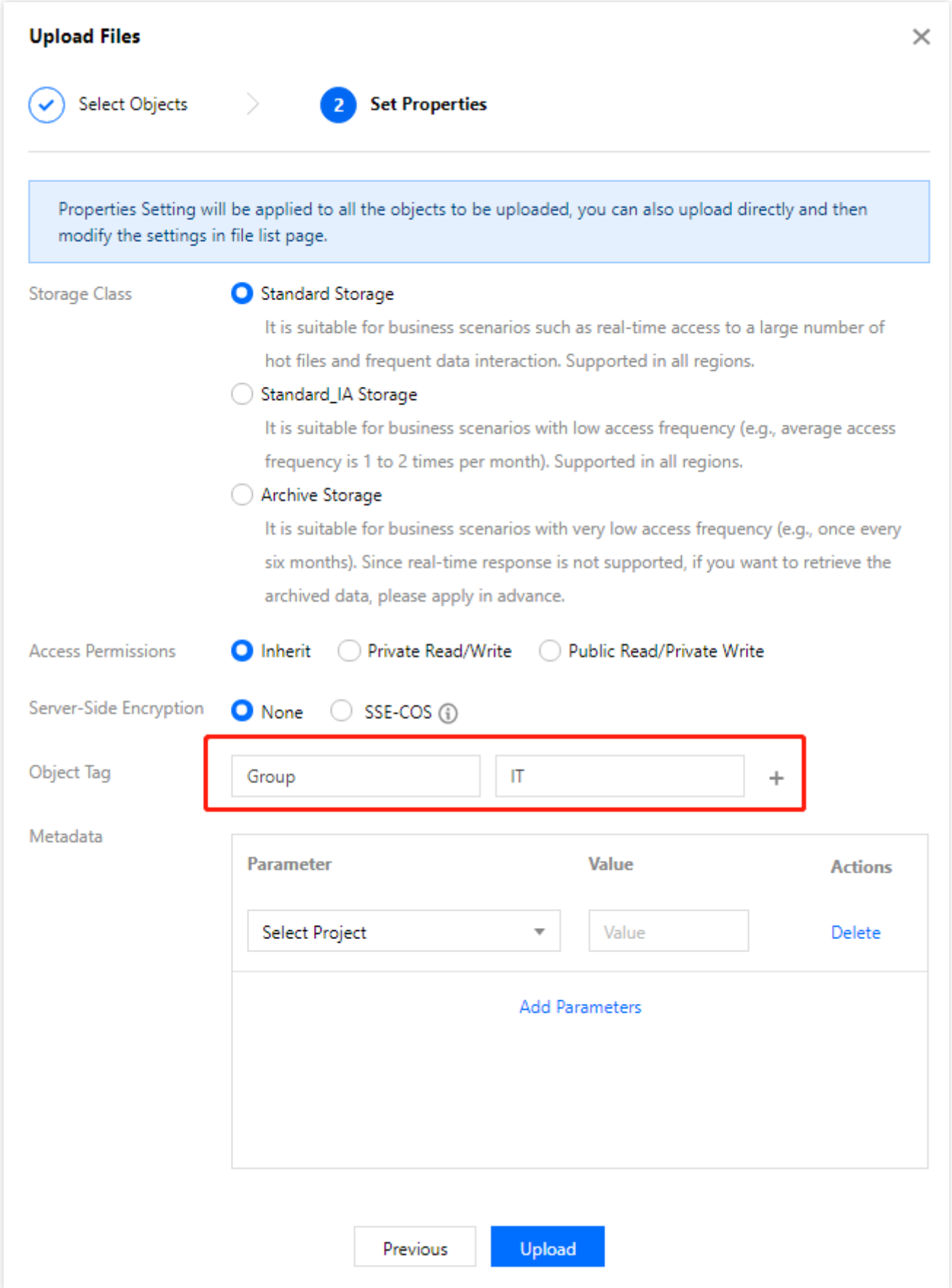
- オブジェクトタグ機能は課金項目です。価格の詳細については、製品価格のドキュメントをご参照ください。
- ユーザーは同一のオブジェクトに対し、最大10個までオブジェクトタグをつけることができます。また、タグは重複できません。
- タグキーとタグの値は、UTF-8形式の文字、スペース、数字、および特殊文字 `+ - = ._ : / @` をサポートしています。長さの範囲は1～127文字で、アルファベットでは大文字と小文字が区別されます。
  その他の制限の詳細については、オブジェクタグの概要をご参照ください。

操作手順

オブジェクトのアップロード時にタグを追加

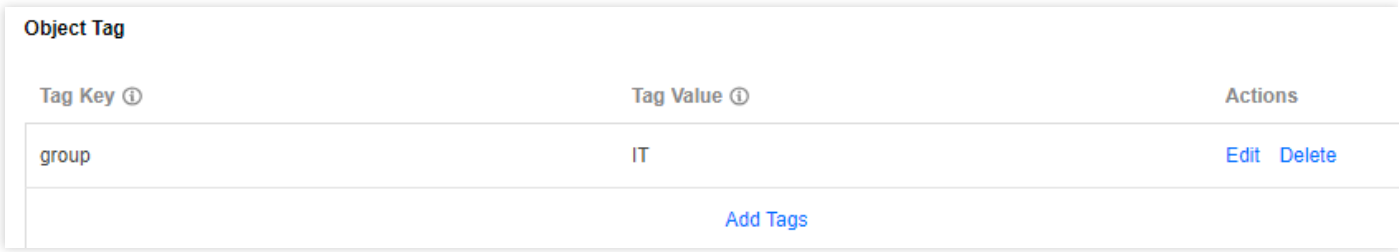
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

1. 下図のように、オブジェクトのアップロード時にオブジェクトタグを追加します。



©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

2. アップロードに成功すると、オブジェクトタグが追加されます。
   バケットのファイルリストページで、タグが追加されたオブジェクトを探し、**その他 > タグの追加**をクリックすると、追加されたタグを表示、編集、削除できます。



アップロード済みオブジェクトにタグを追加

オブジェクトのアップロード時にタグを追加しなかった場合、以下の手順でオブジェクトにタグを追加することができます。

1. オブジェクト情報の確認をご参照のうえ、ファイルリストページに進みます。
2. ファイルリストページで、操作したいオブジェクトを探し、**その他 > タグの追加**をクリックします。
3. ポップアップウィンドウで、**タグの追加**をクリックし、タグのキーと値を入力し、保存すれば完了です。

タグを修正または削除する必要がある場合は、このウィンドウで、**編集**または**削除**をクリックすれば完了です。

関連操作

オブジェクトタグの使用方法

オブジェクトタグを設定すると、同じオブジェクトタグを持つオブジェクトのライフサイクルルールをすばやく設定できるようになります。詳細については、ライフサイクルの設定をご参照ください。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

オブジェクトURLのエクスポート

最終更新日：：2022-06-02 11:28:54

概要

COSコンソールから、バケット内のオブジェクト（アップロードされたオブジェクトやフォルダ下のオブジェクトを含む）のアドレスをエクスポートすることができます。オブジェクトのアドレスリストの一括エクスポートをサポートしています。詳細については、操作手順をご参照ください。

> 説明：
> オブジェクトのアドレスリストを一括でエクスポートします。1回で最大100個のオブジェクトを選択できるので、最大100個の記録をエクスポート可能です。
> 100個以上のオブジェクトアドレスをエクスポートする必要がある場合は、APIまたはSDKによってエクスポートしてください。詳細については、GET Bucket（List Objects）をご参照ください。

操作手順

1. COSコンソールにログインします。

2. 左側ナビゲーションバーで【バケットリスト】をクリックし、バケットリストページに進みます。

3. オブジェクトがあるバケットを見つけ、そのバケット名をクリックし、バケット管理ページに進みます。

4. 左側ナビゲーションバーで【ファイルリスト】を選択し、ファイルリストページに進みます。

5. URLをエクスポートしたいオブジェクトにチェックを入れ、上部にある【その他の操作】>【URLのエクスポート】をクリックします。

6. ポップアップしたプロンプトウィンドウで、以下の情報を設定します。

通信プロトコル：デフォルトでは、HTTPSプロトコルが選択されています。HTTPSプロトコルとHTTPプロトコルの両方をサポートしており、必要に応じて選択することができます。
指定ドメイン名：デフォルトのオリジンサーバーのドメイン名をサポートしています。
有効期限：デフォルトの有効期限は60分です。有効期限のカスタマイズをサポートしており、5～60の整数を入力

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

するだけで完了です。
7. 【確定】をクリックすると、オブジェクトアドレスリストファイルがエクスポートされます。
8. ファイルのエクスポート中に、オブジェクト名とオブジェクトアドレス情報を確認することができます。有効期間中にオブジェクトのURLをご確認ください。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

バージョン履歴オブジェクトの復元

最終更新日：：2022-12-28 11:23:47

概要

COSコンソールから、オブジェクトの旧バージョンを最新バージョンに復元することができます。ここでは、コンソールでバケットオブジェクトの旧バージョンを復元する方法についてご説明します。バージョン管理の詳細については、バージョン管理の概要をご参照ください。

説明：

- オブジェクトの復元とは、旧バージョンを最新バージョンに復元することで、旧バージョンは引き続き保持されます。
- 旧バージョンを削除する必要がある場合は、バージョン管理の設定、オブジェクトの削除の操作をご参照ください。
- 単一オブジェクトの復元操作をサポートしていますが、バッチ復元はサポートしていません。

ご使用にあたっての注意事項

次に、復元されたオブジェクトの適用ケースとルールについてご説明します。

適用ケース	• オブジェクトの復元操作は、バージョン管理を有効にしているバケットでサポートされます。 • バージョン管理を有効化した後に再度一時停止したバケットについても、オブジェクトの復元操作がサポートされます。 • バージョン管理を有効にしたことがないバケットでは、オブジェクトの復元操作はサポートされません。
復元ルール	• 旧バージョン：復元がサポートされます。 • 最新バージョン：復元できません。 • 削除マーカー付きのバージョン：復元できません。

前提条件

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

オブジェクトを復元する前に、バケットでバージョン管理が有効化されていることを確認してください。有効化されていない場合は、バージョン管理の設定ドキュメントをご参照のうえ、操作を行ってください。

操作手順

1. COSコンソールにログインします。

2. 左側ナビゲーションバーで**バケットリスト**をクリックし、バケットリストページに進みます。

3. オブジェクトがあるバケットを見つけ、そのバケット名をクリックし、バケット管理ページに進みます。

4. 左側ナビゲーションバーで**ファイルリスト**を選択し、ファイルリストページに進みます。

5. **旧バージョンの一覧表示**スイッチをオンにして、復元したいオブジェクトを見つけます。その右側の操作バーの下にある**復元**をクリックします。

6. 復元ファイルのポップアップウィンドウで、復元オブジェクトのバージョン情報をチェックします。正しいことを確認した後、**OK**をクリックすれば完了です。

7. この時点で、オブジェクトの復元操作は完了です。ファイルリストから、旧バージョンの復元に成功していることが確認できます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

バッチ処理

最終更新日：：2022-10-31 15:28:38

概要

Cloud Object Storage（COS）はバッチ処理機能により、バケット内のオブジェクトに対して大規模なバッチ操作を実行することができます。現在、以下の操作に対して、バッチ処理を行うことができます。

- オブジェクトのコピー
- アーカイブオブジェクトの復元

処理したいオブジェクトをオブジェクトリストファイルに整理することができます。このリストファイルは、リスト機能によって作成されたリストレポートから取得できます（あらかじめリスト機能の有効化を行う必要があります）。また、指定された形式でご自分で作成することも可能です。COSバッチ処理機能により、このオブジェクトリストファイルを元にバッチ処理を行うことができます。COSバッチ処理タスクの詳細情報については、バッチ処理の概要をご参照ください。

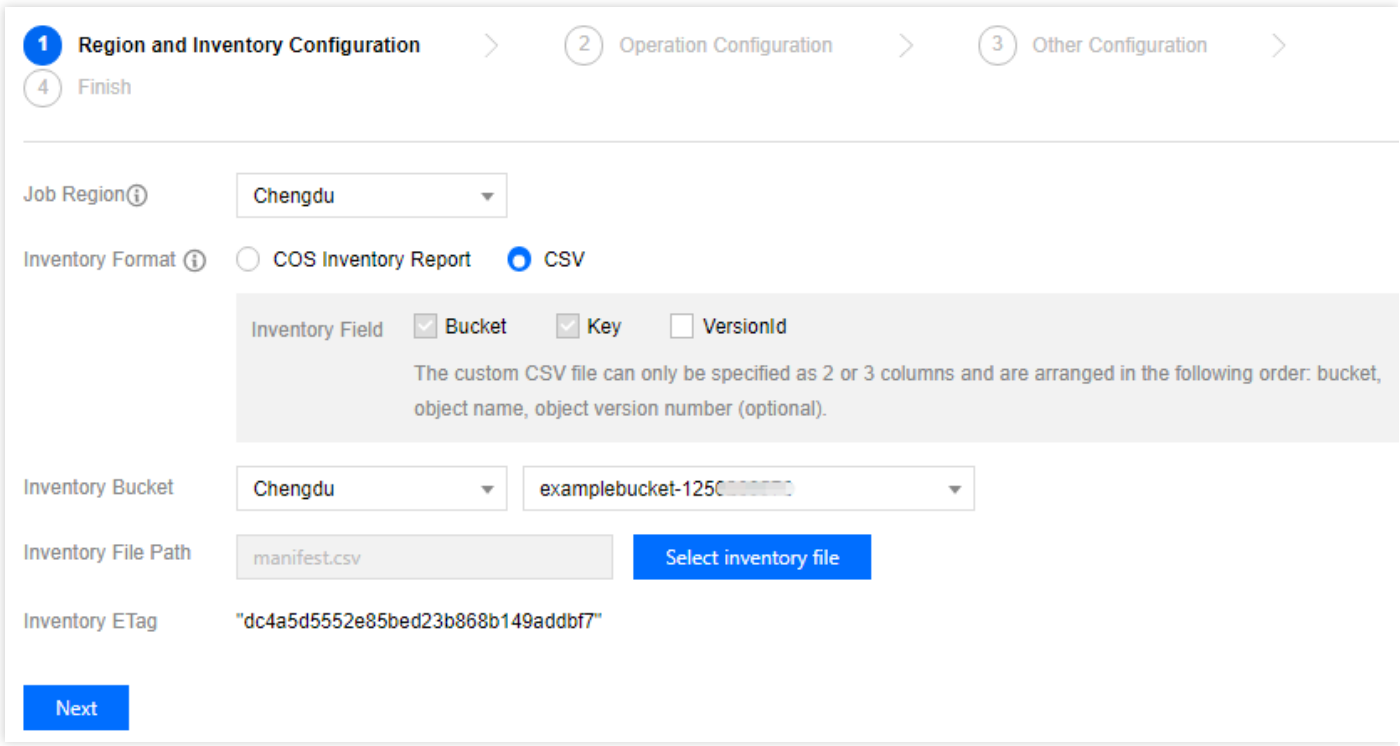
操作手順

1. COSコンソールにログインします。

2. 左側ナビゲーションバーで**バッチ処理**をクリックし、バッチ処理管理ページに進みます。

3. **タスクの作成**をクリックすると、バッチ処理タスクの作成が開始されます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



設定項目の説明は次のとおりです。

- **タスクリージョン**：タスクが作成されるリージョンを選択します。タスクリージョンは、リストで処理されるオブジェクトのバケットリージョンと同じである必要があります。同じでない場合、タスクは失敗します。

> 説明：
> 現在、バッチ処理機能は中国大陸のパブリッククラウドリージョン、シリコンバレーリージョンでサポートしています。

- **リスト形式**：使用するリストオブジェクトのタイプを選択します。以下の2つの形式があります。

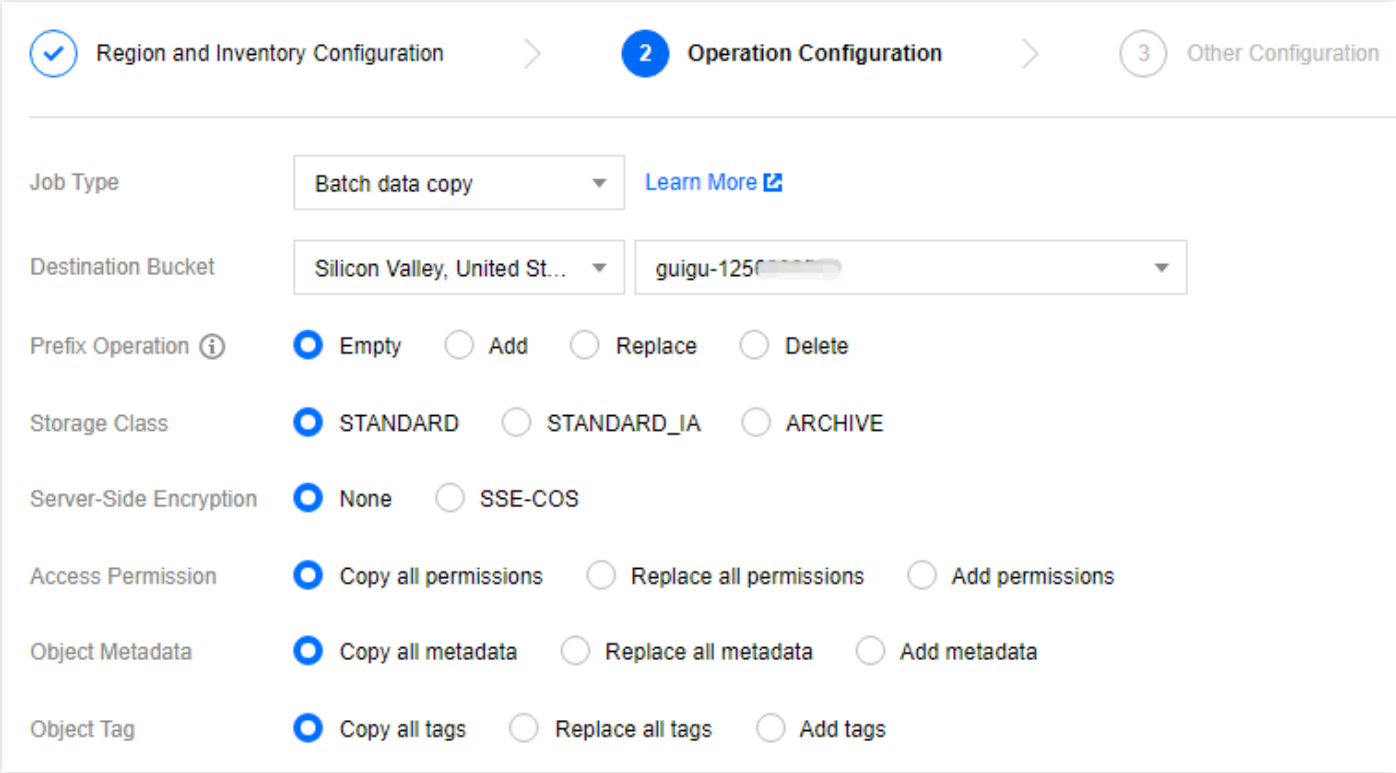
リスト形式	フィールド	設定説明
COSリストレポート	-	COSが生成したリストレポートと、ユーザーがカスタマイズしたCSVファイルのどちらかを選択できます
CSV	Bucket	バケット名
	Key	バケット内のオブジェクト名です。オブジェクト名にURLエンコード形式が用いられている場合は、正常な形式にデコードしてからでなければ使用できません
	VersionId	オブジェクトのバージョンIDです。バケット上でバージョン管理

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

		を有効にすると、COSはバケットに追加されたオブジェクトにバージョン番号を割り当てます。最新ではないバージョンのオブジェクトを使用したい場合、リストオブジェクトのバージョンIDを含めて選択することができます

- **リストバケット**：リストが配置されているバケットを選択します。
- **リストファイルパス**：リストファイルまたはCSVファイルが配置されているパスを選択します。形式はそれぞれjsonとcsvです。例えば、バケット `examplebucket-1250000000` のルートディレクトリにリストファイルを保存している場合、リストパスは `manifest.json` となります。

4. **次のステップ**をクリックし、タスクのタイプを選択します。



設定項目の説明は次のとおりです。

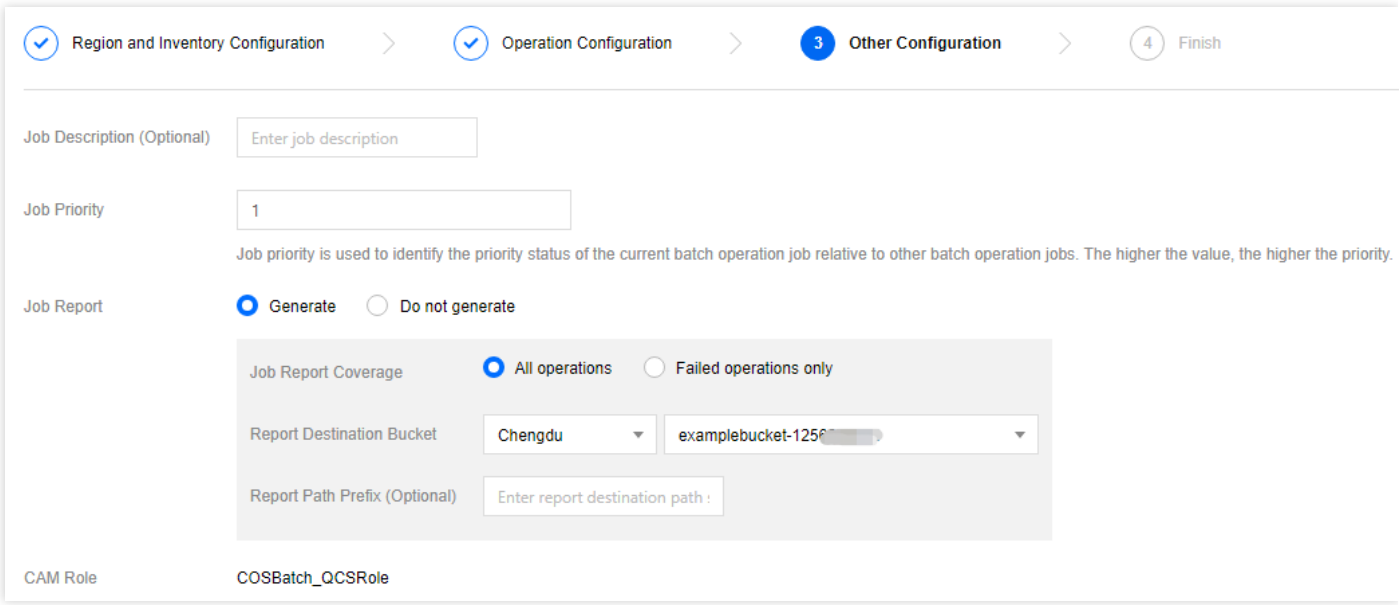
- **一括データコピー**：
  - ターゲットバケット：リスト内のオブジェクトをコピーした後に保存したいバケットです。
  - プレフィックス操作：コピーしたオブジェクトに対し、プレフィックスの追加、置き換えまたは削除を選択できます。
  - ストレージタイプ：コピーされたオブジェクトに対しストレージタイプを設定します。標準ストレージ、低頻度ストレージ、アーカイブストレージ、ディープアーカイブストレージから選択できます。
  - サーバー側の暗号化：コピーされたオブジェクトに対し暗号化するかどうかを選択します。暗号化なしとSSE-COS暗号化から選択できます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

- アクセス権限：コピーしたオブジェクトに対しアクセス権限を設定します。すべての権限のコピー、すべての権限の置き換え、新しい権限の追加から選択できます。
- オブジェクトメタデータ：コピーされたオブジェクトに対しメタデータを設定します。すべてのメタデータのコピー、すべてのメタデータの置き換え、新しいメタデータの追加から選択できます。
- オブジェクトタグ：コピーされたオブジェクトに対しオブジェクトタグを設定します。すべてのタグのコピー、すべてのタグの置き換え、新しいタグの追加から選択できます。

- **CASのバッチ復元**：
  - リカバリモード：標準モードとバッチモードから選択できます。リカバリモードについては、アーカイブオブジェクトの復元をご参照ください。
  - レプリカの有効期間：レプリカが自動的に期限切れになり、削除されるまでの日数を設定します。設定範囲は、最短で1日、最長で365日です。

5. **次のステップ**をクリックし、以下の関連設定を入力します。



- **タスク説明（オプション）**：このタスクの説明です。未入力でもかまいません。

- **タスクの優先度**：より優先度の高いタスクが先に実行されます。0以外の正の整数を入力でき、数字が大きいほど優先度が高いことを意味します。

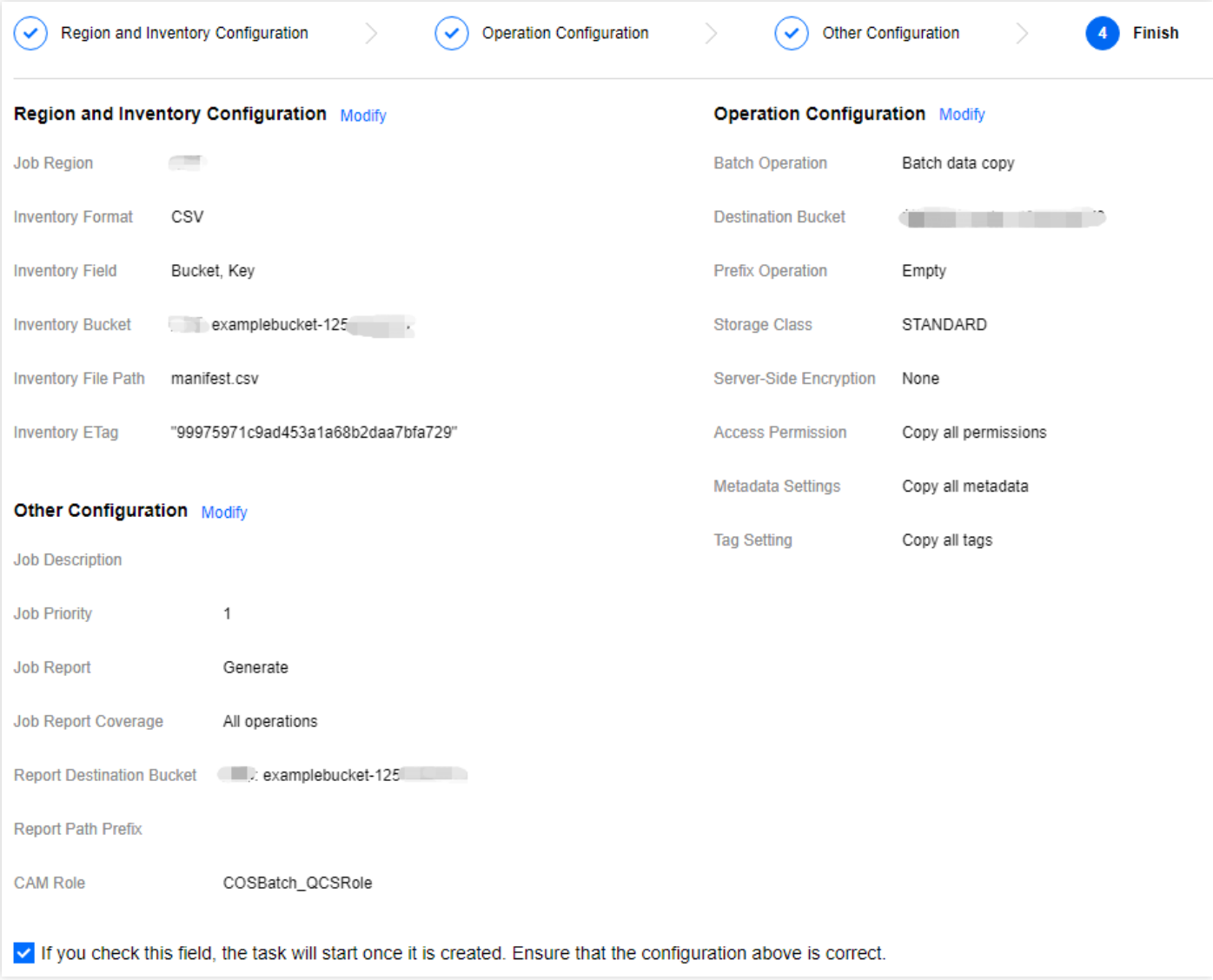
- **タスクレポート**：タスクレポートを発行するかどうかを選択できます。

- **CAMロール**：CAMロールを作成するか、既存のCAMロールを選択して、COSに操作権限を付与することができます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

> 注意：
> バッチ処理では、CAMロールを作成する方法でCOSバッチ処理の権限を付与する必要があります。CAMロールの詳細については、CAMロールの概要をご参照ください。

6. **次のステップ**をクリックし、入力したバッチ処理タスクの設定をチェックし、必要に応じてチェックを入れます。**この項目にチェックを入れると、タスクは作成直後に起動します。上記の設定情報が正しいことを確認してください。**
変更したい場合は、対応する**変更**または**前へ戻る**をクリックしてください。



7. 誤りがないことを確認したら、**作成/作成して起動**をクリックすれば完了です。
バッチタスクの作成が完了すると、作成済みのタスクはタスクリストに表示されるようになります。タスクをキャンセルしたい場合は、右側の**タスクのキャンセル**をクリックします。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

Job ID/Description	Status	Completed Objects/Total Objects	Job Type	Creation Time	Priority	Operation
753a92c0-75e9-4800-8c31-84fb7be...	Preparing	0/0(0% finished, 0% succeeded)	Batch data copy	2022-10-14 16:31:23	1	Clone Job Cancel Job

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

データ監視
データ概要の表示

最終更新日：：2023-04-27 15:45:35

概要

Cloud Object Storage(COS)コンソールは、ストレージデータの概要ページを提供しており、そのページでは、バケット数、オブジェクト数、ストレージ使用量、リクエスト数、トラフィックなどのデータを確認することができます。

注意：

- サブアカウントでデータを確認するには、**バケットリストアクセス**権限が必要です。詳細については、サブアカウントのアクセスバケットリストドキュメントのプリセットポリシーの箇所をご参照ください。
- このデータの概要は、**バケット数**を除いたリアルタイムデータですが、他のデータはリアルタイムデータではなく、約2時間の遅延があります。このデータは、モニタリングデータの参照のみを目的としており、正確な課金計測データを確認する必要がある場合は、料金センターで確認することができます。

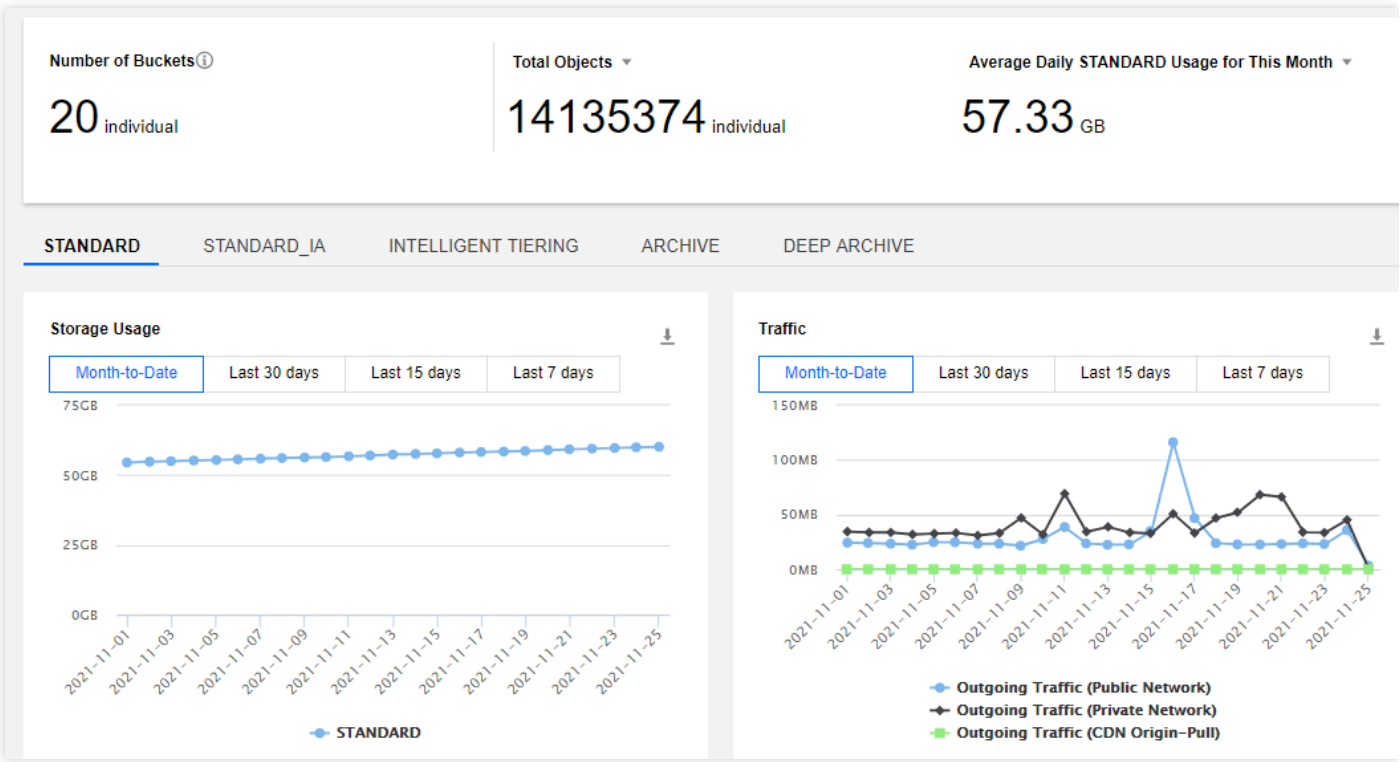
データ折れ線グラフの確認

操作手順

1. COSコンソールにログインし、左側メニューの**使用統計>基本使用統計**をクリックし、データモニタリングページに進みます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

2. **データの概要**ページでは、以下の情報を確認することができます。



- **バケット数**：現在作成されているバケット総数です。
- **オブジェクト数**：現在作成されているすべてのバケット内のオブジェクト総数で、さまざまなストレージタイプのオブジェクト数の表示もサポートしています。
- **当月の1日あたり平均ストレージ使用量**：当月の1日あたりの平均ストレージ使用量で、具体的な計算式は、現在のストレージ量/当月の日数です。標準ストレージ、標準ストレージ（マルチAZ）、低頻度ストレージ、低頻度ストレージ（マルチAZ）、アーカイブストレージといったタイプごとに、1日あたり平均ストレージ使用量があります。
- **ストレージ使用量折れ線グラフ**：標準ストレージ、標準ストレージ（マルチAZ）、低頻度ストレージ、アーカイブストレージのストレージ使用量を選択して表示できます。過去1年間のデータ内訳の照会をサポートしています。
- **トラフィック折れ線グラフ**：現在は標準ストレージ、標準ストレージ（マルチAZ）、低頻度ストレージのパブリックネットワークダウンリンクトラフィック、プライベートネットワークトラフィック、CDN back-to-originトラフィックを選択して表示できます。過去1年間のデータ内訳の照会をサポートしています。
- **リクエスト数折れ線グラフ**：標準ストレージ、標準ストレージ（マルチAZ）、低頻度ストレージタイプの読み取り/書き込みリクエストを選択して表示できます。過去1年間のデータ内訳の照会をサポートしています。
- **ユーザー有効リクエスト比率折れ線グラフ**：標準ストレージ、標準ストレージ（マルチAZ）のユーザーの有効な読み取り/書き込みリクエスト比率を選択して表示できます。過去1年間のデータ内訳の照会をサポートしています。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

- **データ取得量折れ線グラフ**：低頻度ストレージ、CASタイプのデータ取得量の表示をサポートします。そのうちCASタイプには、高速取得量、標準取得量、一括取得量があります。過去1年間のデータ内訳の照会をサポートしています。
- **バケットデータの概要**：バケットごとに昨日または当月のバケットの主要データを表示します。主要データのカテゴリーは、選択したストレージのタイプによって、標準ストレージ、標準ストレージ（マルチAZ）、低頻度ストレージ、アーカイブストレージの使用量、低頻度データ取得量、アーカイブデータ取得量、標準・標準（マルチAZ）・低頻度の読み取り/書き込みリクエスト数、パブリックネットワークダウンストリームトラフィック、プライベートネットワークダウンストリームトラフィック、CDN back-to-originトラフィックがあります。

3. グラフ右上のダウンロードボタンで、主要データをワンクリックでエクスポートできます。

バケットディメンションごとにデータを表示

操作手順

1. COSコンソールにログインし、左側メニューの**バケットリスト**をクリックし、インターフェースで**統計データ**を選択します。
2. 統計データインターフェースでは、各バケットのストレージ使用量、データ取得量、トラフィックおよびリクエスト数など、ストレージタイプや時間帯ごとの統計データを確認することができます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

データモニタリングの照会

最終更新日：：2022-12-28 16:00:56

概要

Cloud Object Storage（COS）は、ストレージデータのモニタリング機能を提供します。COSのデータ統計のモニタリングデータウィンドウには、リクエスト数、トラフィック、リターンコード、読み取りデータなどのデータが表示されます。モニタリングデータウィンドウから、異なるストレージタイプのデータ量と傾向を時間帯別に照会することができます。次に、ルートアカウントまたはサブアカウントで、単一バケットのモニタリングデータを確認する方法についてご説明します。

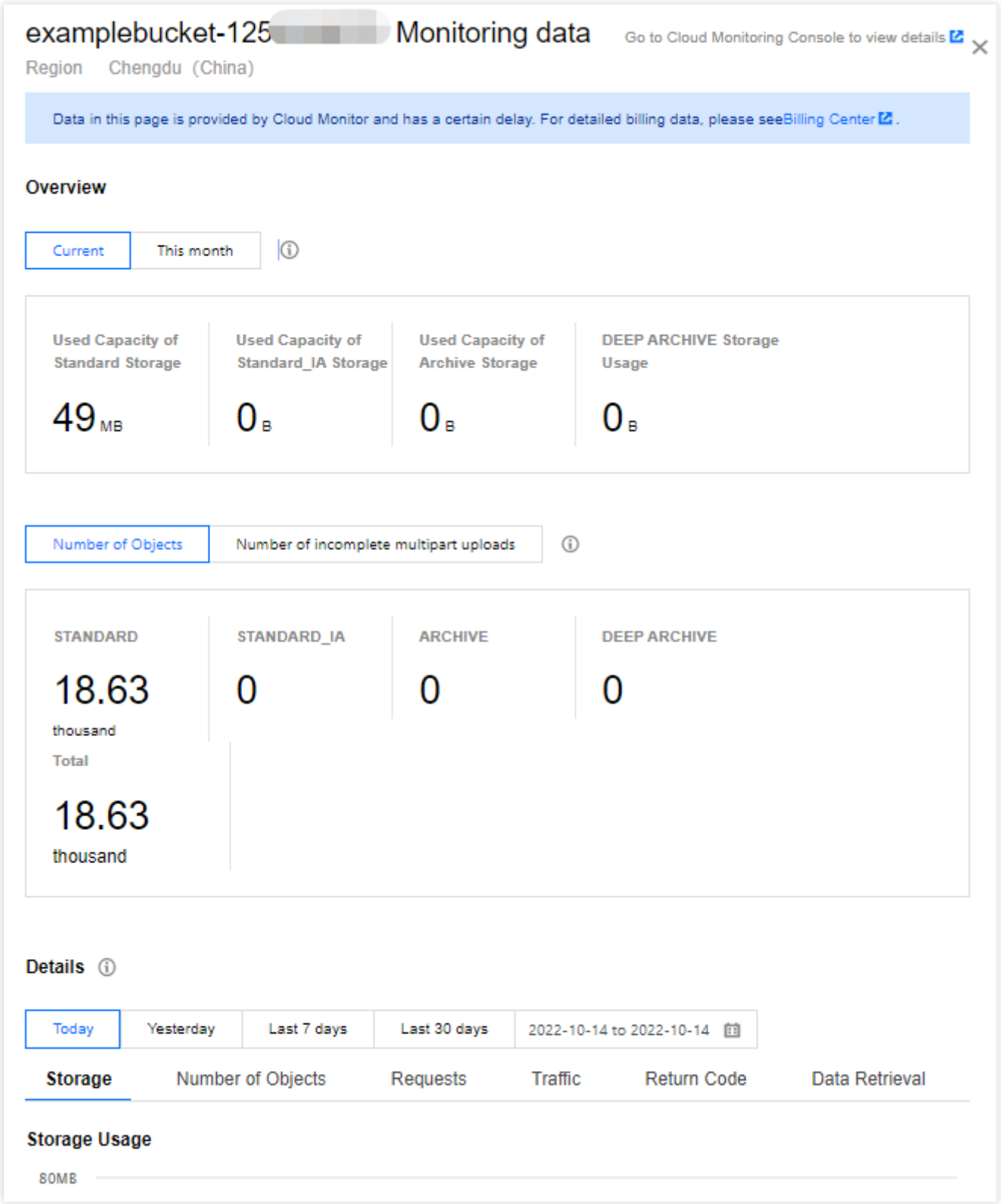
> 説明：
> ユーザーアカウントにストレージされているすべてのデータのサマリー情報を確認したい場合は、COSコンソールのデータモニタリングに移動すると確認できます。

ルートアカウントから照会する場合の操作手順

1. COSコンソールにログインします。
2. 左側ナビゲーションバーで**バケットリスト**をクリックし、バケットリストページに進みます。
3. データ統計を行いたいバケットを見つけ、右側の**モニタリング**をクリックします。
   もしくはデータ統計を行いたいバケットをクリックし、このバケットの詳細ページの左側ナビゲーションバーで**データ監視**をクリックすることもできます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

4. モニタリングデータページで、下図のような情報を確認します。



具体的なモニタリング項目の説明は次のとおりです。

- Storage：さまざまなストレージタイプのストレージ使用量を照会できます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

- オブジェクト数：バケット内に存在するオブジェクトの数です。オブジェクト数には、ファイルフラグメントの数も含まれます。
- ファイルフラグメント数：バケット内に存在するファイルフラグメントの数です。オブジェクトのアップロード中に一時停止またはキャンセルされたファイルはフラグメントとなり、バケットにストレージされます。

> 説明：
>
> - フォルダ内のオブジェクト数を確認したい場合は、フォルダの詳細確認のドキュメントをご参照ください。
> - バージョン管理機能を有効にした場合、同じ名前のオブジェクトのバージョン履歴はすべて独立した1つのオブジェクトとなり、オブジェクト数に計上されます。

- リクエスト：総リクエスト数（Get総リクエスト数、Put総リクエスト数を含む）および標準、低頻度ストレージタイプのデータ読み取り/書き込みリクエスト数の照会をサポートします。
- トラフィック：パブリックネットワークトラフィック、プライベートネットワークトラフィック、CDN back-to-originトラフィック/地域間コピートラフィック、パブリック・プライベートネットワークの総アップロードトラフィックの照会をサポートします。
- リターンコード：2xx、3xx、4xx、5xxステータスコードの数と割合の照会をサポートします。
- データ取得：低頻度データから取得した統計データの照会をサポートします。

> 説明：
>
> - **現在のデータ**ページの**詳細メトリクス**では、ユーザーはさまざまな統計項目（ストレージ使用量、オブジェクト数、リクエスト数、トラフィックなど）に応じて、さまざまな時間間隔（今日、昨日、直近7日間、直近30日間、カスタム時間帯など）を選択して照会を行うことができます。
> - **今月の累計**ウィンドウでは、各ストレージタイプにおけるオブジェクトの今月の1日あたり平均ストレージ容量と総トラフィック（累計パブリックネットワークトラフィック、累計CDN back-to-originトラフィックおよび累計クロスリージョンレプリケーショントラフィック）を確認することができます。
> - ストレージの使用量とオブジェクトについては、2020年3月1日以降のデータの表示のみをサポートしています。より詳細なデータについては、課金センターに移動して、対応する時間帯とエクスポートするデータを選択して表示してください。

サブアカウントから照会する場合の操作手順

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

サブアカウントからモニタリングレポートを照会したい場合は、まずサブアカウントにモニタリングレポートを照会する権限を付与します。次に、コンソール経由でサブアカウントを使用すれば、モニタリングレポートを照会することができます。

ポリシーテンプレートまたは**アクセスポリシーのカスタマイズ**という方法で、サブアカウントにモニタリングレポートへのアクセス権限を付与することができます。

ポリシーテンプレートによる承認

1. ルートアカウントでCAMコンソールにログインし、**ユーザー>ユーザーリスト**を選択して、ユーザーリストページに進みます。

2. 権限承認を行いたいサブアカウントを見つけ、右側操作バーの下にある**承認**をクリックします。

3. ポップアップしたウィンドウでQcloudMonitorFullAccessポリシーを検索してチェックを入れ、**OK**をクリックしてポリシーをサブアカウントに追加すると、そのサブアカウントを使用してモニタリングレポートを確認できるようになります。

> 注意：
> ポリシーテンプレートは、CMにアクセスするための**すべての権限**を付与します。アカウントのセキュリティを確保する必要がある場合は、サブアカウントの読み取り権限のアクセスポリシーをカスタマイズ設定することができます。

アクセスポリシーのカスタマイズによる承認

1. ルートアカウントを使用してCAMコンソールにログインします。

2. 左側ナビゲーションバーで、**ポリシー > カスタムポリシーの新規作成 > ポリシー構文で作成**をクリックします。

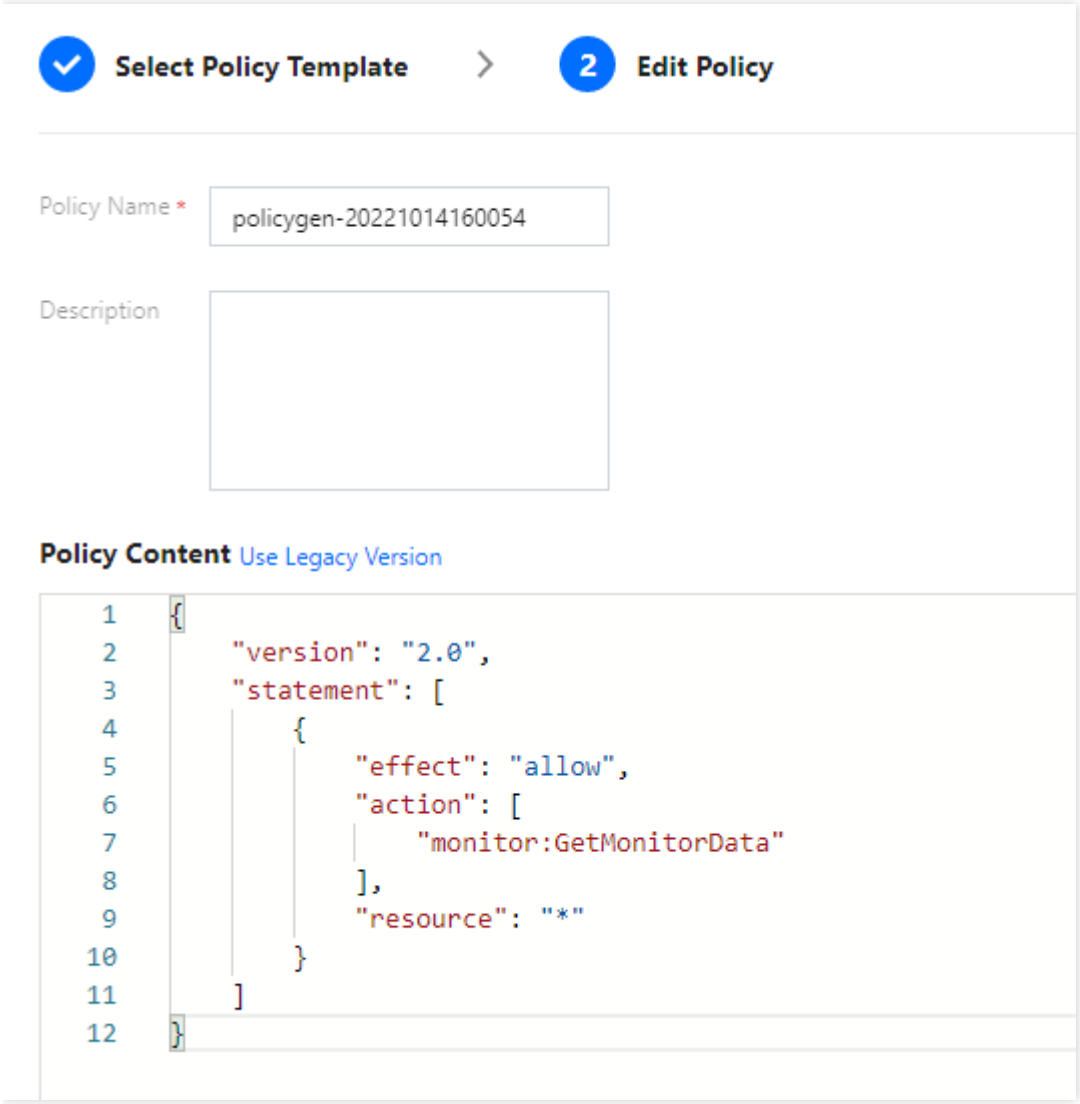
3. 空白テンプレートを選択し、**次のステップ**をクリックします。

4. 下図のように、以下のポリシー構文を**ポリシー内容**入力ボックスに入力します。
   業務上の必要性に応じて、ポリシー名を見つけやすい名前に変更することができます。
   ポリシー構文：

```
{
"version": "2.0",
```

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

```
"statement":[
{
"effect": "allow",
"action":[
"monitor:GetMonitorData"
],
"resource": "*"
}
]
}
```



4. **ポリシーの作成**をクリックします。

ポリシーの作成に成功したら、サブアカウントに対してポリシーの権限を付与することができます。操作手順については、ポリシーテンプレートから設定をご参照ください。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

モニタリングアラートの設定

最終更新日：：2023-02-27 09:48:43

概要

Basic Cloud Monitorのアラートポリシーから、COS監視指標の閾値アラートを設定できます。アラートポリシーは、名前、ポリシータイプ、アラートトリガー条件、アラートオブジェクト、アラート通知テンプレートという5つの必要な部分によって構成されています。次のガイドラインに基づいて、COSアラートポリシーを作成することができます。

> 説明：
> Tencent CloudのBCMは、クラウド製品のリソースのリアルタイム監視とアラートに対するサービスです。ユーザーは、BCMからCOSの監視指標に対するアラートルールの設定、アラート履歴の確認、アラート通知の受信を行うことができます。詳細については、Tencent Cloud BCMアラートポリシーをご参照ください。

操作手順

1. COSコンソールにログインし、コンソールの概要ページで**アラートの設定**項目を見つけて、**アラートポリシーの設定**をクリックします。

> 説明：
> また、バケットの概要ページにも**アラートの設定**があります。

2. アラートポリシーの設定を開始します。設定に関する説明は次のとおりです。

設定タイプ	設定項目	説明
基本情報	ポリシー名	カスタムポリシー名です。
	備考	カスタムポリシーの備考です。
	監視タイプ	クラウド製品の監視を選択します。
	ポリシータイプ	COSを選択します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

	ポリシーが属するプロジェクト	ポリシーが属するプロジェクトには、次の2つの機能があります。 ◦ アラートポリシーを管理します。所属するプロジェクトを設定すると、アラートポリシーリストのプロジェクトにあるアラートポリシーをすぐにフィルタリングできます。 ◦ インスタンスを管理します。必要に応じてプロジェクトを選択すると、アラートオブジェクトのプロジェクトにあるインスタンスをすぐに選択することができます。ビジネスタイプに基づいて、クラウド製品をそれぞれのプロジェクトに割り当てることができます。プロジェクトを作成するには、プロジェクト管理をご参照ください。プロジェクトを作成すると、各クラウド製品のコンソールで、各クラウド製品のリソースに、プロジェクトを割り当てることができます。一部のクラウド製品はプロジェクトの割り当てをサポートしていませんので、プロジェクトの権限が無い場合は、Cloud Access Management をご参照のうえ、権限を付与して下さい。
アラートルールの設定	アラートオブジェクト	◦ インスタンスIDを選択した場合、アラートを追加したいバケットを選択します。 ◦ インスタンスグループを選択した場合、そのアラートポリシーは、ユーザーが選択したインスタンスグループにバインドされます。グループがない場合は、インスタンスグループの新規作成をクリックして、バケットに新しいグループを追加し、もう一度選択します。 ◦ すべてのオブジェクトを選択した場合、そのアラートポリシーは、現在のアカウントに権限があるすべてのバケットにバインドされます。
	テンプレートの選択	テンプレートボタンを選択し、ドロップダウンリストから設定済みのテンプレートを選択します。具体的な設定については、トリガー条件テンプレートの設定をご参照ください。新規作成したテンプレートが表示されない場合は、右側の更新をクリックすると、トリガーするアラートテンプレートの選択リストが更新されます。
	手動設定（インジケータアラート）	◦ アラートトリガー条件：指標、比較関係、閾値、統計サイクル、持続サイクルから構成されるセマンティックの条件です。チャート上の指標のトレンドに応じて、アラートの閾値を設定することができます。 例えば、指標を標準ストレージの読み取りリクエスト、比較関係を>、閾値を80回、統計サイクルを5分、持続サイクルを2サイクルとします。 これは、標準ストレージの読み取りリクエストデータが5分ごとに収集され、あるバケットの標準ストレージの読み取りリクエストが2回連続して80回を超えると、アラートがトリガーされることを意味します。 ◦ アラート頻度：アラートルールごとに、繰り返し通知ポリシーを設定できます。すなわち、アラートが発生した時に、そのアラートが特定の頻度で繰り返し通知されるように定義できます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

		繰り返しなし、5分、10分、周期的指数関数的な増加...などの繰り返し頻度から選択することができます。 ▪ 周期的指数関数的な増加とは、そのアラートが、1回、2回、4回、8回...という2のN乗回でトリガーされた場合に、アラート情報をユーザーに向けて送信することを意味しています。つまり、アラート情報の送信間隔を長くしていくほど、アラートの繰り返しによる煩わしさをある程度回避できます。 ▪ 繰り返しアラートのデフォルトロジック：アラートが発生してから24時間以内に、繰り返し通知用に設定した頻度に基づき、繰り返しアラート通知が送信されます。アラート発生からまるまる24時間が経過すると、1日1回アラート通知が送信されるようになります。
アラート通知の設定	アラート通知	システムプリセット通知テンプレートとユーザーカスタム通知テンプレートの選択がサポートされます。各アラートポリシーは、最大で3つの通知テンプレートにのみバインドできます。
高度な設定	自動スケーリング	有効にして正常に設定されると、アラート条件に達した場合、自動スケーリングがトリガーされ、容量が縮小または拡張されます。

3. 上記の情報を設定し、**完了**をクリックすれば、COSアラートポリシーの作成は完了です。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

データ処理
画像処理
基本画像処理

最終更新日：：2022-06-02 11:30:22

概要

ここでは、COSの画像処理機能をコンソールから使用する方法についてご説明します。画像処理機能の使用方法には、以下2つの方法があります。画像処理の説明については、画像処理の概要をご参照ください。

- **画像URLからパラメータを追加**：画像のオブジェクトアドレス(URL)に対応するパラメータを追加することで、画像に応じた処理を行うことができます。
- **ピクチャースタイルの使用**：スタイルを作成することで異なる処理効果を保存した上で、スタイルを使用して画像を一元的に処理することができます。ここで設定するスタイルは、画像をダウンロードする際に、リアルタイム処理のパラメータに組み合わされるテンプレートです。

注意：

- 画像処理機能は、パブリッククラウドのリージョンでのみサポートされています。
- 画像処理機能は課金項目で、Cloud Infiniteによって課金されます。詳細な課金方法については、Cloud Infiniteの課金と価格をご参照ください。

URLパラメータの追加

1. COSコンソールにログインします。
2. 画像があるバケットを見つけ、そのバケット名をクリックし、バケット管理ページに進みます。
3. 画像ファイル右側のアクションバーの下にある【詳細】をクリックして、ファイル詳細ページに進みます。
4. 【オブジェクトアドレス】をコピーして、ブラウザウィンドウのアドレスバーに貼り付けます。

注意：
画像を処理するには、オブジェクトの書き込み権限が必要です。オブジェクトの権限設定については、オブジェクトのアクセス権限の設定をご参照ください。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

5. アドレスバーで、オブジェクトアドレスの後ろに次の形式によって対応するパラメータを追加します。 画像処理のパラメータと説明については、Cloud Infiniteの基本的な画像処理のAPIドキュメントをご参照ください。

```
オブジェクトアドレス?処理インターフェース名/処理操作名/処理パラメータ
```

> 注意：
> 画像ファイルへのアクセス権限がプライベート読み取りの場合、署名のあるアドレスに画像処理パラメータを追加する必要があります。

事例：画像の幅と高さを元画像の50%にスケーリングします

元の画像効果が次のようになっていると仮定した場合、オブジェクトのアクセス権限はパブリック読み取りとプライベート書き込みになります。オブジェクトアドレスURLは、`https://examplebucket-1250000000.cos.ap-chengdu.myqcloud.com/sample.jpeg` です。

次に、URLリンクに以下のパラメータを追加します。

- スケーリング処理インターフェース：imageMogr2
- スケーリング操作名：thumbnail
- 処理パラメータ：!50p

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

パラメータを追加した後のアドレスは、`https://examplebucket-1250000000.cos.ap-chengdu.myqcloud.com/sample.jpeg?imageMogr2/thumbnail/!50p` です。このアドレスをアドレスバーに貼り付けてエンターキーを押すと、以下のようなスケーリングされた画像が表示されます。

ピクチャースタイルの使用

ピクチャースタイル機能は、異なる処理操作のパラメータをテンプレート形式で提示し、スタイルによって画像を一元的に処理できるようにするものです。ここで設定するスタイルは、画像をダウンロードする際に、リアルタイム処理のパラメータに組み合わされるテンプレートです。次に、**画像のスケーリングを幅480px、高さ270pxに制限するスタイル**を例として、設定方法をご説明します。

1. COSコンソールにログインします。
2. 画像があるバケットを見つけ、そのバケット名をクリックし、バケット管理ページに進みます。
3. 左側メニューバーで、【画像処理】をクリックし**スタイル管理**ページに進みます。
   セパレータ：スタイルセパレータは、ファイル名と処理スタイルを区切る記号で、ハイフン(-)、アンダーライン(_)、スラッシュ(/)および感嘆符(!)があります。ここでは、感嘆符(!)を選択してから保存します。
4. 【スタイルの追加】をクリックすると、以下の設定情報を含む**スタイルの追加**ページに進みます。
   - **スタイル名**：カスタマイズしたスタイル名を入力します。ここでは例として、「yunstyle」と入力します。

> 注意：
>
> - スタイル名は大文字と小文字を区別する必要があり、保存後に変更することはできません。
> - 曖昧さを避けるため、現在有効な区切り識別子を処理スタイル名に含めないでください。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

- **編集モード**：基本編集を選択します。

- サムネイル方式：スケーリングのみを選択します。
- スケーリングの選択：幅と高さのスケーリングを限定して選択します。
- スケーリングサイズ：幅480px、高さ270px。
- プログレッシブ表示：オンにすると、画像にアクセスした場合、画像がプログレッシブ表示モードで表示されます。ここでは、デフォルトで無効となっています。
- 出力形式：画像出力の形式を選択します。ここではデフォルトのオリジナル画像が保持されます。

5. 情報の設定が完了したら、右側のプレビューボタンをクリックすると、プレビューを確認できます。
6. プレビューが正しい場合は、【保存】をクリックすると、yunstyleという名前のピクチャースタイルが追加されていることが確認できます。

> 説明：
>
> - 同じバケットに最大100個のスタイルを設定できます。
> - 設定が有効になるまでの時間は平均30分です。
> - セパレータの変更にはキャッシュのクリアが必要で、ネットワーク全体で有効になるまでに少なくとも24時間かかります。
> - 使用済みのセパレータをキャンセルすると、製品機能に異常が発生する場合があります。
> - ピクチャースタイルの詳細については、スタイルの設定をご参照ください。

7. オブジェクトの詳細ページに進み、オブジェクトアドレスをコピーして、オブジェクトアドレスの後に以下の形式でセパレータとスタイル名を追加します。

```
オブジェクトアドレス + セパレータ + 処理スタイル名
```

最終的に得られたオブジェクトのアドレスは、`https://examplebucket-1250000000.cos.ap-chengdu.myqcloud.com/sample.jpeg!yunstyle` です。このアドレスをアドレスバーに貼り付けてエンターキーを押すと、以下のようなスケーリングされた画像が表示されます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

署名を付ける必要がある場合、URLは `https://examplebucket-1250000000.cos.ap-chengdu.myqcloud.com/sample.jpeg!yunstyle?q-sign-algorithm=<signature>` で、 `/sample.jpg!yunstyle` をリソースとして、署名 `<signature>` を計算します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

画像の高度圧縮の設定

最終更新日：：2022-10-10 12:07:25

概要

高度な画像圧縮とは、Cloud Object Storage（COS）からリリースされたCloud Infiniteをベースとする画像圧縮機能です。画像をより効率的にTPGやHEIFといった高圧縮率形式にトランスコードし、画像伝送リンクとロード時間を効果的に短縮し、帯域幅とトラフィックコストを削減することができます。

説明：

- 高度な画像圧縮機能により、JPG、PNG、WEBPなどの形式の画像をTPG、HEIF形式にトランスコードできます。
- TPGは、Tencent Cloudが自社開発した画像形式です。使用する場合は、**画像ロード環境がTPGデコードをサポートしている**ことを確認してください。Tencent CloudのCloud Infiniteは、TPGデコーダを統合した iOS、Android、Windows ターミナルSDKを提供し、TPGへのすばやいアクセスと使用を支援することができます。
- 現在、iOS 11以降およびAndroid PシステムはHEIF形式をネイティブにサポートしています。
- 高度な画像圧縮は有料サービスであり、Cloud Infiniteによって課金されます。具体的な料金については、Cloud Infiniteの料金ドキュメントをご参照ください。

操作手順

1. COSコンソールにログインします。

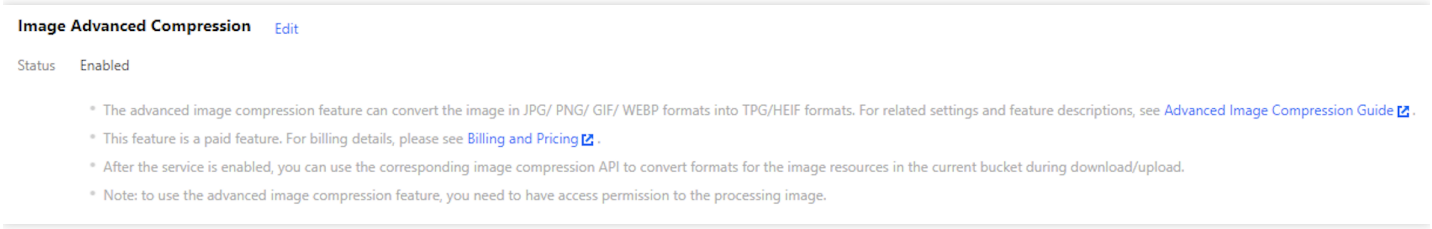
2. 左側ナビゲーションバーで**バケットリスト**をクリックし、バケットリストに進みます。

3. 高度な画像圧縮機能を有効にしたいバケットを選択し、バケット管理ページに進みます。

4. **データ処理>画像処理**タブをクリックします。

5. **高度な画像圧縮**の設定項目を見つけ、**編集**をクリックし、現在のステータスを「有効」にして、**保存**をクリックします。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



機能を有効にすると、現在バケットにある画像リソースに対応する画像の高度圧縮APIを使用して、ダウンロード時にTPG、HEIF圧縮を実行することができます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

ドキュメント処理
ドキュメントプレビューの設定

最終更新日：：2023-03-14 15:12:53

概要

COSコンソールによってバケット内のドキュメントをプレビューすることができます。ここではコンソールによってCOSのドキュメントプレビュー機能を使用する方法についてご説明します。ドキュメントプレビューに関する説明は、ドキュメントプレビューの概要をご参照ください。

注意：

- ドキュメントプレビュー機能は中国大陸のパブリッククラウドリージョンおよびシリコンバレー、バージニア、フランクフルト、シンガポールリージョンでサポートしています。このうちシンガポールとシリコンバレーリージョンは、現時点ではドキュメントの画像変換プレビューのみサポートしています。
- ドキュメントプレビュー機能は有料項目であり、Cloud Infiniteによって課金されます。具体的な料金については課金と価格をご参照ください。

操作手順

1. COSコンソールにログインします。
2. 左側ナビゲーションで**バケットリスト**をクリックし、ドキュメントプレビュー機能を有効化したいバケットをクリックし、バケット管理ページに進みます。
3. 左側の**データ処理 > ドキュメント処理**をクリックし、**ドキュメント処理**の設定項目で**編集**をクリックし、ステータスを有効に変更します。
4. 有効化すると、ドキュメントのURLにパラメータを追加する方法でプレビューを行うことができます。パラメータの使用方法と説明は次のとおりです。

```
<BucketName-APPID>.cos.<Region>.myqcloud.com/<objectkey>?ci-process=doc-preview
&page=<page>&srcType=<srcType>
```

- objectkey：オブジェクトキーです。わかりやすく言えばファイルパスのことです。
- ci-process：Cloud Infiniteの処理機能であり、ドキュメントプレビューでは常にdoc-previewとなります。
- page：変換したいドキュメントのページ番号です。1からカウントします。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

- srcType：ソースデータの拡張子のタイプです。現在ドキュメントの変換では、COSオブジェクトの拡張子名に基づいてソースデータのタイプを決定します。COSオブジェクトに拡張子名がない場合は、この値を設定できます。

注意：
URL方式を使用した場合は、シングルページのドキュメントまたはマルチページドキュメントの1ページ目のみ処理が可能です。より多くの内容をプレビューしたい場合は、ドキュメントプレビュー APIをご利用ください。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

関数の計算
CDNキャッシュの更新の設定

最終更新日：：2022-09-28 15:05:44

概要

Content Delivery Network（CDN）のキャッシュ更新は、Tencent CloudのCloud Object Storage（COS）がServerless Cloud Function(SCF)をベースとしてユーザー向けに提供するデータ更新機能です。ユーザーがCDNエッジノードにキャッシュされたデータを自動的に更新するのを支援することができます。ユーザーがバケットにトリガールールを追加した後、そのバケット内のファイルが更新された際に、COSがあらかじめ設定したSCFが自動的にトリガーされて、キャッシュされたデータが自動的に更新されます。

注意：

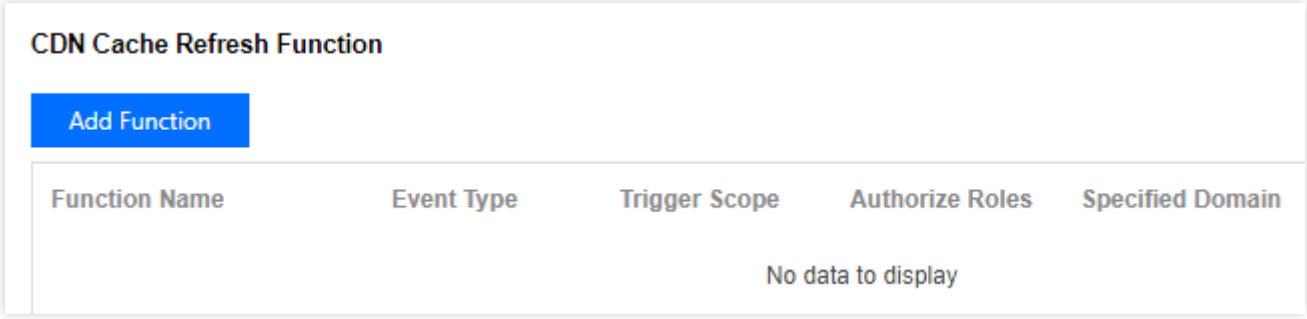
- 以前にCOSコンソールでバケットにキャッシュ更新ルールを追加したことがある場合は、SCFコンソールで、作成したキャッシュ更新関数を確認できます。この関数を削除すると、ルールが有効にならない場合がありますので削除**しないで**ください。
- CDNキャッシュ更新機能は、広州、上海、北京、成都、中国香港、シンガポール、ムンバイ、トロント、シリコンバレーなど、SCFがリリースされているすべてのリージョンでサポートされています。その他のサポートリージョンについては、SCF製品ドキュメントをご参照ください。
- CDNキャッシュ更新機能は、ネットワークリンクの不安定さなどの要因により、失敗する場合があります。機能のパフォーマンスが期待どおりではない場合、COSコンソールで作成した関数の右側にある**ログの確認**をクリックすると、SCFコンソールにジャンプしてログエラーの詳細を確認し、エラーの原因を突き止めることができます。
- CDNキャッシュ更新機能は、SCFサービスに依存しています。ユーザーにはSCFサービス無料利用枠が提供されていますが、無料利用枠を超える部分については、SCF製品価格に従って課金されます。CDNキャッシュ更新機能を使用する場合は、更新の回数が多いほど、消費する呼び出し回数も多くなります。

操作手順

1. COSコンソールにログインします。
2. 左側ナビゲーションバーで**バケットリスト**をクリックし、CDNキャッシュ更新ルールを追加する必要のあるバケットをクリックし、バケット管理ページに進みます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

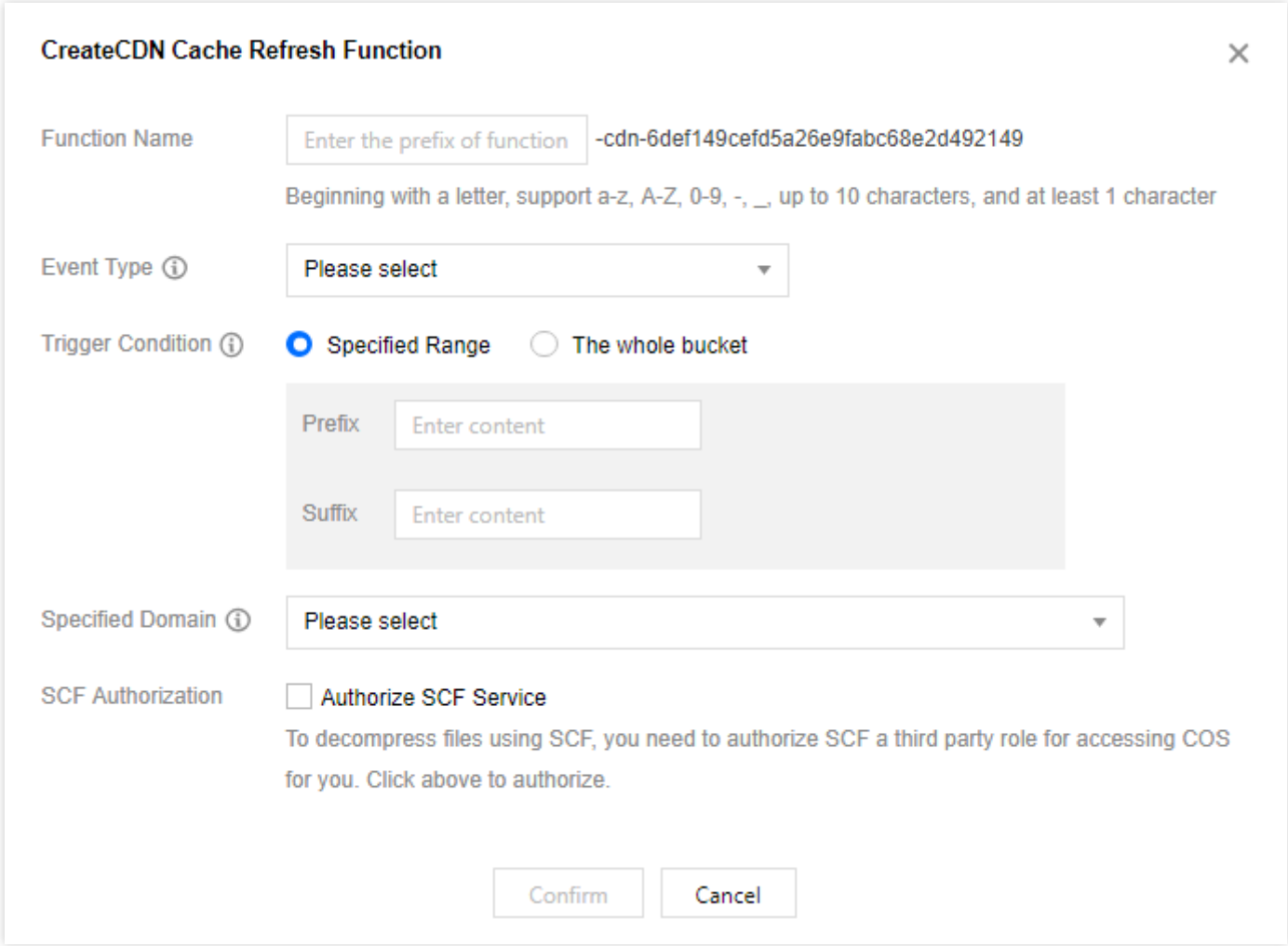
3. 左側ナビゲーションバーで、**関数の計算 > CDNキャッシュ更新関数**をクリックします。



注意：
SCFサービスをアクティブ化していない場合は、SCFコンソールに移動してSCFサービスをアクティブ化し、プロンプトに従ってサービス権限承認を行えば完了です。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

4. **関数の追加**をクリックし、ポップアップウィンドウに以下の情報を設定します。



- **関数名**：関数名は、関数の一意の識別名として、作成後に変更することはできません。SCFコンソールでこの関数を確認できます。
- **イベントタイプ**：イベントとは、SCFをトリガーする操作です。アップロード操作を例に取ると、アップロード方法は、PUT Objectインターフェースを呼び出すか、Post Objectインターフェースを呼び出して行われます。選択したイベントが `PUTタイプ` の場合、 `PUT Object` インターフェース経由でファイルをアップロードする操作のみがSCFをトリガーし、CDNエッジノードのキャッシュを更新します。
- **トリガー条件**：イベントのトリガーとなるファイルソースの範囲を、すべてのバケットや指定したプレフィックス、指定した拡張子などで指定することができます。プレフィックスまたは拡張子を指定した後、ルールはマッチングするファイルソースに対してのみ有効になります。
- **指定ドメイン名**：更新が必要なCDNドメイン名のことです。
- **SCF承認**：CDNキャッシュ更新には、SCFがCDNの `PurgeUrlsCache` インターフェースを呼び出して、CDNキャッシュ更新のデータをクリアするための承認が必要です。これにより、CDNはCOSへback-to-originを行い、最新データをプルすることができます。

5. 設定を追加して**確定**をクリックすると、関数が追加されたことを確認できます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

- **ログ**をクリックすると、CDNキャッシュ更新の履歴を確認することができます。
- **削除**をクリックすると、不要なCDNキャッシュ更新ルールが削除されます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

インテリジェントツールボックス使用ガイド

最終更新日：：2022-08-30 17:14:12

概要

インテリジェントツールボックスでは、画像ウォーターマーク、画像圧縮、オーディオビデオ形式変換、ドキュメント形式変換などの、ほぼすべてのタイプのマルチメディア形式ファイルの処理を行うことができます。ツールボックスはCOSの提供する各種機能を、便利ですぐに使えるツールの形でコンソール上に表示するもので、様々な処理機能を障壁なしに体験していただくことができます。

注意事項

インテリジェントツールボックスのすべての機能はCOSのデータ処理インターフェースをベースにして実装されています。ツールボックスの機能を使用することは、COSのデータ処理インターフェースを呼び出すことと同じになりますが、以下の点について注意する必要があります。

- インテリジェントツールボックスの使用を開始する際、**Cloud Infinite製品サービス**がアクティブ化されます。サービスのアクティブ化には別途料金はかかりません。
- ツールボックスで1回の処理操作を完了することは、データ処理インターフェースを1回呼び出すことと同じになり、それに応じた処理料金が発生します。具体的な料金については下表をご参照ください。

ツール項目	対応料金
画像圧縮（WebP、JPEG形式）、画像編集、画像ウォーターマーク、画像情報	基本画像処理料金
画像圧縮（AVIF、HEIF形式）	高度な画像圧縮料金
オーディオビデオ処理	MPS料金
AI処理	コンテンツ認識料金
ドキュメントオンラインプレビュー	ドキュメントプレビュー料金

ツールの紹介

インテリジェントツールボックスには現在、次のツールが含まれます。

ツールクラス	ツール項目

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

画像処理	画像圧縮
	画像編集
	画像ウォーターマーク
	画像情報
オーディオビデオ処理	オーディオビデオ形式変換
	超高速HD（TESHD）
	ビデオフレーム
	ビデオアニメーション画像生成
	インテリジェントカバー
	古い映像の修復
AI処理	画像タグ
	車両ナンバープレート検出
ドキュメント処理	ドキュメントオンラインプレビュー

画像処理

1. 画像圧縮

画像圧縮ツールは画像の品質を保ったまま、可能な限り画像サイズを小さくすることで、画像のストレージスペースを節約し、画像へのアクセストラフィックを減少させ、画像へのアクセス速度を向上させる効果を発揮します。

操作手順

1. COSコンソールにログインし、左側ナビゲーションバーの**インテリジェントツールボックス**をクリックします。
2. **インテリジェントツールボックス**のページで、**画像処理 > 画像圧縮**を選択します。
3. 画像アップロードエリア内で、バケットにすでに存在する画像を選択し、ツールに追加します。
4. 画像の追加が完了すると、ツールは自動的に処理を行い、左側に圧縮後の画像サイズが表示されます。**ダウンロードボタン**で圧縮後の画像をダウンロードできます。

2. 画像編集

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

画像編集ツールでは、画像トリミング、回転、ズーム、エッジ強調、明るさ、コントラストの調整を行うことができます。

操作手順

画像追加（画像圧縮のステップ1～3参照）後、左側のツールで対応する調整を行います。

3. 画像ウォーターマーク

画像ウォーターマークツールでは、画像または文字をウォーターマークの形で別の画像に追加することができます。

操作手順

- 画像ウォーターマーク：画像追加（画像圧縮のステップ1～3参照）後、左側操作バーで**画像ウォーターマーク**をクリックし、バケットにすでに存在する画像を1枚選択し、マージンを調整した後、**ウォーターマークの生成**をクリックします。
- テキストウォーターマーク：左側操作バーで**テキストウォーターマーク**をクリックし、ウォーターマークテキストを入力し、マージン、フォント、文字サイズを調整した後、**ウォーターマークの生成**をクリックします。

4. 画像情報

画像情報ツールでは、画像の形式、サイズ、MD5情報をリストアップすることができます。

操作手順

画像を追加し、左側操作バーの**情報**をクリックすると、画像に対応する情報を確認できます。

オーディオビデオ処理

1. オーディオビデオ形式変換

オーディオビデオ形式変換は、オーディオビデオをMP4、MP3、MOV、AVI、MKVなどの形式に変換できる機能です。変換の際に様々なビデオ解像度、オーディオビットレートなどのパラメータを設定し、これによって様々なデバイスやネットワーク環境下での再生に適合させることができます。

操作手順

1. COSコンソールにログインし、左側ナビゲーションバーの**インテリジェントツールボックス**をクリックします。
2. **インテリジェントツールボックス**のページで、**オーディオビデオ処理 > オーディオビデオ形式変換**を選択します。
3. ビデオまたはオーディオを選択してツールに追加します。バケット内のオーディオビデオファイルおよびローカルのオーディオビデオファイルを選択できます。ローカルオーディオビデオを変換したい場合は、オーディオビデオをバケットにアップロードする必要があります。オーディオビデオ形式変換はバケット内のオーディオビデオの変換のみサポートしているためです。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

4. オーディオビデオを選択後、ビデオ変換のパラメータを選択する必要があります。パラメータの説明は次のとおりです。
   以下は、**コーデック形式：MP4 H.264、720*同比率の高さ、ビデオビットレート：1024Kbps**の場合の例です。このパラメータはビデオを以下のビデオに変換することを表します。

- ビデオ形式：MP4
- ビデオコーデック：H.264
- ビデオ解像度：幅720*オリジナルビデオと同比率の高さ
- ビデオビットレート：1024Kbps

5. パラメータを選択後、ビデオの処理完了後にバケットに保存する際の名称および位置を選択し、**完了**をクリックします。
6. **トランスコード開始**をクリックし、トランスコードの完了を待ちます。
7. トランスコードが完了すると、ビデオの表示エリアの左側がオリジナルビデオ、右側がトランスコード後のビデオとなり、直接比較してトランスコードの効果を確認することができます。右下隅のボタンでトランスコード後のビデオへのリンクをコピーするか、またはビデオを直接ダウンロードできます。

2. 超高速HD（TESHD）

超高速HD（TESHD）はディープラーニングアルゴリズムをベースに、ビデオの圧縮によるひずみおよびテクスチャのモード情報を最適化し、ビデオをより高精細、より低ノイズで、より高フレームレートのビデオに変換します。

操作手順

超高速HD（TESHD）とオーディオビデオ形式トランスコードの操作手順はほとんど同じです。違いは、超高速HD（TESHD）変換後のビデオがよりコンパクトに、より鮮明になることです。

3. ビデオフレームキャプチャ

ビデオフレームキャプチャツールでは、ビデオ内の任意のフレームをカスタムキャプチャし、画像として保存することができます。

操作手順

1. ビデオをツールボックスに追加し（オーディオビデオ形式変換のステップ1～3参照）、対応するフレームキャプチャパラメータを選択します。
2. ビデオを追加すると、ツールが自動的にフレームキャプチャを開始し、右側表示エリアにキャプチャしたフレームを表示します。

4. ビデオアニメーション画像生成

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

ビデオアニメーション画像生成ツールでは、ビデオをGIFまたはWebpアニメーション画像に変換することができます。

操作手順

1. ビデオをツールに追加し（オーディオビデオ形式変換のステップ1～3参照）、対応するアニメーション画像生成パラメータを選択します。
2. ビデオを追加すると、ツールが自動的に変換を開始し、右側表示エリアに変換後のアニメーション画像を表示します。

5. インテリジェントカバー

ビデオ内の動作、イベント、顔などの特性をインテリジェント認識および分析し、ビデオのハイライトフレームを自動的に特定してキャプチャおよび保存し、ビデオのカバーにすることができます。

操作手順

1. ビデオをツールに追加します（オーディオビデオ形式変換のステップ1～3参照）。
2. ビデオを追加すると、ツールが自動的にビデオの分析を開始してハイライトフレームをキャプチャし、右側表示エリアにキャプチャしたハイライトフレームを表示します。

6. 古い映像の修復

古い映像の修復には、ビデオノイズ除去、超解像度、SDR to HDR、エッジ機能などの機能が含まれます。様々な機能を組み合わせることで、古い低品質の映像の修復ニーズを満たし、ビデオの輝きを取り戻します。

操作手順

1. ビデオをツールに追加します（オーディオビデオ形式変換のステップ1～3参照）。
2. ビデオを追加した後、ターゲット解像度を選択し、クリックして修復を開始します。

AI処理

1. 画像タグ

画像タグは画像内のシーン、物、人物などの情報を認識できるもので、8大カテゴリー、60以上のサブカテゴリー、数千個のタグが含まれます。例えば、自然風景（山、海、空、夕日など）、人工環境（建物、遊園地、会議室など）、ポートレート（男性、女性、自撮り、グループ写真など）、物（グルメ、ファッション、日用品など）、動物（猫、犬、鳥、哺乳動物、海洋生物などの各種ペットまたは野生動物）などがあります。

操作手順

1. COSコンソールにログインし、左側ナビゲーションバーの**インテリジェントツールボックス**をクリックします。
2. **インテリジェントツールボックス**のページで、**AI処理 > 画像タグ**を選択します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

3. 画像をツールボックスに追加します。
4. 画像を追加すると、ツールが自動的に画像分析を開始し、右側表示エリアに分析後の画像タグ情報を表示します。

2. 車両ナンバープレート検出

画像内の車両の座標、車種、型式、年式、色などを正確に認識することができます。街で見かける乗用車を基本的にすべてカバーしています。

操作手順

1. 画像をツールボックスに追加します（画像タグのステップ1～3参照）。
2. 画像を追加すると、ツールが自動的に画像分析を開始し、右側表示エリアに分析後の車両ナンバープレート情報を表示します。

ドキュメント処理

ドキュメントオンラインプレビュー

ドキュメントプレビューツールは任意のofficeドキュメントをオンラインプレビュー可能なWebページ形式に変換できる機能です。変換後にドキュメントリンクをコピーしてブラウザで表示することができます。

操作手順

1. COSコンソールにログインし、左側ナビゲーションバーの**インテリジェントツールボックス**をクリックします。
2. **インテリジェントツールボックス**のページで**ドキュメント処理 > ドキュメントオンラインプレビュー**を選択します。
3. ドキュメント（例：PPT）をツールボックスに追加します。
4. PPTを追加すると、ツールが自動的にドキュメントの処理を開始し、オンラインプレビュー用のHTML Webページ形式を生成し、画面に表示します。直接プレビューすることも、リンクをコピーしてブラウザでプレビューすることもできます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

データワークフロー
関数のカスタマイズ処理

最終更新日：：2022-06-07 14:20:32

概要

Cloud Object Storage（COS）のメディア処理の既存ビジネスまたは機能がニーズを満たすことができない場合は、Serverless Cloud Function（SCF）を使用し、関数処理機能をカスタマイズすることで、コアとなるコードロジックを作成し、ビジネスニーズを柔軟に実現しながら、研究開発コストを低減させることができます。詳細はSCFドキュメントをご参照ください。

説明：

- 現在、関数のカスタマイズ処理機能は、ワークフローでの開始のみをサポートしています。
- SCFでカスタマイズ処理を使用すると、対応する機能の料金が発生し、SCFサービスにより課金されます。課金説明の詳細は、 SCF課金ドキュメントをご参照ください。

操作手順

1. COSコンソールにログインします。
2. 左側ナビゲーションバーで**バケットリスト**をクリックし、バケットリストに進みます。
3. 処理したいバケットを見つけ、そのバケット名をクリックし、バケット管理ページに進みます。
4. 左側ナビゲーションバーで、**データワークフロー>ワークフロー**をクリックし、ワークフロー管理ページに進みます。
5. **ワークフローの作成**をクリックし、ワークフロー作成ページで、「関数のカスタマイズ」ノードを追加します。

設定項目の説明は次のとおりです。

- ノード入力パラメータ例：ワークフローにおいて、関数のカスタマイズで指定した入力パラメータを使用します。ユーザーの手動による追加は不要で、関数のカスタマイズにおけるノードに基づいて入力パラメータを取得します。

- 関数Namespace：作成される関数は、デフォルトでCOSネームスペースの下に配置されます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

- 関数の分類：よく用いられる機能を選択し、COSオブジェクトの通常の操作をすぐに実施するか、カスタマイズを選択し、自身でその他の機能の関連パラメータを設定します。

- 機能タイプ：よく用いられる機能を選択する場合、プリセット機能の選択を行い、カスタマイズ関数を使用したCOSドキュメント操作の管理を参照します。

- 関数の選択：現在のワークフローでは、非同期実行と起動状態のステータス追跡の関数のみをサポートしています。
  関数の新規追加が必要な場合は、「新規関数」をクリックし、SCFコンソールへジャンプして作成してください。次の設定項目の説明に従って設定すれば完了です。
  - 作成方法：テンプレート作成またはカスタマイズ作成を選択し、必要な機能を開発します。
  - あいまい検索：workflowを選択します。

6. 設定に間違いがないことを確認し、**確定**をクリックします。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

ワークフロー設定

最終更新日：：2023-01-29 14:28:24

概要

データワークフローによって、ビデオ処理フローを必要に応じてスピーディーかつフレキシブルに構築することができます。各ワークフローを、バケットに入力するパスにバインドし、ビデオファイルがそのパスに**アップロード**されると、そのメディアワークフローが**自動的にトリガー**され、指定された処理操作が実行され、処理結果がターゲットバケットの指定されたパスに自動的に保存されます。

データワークフローでは、**オーディオビデオトランスコーディング（高速高画質トランスコーディング、ブロードキャストグレードフォーマットのトランスコーディングを含む）**、**ビデオフレームキャプチャ**、**ビデオアニメーション画像生成**、**インテリジェントカバー**、**オーディオビデオスプライシング**、**音声分離**、**ハイライトコレクション**、**アダプティブビットレートストリーミング**、**SDRtoHDR**、**ビデオエンハンスメント**、**超解像度**、**オーディオビデオセグメンテーション**、**関数のカスタマイズ**、**画像処理**などの機能を実現できます。

注意：

- ワークフローは現在、3gp、asf、avi、dv、flv、f4v、m3u8、m4v、mkv、mov、mp4、mpg、mpeg、mts、ogg、rm、rmvb、swf、vob、wmv、webm、mp3、aac、flac、amr、m4a、wma、wav形式のファイル処理をサポートしています。メディア処理のリクエストを開始する場合、完全なファイル名とファイル形式を入力しなければ、形式を認識できず処理されませんので、ご注意ください。
- 現在、ワークフロー機能ではアップロード中のビデオファイルの操作のみをサポートしています。クラウド上のデータに対してメディア処理操作を行いたい場合は、タスク機能をご利用ください。

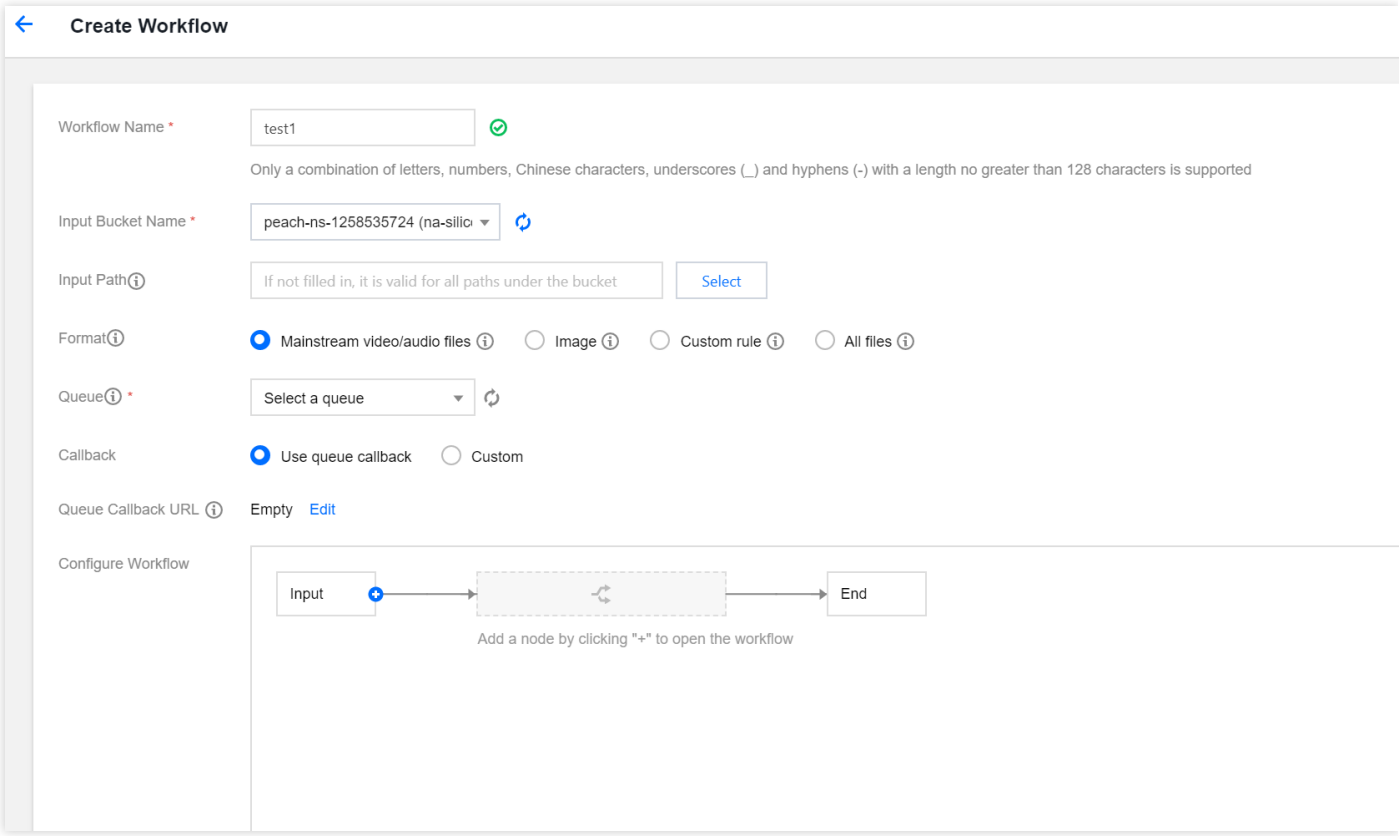
操作手順

ワークフローの作成

1. COSコンソールにログインします。
2. 左側ナビゲーションバーで**バケットリスト**をクリックし、バケットリスト管理ページに進みます。
3. メディア処理を行いたいバケットを見つけ、そのバケット名をクリックし、バケット管理ページに進みます。
4. 左側ナビゲーションバーで、**データワークフロー**を選択し、**ワークフロー**をクリックしてワークフロー管理ページに進みます。
5. **ワークフローの作成**をクリックし、ワークフロー作成ページに進みます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

6. ワークフロー作成ページで、以下の情報を設定します。



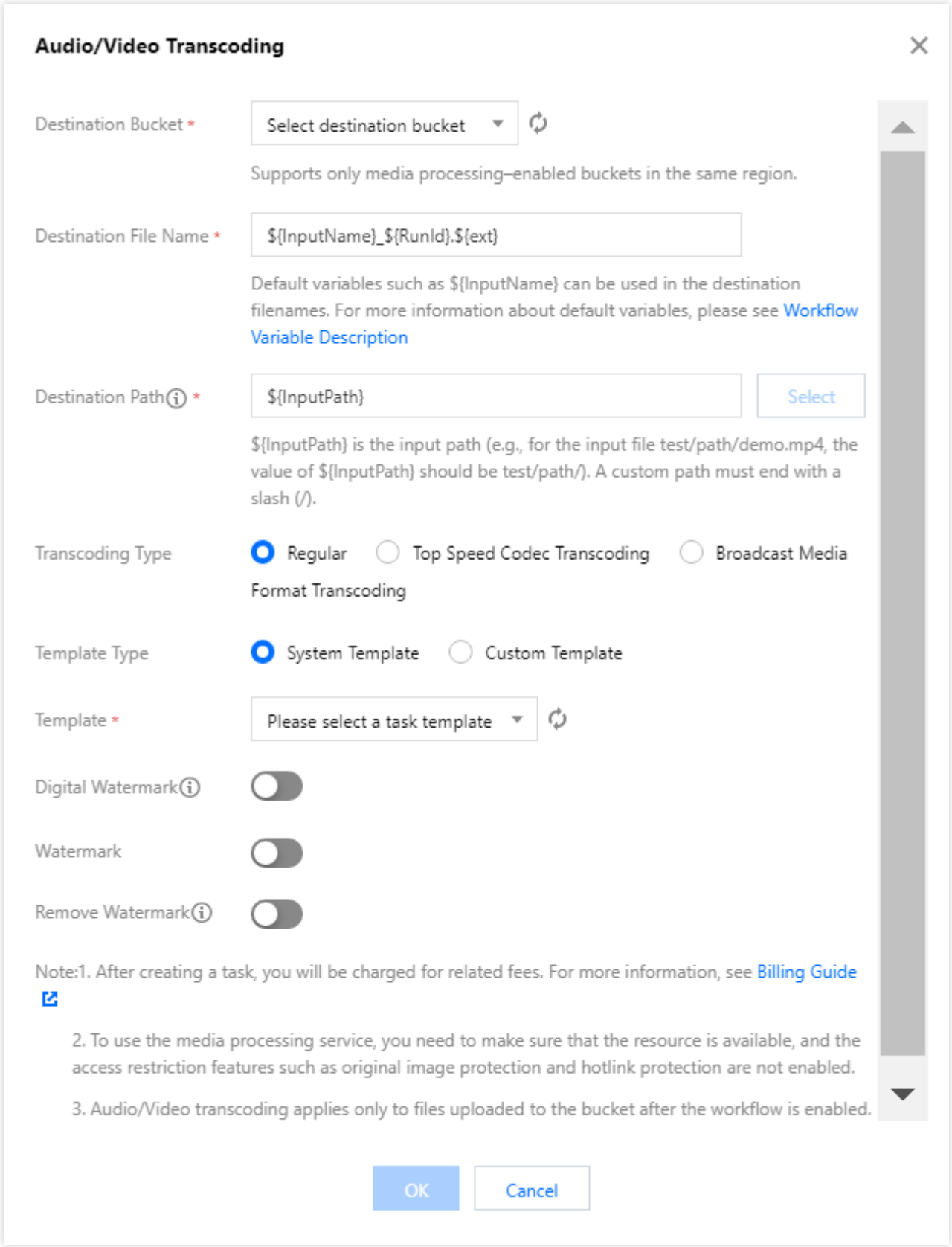
- **ワークフロー名**：入力必須項目です。中国語、アルファベットの大文字と小文字[A～Z、a～z]、数字[0～9]、アンダーバー(_)、ハイフン(-)のみサポートし、長さは128文字以下とします。
- **入力バケット**：デフォルトのアイテムで、現在のバケットです。
- **入力パス**：オプション項目です。 `/` で始まり、 `/` で終わります。入力しない場合はバケットに入力したすべてのパスが有効になります。ワークフローを有効化すると、ビデオファイルをこのパスにアップロードした時点で、メディアワークフローが自動的にトリガーされるようになります。
- **形式のマッチング**：デフォルトのオーディオビデオファイル、画像ファイルフィルタリングルールまたはカスタムルールを選択するか、またはすべてのファイルを選択し、バケット内のすべてのオブジェクトに対して処理を行うこともできます。
- **キュー**：入力必須項目です。サービスをアクティブ化すると、システムが自動的にユーザーキューを作成します。ユーザーがタスクを送信すると、タスクはまずキューに入れられ、優先度および送信順に基づいて順次実行されます。キュー情報は**共通設定**で確認することができます。
- **コールバック設定**：キューのコールバック、すなわちコールバックURLを使用して、キューとのバインドを行うことができます。変更が必要な場合は指定したキューのリストに進んで変更するか、またはコールバックURLをカスタマイズしてください。
- **ワークフローの設定**：右側の「+」をクリックして入力し、**オーディオビデオトランスコーディング（高速高画質トランスコーディング、ブロードキャストグレードフォーマットのトランスコーディングを含む）、ビデオ**

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

フレームキャプチャ、 ビデオアニメーション画像生成、インテリジェントカバー、オーディオビデオスプライシング、音声分離、ハイライトコレクション、hlsアダプティブマルチビットレート、SDRtoHDR 、ビデオエンハンスメント、超解像度、オーディオビデオセグメンテーション、関数のカスタマイズ、画像処理ノードを追加します。各ワークフローにつき、少なくとも1つ以上のタスクノードを設定します。タスクノードの設定では、ターゲットバケット、ターゲットファイル名（詳細についてはワークフロー変数の説明をご参照ください）、ターゲットパス、選択するタスクテンプレートを設定する必要があります。テンプレートの説明と設定の詳細についてはテンプレートドキュメントをご参照ください。

- オーディオビデオトランスコーディング
- ビデオフレームキャプチャ
- ビデオアニメーション画像生成
- インテリジェントカバー
- オーディオビデオスプライシング

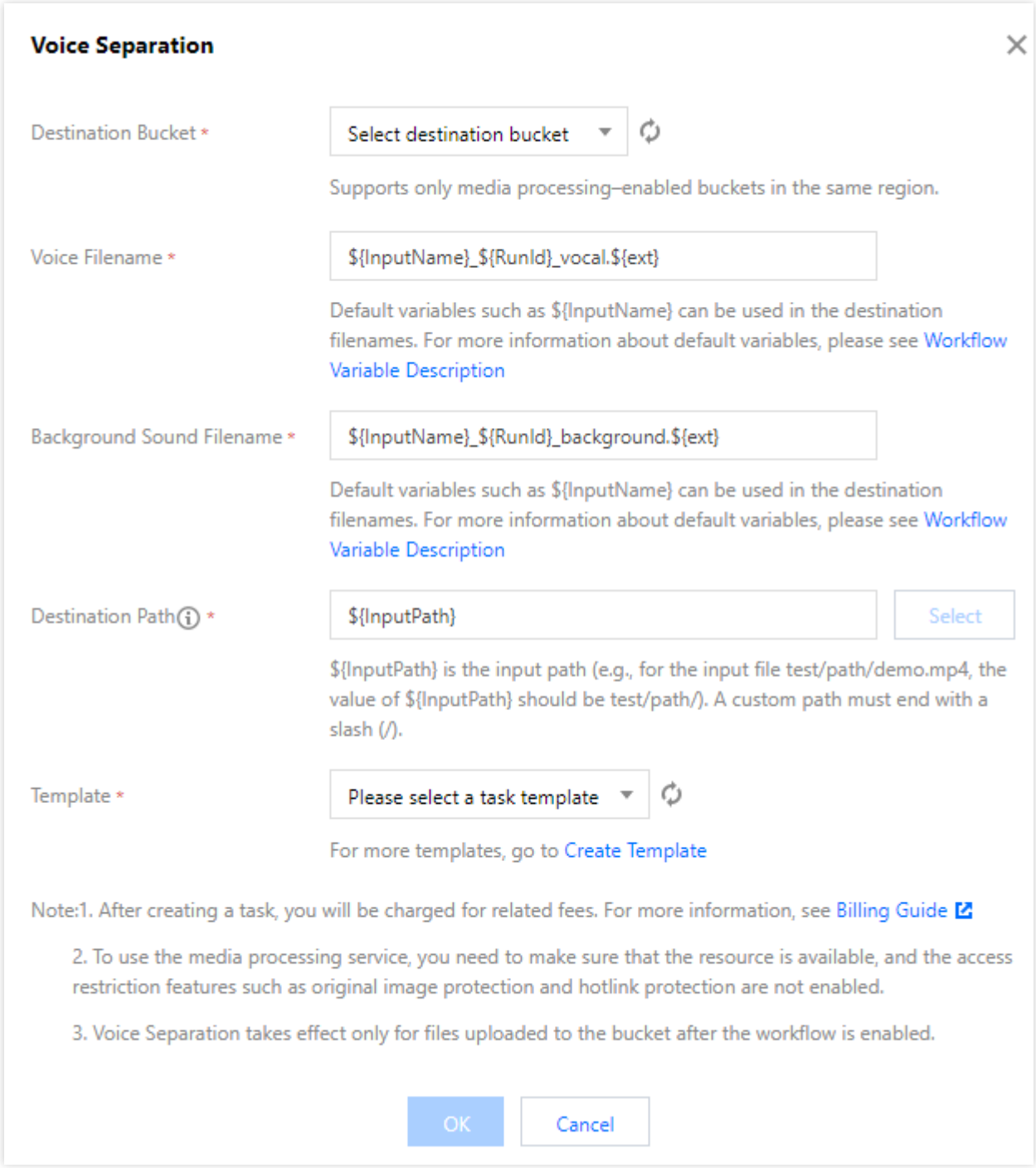
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



- 音声分離
- ハイライトコレクション

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

- アダプティブビットレートストリーミング
- SDRtoHDR
- ビデオエンハンスメント



- 超解像度
- オーディオビデオセグメンテーション
- 関数のカスタマイズ
- 画像処理
- オーディオビデオ情報（判断ノード）

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

7. 上記を正しく設定し、**保存**をクリックすると、先ほど作成したワークフローを確認することができます。

ワークフローはデフォルトでは無効状態です。このワークフローに対応するステータスボタンをクリックすると、ワークフローを有効化できます。ワークフローを有効化すると、5分以内に有効になります。ワークフローが有効になると、その後にアップロードしたビデオファイルには自動的にメディア処理操作が行われ、処理が完了すると、新しく生成されたファイルが指定のファイルパスに出力されます。

ワークフローの管理

ワークフロー管理ページに進み、作成済みのワークフローのリストを確認します。

ワークフローリストにはワークフロー名、ワークフローID、入力パス、作成時間、有効状態などの情報が表示されます。ワークフロー名、ワークフローIDによる検索、および指定されたワークフローに対する詳細の確認・編集・削除操作をサポートします。

- **有効化ボタン**：ワークフローの開始後、入力バケットの対応するパスにアップロードされたビデオファイルは、ワークフローに従って自動的に処理されます。この有効化ボタンを再度クリックすると、ワークフローを一時停止することができます。ワークフローを一時停止すると、対応するパスにアップロードされたビデオファイルに対する自動処理は行われなくなります。

  > 説明：
  > ワークフローはデフォルトでは無効状態です。このワークフローに対応するステータスボタンをクリックすると、ワークフローを有効化できます。ワークフローを有効化すると、5分以内に有効になります。

- **詳細**：現在のワークフロー設定の詳細を確認します。
- **実行インスタンスの確認**：ワークフローの実行状態、実行時間などの情報を時間単位で確認します。
- **その他**：
  - 操作バーで、**その他 > 編集**をクリックし、「ワークフローの編集」ページに進むと、そのページでワークフロー設定を変更することができます。
  - 操作バーで、**その他 > 削除**をクリックすると、そのワークフローを削除できます。

> 注意：
> ワークフローが有効状態の時は、それに対する編集と削除操作を行うことができません。

実行インスタンスの確認

各ビデオファイルのワークフローの実行が終わると、実行インスタンスが生成されます。実行インスタンスページにはソースファイルアドレス、ワークフローの実行状態、実行時間などの情報が表示されます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

1. ワークフロー管理ページに進み、ターゲットのワークフローを見つけ、操作バーで**実行インスタンスの確認**をクリックし、実行インスタンスリストページに進みます。

2. リストページでターゲットのインスタンスを見つけ、操作バーで**詳細**をクリックし、インスタンス詳細ページに進みます。

3. インスタンス詳細ページで、ワークフローの各ノードのタスクID、実行状態、開始/終了時間などの情報を確認できます。

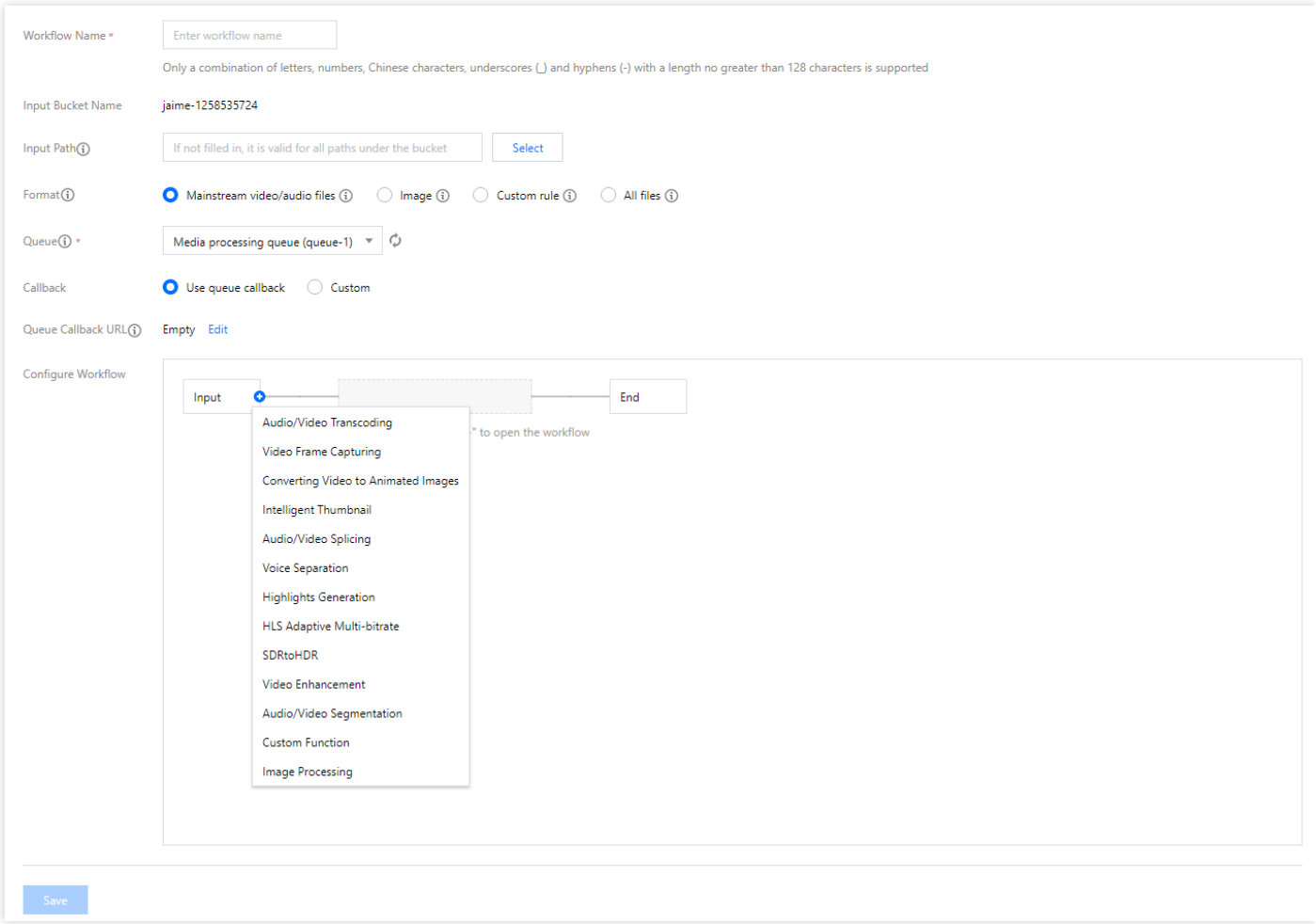
ワークフローのトリガー

ワークフローの作成が完了すると、ファイルをバケットにアップロードする際にワークフローが自動的にトリガーされますが、バケット内に保存されているファイルに対してただちにワークフローをトリガーすることも可能です。

1. ワークフロー管理ページに進み、ターゲットのワークフローを見つけ、**その他 > ワークフローのトリガー**をクリックし、ワークフロートリガーページに進みます。
2. ワークフロートリガーページで、ワークフローをトリガーしたいファイルを選択し、**保存**をクリックすると、ワークフローがすぐにトリガーされて実行されます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

その後は実行インスタンスページでワークフローの実行状態を確認できます。



ワークフロー変数の説明

ワークフローは変数を使用したターゲットファイル名およびターゲットパスのレンダリングをサポートしています。現在サポートしている変数は次のとおりです。

変数名	意味
InputName	入力ファイルのファイル名（拡張子なし）
InputNameAndExt	入力ファイルのファイル名（拡張子あり）
InputPath	ファイルの入力パス
RunId	実行インスタンスID
Ext	ターゲットファイルの形式

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

変数名	意味
Number	ターゲットファイルの番号

事例

ユーザーの入力ファイルのファイル名がtest1.mp4、test2.mp4であり、FLVコンテナ形式に変換（すなわち、最終的なファイル名がそれぞれtest1.flv、test2.flvとなるように）したい場合は、ターゲットファイル名のパラメータ形式を `${InputName}.${Ext}` に設定する必要があります。

ターゲットファイル名のパラメータ形式を `${InputNameAndExt}_${RunId}.${Ext}` に設定したとします。

ワークフローの実行時に2つの実行インスタンス（例えば実行インスタンスIDがそれぞれ000001と000002）が生成された場合、最終的なターゲットファイル名はtest1.mp4_000001.flvとtest2.mp4_000002.flvになります。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

タスク設定

最終更新日：：2023-06-29 14:19:40

概要

バケットにすでに存在するファイルに対して、タスクを作成し、メディア処理、音声認識、ドキュメント処理などの操作を実行することができます。現在、**オーディオビデオトランスコーディング**、**高速高画質トランスコーディング**、**ブロードキャストグレードフォーマットのトランスコーディング**、**ハイライトトコレクション**、**音声分離**、**オーディオビデオスプライシング**、**ビデオエンハンスメント**、**オーディオビデオセグメント**、**超解像度**、**SDR to HDR**、**ビデオフレームキャプチャ**、**ビデオアニメーション画像生成**、*インテリジェントカバー、デジタルウォーターマーク抽出、画像処理、音声合成、音声認識、ドキュメントプレビュー**タスクの作成をサポートしています。一部タスクは、テンプレート機能をベースとして作成され、システムが提供するプリセットテンプレートをそのまま使用することも、テンプレートをカスタマイズすることもできます。テンプレートの詳細については、テンプレートドキュメントをご参照ください。

説明：

- タスクは現在、3gp、asf、avi、dv、flv、f4v、m3u8、m4v、mkv、mov、mp4、mpg、mpeg、mts、ogg、rm、rmvb、swf、vob、wmv、webm、mp3、aac、flac、amr、m4a、wma、wav形式のファイル処理をサポートしています。メディア処理のリクエストを開始する場合、ファイル名とファイル形式のすべてを入力しなければ、形式を認識できず処理されませんので、ご注意ください。
- 現在、タスク機能の操作ができるのは、**既存のファイル**のみです。**アップロード中**のファイルを操作したい場合は、ワークフロー機能をご利用ください。
- タスクが作成されると、それに対応する機能料金が発生し、Cloud Infiniteサービスから課金されます。詳細な課金方式については、メディア処理料金をご参照ください。

タスクの確認

タスクページでは、**指定時間帯**における異なるタスクタイプのすべてのタスクを確認したり、**タスクステータス**をクリックして異なるステータスのタスクを確認したり、**検索ボックス**でタスクIDにより指定タスクを検索したりすることが可能です。

1. COSコンソールにログインします。
2. 左側ナビゲーションバーで**バケットリスト**をクリックし、バケットリスト管理ページに進みます。
3. 操作したいバケットを見つけ、そのバケット名をクリックし、バケット管理ページに進みます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

4. 左側ナビゲーションバーで、**データワークフロー**を選択して、**タスク**をクリックし、タスク管理ページに進みます。
5. タスクの右側にある**表示**をクリックすると、そのタスクに関する以下の情報が表示されます。

- タスク情報：タスクID、タスクステータス、キューID、テンプレートID、タスク作成時間、タスク終了時間。
- 入力情報：処理されたファイルが存在するバケット、バケットリージョン、処理されたファイルのストレージパス。
- 出力情報：出力ファイルのアドレス、出力ファイルが存在するバケット、バケットリージョン、出力ファイルのストレージパス。

説明：

- タスクには、実行成功、実行失敗、実行中、未実行、一時停止、取り消し済みといった、計6つのステータスがあります。
- 直近1か月間のタスクレコードのみ照会できます。

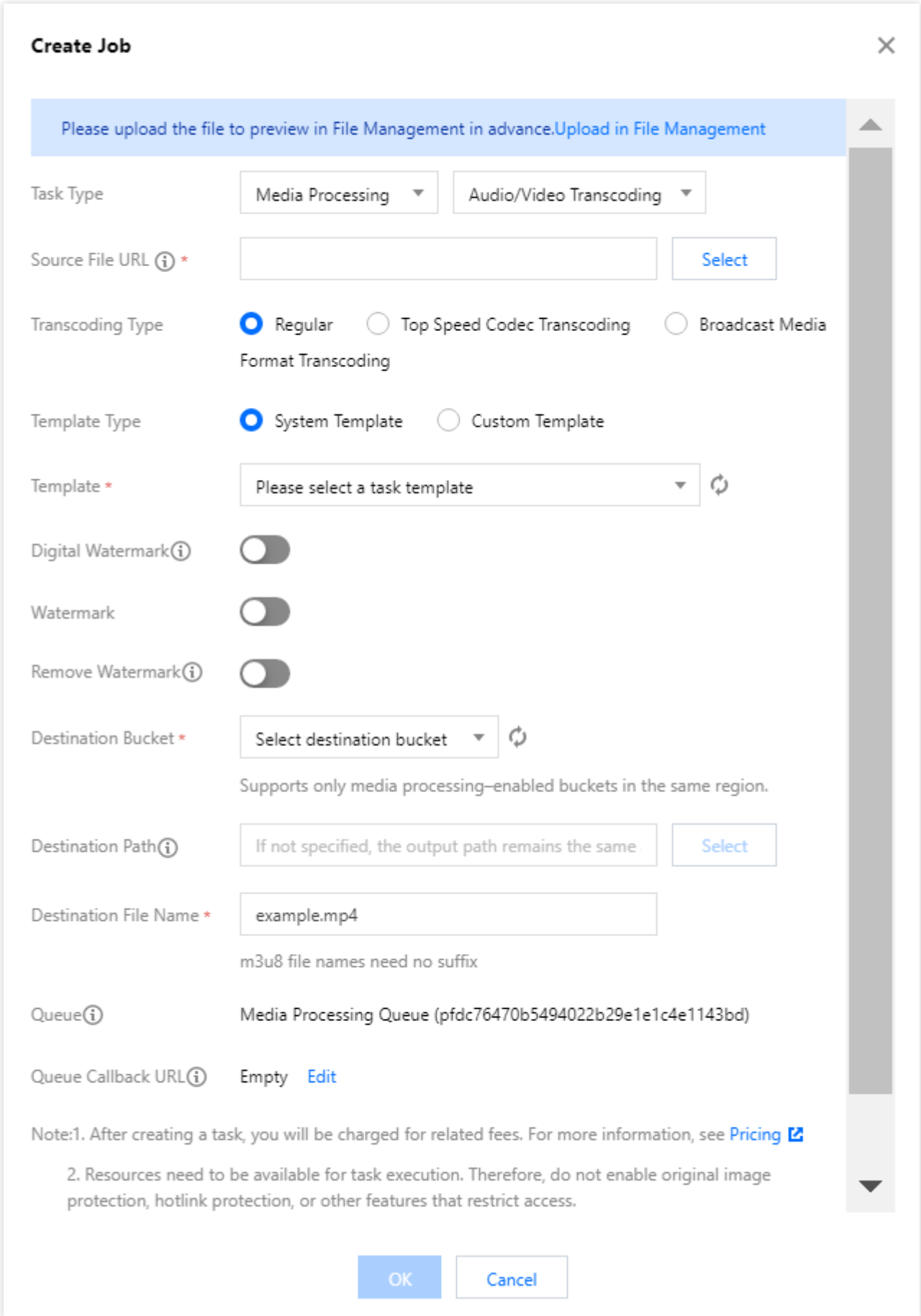
オーディオビデオトランスコーディングタスクの作成

オーディオビデオトランスコーディングは、オーディオ、ビデオファイルのトランスコード機能を提供します。これは、ファイルのビットストリームを別のビットストリームに変換するプロセスです。トランスコードによって、コーデック、解像度、ビットレートなどの元のビットストリームのパラメータを変更して、様々なデバイスやネットワーク環境での再生に適合させます。|

操作手順

1. COSコンソールにログインします。
2. 左側ナビゲーションバーで**バケットリスト**をクリックし、バケットリスト管理ページに進みます。
3. 操作したいバケットを見つけ、そのバケット名をクリックし、バケット管理ページに進みます。
4. 左側ナビゲーションバーで、**データワークフロー**を選択して、**タスク**をクリックし、タスク管理ページに進みます。
5. **メディア処理**タブを選択し、**トランスコーディング処理 > オーディオビデオトランスコーディング**タスクタイプを選択し、**タスクの作成**をクリックして、以下の情報に従って設定を行います。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

- **ソースファイルパス**：処理されるファイルが配置されているパスを入力します。ファイルパスの先頭または末尾に「/」を使用することはできませんので、ご注意ください。
- **トランスコードタイプ**：通常のオーディオビデオファイルのトランスコーディングには、通常のトランスコードタイプを選択すればOKです。
- **テンプレートタイプ**：システムのプリセットテンプレートまたはカスタムテンプレートから選択できます。
- **テンプレートの選択**：指定するテンプレートを選択できます。
- **デジタルウォーターマークの追加**：著作権保護の目的で、必要に応じてインビジブルウォーターマークを追加することができます。
- **可視的ウォーターマークの追加**：必要に応じて画像やテキストといった可視的ウォーターマークを追加することができます。
- **ウォーターマークの除去**：必要に応じてウォーターマークを除去することができます。
- **ターゲットバケット**：同リージョンでメディア処理機能をアクティブ化したバケットのみ選択できます。
- **ターゲットパス**：トランスコーディング後のファイル格納先パスです。
- **ターゲットファイル名**：ここで、出力ファイルのファイル名を指定することができます。
- **キュー**：現在、デフォルトのキューqueue-1のみサポートされています。キューの説明については、キューとコールバックをご参照ください。
- **キューコールバックURL**：キューにバインドされているコールバックアドレスに関する情報で、共通設定のキューに移動して設定することができます。

高速高画質トランスコーディングタスクの作成

超高速HD（TESHD）技術を使用することによって、最も低いビットレートでビデオの主観的画質を高め、通常のトランスコーディングよりも小さく、鮮明にすることで、ネットワークリソースの消費を抑えると同時に、より良い映像体験をユーザーに提供することを可能にします。

操作手順

1. COSコンソールにログインします。
2. 左側ナビゲーションバーで**バケットリスト**をクリックし、バケットリスト管理ページに進みます。
3. 操作したいバケットを見つけ、そのバケット名をクリックし、バケット管理ページに進みます。
4. 左側ナビゲーションバーで、**データワークフロー**を選択して、**タスク**をクリックし、タスク管理ページに進みます。
5. **メディア処理**タブを選択し、**トランスコーディング処理 > オーディオビデオトランスコーディング**タスクタイプを選択し、**タスクの作成**をクリックして、以下の情報に従って設定を行います。

- **ソースファイルパス**：処理されるファイルが配置されているパスを入力します。ファイルパスの先頭または末尾に「/」を使用することはできませんので、ご注意ください。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

- **トランスコードタイプ**：高速高画質トランスコーディングでは、高速高画質トランスコーディングタイプを選択します。
- **テンプレートの選択**：指定するテンプレートを選択できます。
- **デジタルウォーターマークの追加**：著作権保護の目的で、必要に応じてインビジブルウォーターマークを追加することができます。
- **可視的ウォーターマークの追加**：必要に応じて画像やテキストといった可視的ウォーターマークを追加することができます。
- **ターゲットバケット**：同リージョンでメディア処理機能をアクティブ化したバケットのみ選択できます。
- **ターゲットパス**：トランスコーディング後のファイル格納先パスです。
- **ターゲットファイル名**：ここで、出力ファイルのファイル名を指定することができます。
- **キュー**：現在、デフォルトのキューqueue-1のみサポートされています。キューの説明については、キューとコールバックをご参照ください。
- **キューコールバックURL**：キューにバインドされているコールバックアドレスに関する情報で、共通設定のキューに移動して設定することができます。

ブロードキャストグレードフォーマットのトランスコーディングタスクの作成

Apple ProRes、Sony XAVCなど、プロフェッショナルメディアのフォーマット制作をサポートします。

操作手順

1. COSコンソールにログインします。
2. 左側ナビゲーションバーで**バケットリスト**をクリックし、バケットリスト管理ページに進みます。
3. 操作したいバケットを見つけ、そのバケット名をクリックし、バケット管理ページに進みます。
4. 左側ナビゲーションバーで、**データワークフロー**を選択して、**タスク**をクリックし、タスク管理ページに進みます。
5. **メディア処理**タブを選択し、**トランスコーディング処理 > オーディオビデオトランスコーディング**タスクタイプを選択し、**タスクの作成**をクリックして、以下の情報に従って設定を行います。

- **ソースファイルパス**：処理されるファイルが配置されているパスを入力します。ファイルパスの先頭または末尾に「/」を使用することはできませんので、ご注意ください。
- **トランスコードタイプ**：ブロードキャストグレードフォーマットのトランスコーディングは、ブロードキャストグレードフォーマットのトランスコーディングタイプを選択します。
- **テンプレートの選択**：指定するテンプレートを選択できます。
- **デジタルウォーターマークの追加**：著作権保護の目的で、必要に応じてインビジブルウォーターマークを追加することができます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

- **可視的ウォーターマークの追加**：必要に応じて画像やテキストといった可視的ウォーターマークを追加することができます。
- **ターゲットバケット**：同リージョンでメディア処理機能をアクティブ化したバケットのみ選択できます。
- **ターゲットパス**：トランスコーディング後のファイル格納先パスです。
- **ターゲットファイル名**：ここで、出力ファイルのファイル名を指定することができます。
- **キュー**：現在、デフォルトのキューqueue-1のみサポートされています。キューの説明については、キューとコールバックをご参照ください。
- **キューコールバックURL**：キューにバインドされているコールバックアドレスに関する情報で、共通設定のキューに移動して設定することができます。

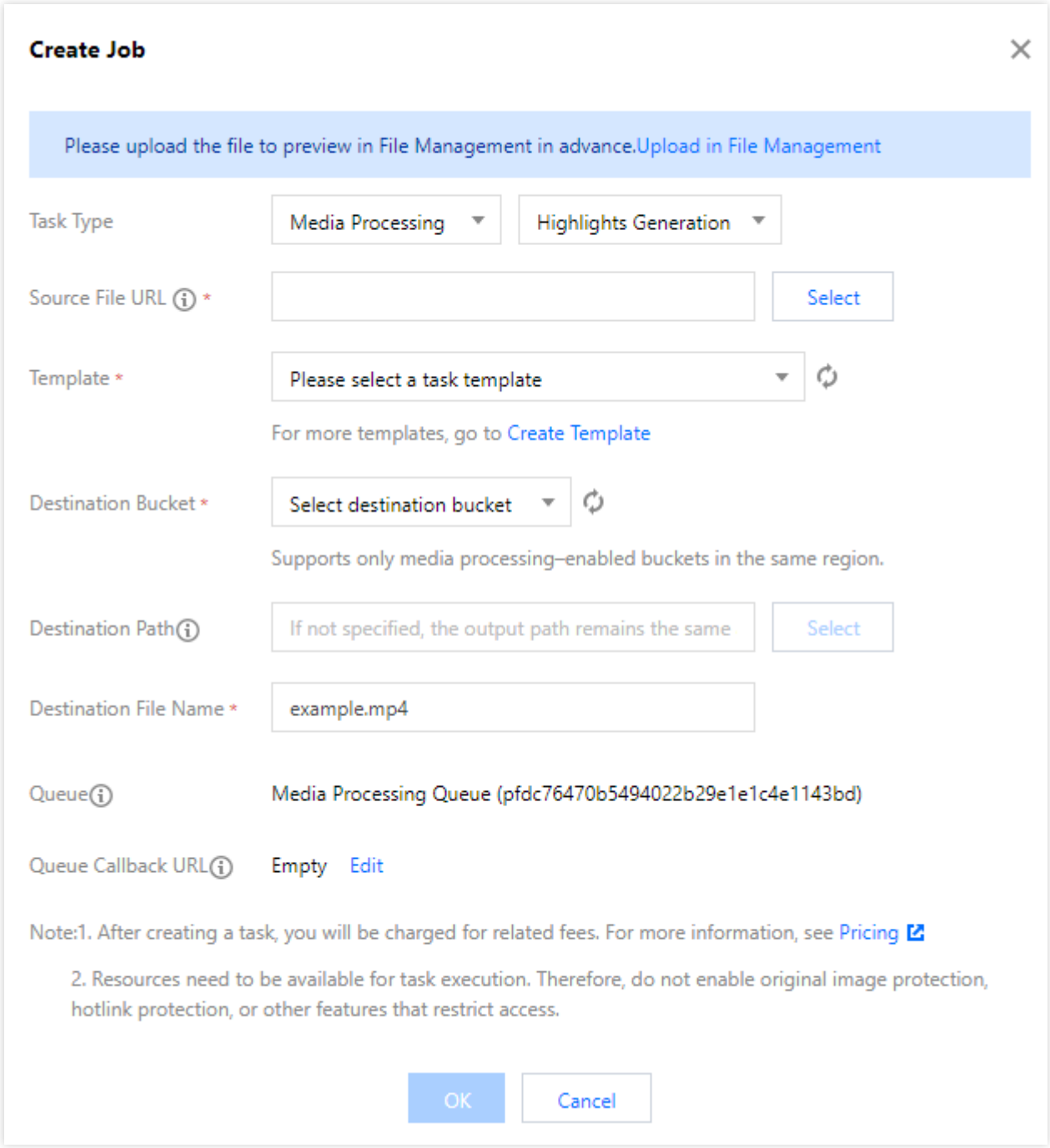
ハイライトコレクションタスクの作成

ハイライトコレクションは、ビデオからハイライトを素早く正確に抽出し、ハイライトを新しいファイルとして出力できます。これは、再生やプレビューなどのさまざまなシーンでビデオを再利用するときに便利です。

操作手順

1. COSコンソールにログインします。
2. 左側ナビゲーションバーで**バケットリスト**をクリックし、バケットリスト管理ページに進みます。
3. 操作したいバケットを見つけ、そのバケット名をクリックし、バケット管理ページに進みます。
4. 左側ナビゲーションバーで、**データワークフロー**を選択して、**タスク**をクリックし、タスク管理ページに進みます。
5. **メディア処理**タブを選択し、**インテリジェント編集 > ハイライトコレクション**タスクタイプを選択し、**タスクの作成**をクリックして、以下の情報に従って設定を行います。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



- **ソースファイルパス**：処理されるファイルが配置されているパスを入力します。ファイルパスの先頭または末尾に「/」を使用することはできませんので、ご注意ください。
- **テンプレートの選択**：指定するテンプレートを選択できます。
- **ターゲットバケット**：同リージョンでメディア処理機能をアクティブ化したバケットのみ選択できます。
- **ターゲットパス**：ファイル処理後のファイル格納先パスです。
- **ターゲットファイル名**：ここで、出力ファイルのファイル名を指定することができます。
- **キュー**：現在、デフォルトのキューqueue-1のみサポートされています。キューの説明については、キューとコールバックをご参照ください。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

- **キューコールバックURL**：キューにバインドされているコールバックアドレスに関する情報で、共通設定のキューに移動して設定することができます。

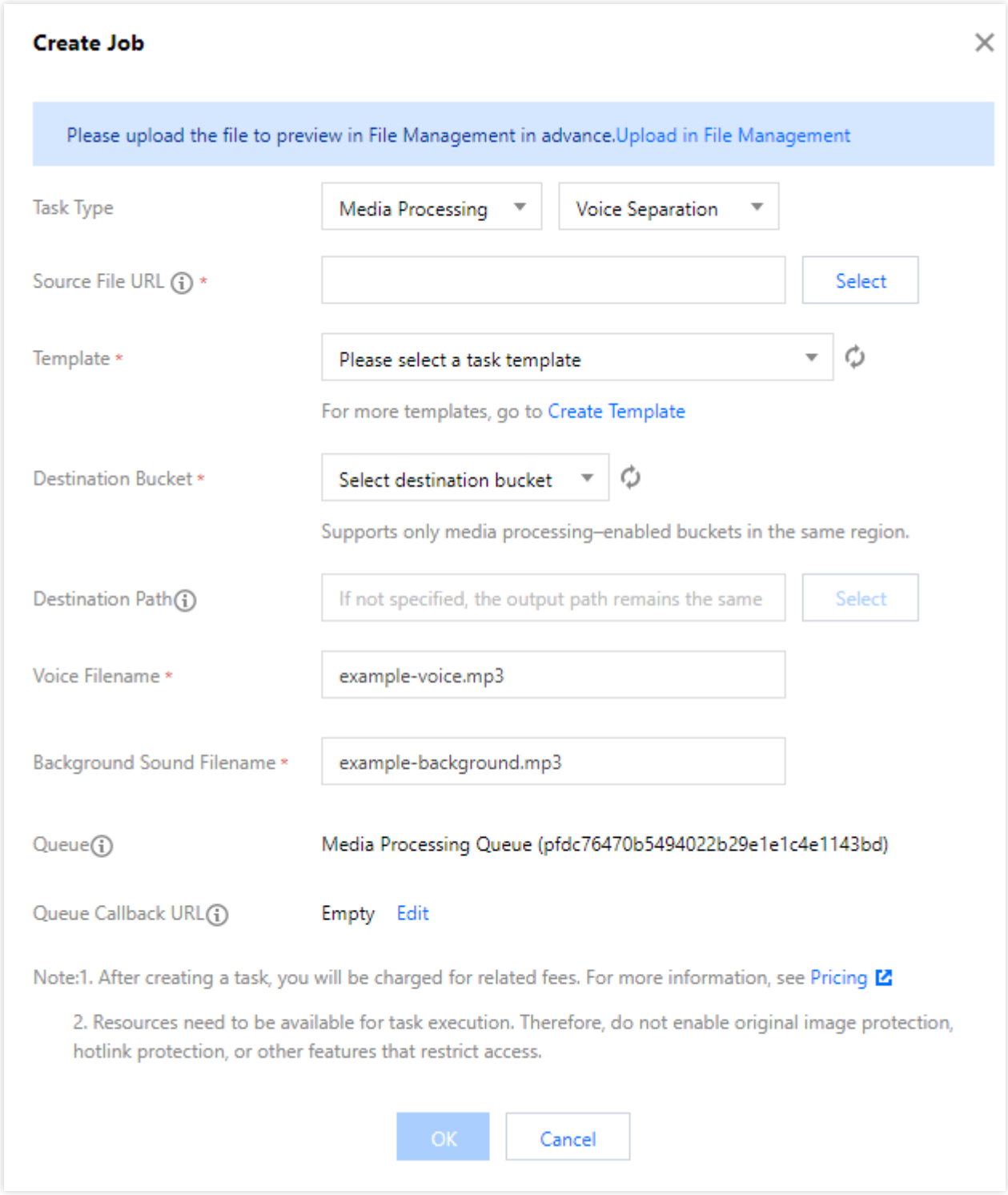
音声分離テンプレートタスク

音声分離は、同一素材の人の声と背景音を分離して新たな独立したオーディオファイルを作成できます。その後、伴奏と雑音を取り除いて素材を他のスタイルに加工する際に便利です。

操作手順

1. COSコンソールにログインします。
2. 左側ナビゲーションバーで**バケットリスト**をクリックし、バケットリスト管理ページに進みます。
3. 操作したいバケットを見つけ、そのバケット名をクリックし、バケット管理ページに進みます。
4. 左側ナビゲーションバーで、**データワークフロー**を選択して、**タスク**をクリックし、タスク管理ページに進みます。
5. **メディア処理**タブを選択し、**インテリジェント編集 > 音声分離**タスクタイプを選択し、**タスクの作成**をクリックして、以下の情報に従って設定を行います。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



- **ソースファイルパス**：処理されるファイルが配置されているパスを入力します。ファイルパスの先頭または末尾に「/」を使用することはできませんので、ご注意ください。
- **テンプレートの選択**：指定するテンプレートを選択できます。
- **ターゲットバケット**：同リージョンでメディア処理機能をアクティブ化したバケットのみ選択できます。
- **ターゲットパス**：ファイル処理後のファイル格納先パスです。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

- **ターゲット音声ファイル名**：ここで、音声出力ファイルのファイル名を指定することができます。
- **ターゲット背景音ファイル名**：ここで、背景音出力ファイルのファイル名を指定することができます。
- **キュー**：現在、デフォルトのキューqueue-1のみサポートされています。キューの説明については、キューとコールバックをご参照ください。
- **キューコールバックURL**：キューにバインドされているコールバックアドレスに関する情報で、共通設定のキューに移動して設定することができます。

音声合成タスクの作成

音声合成は、テキストを自然でスムーズな音声に変換し、インテリジェントカスタマーや音声読み上げなどのシーンに応用できます。

操作手順

1. COSコンソールにログインします。
2. 左側ナビゲーションバーで**バケットリスト**をクリックし、バケットリスト管理ページに進みます。
3. 操作したいバケットを見つけ、そのバケット名をクリックし、バケット管理ページに進みます。
4. 左側ナビゲーションバーで、**データワークフロー**を選択して、**タスク**をクリックし、タスク管理ページに進みます。
5. **メディア処理**タブを選択し、**インテリジェント編集 > 音声合成**タスクタイプを選択し、**タスクの作成**をクリックして、以下の情報に従って設定を行います。

- **ソースファイルパス**：処理されるファイルが配置されているパスを入力します。ファイルパスの先頭または末尾に「/」を使用することはできませんので、ご注意ください。
- **テンプレートの選択**：指定するテンプレートを選択できます。
- **ターゲットバケット**：同リージョンでメディア処理機能をアクティブ化したバケットのみ選択できます。
- **ターゲットパス**：ファイル処理後のファイル格納先パスです。
- **ターゲットファイル名**：ここで、オーディオ出力ファイルのファイル名を指定することができます。
- **キュー**：現在、デフォルトのキューqueue-1のみサポートされています。キューの説明については、キューとコールバックをご参照ください。
- **キューコールバックURL**：キューにバインドされているコールバックアドレスに関する情報で、共通設定のキューに移動して設定することができます。

オーディオビデオスプライシングタスクの作成

オーディオビデオスプライシングは、オーディオファイルの先頭や末尾に指定したオーディオクリップをスプライシングして新しいオーディオファイルを作成したり、ビデオファイルの先頭や末尾に指定したビデオクリップ

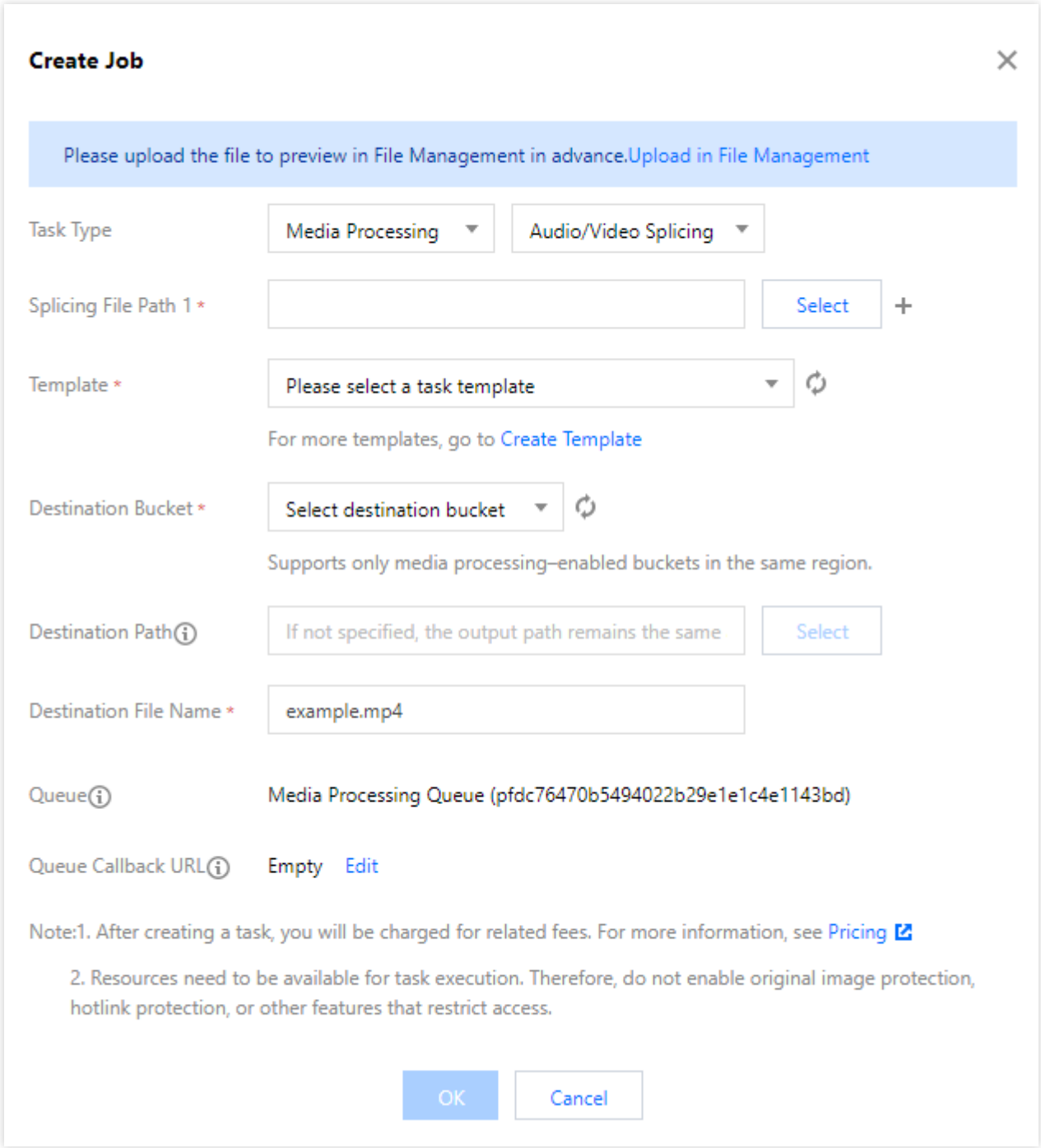
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

をスプライシングして新しいビデオファイルを作成したりすることができます。

操作手順

1. COSコンソールにログインします。
2. 左側ナビゲーションバーで**バケットリスト**をクリックし、バケットリスト管理ページに進みます。
3. 操作したいバケットを見つけ、そのバケット名をクリックし、バケット管理ページに進みます。
4. 左側ナビゲーションバーで、**データワークフロー**を選択して、**タスク**をクリックし、タスク管理ページに進みます。
5. **メディア処理**タブを選択し、**トランスコーディング処理 > オーディオビデオスプライシング**タスクタイプを選択し、**タスクの作成**をクリックして、以下の情報に従って設定を行います。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



- **ソースファイルパス**：処理されるファイルのパスを入力します。ファイルパスの先頭または末尾に「/」を使用することはできませんので、ご注意ください。
- **テンプレートの選択**：作成したオーディオビデオスプライシングテンプレートを選択できます。
- **ターゲットバケット**：同リージョンでメディア処理機能をアクティブ化したバケットのみ選択できます。
- **ターゲットパス**：スプライシング完了後のファイル格納先パスです。
- **ターゲットファイル名**：ここで、出力ファイルのファイル名を指定することができます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

- **キュー**：現在、デフォルトのキューqueue-1のみサポートされています。キューの説明については、キューとコールバックをご参照ください。
- **キューコールバックURL**：キューにバインドされているコールバックアドレスに関する情報で、共通設定のキューに移動して設定することができます。

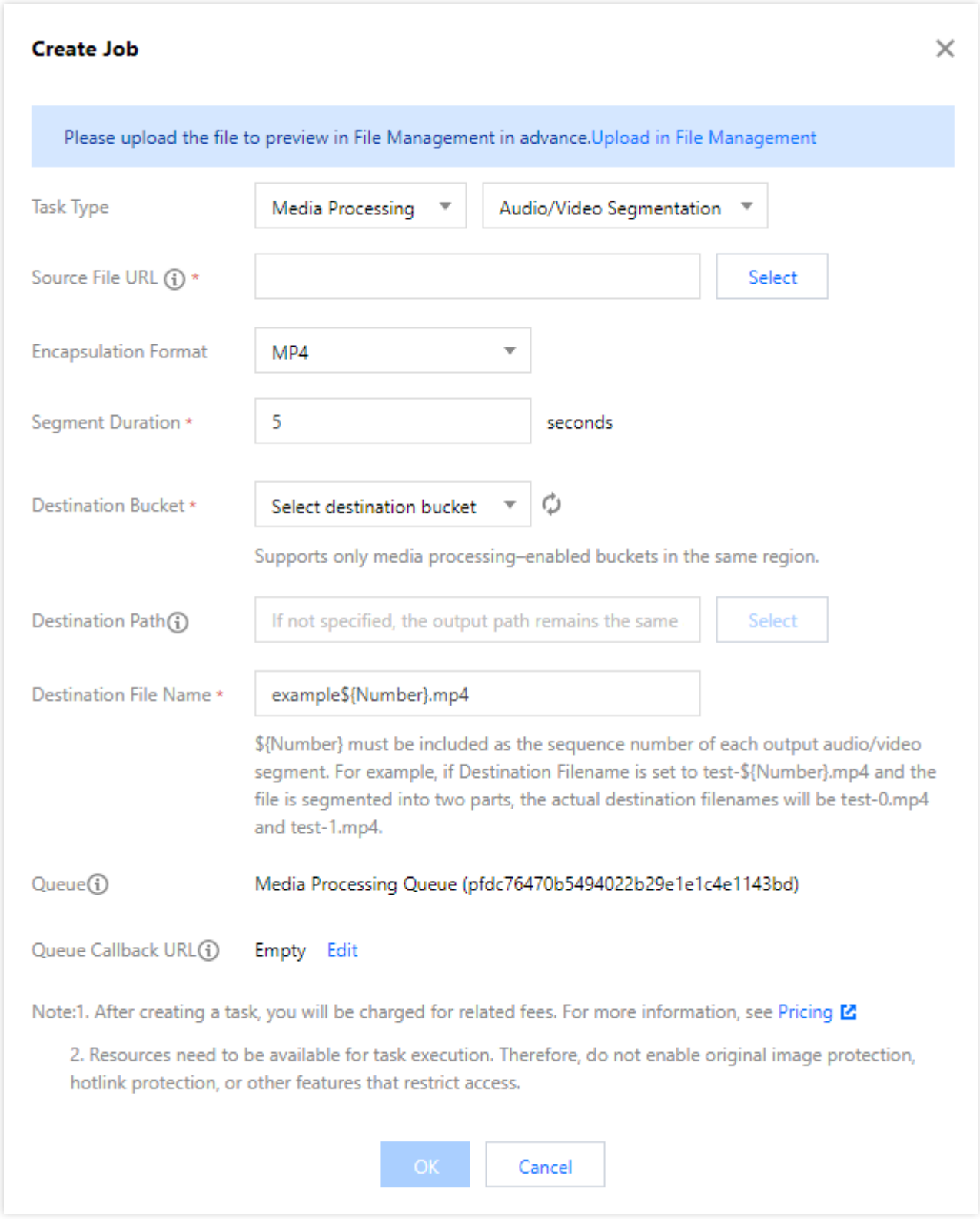
オーディオビデオセグメンテーションタスクの作成

オーディオビデオセグメンテーションでは、指定されたオーディオクリップをセグメントに分割すると同時に、出力クリップのコンテナフォーマットを指定することができます。

操作手順

1. COSコンソールにログインします。
2. 左側ナビゲーションバーで**バケットリスト**をクリックし、バケットリスト管理ページに進みます。
3. 操作したいバケットを見つけ、そのバケット名をクリックし、バケット管理ページに進みます。
4. 左側ナビゲーションバーで、**データワークフロー**を選択して、**タスク**をクリックし、タスク管理ページに進みます。
5. **メディア処理**タブを選択し、**トランスコーディング処理 > オーディオビデオスプライシング**タスクタイプを選択し、**タスクの作成**をクリックして、以下の情報に従って設定を行います。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



- **ソースファイルパス**：処理されるファイルのパスを入力します。ファイルパスの先頭または末尾に「/」を使用することはできませんので、ご注意ください。
- **コンテナフォーマット**：作成した出力クリップのコンテナフォーマットを選択できます。
- **セグメンテーション時間**：セグメンテーションの出力時間を指定できます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

- **ターゲットバケット**：同リージョンでメディア処理機能をアクティブ化したバケットのみ選択できます。
- **ターゲットパス**：セグメンテーション完了後のファイル格納先パスです。
- **ターゲットファイル名**：ここで、出力ファイルのファイル名を指定することができます。
- **キュー**：現在、デフォルトのキューqueue-1のみサポートされています。キューの説明については、キューとコールバックをご参照ください。
- **キューコールバックURL**：キューにバインドされているコールバックアドレスに関する情報で、共通設定のキューに移動して設定することができます。

ビデオフレームキャプチャタスクの作成

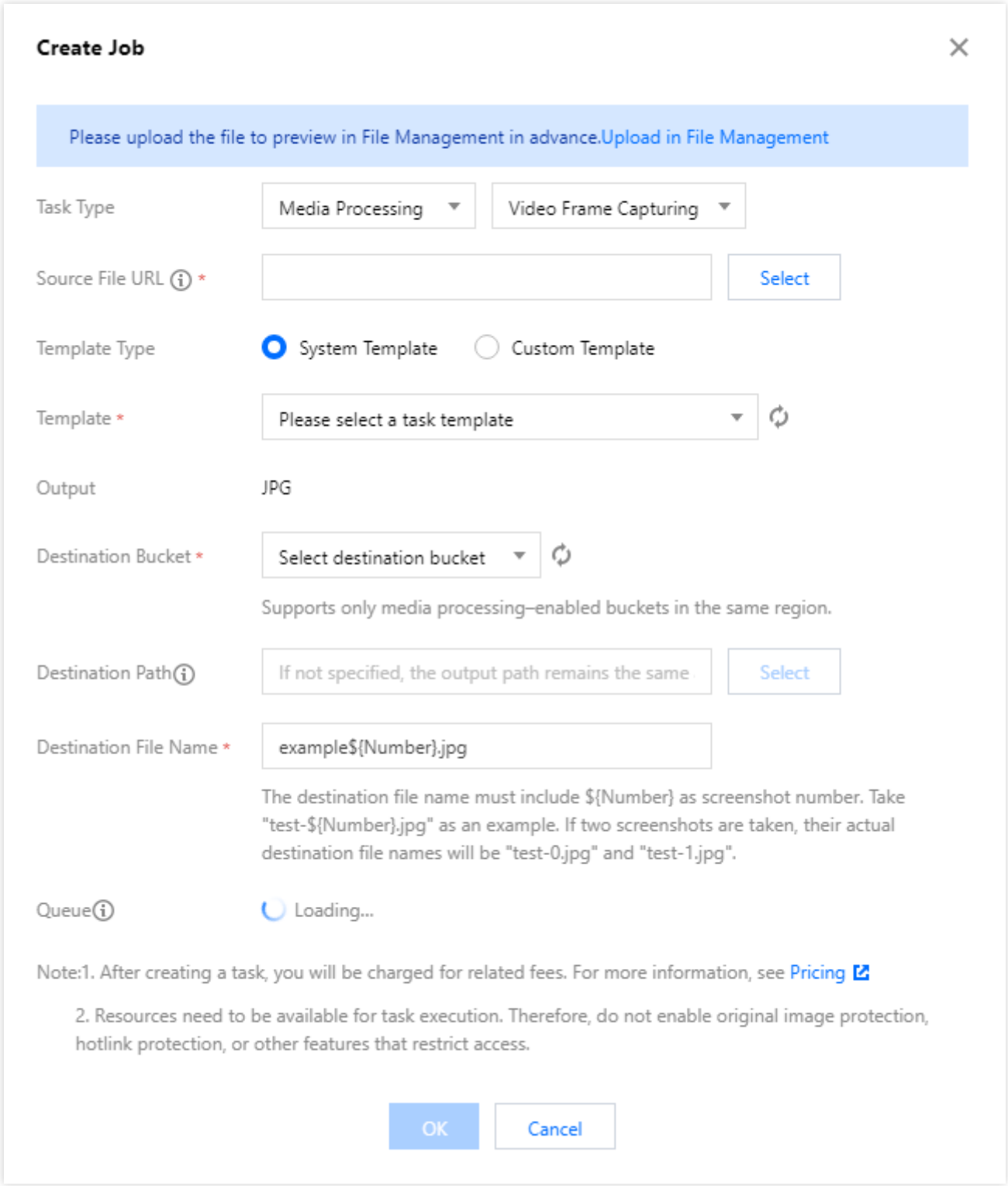
ビデオフレームキャプチャは、Cloud Infiniteが提供する、ビデオのある時点のスクリーンキャプチャを撮る機能です。コンソールがタスクを有効にした場合、スクリーンキャプチャのデフォルトの出力形式はJPG形式となり、フレームキャプチャ圧縮を有効にした場合はHEIF形式やTPG形式となります。

> 説明：
> ビデオフレームキャプチャタスクは、テンプレート機能をベースとしています。ビデオフレームキャプチャテンプレートを使用して、ビデオフレームキャプチャの開始時間や間隔、フレームキャプチャ数、出力画像サイズ、出力形式（この項目はフレームキャプチャ圧縮が有効になっている必要があります）などの設定をカスタマイズすることが可能です。

操作手順

1. COSコンソールにログインします。
2. 左側ナビゲーションバーで**バケットリスト**をクリックし、バケットリスト管理ページに進みます。
3. 操作したいバケットを見つけ、そのバケット名をクリックし、バケット管理ページに進みます。
4. 左側ナビゲーションバーで、**データワークフロー**を選択して、**タスク**をクリックし、タスク管理ページに進みます。
5. **メディア処理**タブを選択し、**トランスコーディング処理 > ビデオフレームキャプチャ**タスクタイプを選択し、**タスクの作成**をクリックして、以下の情報に従って設定を行います。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



- **ソースファイルパス**：処理されるファイルのパスを入力します。ファイルパスの先頭または末尾に「/」を使用することはできませんので、ご注意ください。
- **テンプレートタイプ**：システムテンプレートまたはカスタムテンプレートを選択できます。テンプレートに関する説明については、テンプレートをご参照ください。
- **テンプレートの選択**：指定するテンプレートを選択できます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

- **ターゲット形式**：現在、コンソールがビデオフレームキャプチャタスクを有効にした場合、スクリーンキャプチャのデフォルトの出力形式はJPG形式となり、テンプレートでフレームキャプチャ圧縮を有効にした場合、HEIFやTPG形式となります。ビデオフレームキャプチャAPIを使用すると、JPGまたはPNG形式でのスクリーンキャプチャ出力を選択できます。詳細については、ビデオフレームキャプチャのAPIドキュメントをご参照ください。
- **ターゲットバケット**：同リージョンでメディア処理をアクティブ化したバケットのみ選択できます。
- **ターゲットパス**：ビデオスクリーンキャプチャの格納先パスです。
- **ターゲットファイル名**：ここで、ターゲットファイルのファイル名を指定することができます。**インテリジェントスクリーンキャプチャ**の出力ファイル数は1より多いため、出力ファイル名にはスクリーンキャプチャ番号として、${Number}パラメータが必ず含まれますのでご注意ください。例えば、ターゲットファイルパスがtest-${Number}.jpgと設定され、タスクがスクリーンキャプチャ2枚を撮影するというものの場合、実際の出力ファイル名はtest-0.jpg、test-1.jpgになります。
- **キュー**：現在、デフォルトのキューqueue-1のみサポートされています。キューの説明については、キューとコールバックをご参照ください。
- **キューコールバックURL**：キューにバインドされているコールバックアドレスに関する情報で、共通設定のキューに移動して設定することができます。

ビデオエンハンスメントタスクの作成

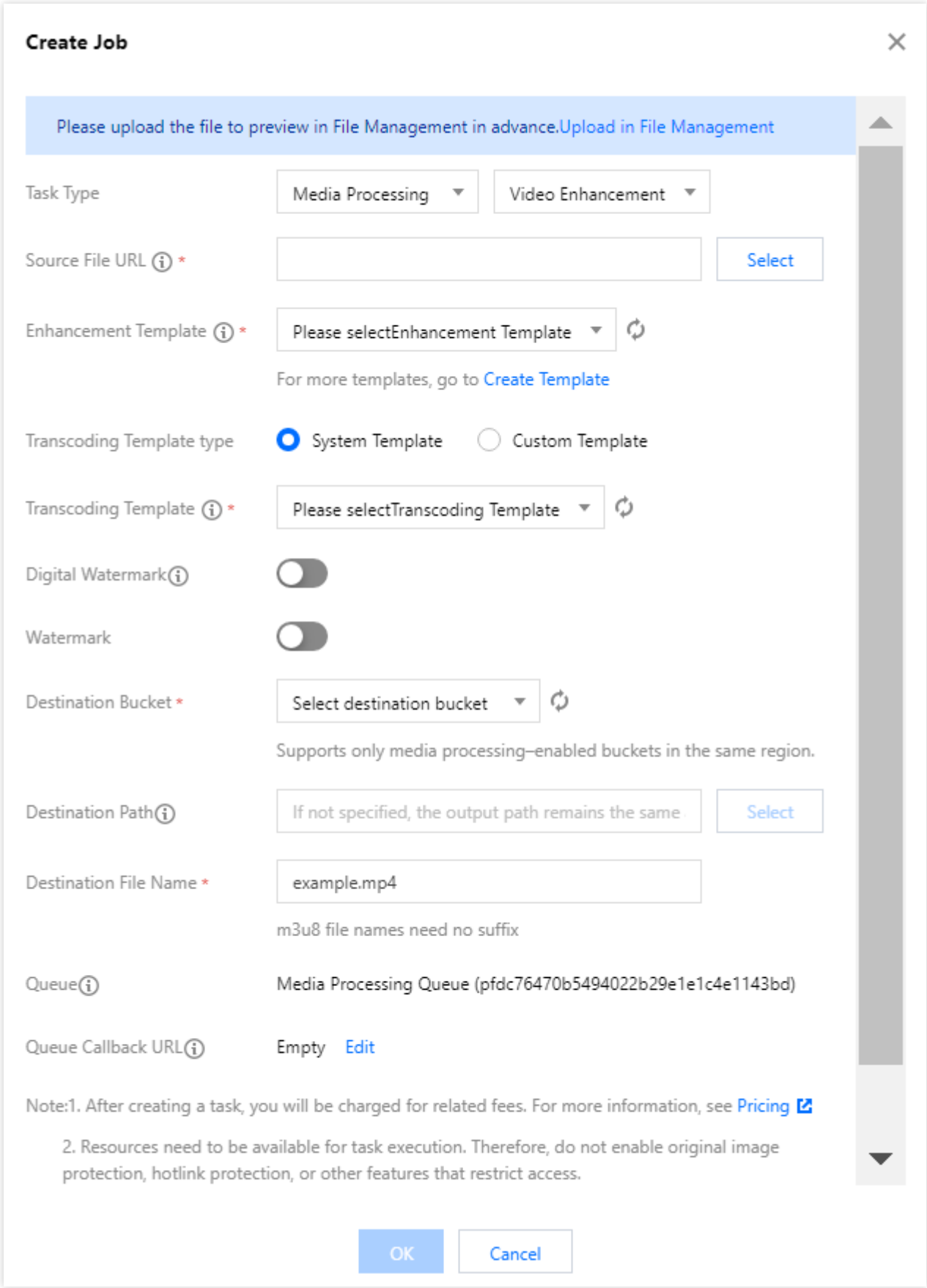
ビデオエンハンスメントとは、Cloud Infiniteが提供するビデオ品質最適化機能のことです。ビデオエンハンスメントによって、画面の色彩を美しくし、映像のディテールを向上させることができます。

> 説明：
> ビデオエンハンスメントタスクは、テンプレート機能をベースとしており、カスタムビデオエンハンスメントテンプレートを使用して、カラーエンハンスメント、ディテールエンハンスメントなどの設定をカスタマイズすることが可能です。

操作手順

1. COSコンソールにログインします。
2. 左側ナビゲーションバーで**バケットリスト**をクリックし、バケットリスト管理ページに進みます。
3. 操作したいバケットを見つけ、そのバケット名をクリックし、バケット管理ページに進みます。
4. 左側ナビゲーションバーで、**データワークフロー**を選択して、**タスク**をクリックし、タスク管理ページに進みます。
5. **メディア処理**タブを選択し、**画質最適化 > ビデオエンハンスメント**タスクタイプを選択し、**タスクの作成**をクリックして、以下の情報に従って設定を行います。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

> 説明：
> 入力ビデオの長さは30分以内とします。

- **ソースファイルパス**：処理されるファイルのパスを入力します。ファイルパスの先頭または末尾に「/」を使用することはできませんので、ご注意ください。
- **エンハンスメントテンプレート**：必要なビデオエンハンスメントテンプレートを選択します。
- **トランスコードテンプレートタイプ**：システムテンプレートまたはカスタムテンプレートを選択できます。テンプレートに関する説明については、テンプレートをご参照ください。
- **トランスコードテンプレート**：トランスコードテンプレートを選択し、出力ファイルの解像度、ビットレート、フォーマットなどのパラメータを指定することができます。
- **デジタルウォーターマークの追加**：著作権保護の目的で、必要に応じてインビジブルウォーターマークを追加することができます。
- **可視的ウォーターマークの追加**：必要に応じて画像やテキストといった可視的ウォーターマークを追加することができます。
- **ターゲットバケット**：同リージョンでメディア処理をアクティブ化したバケットのみ選択できます。
- **ターゲットパス**：ビデオ処理後のファイル格納先パスです。
- **ターゲットファイル名**：ここで、出力ファイルのファイル名を指定することができます。
- **キュー**：現在、デフォルトのキューqueue-1のみサポートされています。キューの説明については、キューとコールバックをご参照ください。
- **キューコールバックURL**：キューにバインドされているコールバックアドレスに関する情報で、共通設定のキューに移動して設定することができます。

超解像度タスクの作成

超解像度は、ビデオコンテンツの認識と、ビデオのディテールおよび部分的な特徴の高画質輪郭再構成により、一連の低解像度ビデオから高解像度な画像が得られます。ビデオエンハンスメントと併用することで、古い映像をアップグレードすることができます。

操作手順

1. COSコンソールにログインします。
2. 左側ナビゲーションバーで**バケットリスト**をクリックし、バケットリスト管理ページに進みます。
3. 操作したいバケットを見つけ、そのバケット名をクリックし、バケット管理ページに進みます。
4. 左側ナビゲーションバーで、**データワークフロー**を選択して、**タスク**をクリックし、タスク管理ページに進みます。
5. **メディア処理**タブを選択し、**画質最適化 > 超解像度**タスクタイプを選択し、**タスクの作成**をクリックして、以下の情報に従って設定を行います。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

- **ソースファイルパス**：処理されるファイルのパスを入力します。ファイルパスの先頭または末尾に「/」を使用することはできませんので、ご注意ください。
- **超解像度テンプレート**：必要なターゲット解像度テンプレートを選択します。
- **トランスコードテンプレートタイプ**：システムテンプレートまたはカスタムテンプレートを選択できます。テンプレートに関する説明については、テンプレートをご参照ください。
- **トランスコードテンプレート**：トランスコードテンプレートを選択し、出力ファイルのビットレート、フォーマットなどのパラメータを指定することができます。
- **デジタルウォーターマークの追加**：著作権保護の目的で、必要に応じてインビジブルウォーターマークを追加することができます。
- **可視的ウォーターマークの追加**：必要に応じて画像やテキストといった可視的ウォーターマークを追加することができます。
- **ターゲットバケット**：同リージョンでメディア処理をアクティブ化したバケットのみ選択できます。
- **ターゲットパス**：ビデオ処理後のファイル格納先パスです。
- **ターゲットファイル名**：ここで、出力ファイルのファイル名を指定することができます。
- **キュー**：現在、デフォルトのキューqueue-1のみサポートされています。キューの説明については、キューとコールバックをご参照ください。
- **キューコールバックURL**：キューにバインドされているコールバックアドレスに関する情報で、共通設定のキューに移動して設定することができます。

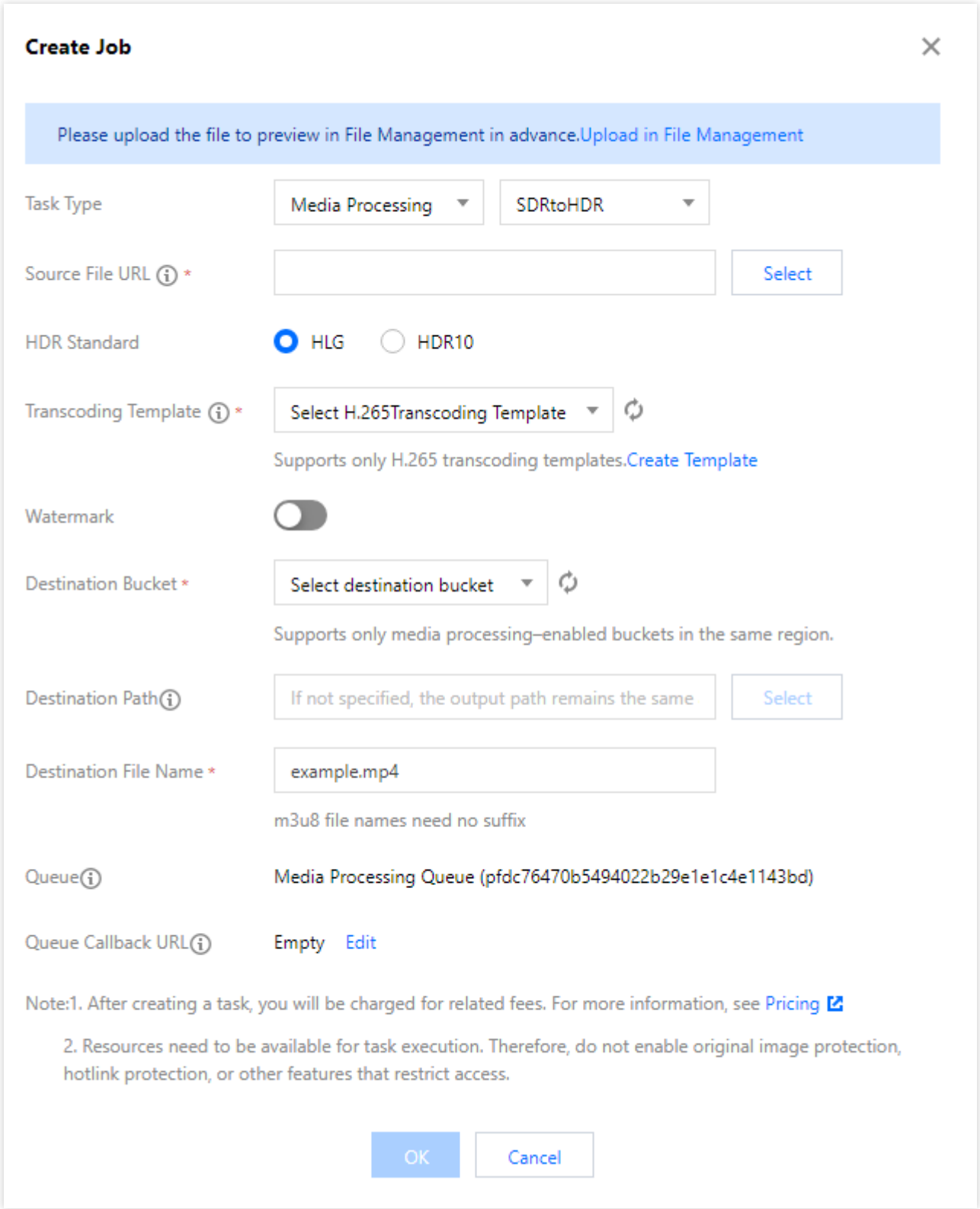
SDR to HDRタスクの作成

SDR to HDRは、Cloud Infiniteが提供するビデオのダイナミックレンジ変換機能で、スタンダードダイナミックレンジからハイダイナミックレンジに変換することができます。

操作手順

1. COSコンソールにログインします。
2. 左側ナビゲーションバーで**バケットリスト**をクリックし、バケットリスト管理ページに進みます。
3. 操作したいバケットを見つけ、そのバケット名をクリックし、バケット管理ページに進みます。
4. 左側ナビゲーションバーで、**データワークフロー**を選択して、**タスク**をクリックし、タスク管理ページに進みます。
5. **メディア処理**タブを選択し、**画質最適化 > SDRtoHDR**タスクタイプを選択し、**タスクの作成**をクリックして、以下の情報に従って設定を行います。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



説明：
入力ビデオの長さは30分以内とします。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

- **ソースファイルパス**：処理されるファイルのパスを入力します。ファイルパスの先頭または末尾に「/」を使用することはできませんので、ご注意ください。
- **HDR標準**：HLG、HDR10に対応しています。
- **トランスコードテンプレート**：H.265トランスコードテンプレートを選択できます。このテンプレートがない場合は、「オーディオビデオトランスコードテンプレートの作成」に移動して、テンプレートのエンコード形式からH.265を選択してください。作成ガイドラインとその他のパラメータについては、カスタムテンプレートをご参照ください。
- **可視的ウォーターマークの追加**：必要に応じて画像やテキストといった可視的ウォーターマークを追加することができます。
- **ターゲットバケット**：同リージョンでメディア処理をアクティブ化したバケットのみ選択できます。
- **ターゲットパス**：SDRtoHDR操作後のターゲットファイル格納先パスです。
- **ターゲットファイル名**：ここで、出力ファイルのファイル名を指定することができます。
- **キュー**：現在、デフォルトのキューqueue-1のみサポートされています。キューの説明については、キューとコールバックをご参照ください。
- **キューコールバックURL**：キューにバインドされているコールバックアドレスに関する情報で、共通設定のキューに移動して設定することができます。

ビデオアニメーション画像生成タスクの作成

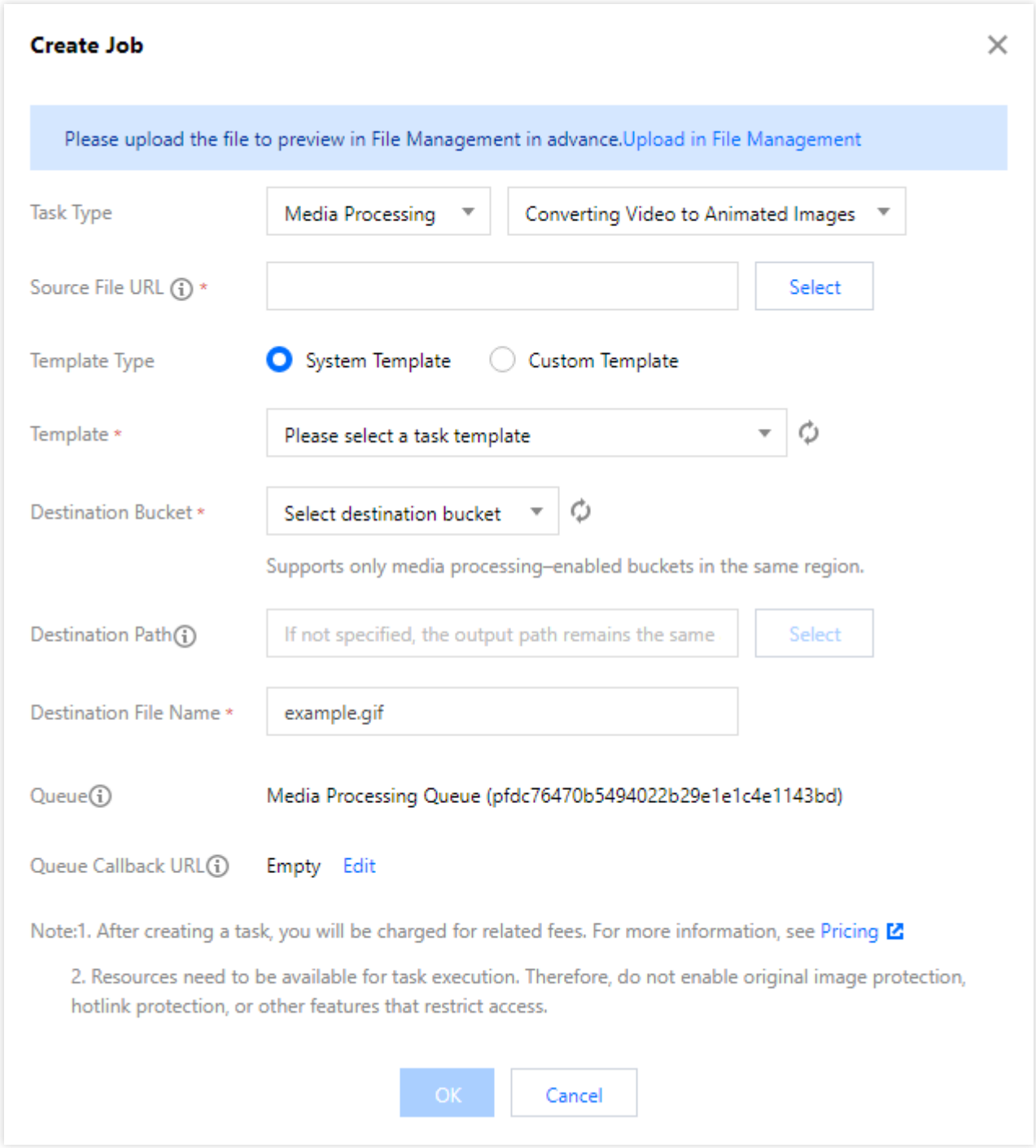
ビデオアニメーション画像生成機能を使用して、画像形式を変換することができます。

> 説明：
> ビデオアニメーション画像生成タスクは、テンプレート機能をベースとしており、カスタムビデオアニメーション画像生成テンプレートを使用して、トランスコーディングの開始時間と継続時間、フレーム抽出方法、出力フレームレート、出力画像サイズ、出力形式などの設定をカスタマイズすることが可能です。

操作手順

1. COSコンソールにログインします。
2. 左側ナビゲーションバーで**バケットリスト**をクリックし、バケットリスト管理ページに進みます。
3. 操作したいバケットを見つけ、そのバケット名をクリックし、バケット管理ページに進みます。
4. 左側ナビゲーションバーで、**データワークフロー**を選択して、**タスク**をクリックし、タスク管理ページに進みます。
5. **メディア処理**タブを選択し、**トランスコーディング処理 > ビデオアニメーション画像生成**タスクタイプを選択し、**タスクの作成**をクリックして、以下の情報に従って設定を行います。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



- **ソースファイルパス**：処理されるファイルのパスを入力します。ファイルパスの先頭または末尾に「/」を使用することはできませんので、ご注意ください。
- **テンプレートタイプ**：システムテンプレートまたはカスタムテンプレートを選択できます。テンプレートに関する説明については、テンプレートをご参照ください。
- **テンプレートの選択**：指定するテンプレートを選択できます。
- **ターゲットバケット**：同リージョンでメディア処理をアクティブ化したバケットのみ選択できます。
- **ターゲットパス**：ビデオアニメーション画像生成の格納先パスです。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

- **ターゲットファイル名**：ここで、出力ファイルのファイル名を指定することができます。
- **キュー**：現在、デフォルトのキューqueue-1のみサポートされています。キューの説明については、キューとコールバックをご参照ください。
- **キューコールバックURL**：キューにバインドされているコールバックアドレスに関する情報で、共通設定のキューに移動して設定することができます。

インテリジェントカバータスクの作成

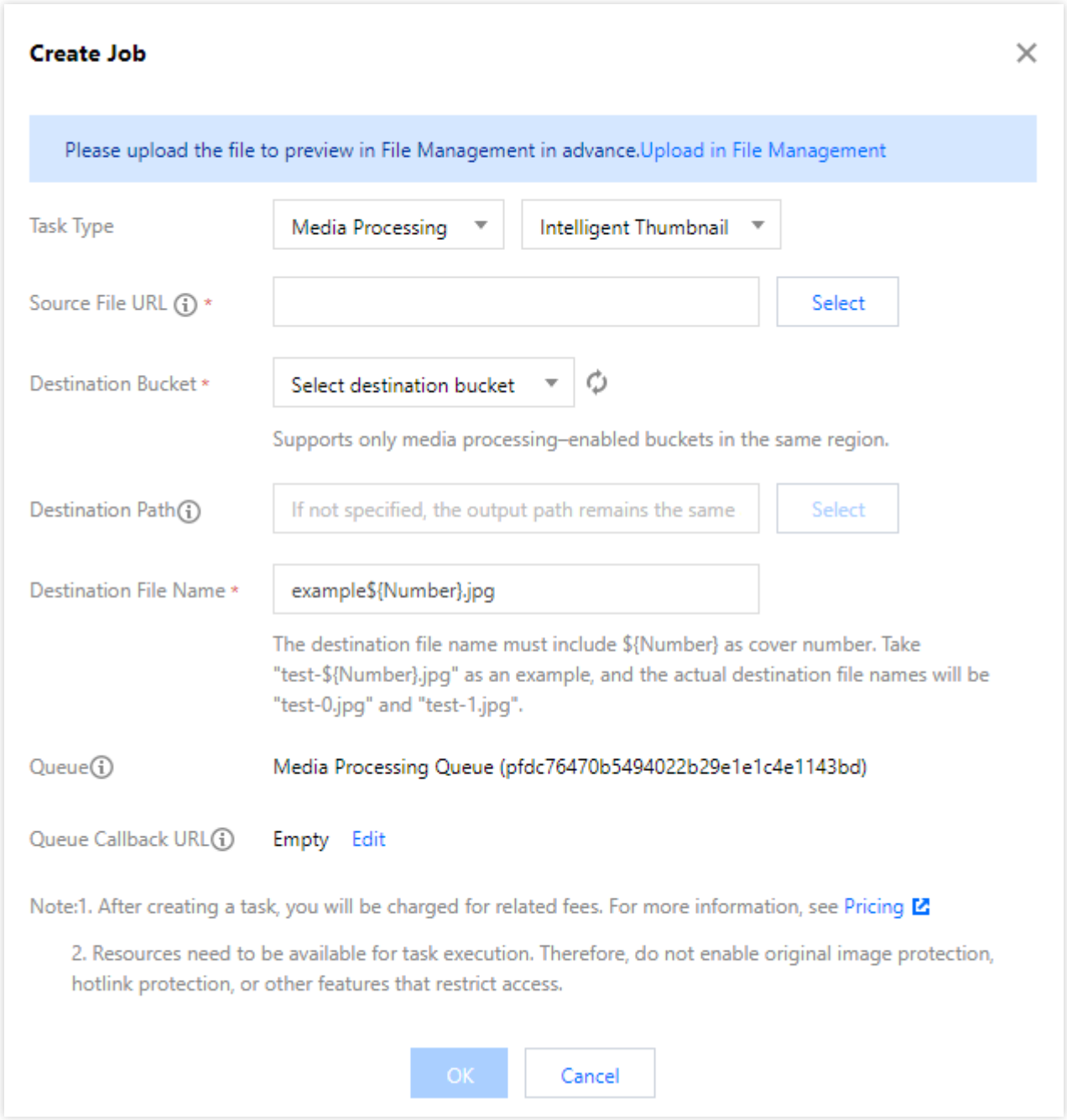
インテリジェントカバー機能は、Tencent Cloudの先進的なAI技術を統合することで、ビデオの内容を理解し、ビデオフレームの品質、重要度、内容の関連度をインテリジェントに分析し、最適なフレームを抽出してスクリーンキャプチャを生成し、それをカバーにすることでコンテンツの魅力を高めます。

> 説明：
>
> - インテリジェントカバーは有料サービスであり、元のビデオの長さに応じて課金されます。課金の詳細については、メディア処理料金をご参照ください。
> - 各ビデオファイルはインテリジェントに分析され、最適な3つのキーフレームが出力されます。

操作手順

1. COSコンソールにログインします。
2. 左側ナビゲーションバーで**バケットリスト**をクリックし、バケットリスト管理ページに進みます。
3. 操作したいバケットを見つけ、そのバケット名をクリックし、バケット管理ページに進みます。
4. 左側ナビゲーションバーで、**データワークフロー**を選択して、**タスク**をクリックし、タスク管理ページに進みます。
5. **メディア処理**タブを選択し、**インテリジェント編集 > インテリジェントカバー**タスクタイプを選択し、**タスクの作成**をクリックして、以下の情報に従って設定を行います。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



- **ソースファイルパス**：処理されるファイルのパスを入力します。ファイルパスの先頭または末尾に「/」を使用することはできませんので、ご注意ください。
- **ターゲットバケット**：同リージョンでメディア処理をアクティブ化したバケットのみ選択できます。
- **ターゲットパス**：インテリジェントカバーの格納先パスです。
- **ターゲットファイル名**：ここで、出力ファイルのファイル名を指定することができます。

> 注意：

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

> **インテリジェントカバー**の出力ファイル数は1より多く、出力ファイル名にはカバー番号として、${Number}パラメータを含めなければなりません。出力ファイルパス名がtest-${Number}.jpgに設定されている場合は、実際の出力ファイル名はtest-0.jpg、test-1.jpgとなります。

- **キュー**：現在、デフォルトのキューqueue-1のみサポートされています。キューの説明については、キューとコールバックをご参照ください。
- **キューコールバックURL**：キューにバインドされているコールバックアドレスに関する情報で、共通設定のキューに移動して設定することができます。

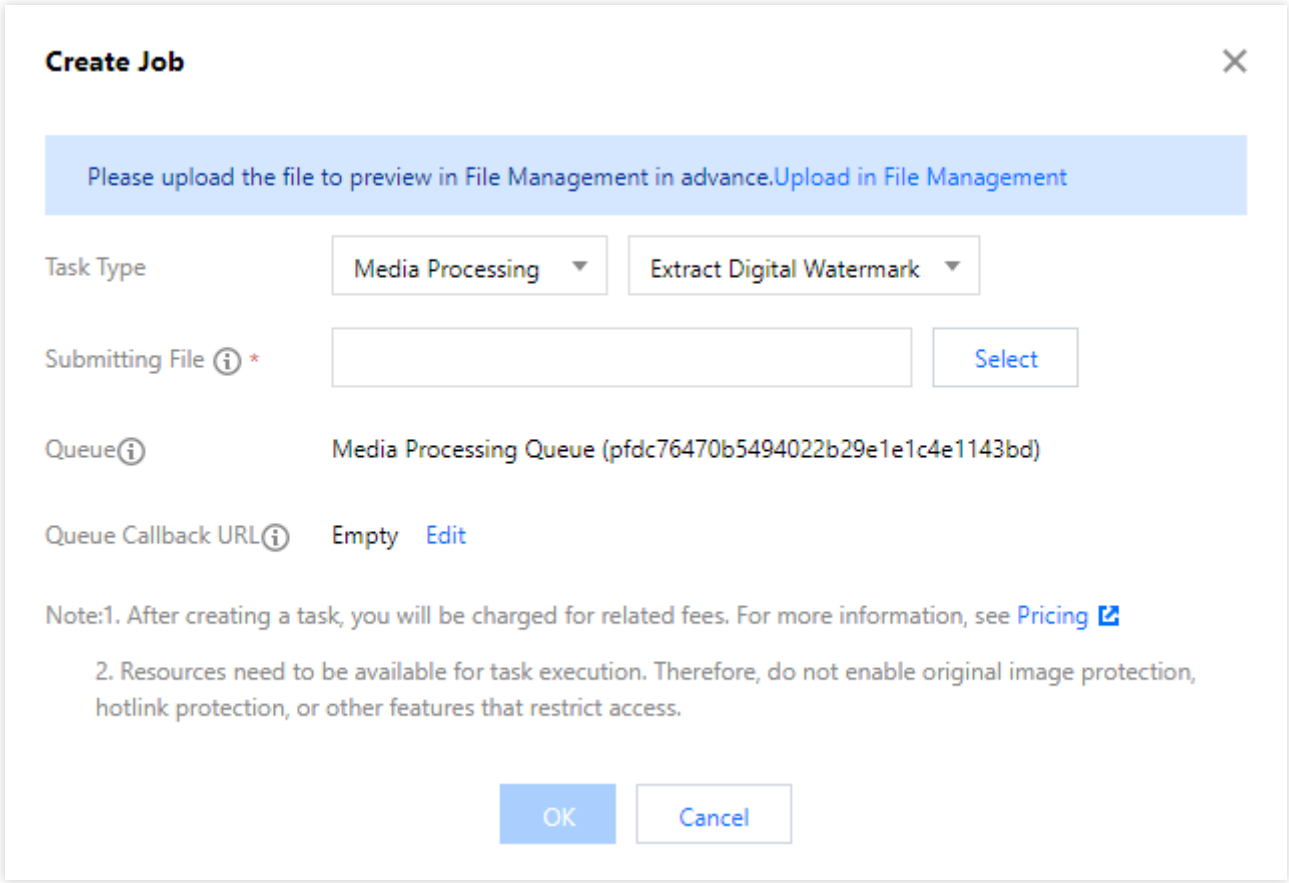
デジタルウォーターマーク抽出タスクの作成

メディア処理サービスによってデジタルウォーターマークが追加されたビデオのウォーターマーク内容の抽出をサポートします。

操作手順

1. COSコンソールにログインします。
2. 左側ナビゲーションバーで**バケットリスト**をクリックし、バケットリスト管理ページに進みます。
3. 操作したいバケットを見つけ、そのバケット名をクリックし、バケット管理ページに進みます。
4. 左側ナビゲーションバーで、**データワークフロー**を選択して、**タスク**をクリックし、タスク管理ページに進みます。
5. メディア処理**タブを選択し、タスクタイプを**著作権保護** > **デジタルウォーターマークの抽出**と選択し、**タスクの作成**をクリックし、以下の設定項目の説明に従って設定を行います。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



- **送信ファイル**：処理されるファイルのパスを入力します。ファイルパスは「/」で始まり、「/」でフォルダが分割されます。末尾に「/」を使用することはできませんので、ご注意ください。

- **キュー**：現在、デフォルトのキューqueue-1のみサポートされています。キューの説明については、キュードキュメントをご参照ください。

音声認識タスクの作成

音声認識機能は、録音が完了した音声ファイルを認識し、認識したテキストを非同期に返すことができます。コールセンターの音声品質チェック、ビデオ字幕の作成、ミーティング音声データの文字起こしなどのシーンで応用できます。

操作手順

1. COSコンソールにログインします。
2. 左側ナビゲーションバーで**バケットリスト**をクリックし、バケットリスト管理ページに進みます。
3. 操作したいバケットを見つけ、そのバケット名をクリックし、バケット管理ページに進みます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

4. 左側ナビゲーションバーで、**データワークフロー**を選択して、**タスク**をクリックし、タスク管理ページに進みます。
5. **音声認識**タブを選択し、**タスクの作成**をクリックし、以下の情報に従って設定を行います。

- **ソースファイルパス**：処理されるファイルのパスを入力します。ファイルパスの先頭または末尾に「/」を使用することはできませんので、ご注意ください。
- **認識エンジン**：音声を処理するための認識エンジンのモデルです。それぞれのエンジンに対応する説明は以下のとおりです。
  - 8k_zh：通話録音などのシーンに適しています。8kオーディオサンプルレートで、中国語（標準語）に対応します。
  - 8k_zh_s：通話録音などのシーンに適しています。8kオーディオサンプルレートで、中国語（標準語）に対応します。スピーカーの分離をサポートします。
  - 16k_zh：16kオーディオサンプルレートで、オーディオビデオ、ミーティングなどのシーンに適しています。中国語（標準語）に対応します。
  - 16k_zh_video：16kオーディオサンプルレートで、ライブストリーミングなどのオーディオビデオ分野に適しています。中国語（標準語）に対応します。
  - 16k_en：16kのオーディオサンプルレートで、英語のオーディオシーンに適しています。
  - 16k_ca：16kのオーディオサンプルレートで、広東語のオーディオシーンに適しています。
- **サウンドチャンネル数の選択**：シングルサウンドチャンネルまたはステレオをサポートしています。
- **認識結果**：音声認識後に出力される認識結果で、センテンス単位のテキスト出力と単語単位のテキスト出力をサポートしています（16Kオーディオサンプルレートの中国語認識エンジンのみサポート）。
- **ターゲットバケット**：同リージョンでメディア処理をアクティブ化したバケットのみ選択できます。
- **ターゲットパス**：識別テキストの格納先パスです。
- **ターゲットファイル名**：ここで、出力ファイルのファイル名を指定することができます。
- **禁止用語のフィルタリング**：禁止用語のフィルタリングまたは*への置き換えを選択できます。
- **語気助詞のフィルタリング**：語気助詞のフィルタリングを選択できます。
- **インテリジェント音声変換**：有効にすると、認識した数字をアラビア数字に変換し、それ以外は漢数字に変換します。
- **キュー**：現在、デフォルトの音声認識キューqueue-speech-1のみサポートされています。キューの説明については、キューとコールバックをご参照ください。
- **キューコールバックURL**：キューにバインドされているコールバックアドレスに関する情報で、共通設定のキューに移動して設定することができます。

ドキュメントプレビュータスクの作成

ドキュメントプレビューは、画像またはHTML形式の約30種類のファイルのプレビューをサポートしています。これにより、オンライン閲覧時のソースドキュメントのスタイルを最大限維持して、端末によって特定のドキュメ

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

ントタイプに対応できないという問題を解決し、PCやAppなど複数の端末でのオンラインドキュメント閲覧のニーズに応えることができます。

操作手順

1. COSコンソールにログインします。
2. 左側ナビゲーションバーで**バケットリスト**をクリックし、バケットリスト管理ページに進みます。
3. 操作したいバケットを見つけ、そのバケット名をクリックし、バケット管理ページに進みます。
4. 左側ナビゲーションバーで、**データワークフロー**を選択して、**タスク**をクリックし、タスク管理ページに進みます。
5. **ドキュメントプレビュー**タブを選択し、**タスクの作成**をクリックし、以下の情報に従って設定を行います。

- **ソースファイルパス**：例えば、doc/example.docのようになり、ファイルパスの先頭または末尾に「/」を使用することはできません。
- **プレビュー設定**：ドキュメント全体をプレビューするか、またはページ数を指定してプレビューするかを選択できます。1つのタスクでサポートされる最大ページ数は現在5,000ページで、5,000ページを超える処理を選択した場合、最初の5,000ページのみが変換されます。
- **出力形式**：現在、JPG、PNGの両方をサポートしていますが、PDF形式はドキュメント全体のプレビューのみをサポートしています。
- **ターゲットバケット**：同じリージョンにおいて、ドキュメントプレビューサービスがアクティブ化されているバケットを出力バケットとして選択できます。
- **ターゲットパス**：オプションです。入力されていない場合、出力パスは入力ファイルパスと同じになります。
- **ターゲットファイル名**：ドキュメントプレビューサービスでは、オリジナルドキュメントの各ページを画像に変換して出力するため、出力画像をエンコードするには、出力ファイル名にプレースホルダーを追加する必要があります。プレースホルダーとして、${Number}または${Page}を選択でき、出力エンコード番号はドキュメントのページ番号と同じです。ページ番号3のドキュメントをプレビューする場合、出力ファイル名をoutput${Number}.jpgと指定すると、最終的にoutput1.jpg、output2.jpgおよびoutput3.jpgという出力名の画像3枚が出力されます。
- **キュー**：現在、デフォルトのドキュメントプレビューキューqueue-doc-process-1のみサポートされています。キューの説明については、キューとコールバックをご参照ください。
- **キューコールバックURL**：キューにバインドされているコールバックアドレスに関する情報で、共通設定のキューに移動して設定することができます。

画像処理タスクの作成

画像処理では、画像の回転・切り抜き、トランスコーディング、拡大縮小といったフレキシブルな画像編集をサポートしています。また、Guetzli圧縮、TPGトランスコーディング、HEIFトランスコーディングなどの画像スリ

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

ム化ソリューション、画像やテキストウォーターマーク、独自のブラインドウォーターマークといった著作権保護ソリューションを提供し、さまざまなビジネスシーンの画像ニーズに対応しています。

操作手順

1. COSコンソールにログインします。
2. 左側ナビゲーションバーで**バケットリスト**をクリックし、バケットリスト管理ページに進みます。
3. 操作したいバケットを見つけ、そのバケット名をクリックし、バケット管理ページに進みます。
4. 左側ナビゲーションバーで、**データワークフロー**を選択して、**タスク**をクリックし、タスク管理ページに進みます。
5. **画像処理**タブを選択し、**タスクの作成**をクリックし、以下の情報に従って設定を行います。

- **入力バケット**：デフォルトの項目で、現在のバケットのことです。
- **ファイルパス**：処理されるファイルのパスを入力します。ファイルパスは「/」で始まり、「/」でフォルダが分割されます。末尾に「/」を使用することはできませんので、ご注意ください。
- **テンプレートの選択**：テンプレートを指定することができます。
- **ターゲットバケット**：同リージョンでメディア処理をアクティブ化したバケットのみ選択できます。
- **ターゲットパス**：画像処理結果の格納先パスです。
- **ターゲットファイル名**：ここで、出力ファイルのファイル名を指定することができます。
- **キュー**：現在、デフォルトのキューqueue-1のみサポートされています。キューの説明については、キューとコールバックをご参照ください。
- **キューコールバックURL**：キューにバインドされているコールバックアドレスに関する情報で、共通設定のキューに移動して設定することができます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

テンプレート

最終更新日：：2023-03-14 14:51:35

概要

データワークフローサービスを使用する際、通常は一連のパラメータを設定する必要があります。テンプレートの役割は、この一連のパラメータを一つに組み合わせることです。テンプレートを設定すると、**操作を簡略化**でき、設定したパラメータは再利用が可能なため、繰り返し入力する必要もなくなります。

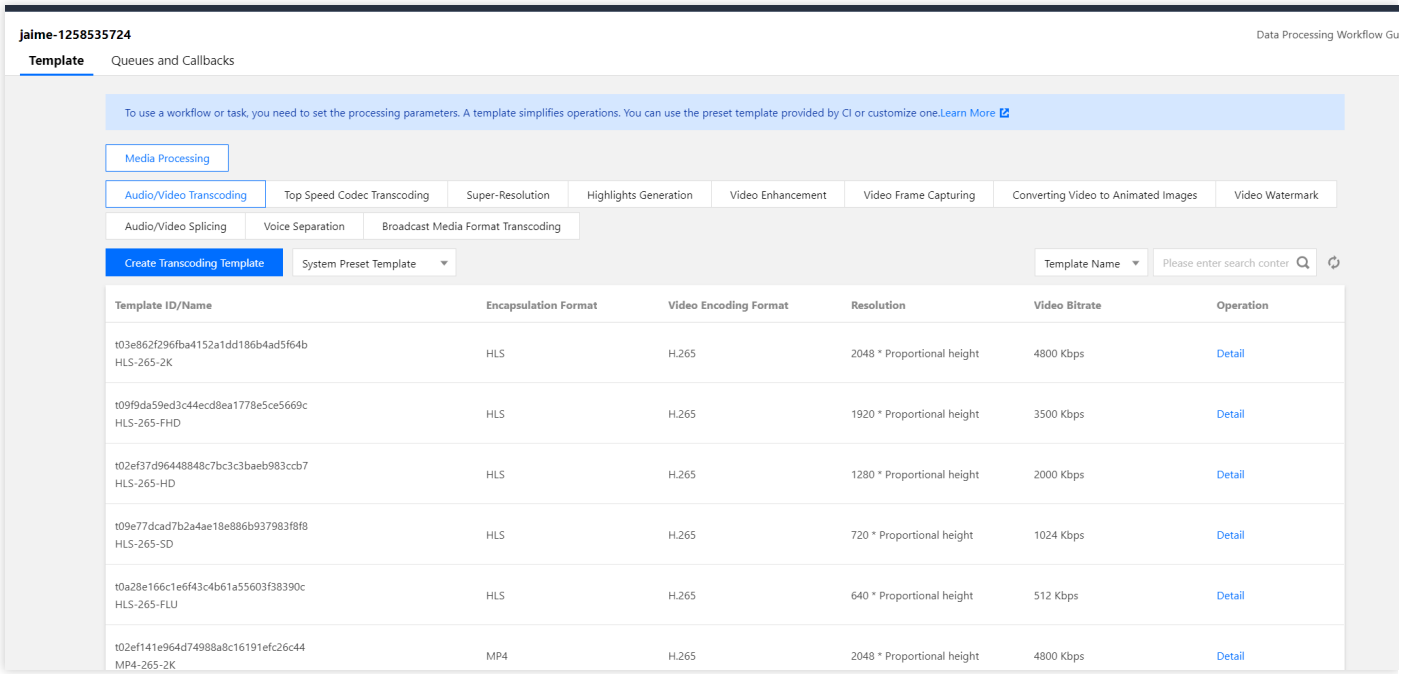
メディア処理機能(オーディオビデオトランスコーディング、オーディオビデオスプライシング、ビデオフレームキャプチャ、ビデオのアニメーション画像生成など)については、タスクまたはワークフローの作成時に、使用するテンプレートを指定する必要があります。テンプレートページで**システムプリセットテンプレート**を提供するほか、ご自身の業務ニーズに応じて**カスタムテンプレート**を作成することもできます。

システムプリセットテンプレート

システムプリセットテンプレートはよく用いられるパラメータをあらかじめ組み合わせて提供するテンプレートで、そのまま使用できます。タスクまたはワークフローを作成する際に、テンプレート名でこのタイプのテンプレートを選択することができます。

1. COSコンソールにログインします。
2. 左側ナビゲーションバーで**バケットリスト**をクリックし、バケットリスト管理ページに進みます。
3. 操作する必要のあるバケットを見つけ、そのバケット名をクリックし、バケット管理ページに進みます。
4. 左側ナビゲーションバーで、**データワークフロー > テンプレート設定**をクリックすると、さまざまな処理タイプのテンプレートを表示することができます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



「操作」バーの**表示**をクリックすると、テンプレートの詳細情報を表示できます。

説明：

- 現在システムでは15種類の**オーディオビデオトランスコーディング**プリセットテンプレート、3種類の**ビデオフレームキャプチャ**プリセットテンプレートおよび18種類の**ビデオアニメーション画像生成**プリセットテンプレートを提供しています。
- システムプリセットテンプレートではテンプレート情報の表示のみサポートしており、編集と削除はできません。

オーディオビデオトランスコーディングシステムテンプレート

テンプレートID	テンプレート名	コンテナ形式	ビデオコーデック形式	解
t0e2b9f4cd25184c6ab73d0c85a6ee9cb5	H264-MP4-LD-360P	MP4	H.264	64 比 ス
t0876739cd865042d1957d73c78f0484fb	H264-MP4-SD-480P	MP4	H.264	72 比 ス
t0852e7ff4acd4484e99ba104f3840d3cb	H264-MP4-HD-720P	MP4	H.264	12 比 ス

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

テンプレートID	テンプレート名	コンテナ形式	ビデオコーデック形式	解
t04df9eb0c373c4a8780ec894ce05469a7	H264-MP4-FHD-1080P	MP4	H.264	19 比 ス
t09d027135634d47048e5a30dc1e19ee90	H264-MP4-2K	MP4	H.264	2(比 ス
t0e634622e8dfb49339ba478d60ddc7188	H264-HLS-LD-360P	M3U8	H.264	6 比 ス
t0fa5bdbf58bb348e88bf73fae5d674fdf	H264-HLS-SD-480P	M3U8	H.264	7 比 ス
t09d0f419921e44ed98190f355ec9fd629	H264-HLS-HD-720P	M3U8	H.264	1 比 ス
t080ae8a06f9074f3daa46201078f8d4b1	H264-HLS-FHD-1080P	M3U8	H.264	19 比 ス
t0ab68939cef0f40d19c4a135df540239f	H264-HLS-2K	M3U8	H.264	2(比 ス
t0e165bef65ed24d568eeecc8661248af6	H264-FLV-LD-360P	M3U8	H.264	6 比 ス
t057d0410c32444e48b9220f9571e6097a	H264-FLV-SD-480P	M3U8	H.264	7 比 ス
t00daf332ba39049f8bfb899c1ed0134b0	H264-FLV-HD-720P	M3U8	H.264	1 比 ス
t0d41905a814434c8a81897ecb54d53a32	H264-FLV-FHD-1080P	M3U8	H.264	19 比 ス

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

テンプレートID	テンプレート名	コンテナ形式	ビデオコーデック形式	解
t0e287e59454b94a8983ba78a6a30ee864	H264-FLV-2K	M3U8	H.264	2(比 ズ

ビデオフレームキャプチャシステムテンプレート

テンプレートID	テンプレート名	フレームキャプチャ開始時間	フレームキャ
t01d40e440761448fc8c538fb8d5a5b81e	snapshot_320 * 180_1	0s	2s
t0a60a2bc71a4b40c7b3d7f7e8a2779a81	snapshot_640 * 360_2	0s	10s
t07740e32081b44ad7a0aea03adcffd54a	snapshot_1280 * 720_3	0s	10s

ビデオアニメーション画像生成システムテンプレート

テンプレートID	テンプレート名	トランスコード開始時間	トランスコード時
t04373959a69c04d47b62fd214dd13d8e9	gif_320 * 180_1	0s	600s
t0341b0ab2b8a340ff826e9cb4f3a7baea	gif_320 * 180_2	0s	600s
t046b1d8e5bdf842c6a58d8028b48eafee	gif_320 * 180_3	0s	600s
t0ef2077f215864c018a2fca73614ceca6	gif_640 * 360_4	0s	600s
t0d21406ca737a40869973a37a5daa349a	gif_640 * 360_5	0s	600s
t0878a9c9c1f054cb5bca68b8b06e556c2	gif_640 * 360_6	0s	600s
t0dae821708cea4ba5b3e271810ac80a21	gif_1280 * 720_7	0s	600s

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

テンプレートID	テンプレート名	トランスコード開始時間	トランスコード時
t03fef67ad94d2466b9c0c89252ed72e87	gif_1280 * 720_8	0s	600s
t030a64e9f9f5a4f53a9ef64bb7ce490b5	gif_1280 * 720_9	0s	600s
t03b0e9eca4fc34e2cba9da89d9c7c13a2	webp_320 * 180_1	0s	60s
t016fcddf6bc3c44b793e9b7b07119b4ee	webp_320 * 180_2	0s	600s
t0bf1f1ce6d2404b258c0f81fbb9aaece1	webp_320 * 180_3	0s	600s
t098d6d3fcfd2c45309a408594a42559f6	webp_640 * 360_4	0s	60s
t0169a6a9c2eec4b51972eb63bafcbf08d	webp_640 * 360_5	0s	600s
t0ef9ba537011e4876b8777aebc19d10a5	webp_640 * 360_6	0s	600s
t02743d344b5e74c579e50e9e135b432b8	webp_1280 * 720_7	0s	60s
t0dd27c136ff2741538bec96981e058868	webp_1280 * 720_8	0s	600s
t00ad05235d67a45a9a697b553052b7346	webp_1280 * 720_9	0s	600s

カスタムテンプレート

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

システムプリセットテンプレートではニーズを満たせない場合は、カスタムテンプレートを選択できます。現在、**オーディオビデオトランスコーディング**、**高速高画質トランスコーディング**、**ハイライトコレクション**、**ビデオフレームキャプチャ**、**ビデオアニメーション画像生成**、**ビデオウォーターマーク**、**オーディオビデオスプライシング**、**音声分離**、**ビデオエンハンスメント**、**超解像度**、**画像処理**、**ブロードキャストグレードフォーマットのトランスコーディング**のカスタムテンプレートを作成することができます。

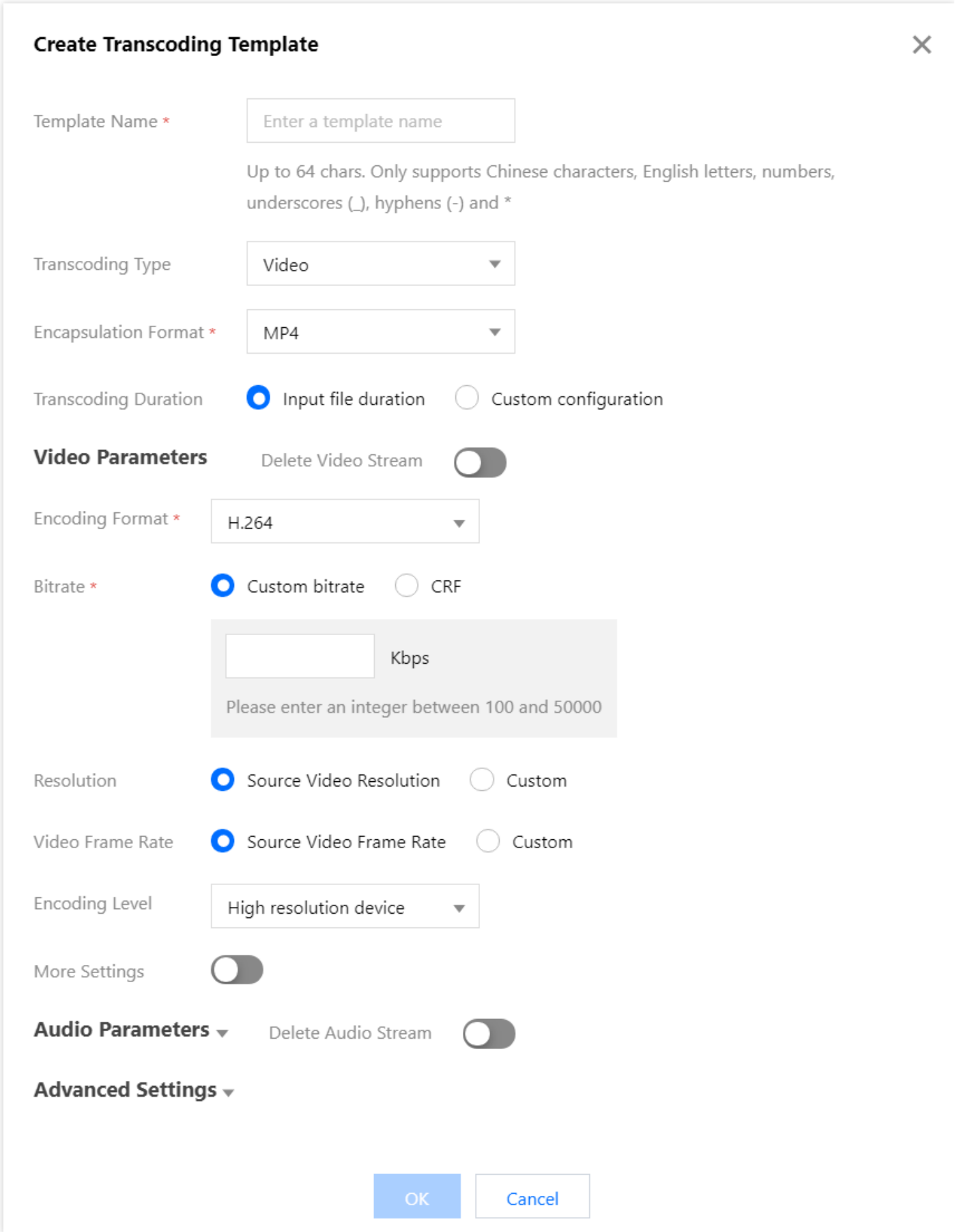
音声/ビデオトランスコーディング

オーディオビデオトランスコーディングはオーディオ、ビデオなどのメディアファイルのトランスコード機能をご提供します。これは、ファイルのビットストリームを別のビットストリームに変換するプロセスです。トランスコードによって、コーデック、解像度、ビットレートなどの元のビットストリームのパラメータを変更して、様々なデバイスやネットワーク環境での再生に適合させます。カスタムオーディオビデオトランスコードテンプレートでは、テンプレートのパラメータをカスタム設定することができます。

操作手順

1. COSコンソールにログインします。
2. 左側ナビゲーションバーで**バケットリスト**をクリックし、バケットリスト管理ページに進みます。
3. ビデオを保存したいバケットを見つけ、そのバケット名をクリックし、バケット管理ページに進みます。
4. 左側ナビゲーションバーで、**データワークフロー > テンプレート設定**をクリックし、テンプレート設定ページに進みます。
5. **メディア処理 > オーディオビデオトランスコーディング**を選択し、**トランスコードテンプレートの作成**をクリックすると、トランスコードテンプレート作成ウィンドウがポップアップします。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

6. トランスコードテンプレート作成ウィンドウで、以下の情報を設定します。

- テンプレート名：長さは64文字以下とし、中国語、英語、数字、アンダーバー「_」、ハイフン「-」、「*」のみサポートします。
- トランスコードタイプ：ビデオトランスコードとオーディオトランスコードをサポートします。
- コンテナ形式：ビデオトランスコードはMP4、FLV、HLS、TS、MKV、WebM形式を、オーディオトランスコードはMP3、AAC、AMR、FLAC、WebM形式をそれぞれサポートします。
- コーデック形式：H264、H265、AV1、VP8、VP9などの形式をサポートします。
- ビットレート：アダプティブビットレートをサポートし、ビデオ内容を自動的に分析した後、ビットレートを割り当てます。
- トランスコード時間：ソースファイル時間、カスタム設定時間から選択できます。
- ビデオ/オーディオパラメータ：ビデオおよびオーディオパラメータはユーザーのニーズに応じてカスタマイズできます。

7. **OK**をクリックしてテンプレートの作成を完了します。
作成に成功すると、新しく作成したテンプレートに対し、カスタムテンプレートリストで**表示**、**編集**、**削除**の操作を行うことができるようになります。

> 説明：
> これ以降、オーディオビデオトランスコーディングタスクの作成またはワークフローの作成時にこのテンプレートを適用できます。

高速高画質トランスコーディング

高速高画質トランスコーディングは低ビットレートでのビデオの主観的画質を向上させることができます。高速高画質トランスコーディングを使用すると、通常のオーディオビデオトランスコーディングに比べてファイルサイズをより小さく、画質をより鮮明にすることができ、ネットワークリソースの消費を抑えると同時に、ユーザーにより良い視覚体験をもたらします。高速高画質トランスコードテンプレートのコーデック形式、解像度、ビットレートなどのパラメータはカスタマイズ可能です。

操作手順

1. COSコンソールにログインします。

2. 左側ナビゲーションバーで**バケットリスト**をクリックし、バケットリスト管理ページに進みます。

3. ビデオを保存したいバケットを見つけ、そのバケット名をクリックし、バケット管理ページに進みます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

4. 左側ナビゲーションバーで、**データワークフロー > テンプレート設定**をクリックし、テンプレート設定ページに進みます。

5. **高速高画質トランスコーディング**を選択し、**高速高画質トランスコードテンプレートの作成**をクリックすると、高速高画質トランスコードテンプレート作成ウィンドウがポップアップします。

6. **ブロードキャストグレードフォーマットのトランスコーディング作成**ウィンドウで、以下の情報を設定します。

- テンプレート名：長さは64文字以下とし、中国語、英語、数字、アンダーバー「_」、ハイフン「-」、「*」のみサポートします。
- トランスコードタイプ：デフォルトではビデオトランスコードになっています。
- コンテナ形式：MP4、HLS形式があります。
- トランスコード時間：ソースファイル時間、カスタム設定時間から選択できます。
- ビデオ/オーディオパラメータ：ビデオおよびオーディオパラメータはユーザーのニーズに応じてカスタマイズできます。

7. **OK**をクリックしてテンプレートの作成を完了します。
作成に成功すると、新しく作成したテンプレートに対し、カスタムテンプレートリストで**表示**、**編集**、**削除**の操作を行うことができるようになります。

> 説明：
> これ以降、ブロードキャストグレードフォーマットのトランスコーディングタスクの作成またはワークフローの作成時にこのテンプレートを適用できます。

ブロードキャストグレードフォーマットのトランスコーディング

XAVC、Proresなどの特殊な形式の処理をサポートしています。

操作手順

1. COSコンソールにログインします。

2. 左側ナビゲーションバーで**バケットリスト**をクリックし、バケットリスト管理ページに進みます。

3. ビデオを保存したいバケットを見つけ、そのバケット名をクリックし、バケット管理ページに進みます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

4. 左側ナビゲーションバーで、**データワークフロー > テンプレート設定**をクリックし、テンプレート設定ページに進みます。

5. **ブロードキャストグレードフォーマットのトランスコーディング**を選択し、**ブロードキャストグレードフォーマットのトランスコードテンプレートの作成**をクリックします。

6. **ブロードキャストグレードフォーマットのトランスコーディング作成**ウィンドウで、以下の情報を設定します。

- テンプレート名：長さは64文字以下とし、中国語、英語、数字、アンダーバー「_」、ハイフン「-」、「*」のみサポートします。
- エンコーダのプリセット：エンコーダのサンプルレートなどの組み合わせを選択します。
- コンテナ形式：mxf形式があります。
- トランスコード時間：ソースファイル時間、カスタム設定時間から選択できます。
- ビデオ/オーディオパラメータ：ビデオおよびオーディオパラメータはユーザーのニーズに応じてカスタマイズできます。

7. **OK**をクリックしてテンプレートの作成を完了します。
作成に成功すると、新しく作成したテンプレートに対し、カスタムテンプレートリストで**表示**、**編集**、**削除**の操作を行うことができるようになります。

> 説明：
> これ以降、ブロードキャストグレードフォーマットのトランスコーディングタスクの作成またはワークフローの作成時にこのテンプレートを適用できます。

ハイライトコレクション

ハイライトコレクションは、ビデオからハイライト部分を自動的に抽出することができる機能です。カスタムテンプレートでは、ハイライトコレクションテンプレート名の設定、ハイライトコレクションの最長出力時間、出力ビデオ解像度、出力形式の指定を行うことができます。

操作手順

1. COSコンソールにログインします。

2. 左側ナビゲーションバーで**バケットリスト**をクリックし、バケットリスト管理ページに進みます。

3. ビデオを保存したいバケットを見つけ、そのバケット名をクリックし、バケット管理ページに進みます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

4. 左側ナビゲーションバーで、**データワークフロー > テンプレート設定**をクリックし、テンプレート設定ページに進みます。

5. **ハイライトコレクション**を選択し、**ハイライトコレクションテンプレートの作成**をクリックすると、ハイライトコレクションテンプレート作成ウィンドウがポップアップします。

6. **音声分離テンプレート**ウィンドウで、以下の情報を設定します。

> 説明：
> 現在ハイライトコレクションは風景、グルメ、ストリートスナップ、Vlogシーンにのみ適用可能ですが、その他シーンの機能も順次リリース中です。オーダーメイドをご希望の場合は、お問い合わせください。

- テンプレート名：長さは64文字以下とし、中国語、英語、数字、アンダーバー「_」、ハイフン「-」、「*」のみサポートします。
- コンテナ形式：MP4、FLV、HLS、TS、MKV形式があります。
- コレクション時間：コレクション出力時間は、自動分析された完全な時間、またはカスタマイズしたコレクション出力時間を指定できます。
- ビデオ/オーディオパラメータ：ビデオおよびオーディオパラメータはユーザーのニーズに応じてカスタマイズできます。

7. **OK**をクリックしてテンプレートの作成を完了します。
作成に成功すると、新しく作成したテンプレートに対し、カスタムテンプレートリストで**表示**、**編集**、**削除**の操作を行うことができるようになります。

> 説明：
> これ以降、ハイライトコレクションタスクの作成またはワークフローの作成時にこのテンプレートを適用できます。

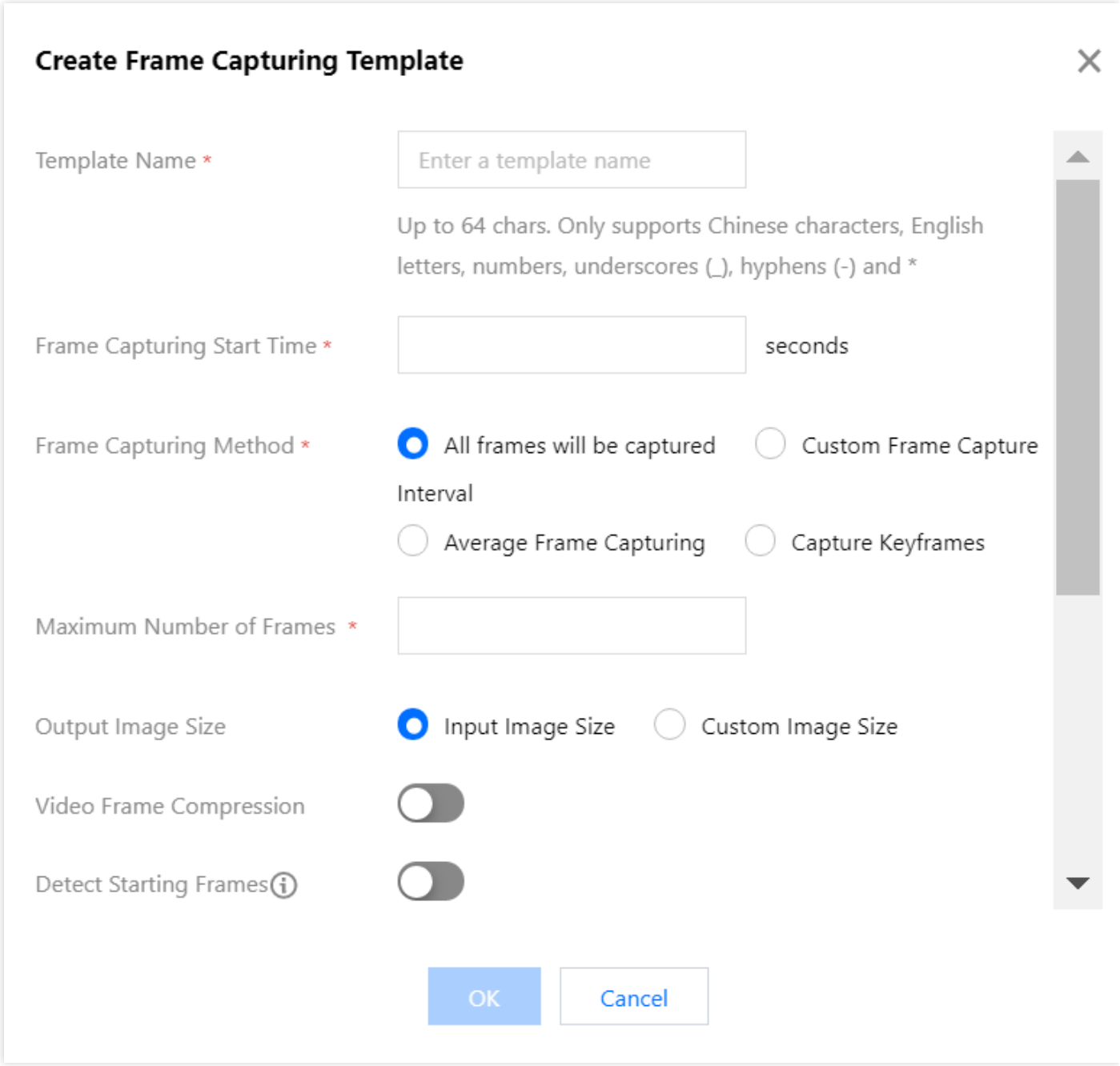
ビデオフレームキャプチャ

ビデオフレームキャプチャは、ビデオのある時点のスクリーンキャプチャを撮る機能です。出力するスクリーンキャプチャの形式はデフォルトではJPG形式です。フレームキャプチャ圧縮を有効にしている場合はHEIF形式やTPG形式での出力が可能です。カスタムビデオフレームキャプチャテンプレートは、テンプレート名、フレームキャプチャ開始時間、フレームキャプチャ間隔、フレームキャプチャ数、出力画像サイズ、出力形式のカスタム設定をサポートしています。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

操作手順

1. COSコンソールにログインします。
2. 左側ナビゲーションバーで**バケットリスト**をクリックし、バケットリスト管理ページに進みます。
3. ビデオを保存したいバケットを見つけ、そのバケット名をクリックし、バケット管理ページに進みます。
4. 左側ナビゲーションバーで、**データワークフロー > テンプレート設定**をクリックし、テンプレート設定ページに進みます。
5. **ビデオフレームキャプチャ**を選択し、**フレームキャプチャテンプレートの作成**をクリックすると、フレームキャプチャテンプレート作成ウィンドウがポップアップします。



6. フレームキャプチャテンプレート作成ウィンドウで、以下の情報を設定します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

- テンプレート名：長さは64文字以下とし、中国語、英語、数字、アンダーバー「_」、ハイフン「-」、「*」のみサポートします。
- フレームキャプチャ開始時間：ビデオ全体時間の範囲内で、任意のノードをフレームキャプチャ開始時間として選択できます。
- フレームキャプチャ方式：
  - デフォルトの全フレームキャプチャ：ビデオの各フレームをキャプチャします。
  - カスタムフレームキャプチャ間隔：フレームキャプチャ開始時点からビデオ終了まで、設定した時間間隔に従って、一定間隔ごとに1枚のフレームキャプチャ画像を出力します。
  - 平均フレームキャプチャ：設定した**フレームキャプチャ数**に従って、フレームキャプチャ開始時点からビデオ終了まで、均等間隔で画像をキャプチャします。
  - キーフレームキャプチャ：キーフレームのキャプチャを選択できます。
- シングルビデオ最大フレームキャプチャ数：選択したフレームキャプチャ方式が**デフォルトの全フレームキャプチャ**、**カスタムフレームキャプチャ間隔**または**キーフレームキャプチャ**の場合は、シングルビデオ最大フレームキャプチャ数を設定する必要があります。
- フレームキャプチャ数：選択したフレームキャプチャ方式が**平均フレームキャプチャ**の場合は、フレームキャプチャ数を設定する必要があります。平均フレームキャプチャでは、設定したフレームキャプチャ数に従って、フレームキャプチャ開始時点からビデオ終了まで、均等間隔で画像をキャプチャします。
- 出力画像サイズ：デフォルトのスクリーンキャプチャ出力サイズはオリジナル画像のサイズです。カスタム画像サイズを選択する場合は、入力する幅と高さを128～4096の間の整数とするようご注意ください。
- フレームキャプチャ圧縮：有効にすると、キャプチャ後の画像を圧縮することができます。

7. **OK**をクリックしてテンプレートの作成を完了します。
   作成に成功すると、新しく作成したテンプレートに対し、カスタムテンプレートリストで**表示**、**編集**、**削除**の操作を行うことができるようになります。

> 説明：
> これ以降、ビデオフレームキャプチャタスクの作成またはワークフローの作成時にこのテンプレートを適用できます。

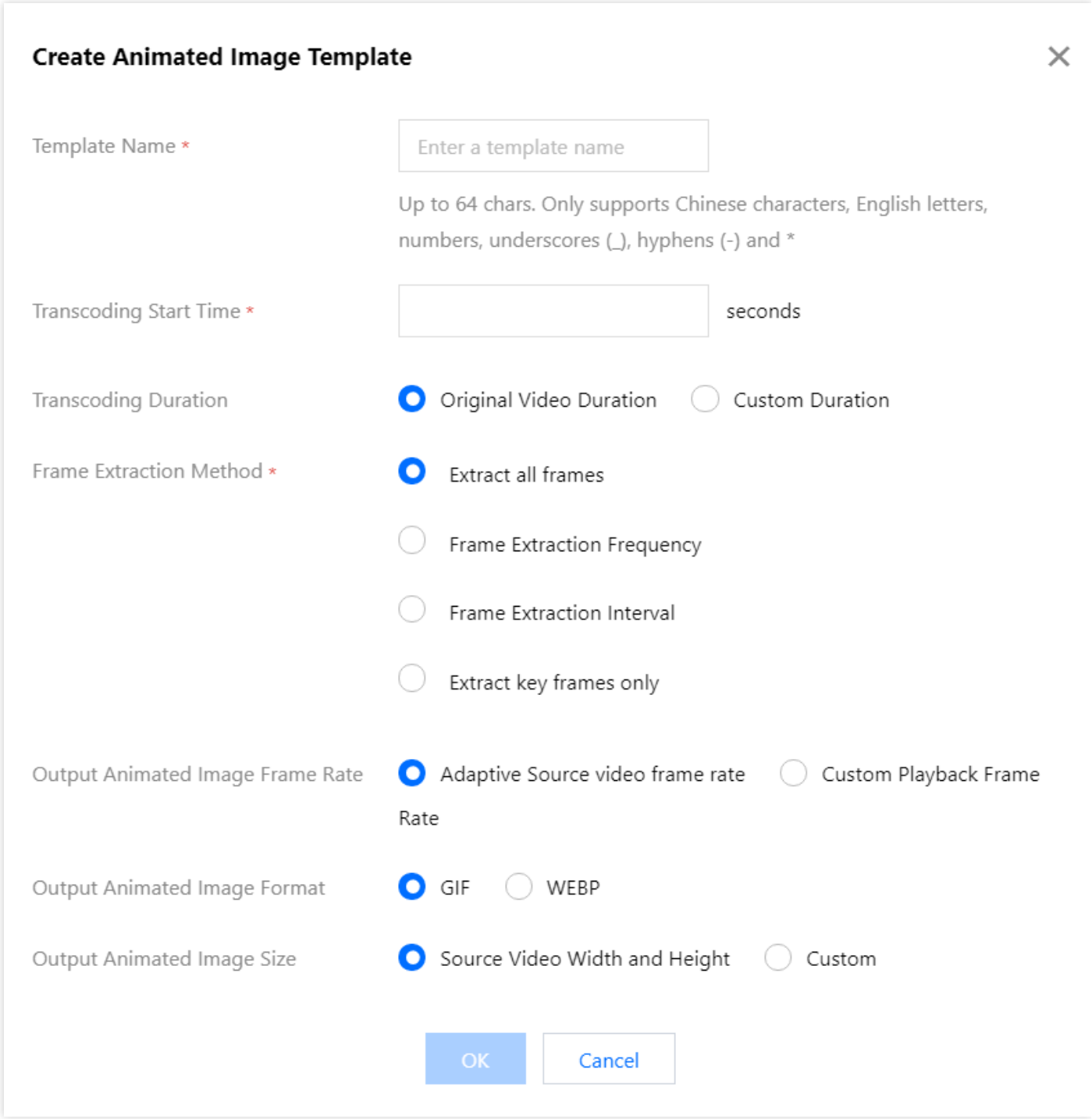
ビデオアニメーション画像生成

ビデオアニメーション画像生成機能を利用すると、ビデオ形式をアニメーション形式に変換することができます。カスタムビデオアニメーション画像生成テンプレートでは、テンプレート名、トランスコード開始時間、トランスコード時間、フレーム抽出方式、出力アニメーションフレームレート、出力アニメーションサイズ、出力形式のカスタム設定をサポートしています。

操作手順

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

1. COSコンソールにログインします。
2. 左側ナビゲーションバーで**バケットリスト**をクリックし、バケットリスト管理ページに進みます。
3. ビデオを保存したいバケットを見つけ、そのバケット名をクリックし、バケット管理ページに進みます。
4. 左側ナビゲーションバーで、**データワークフロー > 共通設定 > テンプレート**をクリックし、テンプレート設定ページに進みます。
5. **ビデオアニメーション画像生成**を選択し、**アニメーション画像生成テンプレートの作成**をクリックすると、アニメーション画像生成テンプレート作成ウィンドウがポップアップします。



6. アニメーション画像生成テンプレート作成ウィンドウで、以下の情報を設定します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

- テンプレート名：長さは64文字以下とし、中国語、英語、数字、アンダーバー「_」、ハイフン「-」、「*」のみサポートします。
- トランスコード開始時間：ビデオ全体時間の範囲内で、任意のノードをトランスコード開始時間として選択できます。
- トランスコード時間：トランスコード時間とは、**トランスコード開始時間**後のトランスコードの時間の長さを指します。**ソースビデオ時間**と**カスタム時間**の2種類の時間をご提供しています。
- フレーム抽出方式：
  - 全フレーム抽出：ビデオの各フレームを抽出します。
  - フレーム抽出レート：1秒間に抽出するフレーム数を設定できます。1～50の間の整数を入力できます。
  - フレーム抽出インターバル：指定された秒数間隔ごとに1フレームを抽出します。
  - キーフレームのみ抽出：ビデオの内容を理解し、AIによるインテリジェント認識を利用して、最適なフレームを抽出して組み合わせ、アニメーションとして出力します。
- 出力アニメーションフレームレート：**アダプティブ**とは、選択した上記のパラメータに基づき、システムが自動的に適切なフレームレートを選択することを指します。**再生フレームレートのカスタマイズ**も可能です。フレームレートは毎秒1～60フレームの間に限定されます。
- 出力アニメーション形式：出力されるアニメーションはデフォルトではGIF形式です。アニメーションをWEBP形式で出力したい場合は、出力するアニメーションの品質（1～99の間、デフォルトでは75）を選択する必要があります。
- 出力アニメーションサイズ：デフォルトの出力アニメーションサイズは元のビデオの幅と高さとなります。カスタムの幅と高さを選択する場合は、入力する幅と高さを128～4096の間の整数とするようご注意ください。

7. **OK**をクリックしてテンプレートの作成を完了します。
   作成に成功すると、新しく作成したテンプレートに対し、カスタムテンプレートリストで**表示**、**編集**、**削除**の操作を行うことができるようになります。

> 説明：
> これ以降、ビデオアニメーション画像生成タスクの作成またはワークフローの作成時にこのテンプレートを適用できます。

ビデオウォーターマーク

ビデオウォーターマークはオーディオビデオトランスコーディングをベースにした機能であり、オーディオビデオトランスコーディングの過程でビデオに画像ウォーターマークまたはテキストウォーターマークを同期的に追加することができます。

> 説明：

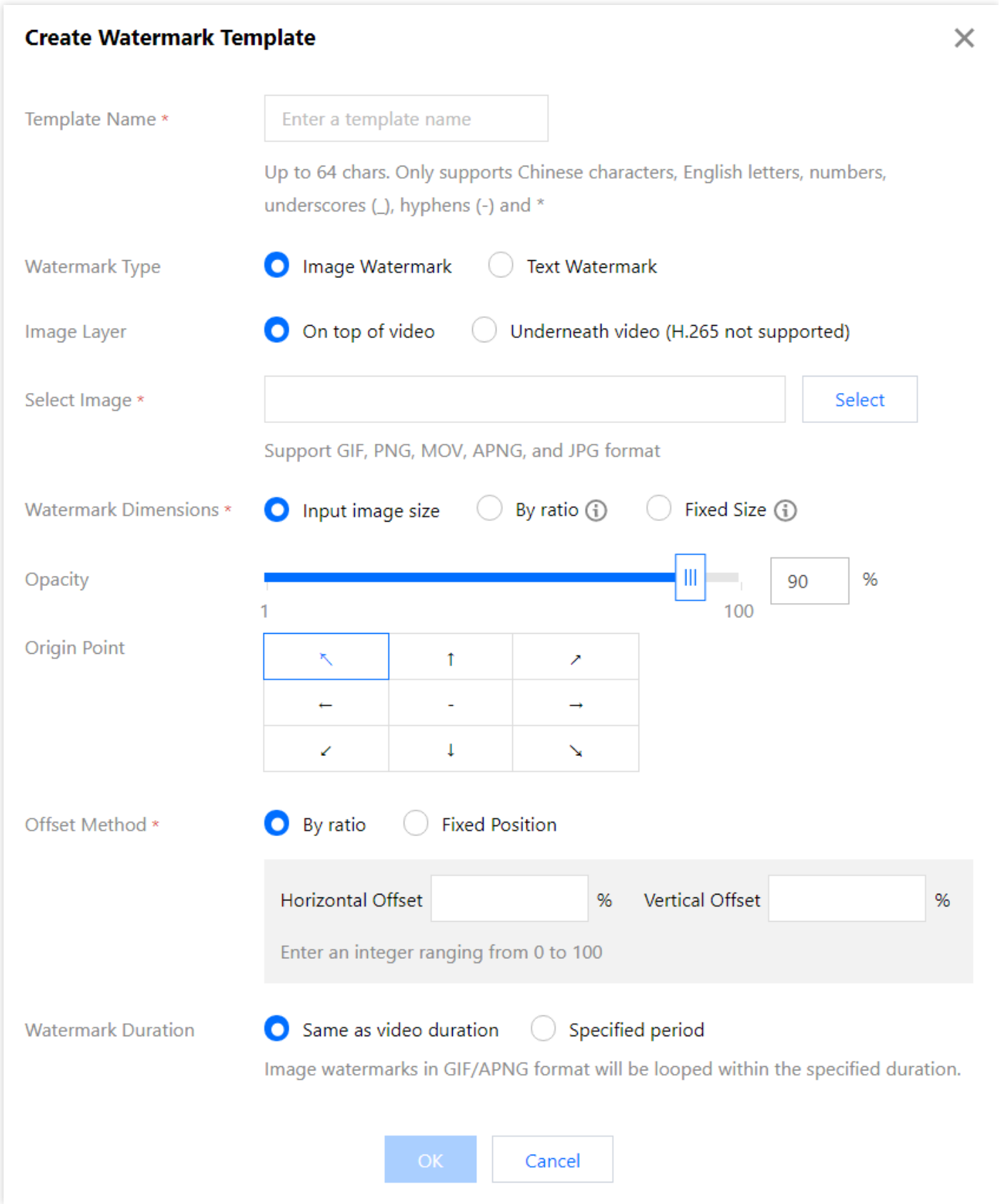
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

現在、1回のトランスコード操作で同時に複数のウォーターマークを添付することが可能です。コンソール方式では一度に3個まで、API方式では一度に5個までウォーターマークを追加できます。それ以上のウォーターマークが必要な場合は、お問い合わせください。

操作手順

1. COSコンソールにログインします。
2. 左側ナビゲーションバーで**バケットリスト**をクリックし、バケットリスト管理ページに進みます。
3. ビデオを保存したいバケットを見つけ、そのバケット名をクリックし、バケット管理ページに進みます。
4. 左側ナビゲーションバーで、**データワークフロー > テンプレート設定**をクリックし、テンプレート設定ページに進みます。
5. **ビデオウォーターマーク**を選択し、**ビデオウォーターマークテンプレートの作成**をクリックすると、ビデオウォーターマークテンプレート作成ウィンドウがポップアップします。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



6. ビデオウォーターマークテンプレート作成ウィンドウで、以下の情報を設定します。

- **統一パラメータ**

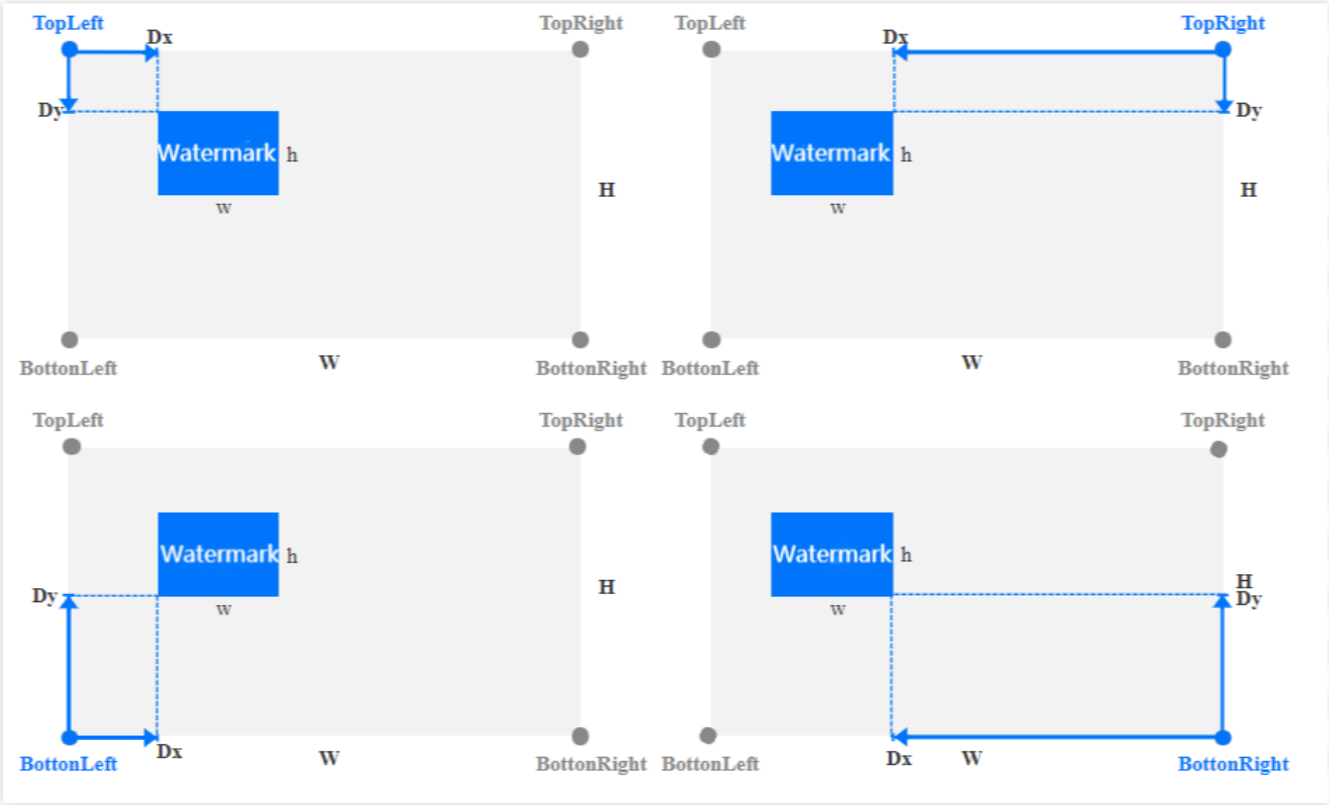
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

- テンプレート名：長さは64文字以下とし、中国語、英語、数字、_、-および*のみサポートします。
- ウォーターマークのタイプ：画像ウォーターマークまたはテキストウォーターマークを選択できます。
- 基準位置：TopLeft、TopRight、BottomLeft、BottomRightを選択できます。それぞれ、ビデオの左上隅、右上隅、左下隅、右下隅に対応します。
- 不透明度：値の範囲は[1，100]、単位は%です。
- オフセット方式：ウォーターマークのオフセット方式は基準位置に基づいて設定します。比率スケールまたは固定位置を選択できます。
- ウォーターマーク時間：ウォーターマークのカバー時間をビデオの長さと一致させるか、または時間を指定するかを選択できます。このうち時間を指定する場合は、ウォーターマークの開始時間と終了時間を設定できます。開始時間のみを設定した場合は、デフォルトでビデオの終了までカバーされます。

- **画像ウォーターマークのパラメータ**

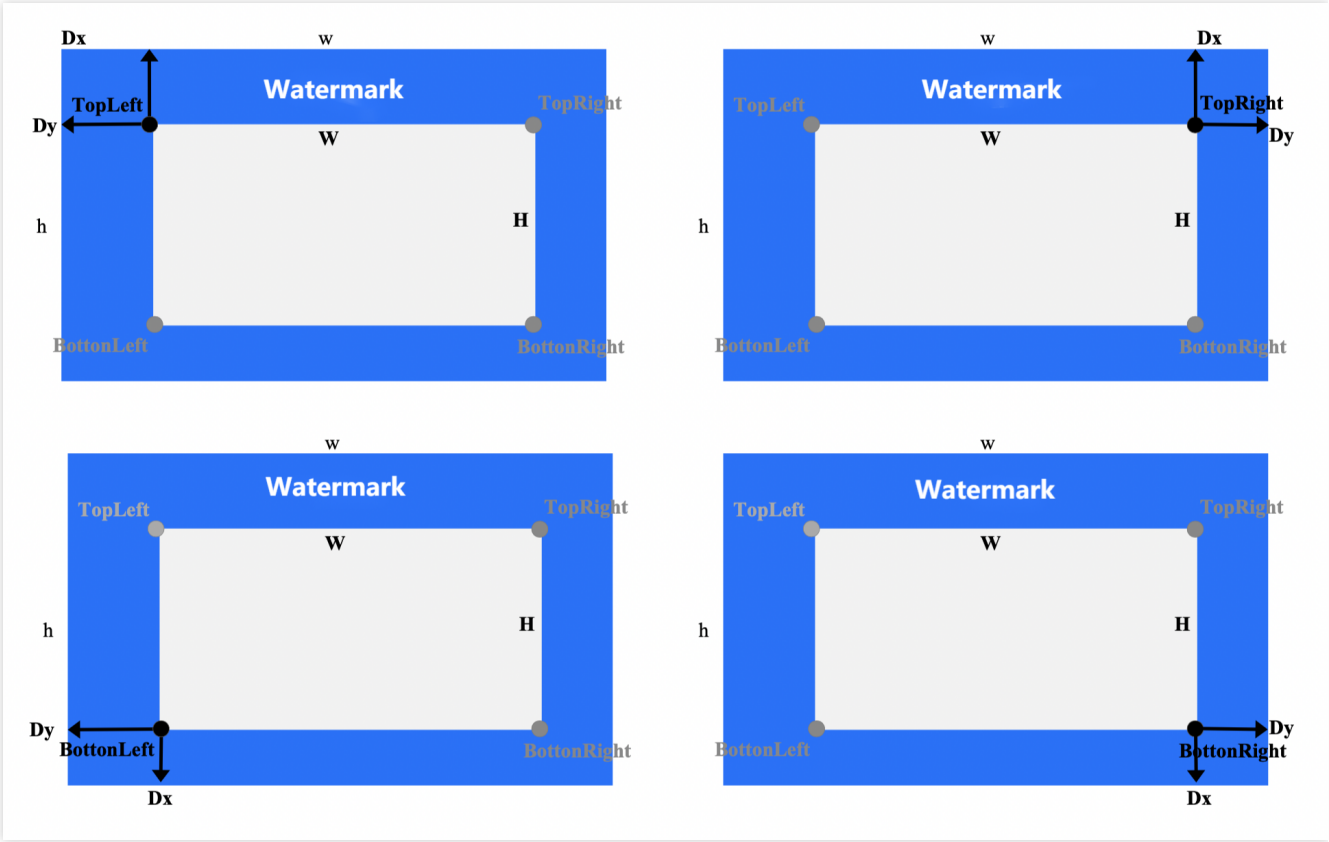
  - 画像の選択：画像ウォーターマークを選択する場合は、画像ウォーターマークのソースを選択する必要があります。現在は同一のバケット内にあるウォーターマーク画像を選択できます。ない場合は、新しい画像をアップロードする必要があります。

  - 画像レイヤー：画像をビデオ上方に設置するか、ビデオ下部に設置するかを選択できます。
    - 画像をビデオ上方に設置する場合は、下図のようになります。



©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

- 画像をビデオ下部に設置する（ビデオの背景画像とする）場合は、下図のようになります。



- ウォーターマークのサイズ：
  - オリジナル画像サイズ：ウォーターマークのオリジナル画像を維持し、処理を行いません。ウォーターマーク画像がビデオ画面のサイズより大きい場合は、ウォーターマークが完全に表示されない可能性があることに注意してください。
  - 比率スケール：幅または高さに応じてパーセンテージを設定します。値の範囲は[1, 100]です。幅または高さのいずれかだけを設定し、ディメンションを設定していない場合は同じ比率でスケーリングされます。設定する幅の比率をa、高さの比率をbとした場合、ウォーターマークの幅w = W * a、ウォーターマークの高さh = H * bとなります。このうちW、Hはそれぞれビデオの幅と高さです。
  - 固定サイズ：ウォーターマークの幅と高さを指定することができます。値の範囲は[8，4096]、単位はpxです。

- オフセット方式（画像をビデオ上方に設置する場合）：
  - 比率スケール：幅または高さに応じてパーセンテージを設定します。値の範囲は[0, 100]です。下図のように、設定する水平オフセットの比率をa、垂直オフセットの比率をbとした場合、水平オフセットDx = W * a、垂直オフセットDy = H * bとなります。このうちW、Hはそれぞれビデオの幅と高さです。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

- 固定位置：値の範囲は[0，4096]、単位はpxです。図のように、水平オフセットはDxに、垂直オフセットはDyにそれぞれ対応します。

- ウォーターマークのサイズ：
  - オリジナル画像サイズ：ウォーターマークのオリジナル画像を維持し、処理を行いません。ウォーターマーク画像がビデオ画面のサイズより小さい場合は、ウォーターマークが完全に表示されない可能性があることに注意してください。
  - 比率スケール：幅または高さに応じてパーセンテージを設定します。値の範囲は[100, 300]です。幅または高さのいずれかだけを設定し、ディメンションを設定していない場合は同じ比率でスケーリングされます。設定する幅の比率をa、高さの比率をbとした場合、ウォーターマークの幅w = W * a、ウォーターマークの高さh = H * bとなります。このうちW、Hはそれぞれビデオの幅と高さです。

- 固定サイズ：ウォーターマークの幅と高さを指定することができます。値の範囲は[8，4096]、単位はpxです。

- オフセット方式（ビデオ下方に設置する場合）：
  - 比率スケール：幅または高さに応じてパーセンテージを設定します。値の範囲は[-300, 0]です。下図のように、設定する水平オフセットの比率をa、垂直オフセットの比率をbとした場合、水平オフセットDx = W * a、垂直オフセットDy = H * bとなります。このうちW、Hはそれぞれビデオの幅と高さです。
  - 固定位置：値の範囲は[-4096，0]、単位はpxです。図のように、水平オフセットはDxに、垂直オフセットはDyにそれぞれ対応します。

- **テキストウォーターマークのパラメータ**
  - テキストウォーターマークの内容：長さは64文字以下とし、中国語、英語、数字、_、-および*のみサポートします。
  - フォントサイズ：値の範囲は[5 100]、単位はpxです。
  - フォントタイプ：現在、中国語と英語の混合ウォーターマークでは宋朝体、ゴシック体、楷書体、明朝体、中国語ゴシック体、中国語ゴシック体中、丸ゴシックを選択できます。英語のみのウォーターマークではariblk、arial、ahronbd、Helvetica、HelveticaNeueを選択できます。英語のみのフォントは英語の入力のみをサポートしており、ウォーターマークに中国語が含まれると文字化けを起こすおそれがありますのでご注意ください。
  - フォントの色：形式は0xRRGGBBです。

7. **OK**をクリックしてテンプレートの作成を完了します。

- 作成に成功すると、新しく作成したテンプレートに対し、カスタムテンプレートリストで**表示**、**編集**、**削除**の操作を行うことができるようになります。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

- **プレビュー**をクリックすると、3種類の一般的な解像度のビデオでウォーターマークの位置とサイズを確認することもでき、テンプレートのスピーディーな調整に役立ちます。

説明：
これ以降、オーディオビデオトランスコーディング、SDRtoHDR、ビデオエンハンスメント、超解像度タスクの作成またはワークフローの作成時にこのテンプレートを適用できます。

オーディオビデオスプライシング

オーディオビデオスプライシングでは、指定されたオーディオクリップをオーディオファイルの最初または最後にステッチングして新しいオーディオファイルを生成したり、指定されたビデオクリップをビデオファイルの最初または最後にステッチングして新しいビデオファイルを生成したりできます。

操作手順

1. COSコンソールにログインします。

2. 左側ナビゲーションバーで**バケットリスト**をクリックし、バケットリスト管理ページに進みます。

3. ビデオを保存したいバケットを見つけ、そのバケット名をクリックし、バケット管理ページに進みます。

4. 左側ナビゲーションバーで、**データワークフロー > 共通設定 > テンプレート**をクリックし、テンプレート設定ページに進みます。

5. **オーディオビデオスプライシング**を選択し、**オーディオビデオスプライシングテンプレートの作成**をクリックすると、オーディオビデオスプライシングテンプレート作成ウィンドウがポップアップします。

6. オーディオビデオスプライシングテンプレート作成ウィンドウで、以下の情報を設定します。

- テンプレート名：長さは64文字以下とし、中国語、英語、数字、_、-および*のみサポートします。
- コンテナ形式：AAC、MP3、MP4、FLV、HLS、TS形式があります。
- スプライシング位置：ソースファイルの先頭か末尾へのスプライシングを選択できます。
- その他のパラメータ：ユーザーはニーズに応じてオーディオビデオパラメータをカスタマイズできます。

7. **OK**をクリックしてテンプレートの作成を完了します。
作成に成功すると、新しく作成したテンプレートに対し、カスタムテンプレートリストで**テンプレート情報の表示、編集、削除**の操作を行うことができるようになります。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

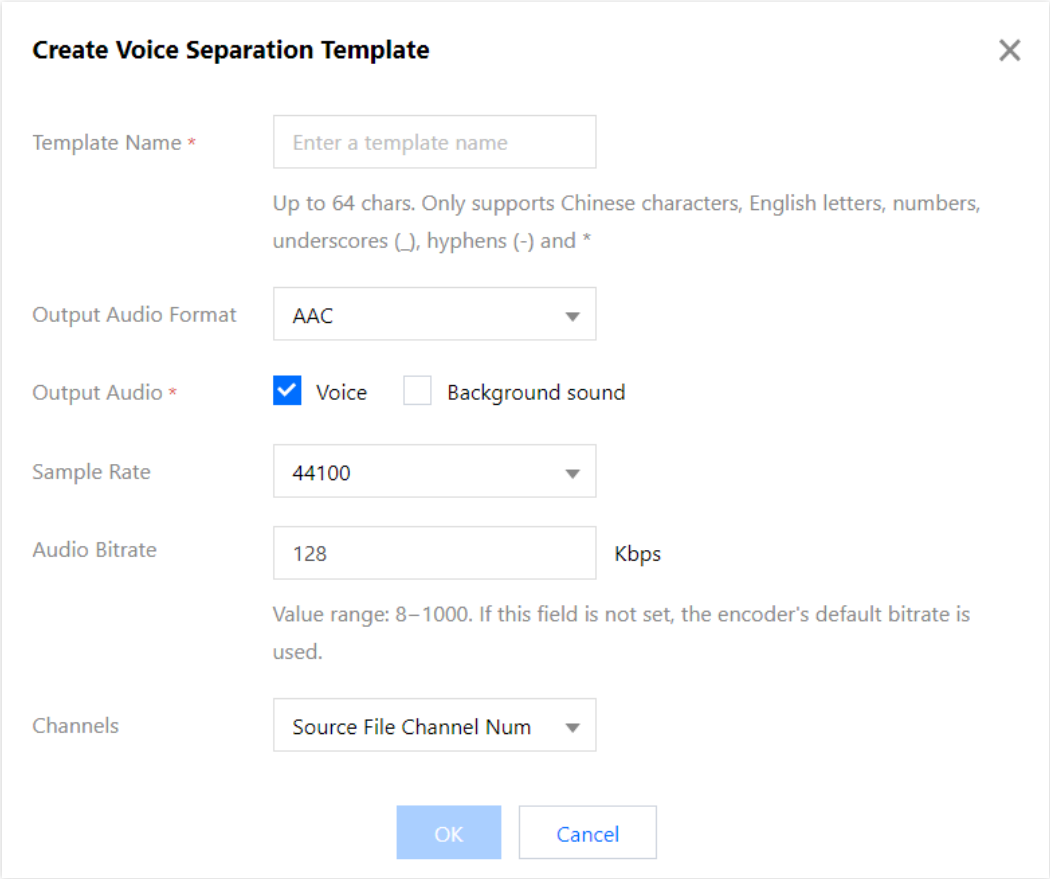
説明：
これ以降、オーディオビデオスプライシングタスクの作成またはワークフローの作成時にこのテンプレートを適用できます。

音声分離

同一のオーディオファイルから人の声のファイルと背景音のファイルを分離し、その後のビデオのトリミング、再生を行いやすくすることができます。

操作手順

1. COSコンソールにログインします。
2. 左側ナビゲーションバーで**バケットリスト**をクリックし、バケットリスト管理ページに進みます。
3. ビデオを保存したいバケットを見つけ、そのバケット名をクリックし、バケット管理ページに進みます。
4. 左側ナビゲーションバーで、**データワークフロー > テンプレート設定**をクリックし、テンプレート設定ページに進みます。
5. **スマート音声 > 音声分離**を選択し、**音声分離テンプレートの作成**をクリックすると、音声分離テンプレート作成ウィンドウがポップアップします。



6. 音声分離テンプレート作成ウィンドウで、以下の情報を設定します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

- テンプレート名：長さは64文字以下とし、中国語、英語、数字、アンダーバー「_」、ハイフン「-」、「*」のみサポートします。
- 出力オーディオ形式：MP3、AAC、AMR、FLAC形式があります。
- 出力オーディオ：人の声または背景音の出力を指定できます。
- サンプルレート：実際のニーズに応じて選択できます。
- オーディオビットレート：実際のニーズに応じて入力できます。
- サウンドチャンネル数：実際のニーズに応じて選択できます。

7. **OK**をクリックしてテンプレートの作成を完了します。
   作成に成功すると、新しく作成したテンプレートに対し、カスタムテンプレートリストで**表示**、**編集**、**削除**の操作を行うことができるようになります。

> 説明：
> これ以降、音声分離タスクの作成またはワークフローの作成時にこのテンプレートを適用できます。

音声合成

テキストを様々な音色のオーディオに変換し、音声読み上げ、ナビゲーションなどのシーンに使用できるようにします。

操作手順

1. COSコンソールにログインします。

2. 左側ナビゲーションバーで**バケットリスト**をクリックし、バケットリスト管理ページに進みます。

3. ビデオを保存したいバケットを見つけ、そのバケット名をクリックし、バケット管理ページに進みます。

4. 左側ナビゲーションバーで、**データワークフロー > テンプレート設定**をクリックし、テンプレート設定ページに進みます。

5. **スマート音声 > 音声合成**を選択し、**音声合成テンプレートの作成**をクリックすると、音声合成テンプレート作成ウィンドウがポップアップします。

6. 音声合成テンプレート作成ウィンドウで、以下の情報を設定します。

- テンプレート名：長さは64文字以下とし、中国語、英語、数字、アンダーバー「_」、ハイフン「-」、「*」のみサポートします。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

- 出力オーディオ形式：MP3、AAC、AMR、FLAC形式があります。
- 音色：出力する音色を指定できます。
- 処理モード：非同期または同期処理を選択できます。
- 音量：出力する音量を調節できます。
- スピード：出力する音色を調節できます。

7. **OK**をクリックしてテンプレートの作成を完了します。
   作成に成功すると、新しく作成したテンプレートに対し、カスタムテンプレートリストで**表示**、**編集**、**削除**の操作を行うことができるようになります。

> 説明：
> これ以降、音声合成タスクまたはワークフローの作成時にこのテンプレートを適用できます。

画質エンハンスメント

ビデオエンハンスメントは、AIによってビデオの状態を改善し、視覚面でビデオのカラーおよび画面のディテールを向上させることができる機能です。超解像度、ディテールエンハンスメント、SDRtoHDR、フレーム補間などの機能をサポートしています。

操作手順

1. COSコンソールにログインします。

2. 左側ナビゲーションバーで**バケットリスト**をクリックし、バケットリスト管理ページに進みます。

3. ビデオを保存したいバケットを見つけ、そのバケット名をクリックし、バケット管理ページに進みます。

4. 左側ナビゲーションバーで、**データワークフロー > テンプレート設定**をクリックし、テンプレート設定ページに進みます。

5. **画質エンハンスメント**を選択し、**画質エンハンスメントテンプレートの作成**をクリックすると、ビデオエンハンスメントテンプレート作成ウィンドウがポップアップします。

6. 画質エンハンスメントテンプレート作成ウィンドウで、以下の情報を設定します。

> 説明：

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

- 現在、ビデオエンハンスメントではカラーエンハンスメント、ディテールエンハンスメント、超解像度、SDRTOHDRをサポートしています。その他の機能も順次リリース中です。
- ビデオエンハンスメントの入力ビデオの長さは30分以内とします。

- テンプレート名：長さは64文字以下とし、中国語、英語、数字、アンダーバー「_」、ハイフン「-」、「*」のみサポートします。
- カラーエンハンスメント：システム自動分析によるカラーの最適化またはカラーエンハンスメントパラメータのカスタマイズを選択できます。
- ディテールエンハンスメント：システム自動分析によるディテールエンハンスメントまたはディテールエンハンスメントパラメータのカスタマイズを選択できます。

7. **OK**をクリックしてテンプレートの作成を完了します。
   作成に成功すると、新しく作成したテンプレートに対し、カスタムテンプレートリストで**テンプレート情報の表示**、**編集**、**削除**の操作を行うことができるようになります。

説明：
これ以降、ビデオエンハンスメントタスクの作成またはワークフローの作成時にこのテンプレートを適用できます。

画像処理

画像処理は、Tencent CloudのCloud Infiniteが提供する、機能が豊富で低コストかつ信頼性の高い画像処理サービスです。画像処理では、画像の回転・切り抜き、トランスコーディング、拡大縮小といったフレキシブルな画像編集をサポートしています。また、Guetzli圧縮、TPGトランスコーディング、HEIFトランスコーディングなどの画像スリム化ソリューション、画像やテキストウォーターマーク、独自のブラインドウォーターマークといった著作権保護ソリューションを提供し、さまざまなビジネスシーンの画像ニーズに対応しています。

操作手順

1. COSコンソールにログインします。

2. 左側ナビゲーションバーで**バケットリスト**をクリックし、バケットリスト管理ページに進みます。

3. ビデオを保存したいバケットを見つけ、そのバケット名をクリックし、バケット管理ページに進みます。

4. 左側ナビゲーションバーで、**データワークフロー > 共通設定 > テンプレート**をクリックし、テンプレート設定ページに進みます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

5. **画像処理**を選択し、**画像処理テンプレートの作成**をクリックすると、画像処理テンプレート作成ウィンドウがポップアップします。

6. 画像処理テンプレート作成ウィンドウで、以下の情報を設定します。

- テンプレート名：長さは64文字以下とし、中国語、英語、数字、アンダーバー「_」、ハイフン「-」、「*」のみサポートします。
- 編集モード：ベーシック版と拡張版から選択できます。拡張版では画面再構成および修正機能がさらに強化されています。
- 基本処理：出力するターゲット解像度を選択できます。
- テキストウォーターマーク：有効にすると、画像に単一またはタイリングウォーターマークを追加できます
- 画像ウォーターマーク：有効にすると、画像の指定の位置に動的または静的ウォーターマークを追加できます
- プレビュー：処理の効果をプレビューできます

7. **OK**をクリックしてテンプレートの作成を完了します。
作成に成功すると、新しく作成したテンプレートに対し、カスタムテンプレートリストで**テンプレート情報の表示**、**編集**、**削除**の操作を行うことができるようになります。

> 説明：
> これ以降、画像処理タスクの作成またはワークフローの作成時にこのテンプレートを適用できます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

アプリ統合
TDSQL-Cデータバックアップ

最終更新日：：2023-04-27 16:01:33

概要

TDSQL-C MySQLデータバックアップは、Tencent CloudのCloud Object Storage(COS)が提供するServerless Cloud Function（SCF）をベースにしてユーザーに提供するデータベースバックアップ機能です。ユーザーがTDSQL-C MySQLクラウドデータベースのバックアップファイルをオブジェクトストレージにダンプして永続的に保存できるように支援し、データの消失や破損を防ぐことができます。ユーザーが指定されたバケットにバックアップ関数ルールを設定すると、SCFはTDSQL-C MySQLのバックアップファイルを定期的にスキャンし、ファイルをバケットにダンプします。

注意事項

- TDSQL-C MySQLデータバックアップ関数は、Tencent CloudのTDSQL-C MySQLデータベースのbinlogバックアップファイルをバックアップします。TDSQL-C MySQLデータベースのbinlog定期バックアップを有効化したことがない場合、バックアップ関数を実行することはできません。Tencent CloudのTDSQL-C MySQLデータベースバックアップのその他の情報については、TDSQL-C MySQLバックアップとロールバックの概要をご参照ください。
- 論理バックアップおよびスナップショットバックアップは、現時点ではこの機能によるCOSへのバックアップをサポートしていません。
- 以前にCOSコンソールでバケットにTDSQL-C MySQLデータバックアップルールを追加したことがある場合は、SCFコンソールで、作成したTDSQL-C MySQLデータバックアップ関数を確認することができます。この関数を削除すると、ルールが有効にならない場合がありますので削除**しないで**ください。
- TDSQL-C MySQLデータバックアップは、広州、上海、北京、成都、中国香港、シンガポール、シリコンバレーなどのリージョンでサポートされています。その他のサポートリージョンについては、TDSQL-C MySQLリージョンドキュメントをご参照ください。

操作手順

アプリケーション統合でのバックアップの設定

1. COSコンソールにログインします。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

2. 左側ナビゲーションで**アプリケーション統合 > データバックアップ**をクリックし、**TDSQL-C MySQLのバックアップ**を見つけます。
3. **バックアップルールの設定**をクリックし、ルール設定ページに進みます。
4. **関数の追加**をクリックします。

> 注意：
> SCFサービスをアクティブ化していない場合は、SCFコンソールに移動してSCFサービスをアクティブ化し、プロンプトに従ってサービス権限承認を行えば完了です。

5. ポップアップしたウィンドウで、以下の情報を設定します。

- **関数名**：関数の一意の識別名として、作成後に変更することはできません。SCFコンソールでこの関数を確認できます。
- **関連バケット**：TDSQL-C MySQLバックアップファイルを格納するバケットです。

> 注意：
> バックアップ対象のTDSQL-C MySQLデータの所在リージョンは、関連バケットの所属リージョンと同一である必要があります。

- **トリガーサイクル**：TDSQL-C MySQLデータのバックアップ関数は、時限式トリガーでバックアップ・ダンプ操作をトリガーします。トリガーサイクルは、日次・週次・カスタムサイクルに対応します。
- **Cron表現**：トリガーサイクルがカスタムに設定されている場合、Cronを使用して具体的なトリガーサイクルルールを指定することができます。Cronは現在、現地標準時で実行されています。詳細な設定ポリシーについては、Cron関連ドキュメントをご参照ください。
- **データベースインスタンス**：現在のバケットがあるリージョンのTDSQL-C MySQLデータベースインスタンスのリストです。
- **配布パス**：バックアップファイルの配布パスのプレフィックスは、入力しないとデフォルトでバケットルートパスに保存されます。
- **SCF権限承認**：TDSQL-C MySQLデータのバックアップには、SCFがお客様のTDSQL-C MySQLバックアップからデータベースインスタンスとそのバックアップファイルを読み取り、お客様が指定したバケットにダンプするための権限承認が必要です。そのため、この権限承認を追加する必要があります。

6. 設定を追加して**確定**をクリックすると、関数が追加されたことを確認できます。
新規作成した関数に対しては、次のような操作が可能です。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

- **ログ**をクリックして、TDSQL-C MySQLデータのバックアップ履歴を確認します。バックアップでエラーが発生した場合は、**ログ**をクリックしてSCFコンソールにすばやくジャンプし、ログエラーの詳細を確認することもできます。
- **その他 > 編集**をクリックして、TDSQL-C MySQLデータのバックアップルールを変更します。
- **その他 > 削除**をクリックして、使用しないTDSQL-C MySQLデータのバックアップルールを削除します。

バケット設定項目でのバックアップの設定

1. COSコンソールにログインします。
2. 左側ナビゲーションバーで**バケットリスト**を選択し、TDSQL-C MySQLデータのバックアップを設定する必要のあるバケットをクリックし、バケット管理ページに進みます。
3. 左側の**関数の計算**をクリックし、**TDSQL-C MySQLバックアップ関数**設定項目を見つけます。

> 注意：
> SCFサービスをアクティブ化していない場合は、SCFコンソールに移動してSCFサービスをアクティブ化し、プロンプトに従ってサービス権限承認を行えば完了です。

4. **関数の追加**をクリックします。
5. ポップアップしたウィンドウで、以下の情報を設定します。

- **関数名**：関数の一意の識別名として、作成後に変更することはできません。SCFコンソールでこの関数を確認できます。
- **トリガーサイクル**：TDSQL-C MySQLデータのバックアップ関数は、時限式トリガーでバックアップ・ダンプ操作をトリガーします。トリガーサイクルは、日次・週次・カスタムサイクルに対応します。
- **Cron式**：トリガーサイクルがカスタムに設定されている場合、Cronを使用して具体的なトリガーサイクルルールを指定することができます。Cronは現在、北京時間であるUTC+8中国標準時（China Standard Time）で実行されています。詳細な設定ポリシーについては、Cron関連ドキュメントをご参照ください。
- **データベースインスタンス**：現在のバケットがあるリージョンのTDSQL-C MySQLデータベースインスタンスのリストです。
- **配布パス**：バックアップファイルの配布パスのプレフィックスは、入力しないとデフォルトでバケットルートパスに保存されます。
- **SCF権限承認**：TDSQL-C MySQLデータのバックアップには、SCFがお客様のTDSQL-C MySQLバックアップからデータベースインスタンスとそのバックアップファイルを読み取り、お客様が指定したバケットにダンプするための権限承認が必要です。そのため、この権限承認を追加する必要があります。

6. 設定を追加して**確定**をクリックすると、関数が追加されたことを確認できます。
新規作成した関数に対しては、次のような操作が可能です。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

- **ログ**をクリックして、TDSQL-C MySQLデータのバックアップ履歴を確認します。バックアップでエラーが発生した場合は、**ログ**をクリックしてSCFコンソールにすばやくジャンプし、ログエラーの詳細を確認することもできます。
- **その他 > 編集**をクリックして、TDSQL-C MySQLデータのバックアップルールを変更します。
- **その他 > 削除**をクリックして、使用しないTDSQL-C MySQLデータのバックアップルールを削除します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

MySQLデータのバックアップ

最終更新日：：2023-01-29 14:40:11

概要

MySQLデータのバックアップは、Tencent CloudのCloud Object Storage(COS)が提供するServerless Cloud Function（SCF）をベースにしたデータベースバックアップ機能です。ユーザーがMySQLクラウドデータベースのバックアップファイルをオブジェクトストレージにダンプして永続的に保存できるように支援し、データの損失や破損を防ぐことができます。ユーザーが指定したバケットにバックアップ関数ルールを設定すると、SCFはMySQLのバックアップファイルを定期的にスキャンし、ファイルをバケットにダンプします。

注意事項

- MySQLデータのバックアップ関数は、Tencent CloudのMySQLデータベースのバックアップファイルをバックアップします。MySQLデータベースのバックアップを有効化したことがない場合、バックアップ関数を実行することはできません。Tencent CloudのMySQLデータベースバックアップの詳細については、MySQLバックアップデータベースをご参照ください。
- 以前にCOSコンソールでバケットにMySQLデータのバックアップルールを追加したことがある場合は、SCFコンソールで、作成したMySQLデータのバックアップ関数を確認することができます。この関数を削除すると、ルールが有効にならない場合がありますので削除**しないで**ください。
- MySQLデータのバックアップは、広州、上海、北京、成都、中国香港、シンガポール、ムンバイ、トロント、シリコンバレーなど、SCFがリリースされているすべてのリージョンでサポートされています。その他のサポートリージョンについては、SCF製品ドキュメントをご参照ください。

操作手順

アプリケーション統合でのバックアップの設定

1. COSコンソールにログインします。
2. 左側ナビゲーションで**アプリケーション統合 > データバックアップ**をクリックし、**MySQLのバックアップ**を見つけます。
3. **バックアップルールの設定**をクリックし、ルール設定ページに進みます。
4. **関数の追加**をクリックします。

> 注意：

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

SCFサービスをアクティブ化していない場合は、SCFコンソールに移動してSCFサービスをアクティブ化し、プロンプトに従ってサービス権限承認を行えば完了です。

5. ポップアップしたウィンドウで、以下の情報を設定します。

- **関数名**：関数の一意の識別名として、作成後に変更することはできません。SCFコンソールでこの関数を確認できます。
- **関連バケット**：MySQLバックアップファイルを格納するバケットです。

注意：
バックアップ対象のMySQLデータの所在リージョンは、関連バケットの所属リージョンと同一である必要があります。

- **トリガーサイクル**：MySQLデータのバックアップ関数は、時限式トリガーでバックアップ・ダンプ操作をトリガーします。トリガーサイクルは、日次・週次・カスタムサイクルに対応します。
- **Cron表現**：トリガーサイクルがカスタムに設定されている場合、Cronを使用して具体的なトリガーサイクルルールを指定することができます。Cronは現在、現地標準時で実行されています。詳細な設定ポリシーについては、Cron関連ドキュメントをご参照ください。
- **データベースインスタンス**：現在のバケットがあるリージョンのMySQLデータベースインスタンスのリストです。
- **配布パス**：バックアップファイルの配布パスのプレフィックスは、入力しないとデフォルトでバケットルートパスに保存されます。
- **SCF権限承認**：MySQLデータのバックアップには、SCFがお客様のMySQLバックアップからデータベースインスタンスとそのバックアップファイルを読み取り、お客様が指定したバケットにダンプするための権限承認が必要です。そのため、この権限承認を追加する必要があります。

6. 設定を追加して**確定**をクリックすると、関数が追加されたことを確認できます。
新規作成した関数に対しては、次のような操作が可能です。

- **ログ**をクリックして、MySQLデータのバックアップ履歴を確認します。バックアップでエラーが発生した場合は、**ログ**をクリックしてSCFコンソールにすばやくジャンプし、ログエラーの詳細を確認することもできます。
- **その他 > 編集**をクリックして、MySQLデータのバックアップルールを変更します。
- **その他 > 削除**をクリックして、使用しないMySQLデータのバックアップルールを削除します。

バケット設定項目でのバックアップの設定

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

1. COSコンソールにログインします。
2. 左側ナビゲーションバーで**バケットリスト**を選択し、MySQLデータのバックアップを設定する必要のあるバケットをクリックし、バケット管理ページに進みます。
3. 左側の**関数の計算**をクリックし、**MySQLバックアップ関数**設定項目を見つけます。

> 注意：
> SCFサービスをアクティブ化していない場合は、SCFコンソールに移動してSCFサービスをアクティブ化し、プロンプトに従ってサービス権限承認を行えば完了です。

4. **関数の追加**をクリックします。
5. ポップアップしたウィンドウで、以下の情報を設定します。

- **関数名**：関数の一意の識別名として、作成後に変更することはできません。SCFコンソールでこの関数を確認できます。
- **トリガーサイクル**：MySQLデータのバックアップ関数は、時限式トリガーでバックアップ・ダンプ操作をトリガーします。トリガーサイクルは、日次・週次・カスタムサイクルに対応します。
- **Cron式**：トリガーサイクルがカスタムに設定されている場合、Cronを使用して具体的なトリガーサイクルルールを指定することができます。Cronは現在、北京時間であるUTC+8中国標準時（China Standard Time）で実行されています。詳細な設定ポリシーについては、Cron関連ドキュメントをご参照ください。
- **データベースインスタンス**：現在のバケットがあるリージョンのMySQLデータベースインスタンスのリストです。
- **配布パス**：バックアップファイルの配布パスのプレフィックスは、入力しないとデフォルトでバケットルートパスに保存されます。
- **SCF権限承認**：MySQLデータのバックアップには、SCFがお客様のMySQLバックアップからデータベースインスタンスとそのバックアップファイルを読み取り、お客様が指定したバケットにダンプするための権限承認が必要です。そのため、この権限承認を追加する必要があります。

6. 設定を追加して**確定**をクリックすると、関数が追加されたことを確認できます。
   新規作成した関数に対しては、次のような操作が可能です。

- **ログ**をクリックして、MySQLデータのバックアップ履歴を確認します。バックアップでエラーが発生した場合は、**ログ**をクリックしてSCFコンソールにすばやくジャンプし、ログエラーの詳細を確認することもできます。
- **その他 > 編集**をクリックして、MySQLデータのバックアップルールを変更します。
- **その他 > 削除**をクリックして、使用しないMySQLデータのバックアップルールを削除します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

MongoDBデータのバックアップ

最終更新日：：2022-12-28 15:09:00

概要

MongoDBデータのバックアップは、Tencent CloudのCloud Object Storage(COS)が提供するServerless Cloud Function（SCF）をベースにしたデータベースバックアップ機能です。ユーザーがMongoDBクラウドデータベースのバックアップファイルをオブジェクトストレージにダンプして永続的に保存できるように支援し、データの損失や破損を防ぐことができます。ユーザーが指定したバケットにバックアップ関数ルールを設定すると、SCFはMongoDBのバックアップファイルを定期的にスキャンして、ファイルをバケットにダンプします。

注意事項

- MongoDBデータのバックアップ関数は、Tencent CloudのMySQLデータベースのバックアップファイルをバックアップします。MongoDBデータベースのバックアップを有効化したことがない場合、バックアップ関数を実行することはできません。Tencent CloudのMongoDBデータベースバックアップの詳細については、TencentDB for MongoDBのバックアップをご参照ください。
- 以前にCOSコンソールでバケットにMongoDBデータのバックアップルールを追加したことがある場合は、SCFコンソールで、作成したMongoDBデータのバックアップ関数を確認できます。この関数を削除すると、ルールが有効にならない場合がありますので削除**しないで**ください。
- MongoDBデータのバックアップは、広州、上海、北京、成都、中国香港、シンガポール、ムンバイ、トロント、シリコンバレーなど、SCFがリリースされているすべてのリージョンでサポートされています。サポートされているリージョンについては、SCF製品ドキュメントをご参照ください。

操作手順

1. COSコンソールにログインします。
2. 左側ナビゲーションで**アプリケーション統合 > データバックアップ**をクリックし、**MongoDBデータのバックアップ**を見つけます。
3. **バックアップルールの設定**をクリックし、ルール設定ページに進みます。
4. **関数の追加**をクリックします。

> 注意：

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

> SCFサービスをアクティブ化していない場合は、SCFコンソールに移動してSCFサービスをアクティブ化し、プロンプトに従ってサービス権限承認を行えば完了です。

5. ポップアップしたウィンドウで、以下の情報を設定します。

- **関数名**：関数の一意の識別名として、作成後に変更することはできません。SCFコンソールでこの関数を確認できます。
- **関連バケット**：MongoDBバックアップファイルを格納するバケットです。
- **トリガーサイクル**：MongoDBデータのバックアップ関数は、時限式トリガーでバックアップ・ダンプ操作をトリガーします。トリガーサイクルは、日次・週次・カスタムサイクルに対応します。
- **Cron表現**：トリガーサイクルがカスタムに設定されている場合、Cronを使用して具体的なトリガーサイクルルールを指定することができます。Cronは現在、現地標準時で実行されています。詳細な設定ポリシーについては、Cron関連ドキュメントをご参照ください。
- **データベースインスタンス**：現在のバケットがあるリージョンのMongoDBデータベースインスタンスのリストです。
- **配布パス**：バックアップファイルの配布パスのプレフィックスは、入力しないとデフォルトでバケットルートパスに保存されます。
- **SCF権限承認**：MongoDBデータベースのバックアップには、SCFがお客様のMongoDBバックアップからデータベースインスタンスとそのバックアップファイルを読み取り、お客様が指定したバケットにダンプするための権限承認が必要です。そのため、この権限承認を追加する必要があります。

6. 設定を追加して**確定**をクリックすると、関数が追加されたことを確認できます。
新規作成した関数に対しては、次のような操作が可能です。

- **ログ**をクリッして、MongoDBデータのバックアップ履歴を確認します。バックアップでエラーが発生した場合は、**ログ**をクリックしてSCFコンソールにすばやくジャンプし、ログエラーの詳細を確認することもできます。
- **その他 > 編集**をクリックして、MongoDBデータのバックアップルールを変更します。
- **その他 > 削除**をクリックして、使用しないMongoDBデータのバックアップルールを削除します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

SQL Serverデータのバックアップ

最終更新日：：2023-05-19 15:23:54

概要

SQL Serverデータのバックアップは、Tencent CloudのCloud Object Storage(COS)が提供するServerless Cloud Function（SCF）をベースとしたデータベースバックアップ機能です。ユーザーがSQL Serverクラウドデータベースのバックアップファイルをオブジェクトストレージにダンプして永続的に保存できるように支援し、データの損失や破損を防ぐことができます。ユーザーが指定したバケットにバックアップ関数ルールを設定すると、SCFはユーザーServerのバックアップファイルを定期的にスキャンして、ファイルをバケットにダンプします。

注意事項

- SQL Serverデータのバックアップ関数は、Tencent CloudのSQL Serverデータベースのバックアップファイルをバックアップします。SQL Serverデータベースのバックアップを有効化したことがない場合、バックアップ関数を実行することはできません。
- 以前にCOSコンソールでバケットにSQL Serverデータのバックアップルールを追加したことがある場合は、SCFコンソールで、作成したSQL Serverデータのバックアップ関数を確認できます。この関数を削除すると、ルールが有効にならない場合がありますので削除**しないで**ください。
- SQL Serverデータのバックアップは、広州、上海、北京、成都、中国香港、シンガポール、ムンバイ、トロント、シリコンバレーなど、SCFがリリースされているすべてのリージョンでサポートされています。サポートされているリージョンについては、SCF製品ドキュメントをご参照ください。

操作手順

1. COSコンソールにログインします。

2. 左側ナビゲーションで**アプリケーション統合 > データバックアップ**をクリックし、アプリケーション統合の管理ページに進みます。

3. **SQL Serverデータのバックアップ**を見つけて**バックアップルールの設定**をクリックし、ルール設定ページに進みます。

4. **関数の追加**をクリックします。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

注意：
SCFサービスをアクティブ化していない場合は、SCFコンソールに移動してSCFサービスをアクティブ化し、プロンプトに従ってサービス権限承認を行えば完了です。

5. ポップアップしたウィンドウで、以下の情報を設定します。

関数名	関数の一意の識別名として、作成後に変更することはできません。SCFコンソール でこの関数を確認できます。
関連バケット	SQL Serverバックアップファイルを格納するバケットです。
トリガーサイクル	SQL Serverデータのバックアップ関数は、時限式トリガーでバックアップ・ダンプ操作をトリガーします。トリガーサイクルは、日次・週次・カスタムサイクルに対応します。
Cron表現	トリガーサイクルがカスタムに設定されている場合、Cronを使用して具体的なトリガーサイクルルールを指定することができます。Cronは現在、現地標準時で実行されています。詳細な設定ポリシーについては、 Cron関連ドキュメントをご参照ください。
データベースインスタンス	現在のバケットがあるリージョンのSQL Serverデータベースインスタンスのリストです。
配布パス	バックアップファイルの配布パスのプレフィックスは、入力しないとデフォルトでバケットルートパスに保存されます。
SCF権限承認	SQL Serverデータベースのバックアップには、SCFがお客様のSQL Serverバックアップからデータベースインスタンスとそのバックアップファイルを読み取り、お客様が指定したバケットにダンプするための権限承認が必要です。そのため、この権限承認を追加する必要があります。

6. 設定を追加して**確定**をクリックすると、関数が追加されたことを確認できます。
新規作成した関数に対しては、次のような操作が可能です。

- **ログ**をクリックして、SQL Serverデータのバックアップ履歴を確認します。バックアップでエラーが発生した場合は、**ログ**をクリックしてSCFコンソールにすばやくジャンプし、ログエラーの詳細を確認することもできます。
- **その他 > 編集**をクリックして、SQL Serverデータのバックアップルールを変更します。
- **その他 > 削除**をクリックして、使用しないSQL Serverデータのバックアップルールを削除します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

CKafkaメッセージのバックアップ

最終更新日：：2022-12-20 15:33:48

概要

Ckafkaメッセージのバックアップは、Tencent CloudのCloud Object Storage(COS)がServerless Cloud Function（SCF） をベースとしてユーザーに提供する、CkafkaメッセージをCOSにダンプする機能です。ユーザーがCkafkaメッセージをダンプすることを支援し、データの分析やダウンロードなどの操作を行いやすくします。

Ckafkaは、オープンソースのApache Kafkaメッセージキューエンジンをベースとして、高いスループット性能と拡張性を備えたメッセージキューサービスを提供します。詳細については、Ckafka製品概要をご参照ください。

ユーザーが指定したバケットにバックアップ関数ルールを設定すると、CKafkaインスタンスがメッセージを生成する際に、SCFは所定の時間粒度に従ってメッセージを取得し、COSバケットにダンプします。

注意事項

- 以前にCOSコンソールでバケットにCKafkaメッセージのバックアップルールを追加したことがある場合は、SCFコンソールで、作成したCKafkaメッセージバックアップ関数を確認できます。この関数を削除すると、ルールが有効にならない場合がありますので削除**しないで**ください。
- COSへのCKafkaメッセージのバックアップは、広州、上海、中国香港、北京、成都、シンガポール、ムンバイ、トロント、シリコンバレーなど、SCFがリリースされているすべてのリージョンでサポートされています。その他のサポートされているリージョンについては、SCF製品ドキュメントをご参照ください。

操作手順

1. COSコンソールにログインします。
2. 左側ナビゲーションで**アプリケーション統合 > データのバックアップ**をクリックし、**Ckafkaメッセージのバックアップ**を見つけます。
3. **バックアップルールの設定**をクリックし、ルール設定ページに進みます。
4. **関数の追加**をクリックします。

> 注意：
> SCFサービスをアクティブ化していない場合は、SCFコンソールに移動してSCFサービスをアクティブ化し、プロンプトに従ってサービス権限承認を行えば完了です。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

5. ポップアップしたウィンドウで、以下の情報を設定します。

- **関数名**：関数の一意の識別名として、作成後に変更することはできません。SCFコンソールでこの関数を確認できます。
- **関連バケット**：Ckafkaメッセージを格納するCOSバケットです。
- **時間粒度**：メッセージを収集する時間間隔は、メッセージ量のサイズに応じて5〜15分の範囲で選択されます。ダンプ性能を確保するため、集約されるファイル数はPartition数、partition_maxの設定値に関連します。Partitionの説明については、パーティションをご参照ください。
- **SCF権限承認**：CKafkaメッセージのバックアップには、お客様のCKafkaサービスから関連するインスタンスメッセージを読み取り、お客様が指定したバケットにダンプするための権限承認が必要です。そのため、この権限承認を追加する必要があります。

6. **次のステップ**をクリックし、Ckafkaを設定します。設定項目の説明は次のとおりです。

- **インスタンス選択**：メッセージソースのCkafkaインスタンスを選択します。同じリージョンのCkafkaインスタンスのみをサポートしています。
- **トピックの選択**：メッセージソースのトピックを選択します。
- **開始位置**：メッセージダンプをバックアップする際のメッセージ履歴の処理方法とtopic offsetの設定です。
- **アクセスアドレス**：VPCプライベートネットワークへアクセスするアドレスである必要があります。Classic networkのCKafkaインスタンスにルーティングポリシーを追加してください。詳細については、ルーティングポリシーの追加をご参照ください。

> 注意：
> 対応するVPCサブネットに使用できるIPが必要で、DHCPがサポートされている必要があります。

7. **次のステップ**をクリックし、配信の設定を行います。設定項目の説明は次のとおりです。

配布パス：バックアップファイルの配布パスのプレフィックスは、入力しないとデフォルトでバケットルートパスに保存されます。指定するプレフィックスは、スラッシュ/で終わる必要があります。
8. 設定を追加して**確定**をクリックすると、関数が追加されたことを確認できます。
新規作成した関数に対しては、次のような操作が可能です。

- **ログ**をクリックして、Ckafkaメッセージのバックアップ履歴を確認します。バックアップでエラーが発生した場合は、**ログ**をクリックしてSCFコンソールにすばやくジャンプし、ログエラーの詳細を確認することもできます。
- **その他 > 編集**をクリックして、Ckafkaメッセージのバックアップルールを変更します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

- **その他 > 削除**をクリックして、使用しないCkafkaメッセージのバックアップルールを削除します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

TDMQ情報のバックアップ

最終更新日：：2022-12-20 15:33:48

概要

TDMQメッセージのバックアップは、Tencent CloudのCloud Object Storage(COS)がServerless Cloud Function（SCF） をベースとしてユーザーに提供する、TDMQメッセージをCOSにダンプする機能です。ユーザーがTDMQメッセージをダンプすることを支援し、データの分析やダウンロードなどの操作を行いやすくします。

TDMQは、Apache オープンソースプロジェクト Pulsar をベースとして自社開発された金融グレードの分散型メッセージングミドルウェアで、都市間での高い一貫性、信頼性および同時実行性という特徴を持っています。詳細については、 TDMQ製品概要をご参照ください。

ユーザーが指定したバケットにバックアップ関数ルールを設定すると、TDMQがメッセージを生成する際に、SCFは所定の時間粒度に従ってメッセージを取得し、COSバケットにダンプします。

注意事項

- 以前にCOSコンソールでバケットにTDMQメッセージのバックアップルールを追加したことがある場合は、SCFコンソールで、作成したTDMQメッセージバックアップ関数を確認できます。この関数を削除すると、ルールが有効にならない場合がありますので削除**しないで**ください。
- 現在、COSへのTDMQメッセージのバックアップは、広州、上海、中国香港、北京、成都、シンガポール、シリコンバレーといったリージョンをサポートしています。

操作手順

1. COSコンソールにログインします。
2. 左側ナビゲーションで**アプリケーション統合 > データバックアップ**をクリックし、**TDMQメッセージのバックアップ**を見つけます。
3. **バックアップルールの設定**をクリックし、ルール設定ページに進みます。
4. **関数の追加**をクリックします。

> 注意：
> SCFサービスをアクティブ化していない場合は、SCFコンソールに移動してSCFサービスをアクティブ化し、プロンプトに従ってサービス権限承認を行えば完了です。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

5. ポップアップしたウィンドウで、以下の情報を設定します。

- **関数名**：関数の一意の識別名として、作成後に変更することはできません。SCFコンソールでこの関数を確認できます。
- **関連バケット**：TDMQメッセージを格納するCOSバケットです。
- **時間粒度**：メッセージを収集する時間間隔は、メッセージ量のサイズに応じて5〜15分の範囲で選択されます。1つのメッセージファイルは最大500MBに制限され、最大で5000個のメッセージを含めることができます。
- **SCF権限承認**：TDMQメッセージのバックアップには、お客様のTDMQサービスから関連するメッセージを読み取り、お客様が指定したバケットにダンプするための権限承認が必要です。そのため、この権限承認を追加する必要があります。

6. **次のステップ**をクリックし、TDMQ設定を行います。設定項目の説明は次のとおりです。

- **クラスター選択**：メッセージソースのTDMQクラスターを選択します。同じリージョンのTDMQクラスターのみをサポートしています。
- **ネームスペース**：クラスター内のネームスペースを選択します。
- **トピックの選択**：メッセージソースのトピックを選択します。
- **サブスクリプション選択**：対応するテーマを選択して購読します。現在のサブスクリプションがニーズに適合しない場合は、 TDMQコンソール に進んで新規購読できます。
- **開始位置**：履歴メッセージの開始位置です。
- **ロール選択**：TDMQのロールを選択します。TDMQの「ロール」とは、TDMQ独自の概念であり、Tencent Cloudの「ロール」とは異なり、ユーザーがTDMQ内で権限を分割するための最小単位です。ユーザーは複数のロールを追加し、異なるネームスペースに対して生成権限と消費権限を割り当てることができます。
- **ロールキー**：TDMQのロールキーを選択します。TDMQの「キー」は認証ツールであり、ユーザーはクライアントにキーを追加することで、TDMQにアクセスしてメッセージの生成と消費を行うことができます。キーはロールに逐一対応しており、各ロールには対応する一意のキーがあります。
- **アクセスアドレス**：VPCプライベートネットワークアクセスアドレスである必要があります。TDMQクラスターはVPCにアクセスする必要があります。詳細については、 VPC アクセスをご参照ください。

> 注意：
> 対応するVPCサブネットに使用できるIPが必要で、DHCPがサポートされている必要があります。

7. **次のステップ**をクリックし、配信の設定を行います。設定項目の説明は次のとおりです。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

配布パス：バックアップファイルの配布パスのプレフィックスは、入力しないとデフォルトでバケットルートパスに保存されます。指定するプレフィックスは、スラッシュ `/` で終わる必要があります。
8. 設定を追加して**確定**をクリックすると、関数が追加されたことを確認できます。
新規作成した関数に対しては、次のような操作が可能です。

- **ログ**をクリックして、TDMQメッセージのバックアップ履歴を確認します。バックアップでエラーが発生した場合は、**ログ**をクリックしてSCFコンソールにすばやくジャンプし、ログエラーの詳細を確認することもできます。
- **その他 > 編集** をクリックして、TDMQメッセージのバックアップルールを変更します。
- **その他 > 削除**をクリックして、使用しないTDMQメッセージのバックアップルールを削除します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

Redisデータのバックアップ

最終更新日：：2022-12-20 15:33:48

概要

Redisデータのバックアップは、Tencent CloudのCloud Object Storage(COS)がServerless Cloud Function（SCF）をベースにしてユーザーに提供するデータベースバックアップ機能です。ユーザーがRedisクラウドデータベースのバックアップファイルをオブジェクトストレージにダンプし、永続的に保存できるように支援することで、データの消失や破損を防ぎます。ユーザーが指定されたバケットにバックアップ関数ルールを設定すると、SCFはRedisのバックアップファイルを定期的にスキャンして、ファイルをバケットにダンプします。

注意事項

- Redisデータのバックアップ関数は、Tencent CloudのRedisデータベースのバックアップファイルをバックアップします。Redisデータベースのバックアップを有効化したことがない場合、バックアップ関数を実行することはできません。Tencent CloudのRedisデータベースのバックアップの詳細については、TencentDB for Redisのバックアップをご参照ください。
- 以前にCOSコンソールでバケットにRedisデータのバックアップルールを追加したことがある場合は、SCFコンソールで、作成したRedisデータのバックアップ関数を確認できます。この関数を削除すると、ルールが有効にならない場合がありますので削除**しないで**ください。
- Redisデータのバックアップは、広州、上海、北京、成都、中国香港、シンガポール、ムンバイ、トロント、シリコンバレーなどのSCFがリリースされているすべてのリージョンでサポートされています。その他のサポートリージョンについては、SCF製品ドキュメントをご参照ください。

操作手順

1. COSコンソールにログインします。
2. 左側ナビゲーションで**アプリケーション統合 > データバックアップ**をクリックし、アプリケーション統合の管理ページに進みます。
3. **Redisデータのバックアップ**を見つけて**バックアップルールの設定**をクリックし、ルール設定ページに進みます。
4. **関数の追加**をクリックします。

> 注意：

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

SCFサービスをアクティブ化していない場合は、SCFコンソールに移動してSCFサービスをアクティブ化し、プロンプトに従ってサービス権限承認を行えば完了です。

5. ポップアップしたウィンドウで、以下の情報を設定します。

- **関数名**：関数の一意の識別名として、作成後に変更することはできません。SCFコンソールでこの関数を確認できます。
- **関連バケット**：Redisバックアップファイルを格納するバケットです。
- **トリガーサイクル**：Redisデータのバックアップ関数は、時限式トリガーでバックアップ・ダンプ操作をトリガーします。トリガーサイクルは、日次・週次・カスタムサイクルに対応します。
- **Cron表現**：トリガーサイクルがカスタムに設定されている場合、Cronを使用して具体的なトリガーサイクルルールを指定することができます。現在、Cronは現地標準時（Local Standard Time）で実行されています。設定ポリシーの詳細については、 Cron関連ドキュメントをご参照ください。
- **データベースインスタンス**：現在のバケットがあるリージョンのRedisデータベースインスタンスのリストです。
- **配布パス**：バックアップファイルの配布パスのプレフィックスは、入力しないとデフォルトでバケットルートパスに保存されます。
- **SCF権限承認**：Redisデータベースのバックアップには、SCFがお客様のRedisバックアップからデータベースインスタンスとそのバックアップファイルを読み取り、お客様が指定したバケットにダンプするための権限承認が必要です。そのため、この権限承認を追加する必要があります。

6. 設定を追加して**確定**をクリックすると、関数が追加されたことを確認できます。

新規作成した関数に対しては、次のような操作が可能です。

- **ログ**をクリックして、Redisデータのバックアップ履歴を確認します。バックアップでエラーが発生した場合は、**ログ**をクリックしてSCFコンソールにすばやくジャンプし、ログエラーの詳細を確認することもできます。
- **その他 > 編集**をクリックして、Redisデータのバックアップルールを変更します。
- **その他 > 削除**をクリックして、使用しないRedisデータのバックアップルールを削除します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

CDNログバックアップ

最終更新日：：2022-12-20 15:33:48

概要

ドメイン名でContent Delivery Network（CDN）にアクセスすると、すべてのユーザー側のリソースリクエストがCDNノードにディスパッチされて応答します。ノードがこのリソースをキャッシュしている場合は、コンテンツは直接返されます。どのCDNノードもこのリソースをキャッシュしていない場合は、リクエストはドメイン名が設定されたオリジンサーバーに透過的に送信され、必要なリソースをプルします。

CDNノードは大部分のユーザーリクエストに応答することから、クライアントがユーザーアクセスを分析しやすいよう、ネットワーク全体のアクセスログを1時間ごとの粒度でパッケージ化します。

CDNログのバックアップは、Tencent CloudのCloud Object Storage(COS)がServerless Cloud Function（SCF）をベースとしてユーザーに提供する、CDNログをCOSにダンプする機能です。ユーザーがCDNログをダンプすることを支援し、アクセス行為の分析やサービス品質のモニタリングなどを行いやすくします。

ユーザーが指定したバケットにログのバックアップルールを設定すると、SCFは所定の時間粒度に従ってCDNログを取得し、COSバケットにダンプします。

注意事項

- 以前にCOSコンソールでバケットにCDNログのバックアップルールを追加したことがある場合は、SCFコンソールで、作成したCDNログバックアップ関数を確認できます。この関数を削除すると、ルールが有効にならない場合がありますので削除**しないで**ください。
- COSへのCDNログのバックアップは、広州、上海、中国香港、北京、成都、シンガポール、ムンバイ、トロント、シリコンバレーなどのSCFがリリースされているすべてのリージョンでサポートされています。その他のサポートされているリージョンについては、SCF製品ドキュメントをご参照ください。

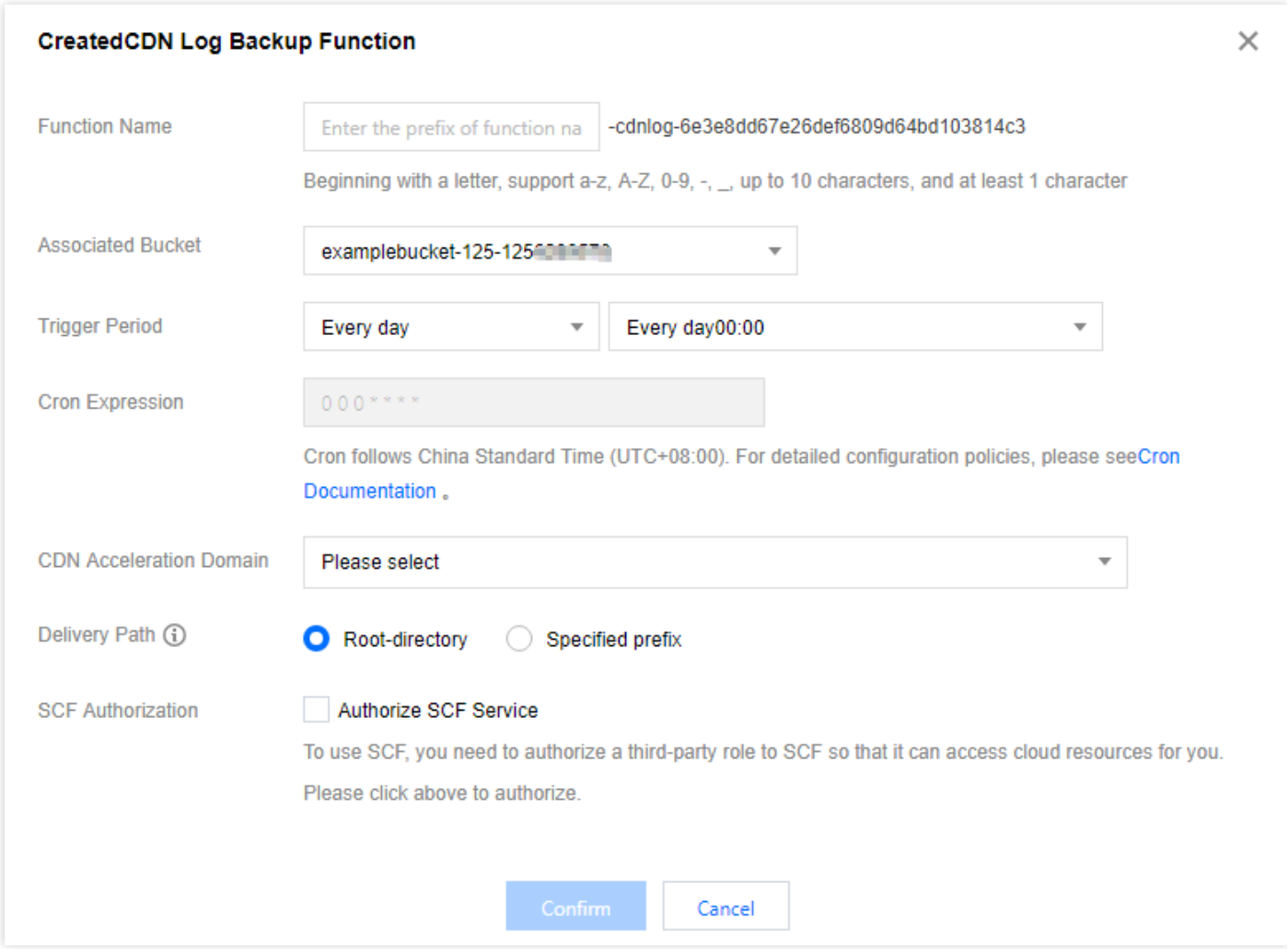
操作手順

1. COSコンソールにログインします。
2. 左側ナビゲーションで**アプリケーション統合 > データのバックアップ**をクリックし、**CDNログのバックアップ**を見つけます。
3. **バックアップルールの設定**をクリックし、ルール設定ページに進みます。
4. **関数の追加**をクリックします。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

注意：
SCFサービスをアクティブ化していない場合は、SCFコンソールに移動してSCFサービスをアクティブ化し、プロンプトに従ってサービス権限承認を行えば完了です。

5. ポップアップしたウィンドウで、以下の情報を設定します。



- **関数名**：関数の一意の識別名として、作成後に変更することはできません。SCFコンソールでこの関数を確認できます。
- **関連バケット**：CDNログを格納するCOSバケットです。
- **トリガーサイクル**：CDNログバックアップは、時限式トリガーでバックアップ・ダンプ操作をトリガーします。トリガーサイクルは、日次・カスタムサイクルに対応します。
- **Cron表現**：トリガーサイクルがカスタムに設定されている場合、Cronを使用して具体的なトリガーサイクルルールを指定することができます。現在、Cronは現地標準時（Local Standard Time）で実行されています。設定ポリシーの詳細については、Cron関連ドキュメントをご参照ください。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

- **CDNドメイン名**：1つまたは複数の指定されたドメイン名のダンプを選択できます。
- **配布パス**：ログファイルを配布するパスで、ルートディレクトリまたは指定されたパスのプレフィックスを選択できます。
- **SCF権限承認**：CDNログのバックアップには、お客様のCDNサービスからログファイルを読み取り、お客様が指定したバケットにダンプするための権限承認が必要です。そのため、この権限承認を追加する必要があります。

6. 設定を追加して**確定**をクリックし、CDNログのバックアップルールが作成されるまで待ちます。作成が完了すると、リストページで作成したCDNログのバックアップルールを確認できます。
   新規作成したCDNログのバックアップルールに対しては、次のような操作が可能です。

- **ログ**をクリックして、CDNログのバックアップ履歴を確認します。バックアップでエラーが発生した場合は、**ログ**をクリックしてSCFコンソールにすばやくジャンプし、ログエラーの詳細を確認することもできます。
- **その他 > 編集**をクリックして、CDNログのバックアップルールを変更します。
- **その他 > 削除**をクリックして、使用しないCDNログのバックアップルールを削除します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

CLSログバックアップ

最終更新日：：2022-12-20 15:33:48

概要

CLSログのバックアップは、Tencent CloudのCloud Object Storage(COS)がServerless Cloud Function（SCF） をベースとしてユーザーに提供する、ログサービス（Cloud Log Service）のログをCOSにダンプする機能です。

ユーザーが指定したバケットにログのバックアップルールを設定すると、SCFは所定の時間粒度に従ってCLSログを取得し、COSバケットにダンプします。

CLSログバックアップは、製品エコシステムのダウンストリームリンクを開き、ログデータをCOSに配信することで、ログバックアップシナリオのニーズをさらに満たし、ログデータの価値を引き出すことができます。ログバックアップは非同期プロシージャで、ログデータが発生すると、SCFはトリガーにより自動的にCOSにデータをバックアップして保存します。

注意事項

- 以前にCOSコンソールでバケットにCLSログのバックアップルールを追加したことがある場合は、SCFコンソールで、作成したCLSログバックアップ関数を確認できます。この関数を削除すると、ルールが有効にならない場合がありますので削除**しないで**ください。
- COSへのCLSログのバックアップは、広州、上海、北京、中国香港、成都、シンガポール、ムンバイ、トロント、シリコンバレーなどのSCFがリリースされているすべてのリージョンでサポートされています。その他のサポートされているリージョンについては、SCF製品ドキュメントをご参照ください。

操作手順

1. COSコンソールにログインします。

2. 左側ナビゲーションで**アプリケーション統合 > データのバックアップ**をクリックし、 **CLSログのバックアップ**を見つけます。

3. **バックアップルールの設定**をクリックし、ルール設定ページに進みます。

4. **関数の追加**をクリックします。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

> 注意：
> SCFサービスをアクティブ化していない場合は、SCFコンソールに移動してSCFサービスをアクティブ化し、プロンプトに従ってサービス権限承認を行えば完了です。

5. ポップアップしたウィンドウで、以下の情報を設定します。
   - **関数名**：関数の一意の識別名として、作成後に変更することはできません。SCFコンソールでこの関数を確認できます。
   - **関連バケット**：CLSログを格納するCOSバケットです。
   - **ログセット**：ログセットは、Cloud Log Serviceのプロジェクト管理単位であり、さまざまなログを区別するために使用されます。メッセージのソースのログセットを選択することができますが、このログセットは関数があるリージョンに存在する必要があります。
   - **ログトピック**：ログトピック(Topic)は、Cloud Log Serviceの基本的な管理単位であり、またCloud Log Serviceトリガーを管理および設定するための最小単位でもあります。1つのログセットに、複数のログトピックを含めることができます。メッセージソースのログトピックを選択することができます。
   - **最大待機時間**：待機時間を設定することで、ログを取得する頻度を制御することができます。3〜300秒の設定に対応しています。最大待機時間を300秒と仮定した場合、SCFはログデータを300秒間収集して、ログファイルに一元的にパッケージ化してバックアップすることを意味します。
   - **SCF権限承認**：CLSログのバックアップには、お客様のCLSサービスからログを読み取り、お客様が指定したバケットにダンプするための権限承認が必要です。そのため、この権限承認を追加する必要があります。

6. **次のステップ**をクリックし、以下の情報を設定します。
   - **圧縮設定**：圧縮後にログをバックアップするかどうかを選択でき、圧縮後、最大128KBまでのログに対応します。現在サポートされている圧縮方法は、gzip、lzop、snappyです。
   - **パーティション形式**：ディレクトリはstrftimeの構文に従って自動的に発行されます。例えば、`%Y/%m/%d/%Y%m%d%H%M` という形式のパーティションでは、2021/06/25/202106252232というディレクトリが発行されます。
   - **ディレクトリプレフィックス**：ログのバックアップパスで、ルートディレクトリまたは指定されたパスプレフィックスへのバックアップを選択できます。
   - **ファイルサンプルの配布**：最終的なバックアップファイルのファイル名の形式は、`{COSバケット}{ディレクトリプレフィックス}{パーティション形式}_{random}.{type}` です。

7. 設定を追加して**確定**をクリックし、CLSログのバックアップルールが作成されるまで待ちます。作成が完了すると、リストページで作成したCLSログのバックアップルールを確認できます。

   新規作成したCLSログのバックアップルールに対しては、次のような操作が可能です。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

- **ログ**をクリックして、CLSログのバックアップ履歴を確認します。バックアップでエラーが発生した場合は、**ログ**をクリックしてSCFコンソールにすばやくジャンプし、ログエラーの詳細を確認することもできます。
- **その他 > 編集**をクリックして、CLSログのバックアップルールを変更します。
- **その他 > 削除**をクリックして、使用しないCLSログのバックアップルールを削除します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

ログ分析関数の追加

最終更新日：：2022-12-20 15:33:48

概要

Cloud Object Storage（COS）ログ分析は、さまざまなシナリオに対してログ分析サービスを提供し、ログファイルからの重要情報のより効率的な抽出を支援します。ここでは、COSログ分析関数を追加する方法についてご説明します。関数を作成したら、ログ分析の設定をご参照のうえ、COSログ分析機能を使用してください。

注意事項

- 以前にCOSコンソールでバケットにCOSログ分析ルールを追加したことがある場合は、SCFコンソールで、作成したCOSログ分析関数を確認できます。このCOSログ分析関数を削除すると、ルールが有効にならない場合がありますので削除**しないで**ください。
- COSログ分析は、広州、上海、北京、成都、中国香港、シンガポール、ムンバイ、トロント、シリコンバレーなどのSCFがリリースされているすべてのリージョンでサポートされています。その他のサポートされているリージョンについては、SCF製品ドキュメントをご参照ください。
- COSログ分析機能は、SCFサービスに依存しており、ユーザーには無料利用枠が提供されていますが、無料利用枠を超える部分については、SCF製品価格に従って課金されます。

操作手順

1. COSコンソールにログインします。
2. 左側ナビゲーションバーで**アプリケーション統合 > 拡張機能**をクリックし、**COSログ分析**を見つけます。
3. **分析機能の設定**をクリックし、COSログ分析の関数ルール設定ページに進みます。
4. ページで関数を追加するリージョンを選択してから**関数の追加**をクリックし、ポップアップウィンドウで以下の情報を設定します。

- **関数名**：関数名は、関数の一意の識別名として、作成後に変更することはできません。SCFコンソールでこの関数を確認できます。
- **関連バケット**：ログ分析機能が設定されたCOSバケットを選択します。

*実行設定**：現在、非同期実行のみをサポートしています。呼び出し後、非同期実行ステータスになり、実行結果は返しませんが、より長い実行時間をサポートします。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

- **認証方法**：現在、SCFのみをサポートしています。
- **SCF承認**：COSログ分析では、SCFがバケットから対応するファイルを読み取り、ログ分析の結果ファイルを指定された場所に保存することを承認する必要があります。そのため、このオプションにチェックを入れて、SCFサービス権限承認を完了する必要があります。

5. 設定が正しいことを確認し、**確定**をクリックすると、関数が追加されたことを確認できます。

   新規作成した関数に対しては、次のような操作が可能です。

- **ログ**をクリックし、COSログ分析関数の履歴を確認します。
- **詳細**をクリックし、COSログ分析関数の具体的な設定ルールを確認します。
- **その他 > 編集**をクリックし、COSログ分析関数ルールを変更します。
- **その他 > 削除**をクリックし、使用しないCOSログ分析関数ルールを削除します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

CKafkaへのデータエクスポート

最終更新日：：2022-08-31 12:30:33

概要

CKafkaへのデータエクスポートは、Tencent CloudのCloud Object Storage（COS）が提供するServerless Cloud Function（SCF）をベースとした、データレイクからデータを抽出するためのソリューションです。ユーザーがCSV、JSON 等のファイル形式のデータを、同じリージョンのTencent Cloud CKafkaサービスにエクスポートすることを支援し、大量のメッセージ、ログデータの集計分析を行います。

注意事項

- CKafkaへのデータエクスポート機能は、COSデータ検索インターフェースに関連しています。制限に関する説明については、Selectの概要をご参照ください。
- 以前にCOSコンソールでバケットにCKafkaへのデータエクスポートルールを追加したことがある場合は、SCFコンソールで、作成したCKafkaへのデータエクスポート関数を確認できます。このCKafkaへのデータエクスポート関数を削除、あるいは変更すると、ルールが有効にならない場合がありますので削除**しないで**ください。
- 現在、CKafkaへのデータエクスポート機能は、広州、上海、北京、成都でのみサポートされています。
- COSのCKafkaへのデータエクスポート機能は、SCFサービスに依存しており、ユーザーには無料利用枠が提供されていますが、無料利用枠を超える部分については、SCF製品価格に従って課金されます。

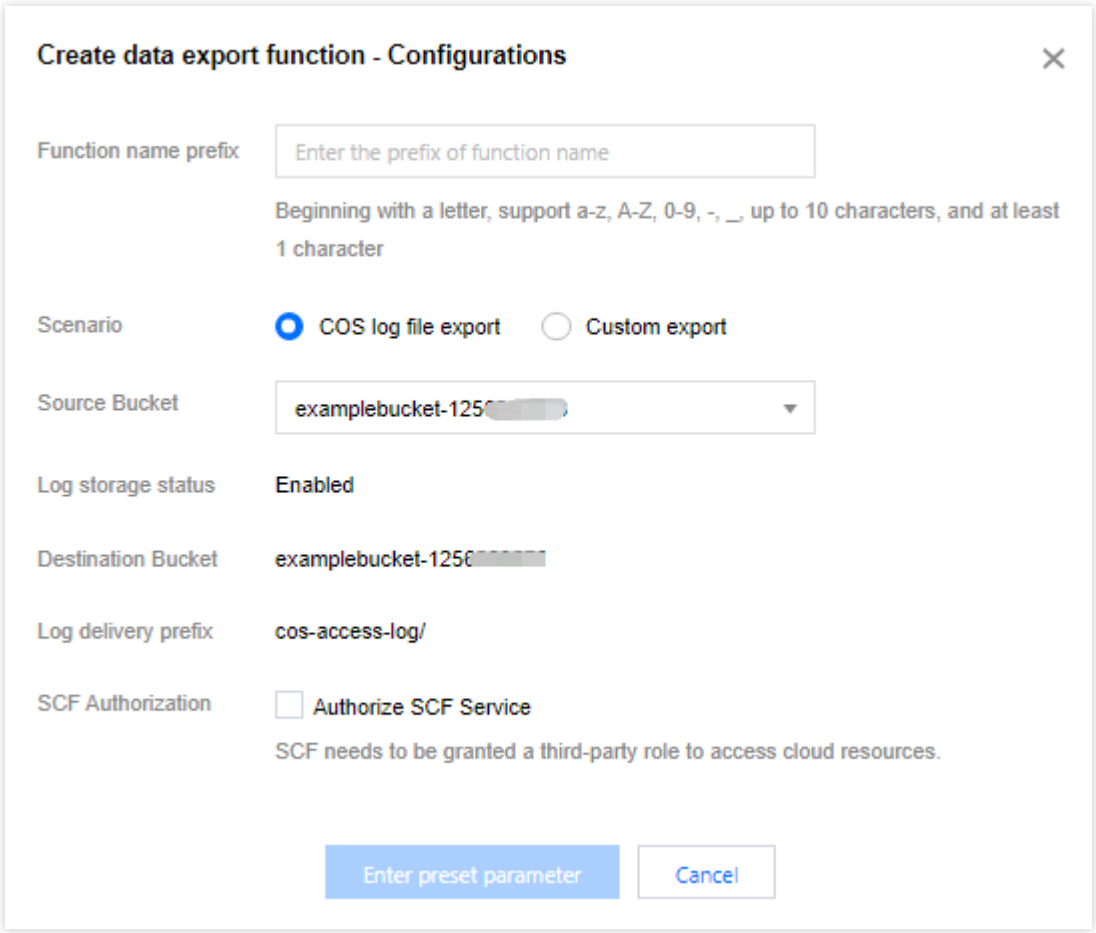
操作手順

1. COSコンソールにログインします。
2. 左側ナビゲーションで**アプリケーション統合 > データエクスポート**をクリックし、**CKafkaへのデータエクスポート**を見つけます。
3. **ルールの設定**をクリックし、ルール設定ページに進みます。
4. **関数の追加**をクリックします。

> 注意：
> SCFサービスをアクティブ化していない場合は、SCFコンソールに移動してSCFサービスをアクティブ化し、プロンプトに従ってサービス権限承認を行えば完了です。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

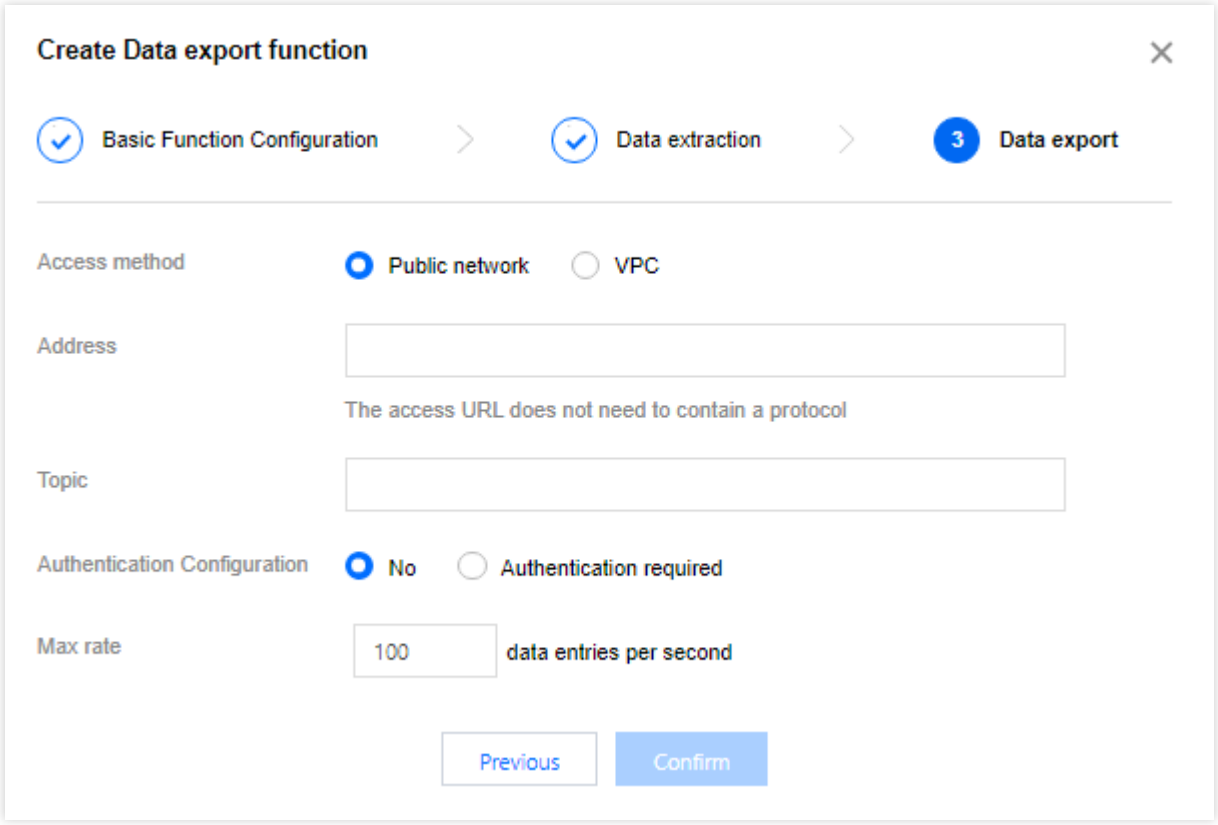
5. ポップアップしたウィンドウで、以下の情報を設定します。



- **関数名のプレフィックス**：関数の一意の識別名として、作成後に変更することはできません。SCFコンソールでこの関数を確認できます。
- **シナリオの選択**：エクスポートしたいログソースを選択します。COSログファイルでのエクスポートを推奨します。
- **ソースバケット**：ログを保存するバケットの名称です。COSログファイルを選択してエクスポートする場合は、先にCOSログストレージ機能を有効にする必要があります。
- **ログストレージの状態**：ログストレージの状態が有効になっているかどうかの確認が必要です。
- **バケットへの配信**：ログが保存されるバケットです。
- **ログ配信のプレフィックス**：ログを見つけやすくするために、パスプレフィックスを入力します。
- **SCF権限承認**：CKafkaへのデータエクスポートは、SCFがバケットからログファイルを読み取るための承認が必要です。そのため、この権限を追加する必要があります。

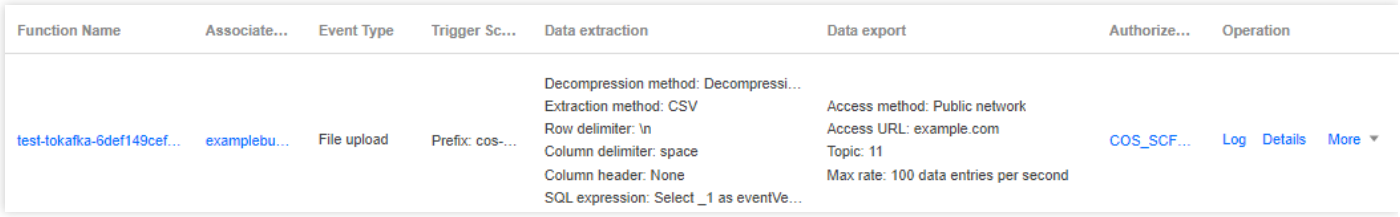
6. **プリセットパラメータを入力**をクリックし、CKafkaへのデータエクスポートを設定します。設定項目の説明は次のとおりです。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



- **アクセス方式**：CKafkaのアクセス方式です。VPCプライベートネットワークアクセスを選択する場合は、対応するVPCを入力してください。
- **アドレスにアクセス**：CKafkaがアクセスするアドレスです 。
- **トピック名**：作成したCKafkaのトピック名です。
- **認証設定**：CKafkaの認証方式です。 **認証が必要**を選択する場合は、対応するユーザー名およびユーザーパスワードを入力してください。
- **速度の上限**：CKafkaへのエクスポート速度の上限です。

7. 個別化されたログデータの抽出をする場合は、**前へ戻る**をクリックし、設定を行います。通常は、直接**確認**をクリックし、関数の追加を完了することを推奨します。



新規作成した関数に対しては、次のような操作が可能です。

- **ログ**をクリックして、CKafkaへのデータエクスポートの履歴を確認します。CKafkaへのデータエクスポートでエラーが発生した場合は、**ログ**をクリックしてSCFコンソールにすばやくジャンプし、ログエラーの詳細を確認することもできます。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

- **詳細**をクリックして、現在の関数の詳細設定を確認します。
- **編集**をクリックして、CKafkaへのデータエクスポートのルールを変更します。
- **トリガー**をクリックして、バケット内の既存のログを1つ選択し、CKafkaへのエクスポートを直接トリガーすることができます。
- **削除**をクリックして、使用しないCKafkaへのデータエクスポートのルールを削除します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

ESへのデータエクスポート

最終更新日：：2022-08-31 12:30:33

概要

Elasticsearch Service（ES）へのデータエクスポートは、Tencent CloudのCloud Object Storage（COS）が提供するServerless Cloud Function（SCF）をベースとした、データレイクからデータを抽出するためのソリューションです。ユーザーがCSV、JSON 等のファイル形式のデータを、同じリージョンのTencent Cloud Elasticsearchサービスにエクスポートすることを支援し、ログ分析、異常監視などの各種業務をすばやく構築する際に用います。

注意事項

- ESへのデータエクスポート機能は、COSデータ検索インターフェースに関連しています。制限に関する説明については、Selectの概要をご参照ください。
- 以前にCOSコンソールでバケットにESへのデータエクスポートルールを追加したことがある場合は、SCFコンソールで、作成したESへのデータエクスポート関数を確認できます。このESへのデータエクスポート関数を削除、あるいは変更すると、ルールが有効にならない場合がありますので削除**しないで**ください。
- 現在、ESへのデータエクスポート機能は、広州、上海、北京、成都でのみサポートされています。
- COSのESへのデータエクスポート機能は、SCFサービスに依存しており、ユーザーには無料利用枠が提供されていますが、無料利用枠を超える部分については、SCF製品価格に従って課金されます。

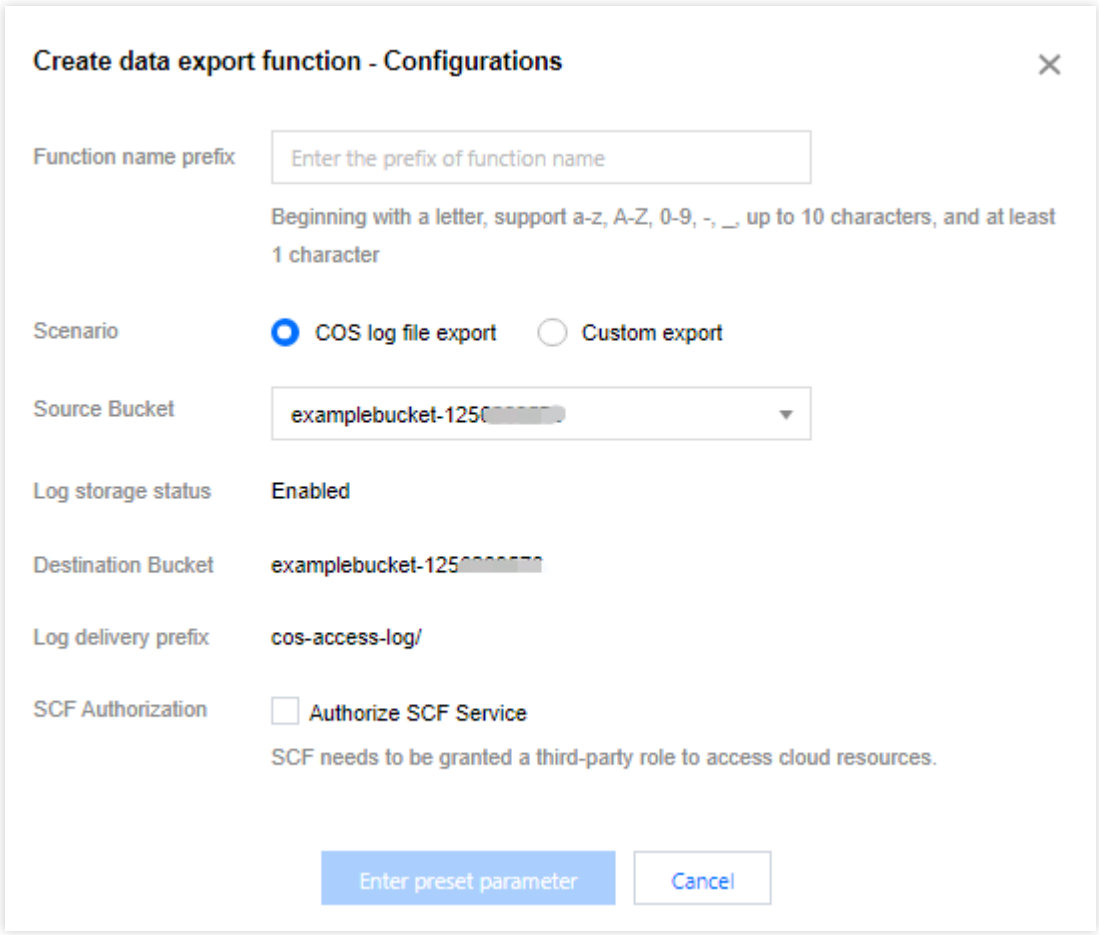
操作手順

1. COSコンソールにログインします。
2. 左側ナビゲーションで**アプリケーション統合 > データエクスポート**をクリックし、**ESへのデータエクスポート**を見つけます。
3. **ルールの設定**をクリックし、ルール設定ページに進みます。
4. **関数の追加**をクリックします。

> 注意：
> SCFサービスをアクティブ化していない場合は、SCFコンソールに移動してSCFサービスをアクティブ化し、プロンプトに従ってサービス権限承認を行えば完了です。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.

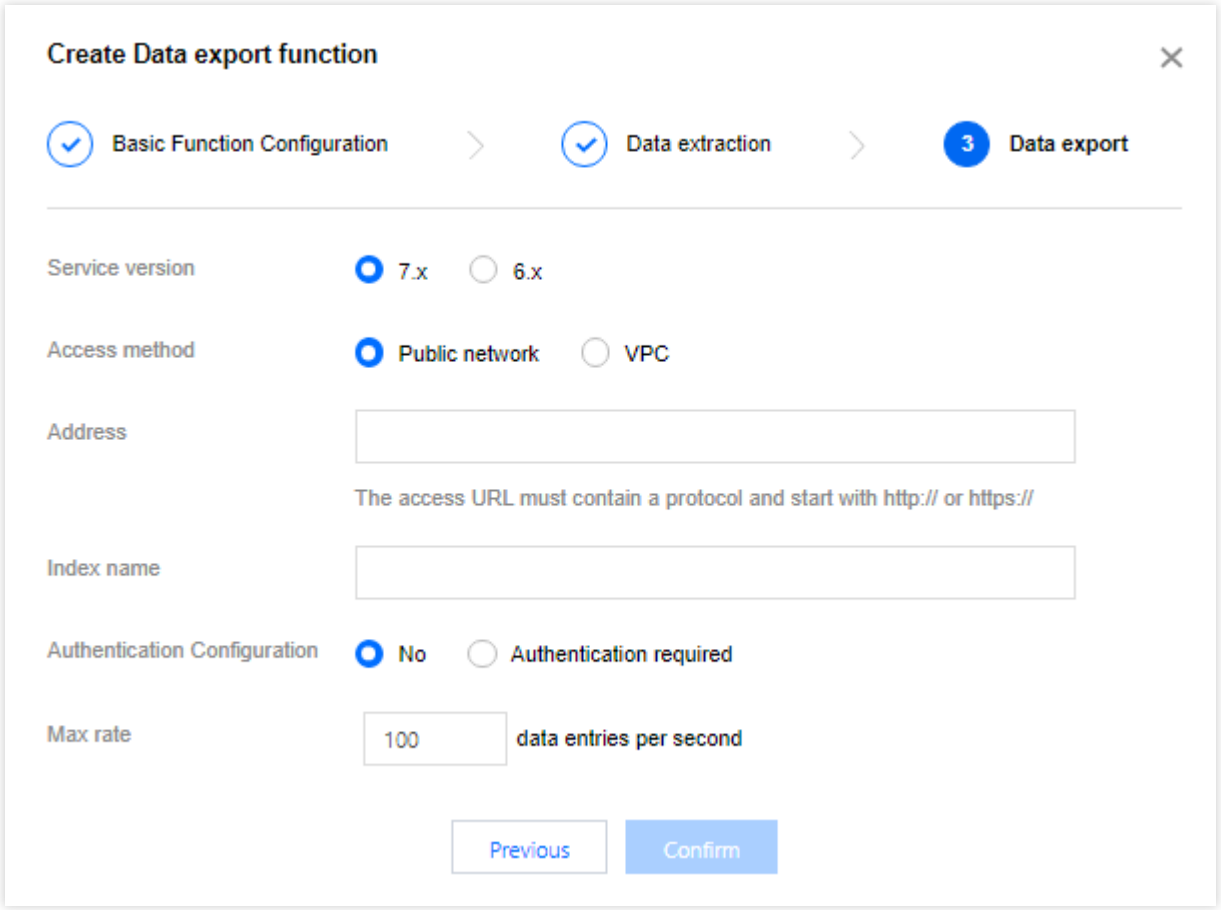
5. ポップアップしたウィンドウで、以下の情報を設定します。



- **関数名のプレフィックス**：関数の一意の識別名として、作成後に変更することはできません。SCFコンソールでこの関数を確認できます。
- **シナリオの選択**：エクスポートしたいログソースを選択します。COSログファイルでのエクスポートを推奨します。
- **ソースバケット**：ログを保存するバケットの名称です。COSログファイルを選択してエクスポートする場合は、先にCOSログストレージ機能を有効にする必要があります。
- **SCF権限承認**：ESへのデータエクスポートは、SCFがバケットからログファイルを読み取るための承認が必要です。そのため、この権限を追加する必要があります。

6. **プリセットパラメータを入力**をクリックし、ESへのデータエクスポートを設定します。設定項目の説明は次のとおりです。

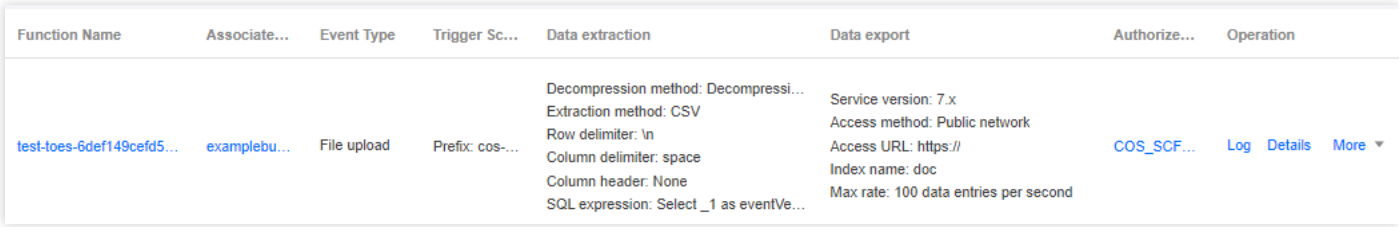
©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



- **サービスバージョン**：ESのバージョンは、7.xおよび6.xをサポートしています。
- **アクセス方式**：ESのアクセス方式です。VPCプライベートネットワークアクセスを選択する場合は、対応するVPCを入力してください。
- **アドレスにアクセス**：ESがアクセスするアドレスです。`http://` または `https://` で始まる必要があります。
- **インデックス名**：作成したES検索のインデックスです。
- **認証設定**：ESの認証方式です。Tencent Cloud ESが、現在**認証が必要**のみをサポートしている場合は、対応するユーザー名およびユーザーパスワードを入力してください。
- **速度の上限**：ESへのエクスポート速度の上限です。

7. 個別化されたログデータの抽出をする場合は、**前へ戻る**をクリックし、設定を行います。通常は、直接**確認**をクリックし、関数の追加を完了することを推奨します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.



Function Name	Associate...	Event Type	Trigger Sc...	Data extraction	Data export	Authorize...	Operation
test-toes-6def149cefd5...	examplebu...	File upload	Prefix: cos-...	Decompression method: Decompressi... Extraction method: CSV Row delimiter: \n Column delimiter: space Column header: None SQL expression: Select _1 as eventVe...	Service version: 7.x Access method: Public network Access URL: https:// Index name: doc Max rate: 100 data entries per second	COS_SCF...	Log Details More

新規作成した関数に対しては、次のような操作が可能です。

- **ログ**をクリックして、ESへのデータエクスポートの履歴を確認します。ESへのデータエクスポートでエラーが発生した場合は、**ログ**をクリックしてSCFコンソールにすばやくジャンプし、ログエラーの詳細を確認することもできます。
- **詳細**をクリックして、現在の関数の詳細設定を確認します。
- **編集**をクリックして、ESへのデータエクスポートのルールを変更します。
- **トリガー**をクリックして、バケット内の既存のログを1つ選択し、直接ESにトリガーエクスポートすることができます。
- **削除**をクリックして、使用しないESへのデータエクスポートのルールを削除します。

©2013-2022 Tencent Cloud. All rights reserved.